POPEYE
Magazine for City Boys
ポパイ
©K·F·S
1978 10|25
230 yen
ファンタスティック
ピンボール
EXTRA BALL
3 BONUS
GATE
SPECIAL
100 POINTS WHEN LIT

LICENSED BY COMPAX CORP. U.S.A
フクスケ
Harley-Davids
1000
僕の人生に、バックギアはいらない。
パックニット肌着
Pak-nit
for young men
ものごとを真っすぐ見つめ、けっして目をそらしたくない。
まして、後を振り返ったりするものか。青春の大通りを
きょうも彼はひた走る。その日、彼はパックニット肌着。
for young men
COME ON WILD ONE!!
パックニット肌着
福助株式会社

contents

OCTOBER 25,1978

■タイトル・デザイン――堀内誠一 ■表紙イラストレーション――松下進 ■デザイン――新谷雅弘

P63

P61

P19

P79

■レイアウト――新谷雅弘／荒井健・岡本康・横井徹・伊藤和

A-1ファインダーの全デジタル表示です。

	1000	32	
	750	27	
	500	22	
	350	19	
	250	16	
	180	13	
	125	11	
	90	9.5	
	60	8.0	
	45	6.7	
	30	5.6	
	20	4.5	
	15	4.0	
	10	3.5	
	8	2.8	
	6	2.5	
	4	2.0	
	3	1.8	
	2	1.4	
	0''7	1.2	
	1''		
	1''5		
	2''		
	3''		
	4''		
	6''		
	8''		
	10''		
	15''		
	20''		
a	30''		
c	bulb		M
	60 F	2.8	b
e	30 F	2.8	
c	bu F	2.8	
d	EEEE	E E	

ジェーンの笑顔は、カメラロ

「写すから、操縦する」へ。(カメラロボット) Canon A-1

標準価格：ボディのみ¥83,000・FD50mmF1.4S.S.C.付¥114,000・ケース¥5,000・モータードライブMA Ni-Cdセット¥68,000/単3セット¥50,000 ●お求めはキヤノンクレジットで。

pop*eye

世界一のマチョマンたちは〝筋肉増強剤〟で作られたロボットと同じだ。

気になる国の気になる話を集めてみた。

1 アビー・ホフマンってまだまだ人気があるんだナ。

知ってるかな? アビー・ホフマンって男。過激的イッピーのリーダーとしてアメリカの若者のあいだにすごく人気のあった、あのホフマンだけど。

彼は1973年、コケイン密売の容疑で逮捕された。が、1万ドルの保釈金を積んでシャバに出てきたとたん、地下に潜行。いらいFBIに追われているがトンとゆくえがわからない。

ところが最近、どこからともなく「アビーがアメリカに戻りたがっている」という話がつたわった。自然発生的に、〈アビーのカムバックを助ける会〉が生まれ、ファンの文化人などが彼の減刑や無罪放免の実現を当局に働きかけだしている。

8月末には、弁護士ウィリアム・カンストラーなどを中心に、アビーを呼び戻そうというデモが、ニューヨークで大々的におこなわれた。このデモには、詩人のウィリアム・バローズ、アレン・ギンズバーグをはじめ、アビーを有名にしたシカゴ・セブン事件の仲間ジェリー・ルービン、ボビー・シール、映画『帰郷』のジョン・ボイトやリップ・トーンなど、そうそうたる顔ぶれが参加した。

ジョーク好きのアビーのために、彼にそっくりの男をたくさん集め、もし彼がデモに姿を現わしてもFBIが本物を見分けられないシカケもした。だが彼は、いまだに地下から現われない。かつて「30歳以上の人間は信用するな」の名文句をはやらせたアビー。彼もすでに30歳をすぎて、疑い深いアダルトになっているからだろうか。人気はまだこれほどあるんだけどネ。

↑雲隠れして5年もたつのに、いまだ人気の衰えぬアビー・ホフマン

2 駄馬、短足と馬鹿にされてたけど、やっと俺ッちの天下がきたようだ。

日本でもちかごろは、ウマといえば競馬のウマってことになってしまっている。農耕や荷物の運送に使われるウマは、もうほとんど完全に姿を消した。

アメリカでも同様だ。20世紀の初めごろまでは、ドラフト・ホースと呼ばれる使役馬が2670万頭もいたが、トラクターやトラックに追われて、40年代の終りごろまでに〝完全失業〟してしまった。

しかし、そういう駄馬のよさが、いま再び認められ始めている。その理由のひとつは、コンミューン農業の成長だ。ヒッピーやエコ・フリークのコンミューンも多く、また、プロテスタントの一派で、機械化に反対し、ことに内燃機関を使うトラック、トラクター、コンバインなどを拒否するアンマン派のコンミューン農場が増えている。

若者のあいだには、〝ホール・アース・カタログ〟的な思想に共鳴し、完全自給の小農場をつくる連中が多くなった。彼らにとっては、燃費を食うだけのエンジンに代って、フンまで燃料や肥料になるウマは有用な、というより不可欠の動力だ。

〝ホームグロウン〟(自家製)という合言葉にもピッタリだ。機械のように、使えば損耗して価値が下ることもない。逆に1代で10数頭の仔馬を残す駄馬は、まさにホームグロウンの象徴的な存在ともいえる。

実益からいっても、農場のサイド・ビジネスとして、駄馬の飼育は割のいい仕事になっている。牧畜や林業の分野でも、トラクターではできない仕事ができると重宝がられる。トラクターは人が乗っていなければ動いてくれないが、ウマはよく命令をきき、仕事をおぼえてひとりで働いてくれる。

寒い地方では、冬はトラクターは使えない。が、ウマは零下20度でもちゃんと役目を果す。

それに、なによりも、トラクターよりはずっとかわいいではないか。アメリカ人の心にノスタルジアを呼び起す駄馬は、サーカスやパレードにも欠かせない存在だったし、CMでも人気者。

このところ急激に増えたので、総数は農商務省でも正確に摑んでいないという。ただ、季刊の専門誌『ドラフト・ホース・ジャーナル』の売れゆきでも人気の上昇はわかる。15年前までは定期購読者がわずか1500人だったのに、いまは1万7000人と10倍以上になり、しかも年間1割ちかく増えつづけているそうだ。日本でも、ひと足おくれて、こういう時代がやってくるのかな?

⬇アメリカのキャンパスにプロの選手が多くなるかも

⬇アメリカでもっともポピュラーなゲームがチェッカーだ

⬇新コーチの下で再び"強い雄羊"に変身

3 開幕2試合でクビ。やっぱりアメリカのプロの世界はキビシイのだ。

プロ・フットボールのNFL（ナショナル・フットボール・リーグ）は9月3日に開幕してもっか序盤戦のヤマ場。今年からゲーム数がふえたので、チーム当り16試合（週1試合）の公式戦が火を吹いている。

もっとも、全28チーム中22チームまでがチア・ガールを登場させ、華やかなショーの要素を盛り上げているから、男の戦いとはいっても、生ぐさい汗のニオイは感じさせない。が、どこの世界にも、ガンコ親父といわれるオールド・タイプの人間はいるものだ。

昨年までワシントン・レッドスキンズにいたジョージ・アレンは58歳の老監督。スーパーボウルに出場を果したのは72年の1回だけだが、ゴリ押しが有名で"ホイッスルを持ったニクソン"と呼ばれている。その人物が、NFLでもっともハイカラなロサンジェルス・ラムスのコーチとして西海岸へ乗り込んできたのが騒動の発端。

なにしろ彼は、選手としてはこれといった経歴がない男だ。NYのマーケット大、USCといった名門校で一般教養とか数学などの修士号をやたらにとりあさったインテリ。たたきあげの監督とは違って、フットボール理論家、戦略家として名を売った。

自分にキャリアのないコンプレックスからか、とりわけ「勝利こそすべて！」の根性論を声高にがなるので有名だ。そこが年配のファンにバカウケしたりして、「アレンこそプロ・コーチのナンバーワン」の呼び声が高かったほど。

ところが今年、いざオープン戦を始めてみると、ロサンジェルス・ラムスは、まったく調子が出ず、選手は油がきれた状態。

⬆2週間でクビのジョージ・アレン

そのせいで最初の2ゲームを、みじめに連敗してしまった。

不審に思ったオーナーが原因を追及してみると、さもありなんという事実がわかった。若手QBのパット・ヘイドンらが暴露したところによると、「アレンは試合前に、われわれに戦いの踊りをさせたり、奇声を発することを要求する。お祈りをさせることもある。それが、うちのハイカラなムードにひどく違和感があって、選手から総スカンを食っているんだ」というのが実情。

たしかに、ゲーム前に士気を高めるために奇声を発することは、いまでもあるにはある。だがそれは、ひと昔前の「死んでも勝つぞ、さあいくぞ！」のクソ根性的なコーチ法なのだ。ことに若手選手にとっては、どうにもカビくさくて抵抗がありすぎる。

若手ばかりではない。ベテラン選手のなかにも「アレンみたいなジジイと一緒にやれるもんか」と、合宿をとびだす連中が続出。それでもアレンは自分のやり方を変えなかった。

彼は自信家なのだ。じつは彼が最初にコーチとしてデビューした12年前、このラムスに籍をおいて、どの選手より高額の年俸20万ドルで契約していたというプライドがある。著書の『ウイニング・フットボール』は、技術書として聖書的な存在ともいわれた。

だから、選手が彼に反発するなど、もってのほか、と思ったのだろうが、狂っていた時代感覚だけは、どうにもならなかったわけだ。総スカンを食らって試合は連敗となると、オーナーも決断しなければならない。

アレンは開幕2週間でクビになった。そして、ロサンジェルス・ラムスは、新しいコーチのマラバッシーのもとで再び"強い雄羊"に戻って快進撃をつづけている。2連敗でクビなら、日本のプロ野球の監督などカタッパシからということになるけど。

⬆若手QBパット・ヘイドン

4 コンピューターに"あんたの負け"といわれたらガックリくるなァ。

相手がいなくちゃ勝負にならない、という時代は過ぎ去ろうとしている。人間が相手にしてくれなくても、コンピューターがお相手してくれる時代だ。

アメリカで、1人でチェッカーをプレイする人のための、《チェッカー・チャレンジャー》というコンパクトなゲーム・マシンが売り出された。シカゴのフィデリティ・エレクトロニクス社が開発して市販しているもの。この製品の特徴は、プレイヤーの腕前に応じて相手のマシンの強さを調整できることだ。いままでもチェッカー・マシンそのものは開発可能だったが、プレイヤーよりあまり強すぎても弱すぎても勝負はおもしろくない。その問題を解決して広がりをもたせたところが人気の秘密だ。

このマシンでは、強さを初心者から上級者まで、4段階のレベルに調整してプレイできるようになっている。つまり、どんなプレイヤーにも手ごろな相手になってくれるってわけ。

もうひとつ、このマシンのいいところは、こちらが何回でも「待った！」をかけられること。1手ごとに4つの読み筋を試みても、コンピューターは怒ったりイヤ味をいったりしない。落語のザル碁のように、それがもとで絶交になったりしないから気が楽だ。

しかしコンピューターが勝ったときは「アイ・ウィン！」（勝った）と遠慮なくズバリと宣言される。これにはカチン！ とくるよりもガックリ！ くる連中が多いだろう。

日本でも詰将棋や詰碁などでは、プロがコンピューターと読みの速さや正確さを争っている。コンピューターの普及と小型化で、いずれは素人とも勝負してくれる家庭用が開発されるのではないか。ゲームが好きだが人間嫌いという変り者や一人住いの老人などには、いい相手になるだろう。ただコンピューターは負けてもくやしがってくれないから張り合いがないかも。

5 USCに有名プロ選手が集まっちゃう事態がくるかもしれない。

スポーツに専念すると学業との両立はむずかしい。日本の高校野球でも、強いチームは、とかく学力の問題でケチをつけられたりする。

アメリカにも同じ問題はある。プロ・スポーツの選手のかなり多くが大学スポーツ界から出ているが、スポーツに専念するようになると大半は途中で学業をあきらめ、学位を取得せずに世に出ていく。やる気はありながらも、単位がとれなかったり、卒業試験にパスできない学生スポーツマンが少なくない。

だが、アメリカだって、すべてのプロ選手が高給をとり、引退後も左ウチワで暮せるだけの基盤を築けるわけではない。引退してから、学位をとっておけばもっとマシな仕事につけたのに、と悔やむ人もかなりいる。

そこで最近、南カリフォルニア大学のナット・ヘッカーソン教授が中心になって、プロ志向の学生スポーツマンが学位をとりやすい、プロ・スポーツ学部の新設計画をすすめている。この教授は、学生時代はフットボールの選手として活躍し、ベトナム戦争当時は反戦活動で知られた教育学者。

そして教授の調査によると、1961年から15年間の統計でみて、プロ・フットボールの選手になった学生のうち、卒業できたのは40パーセントにも満たない。

「スポーツと学業を両立できなかった学生だけでなく、スポーツをやるために最初から学位をあきらめている学生も多い。彼らに勉学の機会をあたえ、適切な指導をおこなえば、やる気をおこす学生がたくさんいるはずだ」と教授はいう。

プロ・スポーツ学部では、スポーツ史、スポーツ社会学、保健と栄養学といった正課のほかに、契約、商業などの実務教科も組み入れられる方針。すでに講師として、プロのスターとして有名なO・J・シンプソンやトム・シーバーなども名前があげられている。

↓1人用のフライパン、なんでも作れる

↑ホットドッグを温める道具

↓新しいシンボル的なビルだ

6 ニューヨークのド真ん中がドイツ資本に乗っ取られそうな気配だ。

世界貿易センターは、ニューヨークのシンボルともいえる110階建のツイン・ビル。日系建築家ヤマザキ・ミノルの設計で1973年に完成したが、建設が決定するまで、住民も賛成派と反対派の2派に分かれて大モメにモメたという因縁がある。

ところがいま、このビルが、建設後わずか5年でこんどはドイツ資本に買収されそうになり、またまたニューヨークっ子をカッカとさせている。

買収に乗り出したのは、いまやドルの下落で相対的に強大な勢力になってきている西ドイツの代表的な銀行ドイチェ・バンクだ。

ドイツ最大のこの銀行は、アメリカにも広く手をのばし、すでにヒューストンのペンゾイル・プレイス、シェル・オイル・ビルディングといった超大型ビルを買い取ってドイツの投資家に分譲し、大きな利益をあげた実績がある。

世界貿易センターも同じ目的で買収しようとしているらしい。が、今回は、そうそうニューヨークのシンボルをドイツ人の手に渡してたまるか、という反発も強烈だ。

なにしろニューヨークはユダヤ資本の牙城だ。ユダヤ系の住民も多い。このビルが目の前で乗っ取られるのを腕をこまねいて見ているわけにもいかない。

しかしニューヨーク市は慢性的な財政ピンチで、税金収入が欲しくてたまらず、背に腹はかえられない事情もある。というのも、現在、世界貿易センターはニューヨーク・ニュージャージー港湾局の所有で、公有のために免税とされているから、財政のプラスになっていない。これがドイツ資本の所有に移れば年間6500万ドルという莫大な固定資産税が入る計算。

だから、市当局はメンツを捨てて、ぬれ手にアワの増収に色目をつかい、乗っ取りに反対する気はサラサラなさそう。それが住民をよけいにカッカさせているのだが、さて、どうなるか。

7 三島由紀夫じゃないけど、きれいな死に方を考えてる人もいるんだ。

ときどき、ずいぶんヘンなものが流行するのがアメリカという国。だが、これはヘンというか、おおいにマトモというか、いまかなり流行しているのがサナトロジー。日本語にすれば、〝死学〟とでもいうところ。

これは、とにかく死についていろいろ関心をもつことが基本のテーマで、そのひとつとして最近は死後の世界の研究がブームにもなっている。

しかし同じく死への関心といっても、アプローチの角度は医学、心理学、民俗学、オカルトなどさまざま。人間はだれでも死ぬのだから、むろん死への関心はもっと大きくていいはずだし、研究もされていい。が、現代の社会は、どうしても必要なとき以外はこの問題を無視してしまい、それが必要となった人間は、もう社会の員数外として切り捨ててしまう。

こういう現実を正そうと、ロバータ・ハルポーンという人物が、3年前、ニューヨークに《サナトロジー・ブック・クラブ》を設立した。

彼の目的は、死に関心をもつ人、あるいは、もたざるをえない人たちに役立つあらゆる本を集めたり、出版すること。これまでにすでに600種におよぶ本やパンフレットを扱っている。

めずらしいものでは、不治のガンにかかった患者が、麻薬を使わずに苦痛をおさえるためのブロンプトンズ・カクテルの処方もある。また、安くて、シンプルで、堂々として丈夫な、スイス・アーミー・コフィン（棺おけ）の自作法などもある。

スイス陸軍の所持品として有名なのは優秀なナイフだが、棺おけもいいらしい。死んでからでも、棺おけはいいのに入ったほうがいいからと、その自作をすすめる本だ。が、早いとこそんなものを作ってしまって邪魔にならないか？ その心配は無用。生きてる間は、この棺おけはシャレたコーヒー・テーブルやオモチャ箱として利用できると書いてある。

8 結婚しない〝女〟と〝男〟のための万博『シングルズ・エキスポ'78』。

独身貴族は日本ばかりじゃない。なんといっても独身者は自由に金をつかえるから、観光業者に限らず、生活用品のメーカーにとっても、いちばんのお客さんだ。アメリカでは、独身者用の家具、電気機具など続々と新製品が売り出されている。

クッカー、ジューサー、トースター、コーヒーメーカーなども独身者用のニュータイプがよく売れ、市場に占める比率がぐっと高くなった。

この8月には、ロサンジェルスのボナベンチャー・ホテルで、『シングルズ・エキスポ'78』という博覧会まで開かれている。つまり独身者用のエキスポというわけで、会場には、独身者のための旅行クラブ、ビデオ・デートの紹介、法律相談といったブースが並んだ。シングル用のマンション、インテリア、家庭用品の見本市などもあり、約1200人の男女がここに集まって盛況。いっぽう《社会の差別をどうはねのけるか》《完全なパートナーの見つけ方》《シングルが事業を始めるためのローン獲得法》《不動産プランニング》といったセミナーも開かれて人気を呼んだ。

アメリカには現在5200万人ものシングル・アダルトがいて、全世帯の21パーセントが一人暮しだ。

独身貴族の時代到来！

シングル・アダルトの内訳は、別居中が9パーセント、離婚が17パーセント、死別が44パーセント、未婚が30パーセント、という割合になっている。そして1985年には、全世帯の4分の1が独身者世帯になるとみられている。アメリカでいちばん裕福な街といわれるサンフランシスコでは、すでに独身者が過半数になった。

あのヒッピー革命直後の1970年代初期には、まだアメリカでも、独身者は、やむなく離婚したか相手を探している男女とみられ、つまり、結婚あるいは再婚までの過渡的な状態におかれた人間とみる傾向があった。それがここ数年、結婚にたいする意識が大きく変り、むしろ積極的にシングルでいようとするアダルトが目立ってふえた。

以前は一定の年齢を過ぎてなお独身でいると、なにかと色眼鏡で見られたり、負け犬よばわりまでされたが、いまは違う。結婚しない女だけでなく、男もふえて、自分の意思で一人暮しをとおすことは、なにもホモやレズや変人ではないと社会も認めている。シングルのほうが行動的で、家庭の責任にもわずらわされず、経済的にも豊かな生活がおくれるといった利点がある。

←《ティー・フォー・ワン》、名が素敵だ

昨年、新車を買った人の4人に1人、家を買った人の17パーセントが、40歳までのシングル・アダルトだった。

平均するとシングル・アダルトは既婚者の3倍も旅行をしている。小売店、レストラン、銀行なども、シングル・アダルトを重要なマーケットとして、それに対応する方針を打ち出し始めた。

反面、シングルは浪費しやすく、経済的にも乱脈な生活におちいりやすい。そこで最近、多くのシングルたちは、財産の備蓄をかねて、自分の住むマンションやタウンハウスを買う。このところデラックスなコンドミニアムを買うのは、経済的に恵まれたシングルに目立って多くなった。

家を買えば、日用品も買い揃える。そこでシングル用の新製品が開発され、売り出される。いまでは〝ティー・フォー・ワン・マーケット〟という呼び名まで生まれ、独身者サマサマの時代だ。

↑少量のポテトを揚げられる鍋

9 連邦航空局を悩ませるハング・バルーンの爆発的な大流行。

➡こんなに小さな気球になって大衆性を増したようだ

このほどアメリカの連邦航空局は、「ホットエア・バルーンにも従来のバルーン関係法規が適用される。バルーニストはパイロットのライセンスを取得しなければならない」というきびしい方針を打ち出した。

バルーニストのあいだに反発が起ったのは当然。というのもバルーンの大きな魅力のひとつは、ハンググライダーと同じくライセンスが不要で、金のかかる講習を受けたりする必要がないことだから。

だが、バルーンの軽量小型化がすすみ、最近のように手軽に飛び回る連中がふえてくると、たしかに危険も大きい。空の暴走族にもなりかねないし、惨事をまねくおそれも多分にある。『ポパイ』39号でも紹介した、バルーンによる大西洋横断の成功などが、ブームにいっそう拍車をかけている。総重量30キロぐらいの軽いバルーンや、バックパックで一式をかついで歩ける小型のものも登場した。若者のなかには、1人で自転車に積んで出かけたり、ヒッチハイクで遠くの目的地に出かけて飛ぶバルーニストもふえた。

バルーンのサイズには国際規格があって、最小のAX―1は高さ7・9m、直径9・8m。いちばんポピュラーなAX―4で高さ14m、直径12・2m。これは完全キットで約3000ドルで買える。ナイロン地と型紙を買って自作する若者もいる。バーナーは400ドル、ボンベは90ドル、ハーネスやスイング・シートは35ドルぐらいからある。

いまやバルーンは風まかせの遊覧ではなく、頭脳的に飛行をコントロールできる高度のスポーツになりつつある。それだけに技術の習得も必要だ。バルーニスト・グループの代表者たちにも、養成や規制の必要を認める人がふえて、連邦航空局の方針をめぐって議論が沸いている。

⬆従来の気球はヘリウムを使うため高級なスポーツだった

10 カリスマ的な魅力を感じさせる〝ロック・モンスター〟ミート・ローフ。

➡肉の塊みたいな身体は醜悪とも見えるのだが

デブであることを売りにするミュージシャンは、これまでにもいた。ファッツ・ドミノとかパパス・アンド・ママスなど。だが、いまアメリカのロック界で注目を集めているミート・ローフとなると、その巨体の迫力はまさに表現を絶する。

身長は183センチ、体重がなんと120キロ。その彼がタキシード・パンツにヨレヨレのシャツというスタイルで歌いまくる姿は、まさにモンスター。しかも彼は歌いながら巨体でトンボ返りを打ったりする。

さきごろニューヨークのセントラルパークで開かれた彼のコンサートでも、すさまじい巨体の迫力に圧倒されて失神する女のコが出たほど。デブもここまでくると、醜怪を通り越して教祖的な神秘性を感じさせる。

狂ったような演技のために、彼はワン・ステージを終えると息も絶えだえになり、酸素吸入器を使って体力を回復させている。その姿がまたモンスターそのものだという。

彼は29歳。ダラスに生まれ、子供のころからデブでミート・ローフとあだ名された。やがて歌う俳優の道をめざし、ロック・ミュージカル『ヘアー』の巡業に加わるなどして芸能界へ。若手の作曲家ジム・スタイマンの『モア・ザン・ユー・ディザーブ』に出演したころから、だんだん名前を知られるようになった。

その後、スタイマンと組んで『ナショナル・ランプーン・ショー』で全国を回ったのが決定的に売り出すきっかけ。スタイマンはクラシック・ピアノの出身でオペラをつくるのが夢だったという変りダネのロック作曲家。ミート・ローフのオペラ的な声量にしびれて、彼のために7曲のロックをつくった。

⬆『地獄のロック・ライダー』

このコンビのアルバム『バット・アウト・オブ・ヘル』は、昨年9月に発売されてからすでに250万枚を売る大ヒット。シングル盤『ツー・アウト・オブ・スリー・エイント・バッド』もベスト10入り。8分30秒のデュエット『パラダイス・バイ・ザ・ダッシュボード・ライト』もヤングを熱狂させている。

⬆120キロの超デブ

「彼があたりにひき起す衝撃は、たんなる声や歌のうまさを超えた感動だ。一種の動物的な、聴衆を狂わさずにおかない何かをもっている」と若いファンたちはいう。彼が黒革の手袋をはめてステージに登場し、その手袋を脱ぎ捨ててピアノをたたきだしただけで、畏怖感に圧倒される。ミート・ローフによって、ロックはまた新しい変革を見せたともいえるだろう。

11 ボディビル界でもステロイド禁止問題が吹き荒れている。

➡元Mr.ユニバース、チェット・ヨートン

いま世界のボディビルや重量挙げの関係者を騒がしているのが、筋肉増強剤アナボリック・ステロイドをめぐる問題だ。

この薬の主成分は、雄牛の睾丸から抽出されたホルモン。定期的に服用すると、目に見えて筋肉がついてくる。東欧諸国では、スポーツ・ドクターが処方して選手に飲ませていた例もある。ボディビルはもちろん、重量挙げでも体重のリミットにしばられない重量級ではとくに歓迎されていた。

しかし、常用すると生殖機能に障害を起すなどの副作用がつきとめられ、モントリオール・オリンピックから使用が禁止された。選手のチェックも義務づけられている。

モントリオールでは、ライト級で1人、ヘビー級で5人がこのチェックにひっかかった。使用禁止が厳格に守られているのはいいのだが、この規制いらい記録のほうがガタ落ちになっているのが実は問題のタネ。

ことに重量級では、かつてない不調がつづいている。世界一の力持ち、ソ連のアレクセーエフは、モントリオールでは440キロを挙げたが、昨年の世界選手権では430キロ。今年のヨーロッパ選手権では415キロと、記録がジリジリ後退している。それでも優勝しているのだから、他の選手の不振ぶりがうかがえる。彼と対抗するブルガリアのプラチコフも、かつては世界記録の442・5キロを挙げたが、最近は400キロぐらいしか挙げていない。これでは「過去の記録がステロイドによって達成された証拠だ」といわれてもしかたがない。

ボディビル界でも、「薬がつくった筋肉ではなく、自分で鍛えた筋肉で勝負しようじゃないか」という声が高くなっている。その先頭に立っているのが、〝キング・オブ・ラスベガス〟の異名をとる、元ミスター・ユニバースのチェット・ヨートン。彼らの主張がいれられて、今年3月、ラスベガスで『アメリカン・ナチュラル・フィジック・チャンピオンシップ』が開かれ、ステロイド・テストが義務づけられた。

だが、使用禁止に反発する選手もまだかなり多く、世界一を争うマチョマンの間でも問題は今後に尾を引きそうだ。

⬆ステロイドの使用禁止で自己記録がどんどん下っている世界一の力持ちアレクセー

↓軽快な身のこなしでディスコ・キング

12

シカゴ・ベアーズのウォルター・ペイトンはディスコでも王者だ。

何かひとつのことにひたすら打ち込むのを、美徳と呼ぶのが日本、バカときめつけるのがアメリカだ。

そのせいかアメリカのプロ・フットボール界には、多芸な選手が多い。代表格は、最大のスーパースターと呼ばれているウォルター・ペイトン（シカゴ・ベアーズ）。彼はプロ歴4年の黒人RBだが、ジャクソン・ステート大学時代には、ロサンジェルスで開かれた全米ソウル・ダンス・コンテストで優勝したことのある踊りの名手。

身長178センチ、体重77キロと、プロでは小さいほう。が、天性のバネに恵まれ、たんにオープンを独走するだけでなく、土けむりをあげて激突するフロントのラインメンの真っただ中を突き抜けるプレイで喝采を集めている。昨年は1852ヤードを走り、O・J・シンプソンのプロ記録2003ヤードにあと一歩だったが、ことしは試合数もふえているので記録更新はほぼ確実。昨年樹立した〝1ゲーム275ヤード〟の記録も更新してみせるといっている。

そのペイトンが、フィールドだけでなく、ソウル・ダンスでもナンバーワン・フィーバー。24歳の踊り盛りとあって、彼が踊りだすと、まわりはただ息をのむだけ。まさに花形そのものだ。

多芸なのは彼だけではない。ピッツバーグのQBをやっているT・ブラッドショウは、オフにはカントリー・アンド・ウェスタンのプロ歌手として活躍している。O・J・シンプソンはハリウッドの俳優としても名をあげている。

ペイトンは、フットボールの年俸が40万ドル。シンプソンの75万ドルに比べて、はるかに安い。「だがチームのあり金を独占しちゃわるいからね」としおらしい態度で、同僚にも「いいヤツだ」と受けがいい。したたかな男だからこれも演技かな？

↑ウォルター・ペイトン

13

ホモからまでも冷たい目で見られる〝バイ〟の人権を確立しよう。

もともとはヘテロ（異性愛）だが、遊ぶ相手はホモやレズのほうが面白いという連中がいて、それが流行みたいになっているのは日本もアメリカも似たところがある。

だが、そういうお遊びとは違って、本気で両性を愛しているバイセクシュアル（両性愛者）もアメリカにはかなり多い。本場はどうやらニューヨークらしく、いまはてっとり早く〝バイ〟と呼ばれている。

彼らは、いまのところヘテロからもホモやレズからも差別的な目で見られている。どっちつかずの半端人間と、社会の片隅に追いやられているかたちだ。

「しかし、人間はそれぞれ自分に適した、好きな方法で性を求めていいじゃないか」というのが彼らの主張。

ニューヨークでは、バイの権利をさけんで、いくつかのグループが活発な動きを見せ始めている。

チャック・ミシャーンという人物が中心になってマンハッタンを根城に結成したグループは〈ザ・バイセクシュアル・フォーラム〉。週2回の集まりを開き、また仲間の相談に電話で応じる〝バイ・ワイヤ〟なるホットラインも開設した。

「現在のアメリカ人は3分の1が本来はバイなのだ。社会の偏見のために自分を素直に表現できないだけ」とチャックはいう。電話では、身上相談だけでなく、バイが不当にあつかわれたときの緊急連絡も受ける。

マイケル・アンダーソンとドロシー・ダーリンジャーというカップルが中心になって〈ボス・サイズ・ナウ〉も同じような活動をしている。「みんながバイにならなければ、本当の性の解放はありえない」と主張し、パワーの結集に積極的だ。バイ時代到来のきざしか。

↓初めて出版された本格的ＳＦ大百科事典（銀座・イエナ洋書店／24,500円）

14

今までなかったのが不思議!?　SF集大成の百科事典が出版された。

SFファンのなかには、読んだり見たりするだけじゃなく、偏執的なコレクターになる連中が少なくない。スイスのピエール・ヴェルサンという男は、その見本みたいな人間。

彼はこのほど数万点にのぼるコレクションを公開し、それを自分の住む町に寄贈して、〈SFの館〉という博物館を開いた。各地からファンがどっと押し寄せ、連日大盛況という。趣味がこうじて、町のPRにも役立っているのだから結構なこと。

このヴェルサンがもうひとつスゴイのは、『SF、ユートピア、空想旅行の百科事典』を編集して発行していることだ。SF界は百科事典ブームで、ちかごろさまざまな事典類が発行されているが、そのほとんどが人名辞典や図鑑もどき。だがヴェルサンのはそれとは違って、ちゃんとアルファベット順に項目を整理した正真正銘の百科事典だ。これほど本格的なSFの事典はほかにはないと評判になっている。

内容がまた、オモチャ箱をひっくり返したようで、なんとも楽しい。厚さは1000ページ強。図版がこの中にふんだんに組み込まれている。SFに関する本や作家の写真はもとより、珍しいコレクションも数多く紹介してある。

ヴェルサンが自分で考案したユニークな年表、系譜などもあって、資料としての利用価値も絶大だ。日本の書店においてあるところもあるから、ファンはまず手にとって見るべきじゃないかな。ただしフランス語だよ。

15

アメリカがモスクワ・オリンピックをボイコットする!?

反体制知識人の弾圧、アフリカ各地での内政干渉、といったソ連のやり方に、カーッと頭にきているアメリカ人は多い。とりわけ対ソ強硬論者などは、いまソ連が国の威信をかけて準備中のモスクワ・オリンピックを「アメリカはボイコットすべきだ」とまでいいだした。

ボイコット派が第一に主張するのは、ナチス・ドイツの手でおこなわれた1936年のオリンピックの二の舞を避けるべきだということ。もうひとつは、西側からテレビ、新聞などの取材陣が大挙して乗り込むと、ソ連は報道陣が国内の反体制派と接触するのを嫌って、あらゆる陰険な手を打ってくるだろうということ。

その背後には、アメリカで政治、経済に大きな力をもつユダヤ系住民の意向がはたらいていることもたしかだ。ソ連はいまだに多くのユダヤ系人口をかかえ、彼らに国外へ出る機会もあたえず、圧迫している。そしてソ連は心情的にアンチ・イスラエルだから、イスラエル選手団がモスクワでいやがらせやアラブ過激派のテロに遇う危険もあるというのだ。

こんな主張に対し、「オリンピックに政治をからませるのはよくない」という反論も当然出てきている。だが、ボイコット派は「モントリオールから台湾の選手団が追い返されたように、オリンピックは政治抜きなどというのは夢にすぎない」と強硬。圧力団体の活動や、ふとしたハズミで、アメリカの世論がボイコットの方向に突っ走ったりしなければいいのだが。

↑1980年の開催をめざして急ピッチで工事がすすめられている屋内体育館

pop*eye

➡ダッジシティで盗難車を検問中の刑事。32分署の管轄なので〝スリー・ツー〟と呼ばれてる

⬇アメリカでもビール戦争が始まっている

16 男っぽい味のビールなんていうけど、どんな味がするのかな?

女も赤ん坊もひっくるめての平均で、アメリカ人は1人当り年間85・5リットルのビールを飲んでいる。ベルギーにはおよばないが、日本などは遠く引き離している分量だ。

銘柄の種類も多い。現在、ビール会社は45社に減ったものの、1社で数種のブランドをつくっているところが多く、輸入品もポピュラーで、日本やメキシコ産をはじめとしてフィリピン、シンガポール、中国本土産のビールまで手に入る。

昔は小さな田舎町にもビール会社があった。禁酒法以前には1700社もあり、それぞれ個性的な味をもっていた。

禁酒法撤廃後に700社が製造を再開したが、それが激減したのは、まさに仁義なきシェア争いのためだ。大手の寡占化が進み、五大メーカーだけで全市場の69パーセント、そのうち2社で40パーセントを占めている。

この競争のおかげで、日本人よりずっと安いビールを飲んでいるが、しかし、味がみんな似てくる、という不満もある。シエアを伸ばそうとすると、どうしてもクセのない、一般向きのビールをつくってしまうことになるからだ。

もっとも、なかにはクレージーなまでの愛情を注ぎ込んで独特なビールをつくっている男たちもけっこういる。昨年、営業を開始したばかりの〈ニュー・アルビオン〉もそのひとつ。海軍あがりのジャック・マッコーリフィというオジさんが、もっと男らしい味のビールを、といって設立した。だが週に12樽しかつくっていないから儲けも少ない。

歴史ある銘柄の〈アンカー〉が13年前に倒産しかけたとき、それを惜しんで、フリック・メイタッグという電気洗濯機メーカーの社長が負債の肩代りを申し出た。いまもガンコに伝統的な製法を守り抜いて、サンフランシスコのバーではいちばん人気のビールだそうだ。

17 ハーレム127番街から159番街までの〝32〟と呼ばれるコワい場所。

ニューヨークでいちばん怖い地区ときかれたら、まずダッジシティかチャイナタウンと答える人が多いのではないか。ダッジシティは、あのハーレムの一部で、ニューヨーク第32分署の管轄下にあるので〝スリー・ツー〟とも呼ばれる。

この地区で過去4年間に360人、今年も8月までに48人が殺されている。強盗、強姦も日常茶飯で、ヤクの売人にあふれ、子供たちもヤクがらみの事件でよく殺される。

いっぽうチャイナタウンは、昔はニューヨークでも静かな町といわれたところ。だが、1960年の移民法改正いらい香港帰りがどっとふえた。そのなかから、ティーンを中心にした新参のチンピラ・グループが生まれ、旧勢力との抗争、新興勢力同士の対立で、ギャング戦争がエスカレート。いまではライフル、ショットガン、ピストルなどをハデに撃ち合う街頭戦も続発するようになった。

この8月には、チャイニーズ・マフィアの23歳のボス、ニッキー・ルイが撃たれた。モット街のレストランでマージャンをやっているところを、店のキッチンから入り込んできた男に、38口径のピストルで頭と背中を4発撃たれ、瀕死の重傷を負った。

彼はギャング・グループ〈ゴースト・シャドウ〉の親分で、12年前に香港から親につれられて移住してきた。青白い、一見ブルース・リーばりの子供っぽい顔だが、頭と腕のキレは抜群だった。チンピラの集まりにすぎなかった〈ゴースト・シャドウ〉をマフィア組織に鍛えあげ、借金の取立てや恐喝で年間100万ドルを超える資金を集めていた。

この男が倒れたため、チャイニーズ・マフィアには抗争がつづいている。安心して中華料理を食べられる町になるのは、まだかなり先のことになりそうだ。

⬆殺人者の逮捕も多い

⬆少年犯罪も頻発している

●今回のPOP★EYEは以下の方々のご協力をいただきました………森下賢一(翻訳家)、永田守弘(ライター)、安田均(SF研究家)、加藤裕将(イラストレーター)、後藤新弥(スポーツ評論家)ほか。情報をお待ちしています。〒104東京都中央区銀座3—13—7、平凡出版株式会社『ポパイ編集部/POP★EYE係』までお便りください。

18 バーボンの香る夜、孤独なヒーローを想う。

いま、一本に一個 弾丸ライター(ガス注入式)がついている。

1881年7月13日、暗闇を走る一発の弾丸が、ひとりの伝説的な青年の命を絶った。その生涯をヒロイックに描いた小説がつぎつぎと出版される中、彼を倒した当の保安官が、「これら三文小説の誤りを正す決定版」と銘うった書物を発表した。その表紙にいわく、「サウスウエストの名だたる無法者、ビリー・ザ・キッド正伝——その手でキッドを殺した保安官パット・ギャレット著」。

西部では、とにかく強いやつがエライ、そのエライやつに勝ったやつはもっとエライ。だからパットも、本音はもっと自分に注目して欲しいってことだったのだろうけど、結果は裏目に出てしまった。獲物の大きさを誇張する心理もわかるけど、キッドを、斧一つでインデアンの大群をけちらすようなスーパーマンにしてしまうんだもの、パットの方がかすんでしまうのも道理。まるで、ハリウッドのために、シナリオを書いたようなものだ。

だけど、ほんとうのキッドはごくふつうの少年で、むしろ臆病なくらいだったという。そんな彼だから、たまたまお仕置きで受けた監禁におびえて町を逃げ出して、浮浪児になってしまった。ケンカの相手を撃ち殺したのをきっかけに、殺人、投獄、脱獄の人生が始まる。食事の時も、殺人の時も浮かべていたという笑みは、冷酷な運命に対抗するための仮面だったろう。「オレはいつもひとりだった」と。

クリス・クリストファーソンの演じたキッドも、やはりカッコ良すぎたと思う。ディランのサントラ盤を聴きながら、《アーリー・タイムズ》のロックが五杯目に達した時の、これが結論。そういえば、このバーボンがケンタッキーに生れたのも、キッドの誕生と同じ頃、1860年だった。以来、男たちの想いを見守りつづけてきたこの酒は、あるいはまた、キッドの渇いたノドを流れ、誰も知りえなかった胸の内側を覗いたことがあるのかもしれない。そこには、キッドのどんな呟き、どんな《キッド自伝》が書かれていたのだろう。

提供 サントリー

アーリー・タイムズ 2,500円(標準的な小売価格) 輸入・販売 サントリー株式会社

pop*eye

FANTASTIC PINBALL

遊びに貪欲な国アメリカの智恵が生んだスケートボードのピンボールを知っているかい。

ピンボールの魅力は、一度でもプレイすれば体で感じるはずだ。そして、その魅力にとりつかれたらもう逃れられない。この道理を知りつつもフリークを目指すキミたちに贈るピンボール面白話！

1 ピンボールの主流は、今やソリッドステート・マシンだ。

'77年に、ピンボールは新しい時代を迎えた。'30年代に原型が形成されて以来、多くの紆余曲折を経てきたピンボールだが、'76年のアタリ社製《アタリアン》の登場以来、各社のマシンは続々ソリッドステート化され、従来の機構では不可能だった複雑なフィーチャーが生まれている。

まず、ICチップの使用によって、スイッチやソレノイドの接触不良がなくなり、ユニットの不正確な動きが皆無になってプレイヤーの技術が確実にマシンに伝わるようになった。

スコアリングの正確さも増してハイスコアが可能になり、スコア表示もデジタルで見やすくその日のハイエスト・スコアが表示されるので挑戦意欲が高まる。またターゲットやバンパーの得点も、さまざまな組合せによって加点され、1ボールふえたり、リプレイが与えられたりで、プレイの楽しみがグンと増した。新しいフィーチャーの開発もますます盛んになっている。

なんといっても注目したいのがリコール・メモリーだ。1ボールずつクリアされていたフィールドのフィーチャーが、特定の法則でキープされることもメモリー装置で可能になる。これはピンボール・フリークにとってはいわば"夢"だったはず。キミのプレイにゲームオーバーはあっても、マシンにゲームオーバーはないわけだ。

↓ノーム・クラークは代表的なデザイナー

ピンボール・デザイナーの辞書に満足の文字はない。

ポップ感覚いっぱいのピンボール。そしてフィールドにちりばめられた数多くの装置。これらを設計するデザイナーたちのことも知ってこそ、真のピンボール・フリークっていうもんだ。

まず、その代表的なひとりとして、バリー社のノベルティ部の技師長ノーム・クラークをあげることができよう。設計歴17年。バリー社に入る前は、ウィリアムス社の技師長を長年務めていた。

彼のベスト・マシンは、と聞かれて、彼は優等生的に「次に創り出すマシン」と答えた。が、彼の代表的なマシンには、《マジック・シティ》《トラベル・タイム》《ドゥードル・バッグ》など好評なマシンが多い。

理想的なマシンは、ボールをシュートするそのときからテクニックを生かせるのがいい——つまり、プランジャー・ショットの段階から重要でなくてはならないという持論を持っている、バリー社の有能なデザイナーなのである。

もうひとりのデザイナーとして、スティーブ・コーデックを落すことはできない。現在ウィリアムス社に勤務。設計歴ほぼ30年というベテラン・デザイナーである。

彼は、新型マシンが動き出すとすぐ改造したくなる性分だ。何かをのぞき、何かを加え、そして改良また改良……だ。いつも不満ながらどこかで打ち切り、次のニュー・マシンにとりかかるといった具合。そんな彼だから、自信作などはなかなか答えない。しいていえば、'48年、ゲンコー社のために設計した《スクリュー・ボール》だという。これは、キャッシュボックス誌が出している稼ぎ高No.1賞をかちとったほどだ。

↑スティーブ・コーデック

最近の作品には、《トリプル・アクション》《スカイラブ》《ダーリング》などがある。

ひとつのマシンを設計するときは、マジック的な期待を組み込むことで少しはマシなマシンになる、というのが彼の持論だ。

《エイト・ボール》のキャラクター・モデルはフォンジーだぞ。

⬇バリー社の評判機《エイト・ボール》

ピンボールのボードやフィールドには、さまざまなイラストが描かれている。セクシーな美女、スペース・シップなど、とにかくアイ・キャッチャーとなる派手なものが多い。それらのなかには、特定のキャラクターをデザインしたものも少なくない。

たとえば、ピンボール史上初めてフリッパーがつけられたマシンとして有名なゴットリーブ社の《ハンプティ・ダンプティ》（’47年）は、マザー・グースに出てくる玉子人間がデザインされている。また、同じくゴットリーブ社の《メイフェア》（’66年）は、明らかに映画『マイ・フェア・レディ』をモチーフとしたマシンで、描かれている貴婦人はオードリー・ヘプバーンだとすぐわかるだろう。

⬆オードリー・ヘプバーンも登場

さらに、映画のキャラクターとしてはゴットリーブ社の《キングズ・アンド・クイーンズ》（’65年）、バリー社の《ウィザード》（’75年）、《キャプテン・ファンタスティック》（’76年）などがある。ゴットリーブ社のは、クラーク・ゲーブルの遺作で、マリリン・モンローの最後の作品となった『荒馬と女』がモチーフとされ、そういえば、この頃の西部劇を描いたものは男はゲーブル、女はモンローのタイプが目立ったものだ。また、バリー社の2台のマシンは、それぞれロック・オペラ『トミー』をモチーフしたものとして有名だね。

この2台について裏話をすると、前者はザ・フーのロジャー・ダルトリーとアン・マーグレットがモデルとなっているが、映画のなかでトミーと〝ピンボール・ウィザード〟のタイトルをかけて争う男バッカルーを覚えているかな？ なんと、このバッカルーという名はゴットリーブ社’65年発売の人気マシンの名なのだ。

そして後者でいえば、キャラクター・マシン数あるなかで、バンパー・デザインになったのはキャプテン・ファンタスティック＝エルトン・ジョンが最初だ。

次に、一風変ったキャラクターを紹介しよう。それは、北米はコロラドの伝説の巨人を描いたゴットリーブ社の《ポール・バニヨン》（’68年）だ。容姿はまんまウッディ・マン、彼は現地ではデービー・クロケットと並ぶ英雄なのだ。

⬆バリー社の傑作マシン《ファイア・ボール》

その他、キャラクターを扱ったマシンとしては、ウィリアムス社のビートルズをモチーフとした《ビート・タイム》（’67年）や、バリー社の有名な傑作マシン《ファイア・ボール》（’72年）など、探そうと思えば山ほどある。

しかし、ここで最後にふれておきたいことは、近年のキャラクター・マシン・ラッシュである。

’75年、バリー社が《ウィザード》を発売したのが引き金となり、以後おもなものだけでも’76年はバリー社の《パワー・プレイ》（プロ・アイスホッケーのスター、ボビー・オアがモチーフ）、’77年になると、バリー社は《イーブル・ニーブル》《マタ・ハリ》、ゴットリーブ社は《クレオパトラ》（これは《ピラミッド》の姉妹機だ）、ウィリアムス社は《ワールドカップ》（プロ・サッカーの星、キル・ロートJrがモチーフ）、そして’78年はバリー社が《エイト・ボール》（フォンジー兄貴が登場）と、すさまじいばかりの開発競争を展開している。

さて、’78、’79年のニュー・マシンには誰が登場するのだろう。

ヨルダンの宮殿には、ニュー・マシンが3台も並んでいる。

⬇アン・マーグレットもピンボールに熱中

有名人のなかにもピンボール・フリークは、たくさんいる。なかでも熱狂的なのがエルトン・ジョンだろう。’75年の映画『トミー』で、ピンボールの名手、不敗を誇るチャンピオン〝バッカルー〟を演じた後、すっかりピンボールに狂ってしまった。なにしろこの映画出演のために毎日ピンボールを練習し、今では、並のフリークじゃかなわない腕前だ。

また、共演したアン・マーグレットもピンボールの面白さにマイっちゃったよう。この映画を記念して作られたバリー社の《ウィザード》というマシンのボード・モデルに、R・ダルトリーといっしょになったほど。そればかりか、キャンペーン・ガールまでかって出たというホレ込みようなのだ。

この他、サミー・ディビスJr、M・ニコルズ、E・グールド、B・コスビーとフリークは多い。

そして、近くアメリカ娘と結婚するというので話題になったヨルダンのフセイン国王も、大変なピンボール・フリークだ。王宮の自分の部屋、豪華なシャンデリアのもとに3台も並べ楽しんでいるのだ。

「親父はテニスでも、俺はピンボール」というのが、カーター大統領の息子だ。気に入ったマシン以外は絶対にやらないという偏執狂ぶり。

あらゆる階級、職業を超えて、ピンボール・フリークのフィールドは広がる。

⬆エルトン・ジョンのピンボール狂は有名

連続140時間のピンボール・プレイにはびっくりするね。

GUINNESS BOOK OF RECORDS

ピンボール・フリークも、ここまでくるとハンパじゃない。ピンボール・マラソンに挑戦。なんと、’77年に、オーストラリアのイアン・ジェミースン君とフィル・ウェイン君がふたりで、92時間もプレイしつづけるという記録をうちたてたんだ。

ところがどうして、この程度の記録じゃおさまらないから、びっくり。

当然、先の記録は、かの『ギネスブック』に載って全世界へ。この記録を見て、世界中にいるピンボール・フリークは、いっせいにこの記録に挑戦すべくプレイに没頭、また没頭。もち、このピンボール・マラソンの記録を破り、なおかつ『ギネスブック』に自分の名を載せるためにだ。

➡140時間プレイしてこの顔だもんね…

そして、今年の6月26日午前0時1分、シンガー・ソングライターのマンディ・マーチン嬢がこの記録に挑戦を開始した。

使用マシンはアタリ社の《ミドル・アース》。1時間プレイして5分休む、というパターンを延延と繰り返し、なんと、140時間32分というとてつもない記録をうちたててしまった。

さて、キミも新記録に挑戦してみては？ この大記録を破ったら、記録と、それを証明するものを『ギネスブック』に送ろう。

●GUINNESS SUPERLATIVES LIMITED：2 Cecil Court, London Road, Erfield, Middlesex, England.

Williams®
ELECTRONICS, INC.

D. Gottlieb & Co.

A Columbia Pictures Industries Company

↑↓躍進めざましいウィリアムス社。コロムビア・ピクチャーズと手を組んだゴットリーブ社。なじみの薄いシカゴ・コイン社。老舗のバリー社。どれもアメリカの誇る大アミューズメント産業の雄たちだ。十分に楽しませておくれ!

Chicago Coin

Bally®

ATARI®
Innovative leisure

↑名の由来は囲碁の〝当たり〟

6 バリー、ゴットリーブ、ウィリアムスにシカゴ・コインがアタリ!?

ピンボールの四大メーカーといえば、ゴットリーブ社、バリー社、シカゴ・コイン社、それにウィリアムス社だ。

ゴットリーブ社は、'30年にデイビッド・ゴットリーブが設立。

また、'31年にスタートしたバリー社は、レイモンド・モロニーが考案した第1号機《バリフー》から社名をとっている。

続いて'34年、《ショウボート》でシカゴ・コイン社がスタート。そして、ウィリアムス社は一番後発で、'43年設立となっている。

第二次大戦後はゴットリーブ社がめざましい活動をみせた。'47年、初めてフリッパーのついたマシン《ハンプティ・ダンプティ》を発表。'50年代には実に112機種を発売している。

一方、バリー社は、'50年代は、ギャンブル・マシンのビンゴ・ピンボールの製造に力を入れ、フリッパー・タイプのピンボールはわずか1機種。が、'60年代になると〝閉じるフリッパー〟のニュー・マシン《バザー》の開発で一挙にピンボール・メーカーとして返り咲いた。

また、シカゴ・コイン、ウィリアムスの両社は、それぞれ順調にシェアを獲得してきた。しかし、シカゴ・コイン社は'77年、スターン社に吸収合併され、その名はブランド名に残るのみだ。

さて、アタリ社は、'76年、シカゴの『アミューズメント・マシン・ショー』(AMOA)で、他社に先がけてソリッドステート・ピンボール《アタリアン》を発表。現在の各メーカーのソリッドステート化の引き金となった。

同社は以来、ワーナー・ブラザース傘下に入り、資本力も充実、この2年間に第2作《タイム2000》、第3作《エアボーン・アベンジャー》、第4作《ミドル・アース》と矢継ぎ早に高性能マシンを開発した。今や四大メーカーに〝追いつけ追い越せ〟の勢いだ。

7 邪道といわれようがお構いなしの異色ピンボールをドッと紹介!

←バリー社製《ニップ・イット》('73年)。これぞ、大驚き大会のアメージング・フィーチャーだ。右側のフリッパーボタンの上のボタンを押すとワニ(バリーだから〝バリゲーター〟とシャレてる)がボールを喰ってロールオーバー・レーンに流す ↓バリー社が開発したジップ・フリッパー

この10年間にアメリカで作られたピンボールの機種は、200近い。そして、そのほとんどが日本に入ってきているんだ。この200種がそれぞれに異なったフィーチャーを持っていることを考えるだけでも、ピンボールの楽しさがわかるだろう。そのいくつかを紹介してみよう。

まずは、ジップ・フリッパー(閉じるフリッパー)は、バリー社の《バザー》に初めて登場した。特にジップ・フリッパーつきの《ファイア・ボール》はフィールドの中央にゴムの回転板が回っていて、ここに乗るとボールはどこへ飛んでいくかわからない――スリリングなマシンであった。残念なことに、ジップ・フリッパーは、この他かなりのマシンにあったけど、装置に故障が多いので最近はあまり作られていない。

また、フリッパーのないものも作られた。フリッピング・ボールといってバリー社の《ファン・クルーズ》が代表。ボトムの左右に長いソレノイド・バンパーがありボールをはじいた。しかし、フリッパーがないというのは、どうにも淋しかった。

プランジャーが見当らないので最初ビックリするのがゴットリーブ社の《プロ・フットボール》や《グリダイアン》。相手チームのキックに見立てたボールが、フィールドの下部から自動的に飛び出していくヤツだ。

ウィリアムス社は、他のゲームとドッキングさせたピンボールをいろいろと考案してくれた。たとえば、ボードにパチンコのついた《アポロ》、フィールドにルーレットのある《サスペンス》などだ。

また、ボール数ではなく時間でゲームする《トラベル・タイム》もウィリアムス社のものだった。

最近では、同じくウィリアムス社のニュー・マシン《ワールドカップ》が面白い。従来のチャイムに代ってスピーカーを使用。複雑な音響効果が出て楽しめるぞ。

このように、ピンボールのフィールドは、ファンタスティック・アイランドなのだ。もう、やめられない、止まらない。そして、時間よ止まれ。

↑シカゴ・コイン社の《スーパーフリッパー》

8 ピンボールは、果たして怠け者のゲームなのだろうか?

アメリカのスポーツ誌のなかでも格調高い『スポーツ・イラストレイテッド』誌も、最近号でピンボールを取り上げ、紹介している。

その内容は、本誌36号の《ピンボール・ポップアイ》でも紹介した『バリー・スーパー・シューター』と銘打った全国的なピンボール・トーナメントの経過をレポートしたものだ。

そして、もうひとつ、ピンボールのプレイは、門外漢が思っているような偶然ばかりを当てにしたゲームではない、という〝興味深い記事も載せている〟。テクニックが75%、運が25%で構成される非常にスポーティなゲームであると評価しているから、もう大変。ピンボール・フリークや業界の関係者などは、「これでピンボールもマトモなスポーツの仲間入りができた」と狂喜している。

なぜなら、従来、アメリカでも伝統的にピンボールは「非生産的な、怠け者に居心地のいいゲーム場やバーなどの付属品」といった先入観があったからだ。

また、最近のただただ働けばよい、稼げばいいのだ、といったアメリカ的な道徳観に対する反発、もう一方での〝スモール・イズ・ビューティフル〟以来の自然や資源をそこなわない風潮も手伝ってか、さわやかなゲームこそ善だとする考えの高まりを反映した結果だろう。

いずれにせよ、'32年に、シカゴに住むレイモンド・モロニーによって生み出されたピンボール、爆発的な広がりの一方、〝ゲームかギャンブルか〟の問題を生じ、'30年代中期から、没収、禁止などの措置を打ち出す州が続出、波乱の人生を送ってきた。現にニューヨークでは'36年から'75年まで禁止だったのだからね。

ピンボール・フリークの狂喜ぶりもうなずけるってもんだ。

9

↓東京・原宿のセントラル・パーク

ピンボール・ウェイブが、今や全世界にバイブレーションを送る。

今や、ピンボール・マシンはものすごい勢いでそのシェアを世界中で伸ばしつつある。近い将来は、コカ・コーラボトラーズのようになるのではないかともっぱらの評判だ。

アメリカ国内でも、ドラッグストアやパブ、喫茶店、ドライブ・インなど、いたるところにマシンが置かれている。それは、あたかも日本専売公社の自動販売機の如くである。

そして、親父や母親に頼まれた使いのあいまにマシンで1ゲーム、グイッとバーボンを1杯ひっかけ1ゲームと、ピンボールはいたるところで楽しまれている。

最近では、おりからのディスコ・ブームに目をつけてか、ニューヨークの〈CBGB〉にも置かれ、ダンス・ミュージックに乗り、華麗なボディ・アクションで1ゲームと大モテなのだ。

↑ニューヨークの〈CBGB〉の店内

ノース・ショアのハレイワ・ビーチの真ん前にあるレストラン〈ジェリーズ・スイート・ショップ〉、ここは、サーファーの溜り場だ。ここでも、マシンのチャイムに誘われて、ワイプアウトしたサーファーが1ゲーム。

おっと、アメリカだけじゃない、日本でも同じだ。原宿はセントラル・パークの〈カフェ・ド・ラペ〉にも、この波は押し寄せていた。有線放送から流れるロックのリズムで、原宿ファッショナブル人間も1ゲーム。この勢いでは、クレムリンに置かれる日も近いのでは?

↑マイアミのゲーム・コーナー

10

←ウィリアムス社の《マルディ・グラ》はギャンブル志向

←ゴットリーブ社の《スリック・チック》はシングル・プレイ

さて、歴代のピンボールから傑作マシン5傑を選んでみると?

'32年の《バリフー》誕生以来、ピンボールの歴史は、'46年になる。その間、数多くの傑作マシンが世に送り出されてきた。

たとえば、《マルディ・グラ》がそのひとつだろう。'62年にウイリアムス社が発表したもので4人用のマシン。フランス語で"感謝祭の最終日"という意味を持つこのマシンは、非常にシンプルな構成だ。左右対称にあるターゲットやバンパーのランプが、常に左右どちらかついている。このついている方のバンパーやターゲットにボールが当ると、得点が表示点数より一ケタ上る(10点なら100点)という具合。単純明快。技術+ギャンブル性の高いマシンであった。

《ラック・ア・ボール》、これもグッド。ゴットリーブ社の'62年のもので1人用。決ったロールオーバー・レーンにボールを通すと、ボードに赤や白のボールが出てくる。これを9個ストックすると、リプレイが与えられる。ボールがストックされていく視覚的な快感がたまらなく、随分と人気を呼んだ。このマシンの後にも《ボーリング・クイーン》、《300》とネーミングを変え、まったく同じマシンが三度も作られたほどなのだから大したものだ。《スリック・チック》、これも傑作のひとつ。ゴットリーブ社の63年のもの。先にあげた《マルディ・グラ》とは対照的に、その複雑怪奇なフィーチャーは、これに勝るものなしだ。フィーチャーを積み上げて、ある一定のところまでいくと、リプレイがどんどんつく。リプレイ40回なんてのも可能なほど。これが日本でも後楽園のガン・コーナーに置かれたときには、朝から10円玉をジャラジャラさせる人の列がマシンの前にできたという。今でも業界で語りつがれているマシンというわけ。

《ノース・スター》も忘れられないマシンなのである。ゴットリーブ社の'63年の1人用マシン。リプレイを狙う面白さでは、《スリック・チック》と双璧である。

《シップ・メイト》、こいつも優れたマシンだった。'63年発表のゴットリーブ社製4人用マシン。《マルディ・グラ》に似ていて、ランプの点滅によってそれぞれのバンパーやターゲットの表示点数が変っていくタイプだった。

こうしてみると、製造年からもわかるように、'62~'63年はピンボールの爛熟期であった。ゲームのギャンブル性が最も高まったこの時期に歴代の傑作マシンが5台も生み出されたわけだ。

11

←ゴットリーブ社製《スピリット・オブ・'76》

お祭り好きのアメリカ人が大好き。ピンボールは時を映す鏡だ。

↓バリー社製《スペース・タイム》

Out of this world
in play appeal and earning power
Bally SPACE TIME
4-PLAYER FLIPPER CONVERTIBLE TO ADD-A-BALL
WITH TRICKY NEW 3-DIMENSIONAL BONUS TUNNEL AND DOUBLE FREE BALL GATES
See other side for FEATURE-GRAM

アメリカ人のお祭り好きは有名だ。どんな些細な出来事でも、4、5人集まればもうワイワイ騒いじゃう。これ、ピンボールにもいえるのだ。

ピンボールのボードやフィールドに描かれるイラストは、たくみに時代を反映している。その好例が建国200年だ。ゴットリーブ社では早速'76年に《スピリット・オブ・'76》を発表している。

また、宇宙開発も長い間アメリカ国民の注目を集めていた。そのため数多くのマシンが発表され、主なものだけあげてみても《フレンドシップ7》('62年、ウィリアムス社)、《アポロ》('67年、ウィリアムス社)、《ムーンショット》('69年、シカゴ・コイン社)、《スペース・タイム》('72年、バリー社)、《スカイラブ》('74年、ウィリアムス社)と豊富だ。

また、野球狂を反映した《ワールドシリーズ》('72年、ゴットリーブ社)、アメ・フトがテーマの《ローズ・ボウル》('51年、ゴットリーブ社)、万国博がモチーフの《エクスポ》('69年、ウィリアムス社)など、いろいろある。

ピンボールの歴史をひもとけば、さらにオリンピックやミス・アメリカなどもあるはずだ。

12

程度のいい中古ピンボールを買ってしまう。日本でもないかな?

何事もそうだが、熱中してくると、自分のモノにしたくなるのが世の常。ピンボールもしかり。最近では、中古マシンが家庭用によく売れている。

この中古のマシン、程度にもよるが、1台150~500ドルぐらいが相場。新型のマシンを買えば2000ドルぐらいはするのだから、かなり安いといえよう。

というのも、普通、ニュー・マシンは、1年使ってやっとモトがとれ、2年目が儲けで、3年目にはもうすっかり人気もなくなってしまうのだ。そして、修理に非常に手間がかかる。だから、オペレーターと呼ばれる、ピンボールを多く置くゲームセンターの経営者は、そのマシンが3年目になると修理調整し、安く家庭用に売却したほうが得という考えをもっていたからだ。

ところが、おりからのピンボール・ブーム。大メーカーが、おとなしく、指をくわえて見ているわけがなかった。バリー社などは、さっそく800ドルぐらいの安い家庭用ピンボールを作り発売した。もちろん、サイズは、ゲームセンターのものより、ひとまわり小型のだ。

このあおりを受けたのがオペレーターたちだ。なにせニュー・マシンを入れても実質の商売になるのは、1年限り。そのマシンが、安いといっても中古で売れているうちはよかった。ところが家庭用マシンの出現だ。中古と家庭用のシェア争いは、ここ当分、激化の一途をたどるだろう。なにせ、ピンボールは、家庭用ゲームとして、ビリヤードやジューク・ボックスを抜いて1位に躍り出たほどだからね。

13

ピンボールの育ての親は〝ボウリング・ブーム〟だったんだ。

➡〈レインボー・セブン〉で開かれた大会は、まんまアメリカン・スタイル ⬇トロフィー片手のピンボール小僧が優勝した菅野知明くん

ピンボールが本格的な日本上陸を果たしたのは、'62年の後楽園アイスパレスのガン・コーナーだった。そして、この年は、偶然にもアメリカのピンボール・シーンにとって、ひとつの黄金期でもあった。歴代の傑作マシンと呼べるマシンが、続々と登場してきた年だからだ。

本格的な上陸といったのは、それ以前にも、ピンボールが存在していたためだ。たとえば、進駐軍が持ち込んだマシンがオフリミットにあった。昭和20年代の終りには、進駐軍から払い下げてもらった中古のマシンが、日本最古の遊園地である宝塚温泉や大阪の大劇の地下に4～5台置かれていたんだ。当時は、まだ日本のコインのセレクターがなく、5セント・コインの大きさに合せたメダル方式でプレイを楽しんでいたわけだ。

その後、セガ社のガン・コーナー〈ゲーム・オ・ラマ〉が、日比谷の映画街や浅草の新世界に誕生し、ガン・ゲームマシンに混じってピンボールも数台置かれた。だが、なにしろ払い下げの中古品。パーツもないし、故障も多かった。

⬆東京・渋谷の緑屋6Fにある〈フリッパー・ルーム〉2号店のビッシリぶり

だから、いっきに30台以上の新品のピンボールがズラリと並んで後楽園に登場したときは、〝ギブ・ミー・チョコレート〟以来のセンセーショナルな出来事だったわけだ。

一日中マシンに向っているピンボール・フリークは、このときから存在している。

こうして、日本でもポピュラーなゲームとして人気を得ていったわけだが、この過程で忘れてならないのが〝ボウリング・ブーム〟だ。'72年のピーク時には全国に3906のボウリング場があった。待ち時間2時間なんてザラ。こんなとき楽しませてくれたのが、コンコースに置かれたピンボールだった。ピンボール・フリークの底辺拡大に〝ボウリング・ブーム〟がひと役もふた役もかってくれたわけだ。それ以来ゲーム・コーナーが街の中にやたらとふえてきた。

その代表が、日本で初のピンボール専門コーナーを造った〈ゲームファンタジア〉チェーンだろう。ピンボールを楽しむには、実に楽しいスポットだ。'75年には、日本で初めてのピンボール専門のゲーム・センターを造ってくれたのも、この〈ゲームファンタジア〉だったんだ。新宿ミラノ座4Fに〈フリッパー・ルーム〉としてオープンしたのがそれ。現在も30台の最新マシンがそろっている。渋谷の道玄坂にも姉妹店があり、こちらも20台のマシンが並んでいる。

うれしいことに、9月2日、この〈ゲームファンタジア〉のチェーン店のひとつ、新宿の〈レインボー・セブン〉で、第1回ピンボール大会が開催された。その規模は、今年春のアメリカで行なわれた『バリー・スーパー・シューター』には及ばなかったが、いつの日かそのような大規模な大会が催されることを願い、その第一歩を踏み出したのだった。

14

本場アメリカではスケートボードとピンボールがドッキング！

アメリカという国の遊びに対する貪欲さには、マイってしまう。

現在のアメリカン・キッズのスポーツの花形は、アウトドアならスケートボード、インドアならピンボールといったところ。そこで、スケートボード・フリークとピンボール・フリークが相談して始めたわけじゃないけれど、このふたつをひとつにした、〝世界最大のピンボール〟というへんなゲームが人気なんだ。

これは、ピンボールといっても、プレイヤーがボールを打つのではない。プレイヤーがスケートボードかローラースケートをはいて、ジャンボなピンボールのフィールドを走りまわって得点を競うというゲームなのだ。

このフィールドの広さは、約280平方メートル。長方形で両端が急なカーブのランプになっている。

ゲームは〝イッツ・ホット〟〝ゴー・フォー・イット〟〝フリー・ホイーリング〟と3種類がある。ランプから滑り降りながらうまくロールオーバーの上を通過すると、フィールドの横にあるスコアボードに得点が入るという次第。最高得点のロールオーバーは、スタートと反対側のランプの途中にあり、4000点。よく考えたものですよ。

フロリダ州フォートローダーデールのインターナショナル・スポーツ・アンド・レクリエーション社がプレハブで売り出し中！

お値段のほうは、土地代は別で、1面約4万5000ドルぐらいでできるそうだ。

人気あるスケートボードとピンボールを組み合せたこのゲーム、スケートボードでスコアを競うにしても、コンパクトで安くできるスケートボード・パークとしても、注目を浴びている。スケールの大きさは、いかにもアメリカって感じがする。

15

何気なく置かれた1台のマシンが映画のムードを盛り上げる。

⬇『グラフィティ』なんだね、実に……涙！

➡もちろん『トミー』を忘れるなよ

スクリーンに登場するピンボール・シーンは、むしろムードづくりとして使われることが多い。たとえば、フランス映画には、ピンボールが意外とよく出てくる。『シシリアン』なんかが記憶に新しい。ジャン・ギャバン扮するマフィア一味が隠れみのとして、ピンボールの輸入業をやっていたのだからね。

アメリカ映画に目を向けると、ピンボールは、ドライブ・インやバーなどにある、日常的小道具として登場する。ダイアン・キートンの熱演ぶりが話題になった『ミスター・グッドバーを探して』。物欲し気に視線をくばりながらゲームをする女性が印象的だったろう。『コンボイ』でもトラック野郎が遊んでいた。

あの『アメ・グラ』にもピンボールが出ていた。ファラオ団の連中がたむろするゲーム・センター。ドライファスが奴らにからまれるシーンだよ。

最近では、この逆の現象が生まれ、あの『未知との遭遇』で宇宙人とのコンタクトに使われた音を使用したマシンも出ている。商魂たくましいですな。

最後に、ピンボール・マッチがメインを飾る新作映画、それがブルック・シールズの主演第2作『T－LT』だ。ピンボール・チャンピオンを夢見る少女に扮した彼女が妙技の数々を披露する。チャンピオン大会の熱気の中でクライマックスが！公開が待ち遠しい作品だね。

⬆ウィリアムス社製〈コンタクト〉は来年入荷

16

たとえば、趣味と実益を兼ねてトーナメントを開いてみよう。

↓バニーガールが雰囲気の『バリー・スーパー・シューター』

最近、アメリカでは全国的規模のピンボール・トーナメントがいくつも行なわれている。PAA（ピンボール・アソシエーション・オブ・アメリカ）主催の『USオープン選手権』や、この春6万人以上が参加して史上最大といわれた『バリー・スーパー・シューター』などだ。

日本でも〈ゲームファンタジア〉が中心になって小規模のピンボール大会は開かれている。

このピンボール・トーナメントを自分たちで主催することもできるのだ。なんとアメリカにはそのためのマニュアル『トーナメント』まであって、学生たちがクラブ活動の資金稼ぎにピンボール大会を開いている。

その方法をここで紹介しよう。まず会場の決定だが、そのロケーション・オーナーにとっても利益になることが必要なことなので、新規オープンやイメージ・チェンジを狙っているゲーム場をさがすことだ。

トーナメントの進め方は、まず参加者全員を2人ずつ組み合せて、割り当てたマシンで2ゲームずつプレイさせ、そのベスト・スコアで勝者を決める。第2回戦は2ゲームのトータルを競う。参加人数にもよるが、準々決勝からは3機種あるいは4機種のマシンを1ラウンドずつプレイし、ファイナルは2ラウンドのトータル・スコアだ。

見事に優勝した者は、トロフィーと賞品を手中にするばかりでなく"スーパー・シューター"としてピンボール仲間のヒーローになるわけだ。

メーカーからマシンを借りる手もあるが、これは最新式マシンの場合はむずかしいだろう。

キミたちも開催の日時や必要なマシン台数、宣伝方法や予算のキチンとした企画書を作ってロケーション・オーナーに申し込んでみてはどうだろうか。アメリカのフリークたちに負けてはいられないぞ。

↓これが『トーナメント』だ

↑会場とマシンを手配しプレイヤーを集めればこのとおり

17

知っておいて損はない、ピンボール・メカの影武者の話。

↑ボールがコロコロ転がってしまうとダメになるチルト・ボール。憎らしいやつだ

↑アンティティート。まさか、お金入れずにプレイする奴もいないだろうけど……ね!?

➡ウィリアムス氏が考案した絶品！振り子式チルト

チルト、これはプレイヤーが高得点のバンパーや各装置を狙ってマシンを揺すったり、たたいたりして、マシンを痛めつけるのを防ぐために取り付けられたものだ。

'33年、のちの四大メーカーのひとつ、ウィリアムス社を創設したハリー・ウィリアムス氏によって考案された、振り子式チルトがそれだ。そして、この振り子式チルトの回路が故障したときの予備装置として、チルト・ボールも同氏によって考案された。

このふたつの他に、アンティティートというチルトがある。ドアの内側についたチルトで、コインを入れないで作動させてしまおうとする、ファラオ団のような悪のいたずら防止装置だ。

当時、このチルトは、ストール・ピジョン（密告屋）と呼ばれていた。この名称も、ハリー・ウィリアムス氏が考えたものだが、同氏、あるとき、プレイヤーの「お〜い、チルトして止ったぞォ」という言葉を耳にした。そして、この"傾く"という意味の"チルト"が、えらく気に入り、ストール・ピジョン改めチルトにしたという。ウソっぽいような、これ本当の話。

↑アンティークなチルトです

●構成・文／粕谷誠一郎、石川昭子　●協力／森下賢一（翻訳家）、稲田隆紀（映画評論家）、高島譲二（カメラマン）、加藤裕将（イラストレーター）、ゲームファンタジア㈱シグマ
●読んだ感想をお寄せください。〒104東京都中央区銀座3―13―7、平凡出版株式会社『ポパイ編集部／ファンタスティック・ピンボール係』まで。

FANTASTIC PINBALL

陽気なヤンキー魂が生んだピンボールは、ファンタスティックなポップ感覚でいっぱいだ。

ピンボールのファンタスティックなポップ感覚が大好き。

PHOTO by TSUTOMU NAGANO

初冬のパリのカフェには、仕事帰りの若い衆のくゆらす、ゴロワーズの煙がたちこめている。彼らはくわえ煙草のまま、ピンボールに群がり、ゆすったりたたいたり、あげくにチルトさせては、マシンをけとばして"サロォ！"とわめく。だが、紅潮した顔は必ず笑っているはずだ。

サンフランシスコの、フィッシャーマンズ・ウォーフには、昔のゲーム機械でいっぱいのコーナーがあり、初期の"野球ゲーム"だの手回しの"のぞき眼鏡"だのがあり、25セント入れると、いろんなアンティック・ゲームで遊べるのだ。もちろん最新式のピンボールも人気があって、町のピンボール・ウィザードたちがゲームに熱中している。

LAでは、その日知り合った連中と、飲み代をかけて勝負した。最初ポケットを3番突いて勝負を決めることにしたら、あっという間に僕が3ゲームをとってしまい、それじゃ悪いから君たちの好きなゲームにしようともちかけた。彼らが選んだのがピンボールだった。これは"MADE IN USA"の純血種だから彼らも自信があったのだろう。まるで決闘の武器選びみたいな話だけど……。

僕らの青春の音だ

小さな店の奥からは、ライヴ・ミュージックが聞こえてくるし、"バド"にすっかり酔っぱらった僕らは、上機嫌で勝負をした。それはなかなか白熱の勝負で、お互いにいいプレッシャーをかけあい、エクストラ・ボールはとるし、スペシャルは出るしで、ゲームはいつ果てるのか、もうだれにもわからなかった。結局は"ビギナーズ・ラック"という言葉どおり、ピンボールになれていない僕が、ラッキーなことにその勝負に勝った。彼らはくやしがったけれど、その夜僕らはずいぶん気持ちよく飲んだものだ。

僕がはじめてピンボールで遊んだ頃は、たしか1ゲーム20円ぐらいだったと思う。現在のものほど、いろいろなシカケもなく、いたってシンプルなメカニズムだったが、あのキラメく原色のガラス絵や、デーンディッ！ディディッ！という刺激音は、ジュークボックスから流れるポップスとともに、まさに僕らの青春の音だったんだ。

当時、オーダー・メイドの赤革のローファーズを履き、ラコステのポロを着て、うすら寒い夕方でも汗ばんでしまうくらいゲームに熱中した。ときにはフリッパーがふっ飛んでしまうくらいにね。

ピンボールをはじめてもう15年くらいになるんだろうか、マシンがあり、小銭があると、今でも僕はすぐに熱くなってしまう。

このあいだの夜なんかは、ピンボールのボールになった夢を見た。ファンタスティックな原色の光の世界をピュンピュンと僕は飛ぶ……僕自身が、すっぽりとポップ感覚に包まれてしまい、バンパーやターゲットに当たり、フリッパーにはじかれて、それこそ大変な思いだった。ここまでくるとピンボール病もかなり重症で、もはや手のほどこしようがないらしい。

（松山猛）

●まさに極彩色の洪水だ！

ピンボールのボードやフィールドに描かれたイラストが好きだ。そこには、ファンタスティックな、もうひとつのアメリカン・ドリームが描かれている。セクシーな美女、カウボーイ、月面征服、フットボールのチャーミングなチア・リーダーなど、どれもポップ感覚でいっぱい。それら極彩色の洪水が、ピンボールの持つ魅力のひとつであることに間違いはない。

PINBALL

ピンボールの基本は、コンセントレーション＝精神集中にあるのだ。

ピンボールを楽しむためには、覚えておかなければならない基本がいくつかある。

まず、自分の気に入ったマシンを選ぶ。そこで、気の早い人ならもうお金を入れ、スタート・ボタンをサッサと押し、すぐにプレイを開始することだろう。

しかし、どんなマシンにも遊び方を説明するインストラクション・カードがついている。これを読まない手はない。なぜならば、リプレイやスペシャル、エクストラ・ボール、ボーナスなどを得るにはどのようなシークエンスをものにすればいいか知ることが重要だからだ。また、プレイを分析し、作戦を立てるのにもこの情報が必要だ。

すでに経験したマシンの場合でも、店が違うときは、必ずインストラクション・カードをチェックしよう。同じマシンでも、3ボールか5ボールか、リプレイのスコアが違うことも、よくあるからね。

手や指の位置が問題だ

さて、いよいよプランジャーでボールを打ち出そう。しかし、またもやこの後が問題。初歩的なことだけど、すぐ指をフリッパー・ボタンに触れさせるか、少なくともマシン・サイドに手を置く習慣を身につけよう。これを怠ると、フリッパー・ボタンをイザ見つけるために何分の1秒か時間をロスする。不必要なムダだね。

プレイするのに必要な時間をより多く持つことに心がけよう。こ

フィールドをチェックすると、ピンボールの面白味が理解できる。

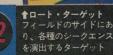
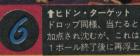
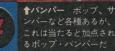
1 ↑アーチ・リバウンド　バッファーともいい、フィールド最上部アーチの左側にあるストッパー

2 ↑センター・ホール　フィールドの最上部にあるキックアウト・ホール。入れるとボーナス倍増！

3 ↑ロールオーバー・レーン　ボールが通ると加点される通路。プランジャー・ショットの狙い目

4 ↑バンパー　ポップ、サンパーなど各種あるが、これは当たると加点されるポップ・バンパーだ

5 ↑ドロップ・ターゲット　当たると加点され沈むターゲット。しかし、すべて倒せば再び上がってくる

6 ↑ヒドン・ターゲット　ドロップ同様、当たると加点され沈むが、これは1ボール終了後に再浮上

7 ↑フリッパー　ラバーを巻いたプラスチック製バットで、サイドのボタンで操作。プレイに不可欠

8 ➡ヴァリ・ターゲット　当たると奥に下がり、当たったボールの力の強弱により加点が違ってくる

9 ↑リボルビング・ターゲット　当たると中のスコアが回転し、止まったときのスコアが加点される

10 ➡メッセンジャー・ボール　インプレイのボールが当たると奥へと動き、ボタンを越えると加点

11 ➡ボタン　ロールオーバーともいい、フィールド上に出ており、上をボールが通ると加点される

12 ↑ロート・ターゲット　フィールドのサイドにあり、各種のシークエンスを演出するターゲット

●①、②、③……の順序はボールの流れを追ったものだ

FANTASTIC

れ、ピンボール上達の鉄則！フリッパーを使うタイミングは寸秒を争う。何事も、あとになって悪いクセを直そうと努力するより、はじめからいい習慣を身につける方が望ましいものね。

コンセントレーション！

残された基本的な問題は、プレイへのあくなきコンセントレーション——精神集中だ。マシンと一体になることにより、自分でも信じられないようなプレイができる。これは、真に精神集中しているときにのみ起こりうるんだ。

このことは、後述する〝インナー・ゲーム・オブ・ピンボール〟のためだということに、きっとキミも気づくことだろう。そのためにも自分のプレイ、その結果であるボールの動き、そしてマシンがいかに反応しているか、この3点だけにとりあえず神経を集中しきっていなければならない。

ときには、流れる音楽がピッタリくるかもしれないが、最高のピンボール・ハイの状態は精神集中からということを忘れずにね。

⬅76年発表のバリー社《キャプテン・ファンタスティック》のフィールドだ

マシンのフィールドには、いろいろな装置がデザインされている。千差万別の装置をひとつひとつチェックしていくと、なぜピンボールに魅せられるのか、その面白味が理解できることだろう。

13 ⬆ボーナス・ボタン　ボーナスのシークエンスが完成されたとき、上を通ると加点される

14 ➡キックアウト・ホール　ボールが入ると加点され、その後ボールをフィールドにはじき出す穴

15 ⬆スロット・キッカー　上から落ちてくるボールが入ると加点、その後、再び上へキックする穴

16 ⬆スリング・ショット　キッキング・ラバーともいい、ゴムの内側にキッキング・アームがある

17 ⬆リバウンド　通常フィールドの隅に設けられているゴムで包まれた障害物。ハッジングに用いる

18 ➡ボーナス・ライト　1ボール終了ごとに加点されるボーナスの表示燈。ハイ・スコアのヘルパー

19 ⬆ロールアンダー・フラッグ　スピナーともいい、ボールが通るとフラッグが回転し、加点される

20 ⬆スーパー・ボーナス　ボーナス・ペイの最高峰。ここまでシークエンスがそろえばリプレイも可能

21 ⬆ポスト　フィールドの隅にある障害物。これがアウト・ホールにあれば飛び出すアップ・ポスト

22 ⬆ロールアンダー　パス・ゲートともいう。これが一方通行ならばワンウェイ・ゲートだ

23 ⬆リターン・レーン（左）フリッパーに向かう通路　**リターン・ゲート**（右）プランジャーに戻る通路

24 ➡アウト・レーン（右）アウト・ホールに向かう通路。ただし、シークエンス完成時はスペシャル

その攻略法を教えよう。

最近、ピンボール・プレイヤーたちの間では“戦術”という言葉がよく使われている。これこそマシン攻略法の原点なのだ。

➡《ワールドカップ》ウィリアムス社製サウンド・ピンボール
①スーパー・ボーナス ボールがロールオーバー・レーンを通るとき、ふたつのチャンスがある。ひとつは、センターを通して“スコア・ゴール”狙い。あるいは、STまたはARのレーンを通して“スーパー・ボーナス”のチャンス狙いだ。S-T-A-Rをノックアウトすると、ボーナス・スコアは通した回数倍だけ増加する（5倍リミット）。また、ゴール・ランプが点灯しているときはエクストラ・ボールが得られる
②コーナー・キック これを通して“スコア・ゴール”に入れる狙いで一番可能性があるのは、左下のフリッパーによる上方へのロング・ショットだ。あるいは、ロールオーバー・レーンからのボールをバンパーでバンク・オフするのもひとつの手
③スーパー・ボール・アドバンス これは計算されたフリッパー・ショットか、あるいは何かワイルドなフィールドのアクションで成立する。得点は1,000点から4,000点までだが、さらに“スコア・ゴール”やS-T-A-Rをフィーチャーし、ボーナス・ポイントをものにするチャンスもある
④ボール・アドバンス・ツー・スコア・ゴール これを得るには、ボールを４つのボタンの上を通過させ“スコア・ゴール”に入れるべく、慎重なフリッパー操作が必要だ
⑤ゴール・スコアボード １ゴール2,000点。スコアは１球ごとにメモリーされ、加算されていく
⑥ワールド・カップ S-T-A-Rのフィーチャーにより点灯し、エクストラ・ボール、スーパースター、スペシャルなどの可能性が開けてくる

➘《タイム2000》アタリ社製ワイド・ピンボール
①トリプルPMボーナス・アドバンス・レーン PMボーナス・クロックに３倍ボーナスを加算する
②トリプルAMボーナス・アドバンス・レーン AMボーナス・クロックに３倍ボーナスを加算する
③アドバンスAMボーナス・ターゲット AMボーナス・アドバンス１と100点
④コレクトAMボーナス・キックアウト・ホール ボールがホールに入ると、プレイヤーはAMボーナスにたまった得点をもらえる。さらにエクストラかスペシャル、または両方のシークエンスが完成し、フィールド上のどれかのターゲットをヒットすることにより得られる
⑤コレクトPMボーナス・キックアウト・ホール AMと同じボーナスをPMボーナスでもらえる
⑥アドバンスPMボーナス・ターゲット PMボーナス・アドバンス１と100点
⑦アドバンス・リット・ボーナス・クロック・ロールオーバー 2,000点と、どのクロックにリット（点灯）するかによりアドバンス１
⑧ツー・ドロップ・ターゲット どのターゲットでもひとつダウンすればリターン・ゲートが開き、500点得られる。また、両方のターゲットをダウンさせると第１球、第２球、第３球が終った後に、それぞれのボーナスについてダブルとなる
⑨ダブル・ボーナス・ホエン・リット インプレイのボール１個でドロップ・ターゲットを両方ともダウンさせると点灯
⑩AMボーナス・クロック
⑪PMボーナス・クロック
⑫トリプル・ボーナス・ホエン・リット ラストボールがインプレイで両方のドロップ・ターゲットをダウンさせると点灯

前述のとおり、ピンボールをプレイするには自分のプレイ、ボールの動き、そしてマシンの反応の3点に神経を集中しなければならない。

しかし、この言葉を理論としてではなく、実践としてプレイに生かすためには〝戦術〟が要求される。つまり、そのマシンがどのようなものであり、どのようにプレイすべきかを見極めることが重要になってくる。その狙う対象の価値を分析し、それを手に入れるために考えられる、ボールを失う危険性とのかねあいのうえで評価することだ。

〝戦術〟は、もちろんマシンについているインストラクション・カードにより、ある程度は立てることができる。しかし、ここで問題となるのはフィールドに表示されるインフォメーションだ。たとえば、ウィリアムス社の《ワールドカップ》。このマシンの両サイドのアウト・レーンは、５００点が〝ＷＨＥＮ－ＬＩＴ〟(明かりがついているとき）ならばスペシャルと華麗(？)な変身を遂げる。ところが、この表記はされていても、果たしてどういうシークエンスを完成させればいいのか、これが大問題なのだね。

つまり、表示されるインフォメーションからシークエンスを計算のうえ割り出す——これが〝戦術〟のひとつだ。上の図を参考にキミもコツを覚えよう。

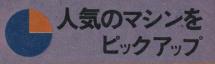
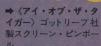
クラシック・マシン カタログ

➡《レインボー》1932年キニー社製　チャイナ・ボールを使用した初期の典型的ピンボール

１９３０年代、アメリカが大恐慌の真っ最中に産声をあげたピンボールは、あっという間に各地に普及していった。ここで紹介するマシンは、どれも今ではアンティックの飾りにしかならないようだ。しかし、往年のシカゴの暗黒街などで、強面のギャングがこ

FANTASTIC PINBALL

人気のマシンをピックアップ

➡《アイ・オブ・ザ・タイガー》ゴットリーブ社製スクリーン・ピンボール

①レッド・ロールオーバー・レーン　ボールが通ると5,000点加算される。また、レッド・ドロップ・ターゲットをすべて沈めるとスペシャルが点灯し、そのときボールを通せば5,000点とスペシャルが得られる

②ピンク・ロールオーバー・レーン　ボールが通ると1,000点加算される。また、ピンク・ドロップ・ターゲットをすべて沈めると、エクストラ・ボールが点灯し、そのときボールを通せば1,000点とエクストラ・ボールが得られる

③イエロー・ロールオーバー・レーン　ボールが通ると500点加算される。また、イエロー・ドロップ・ターゲットをすべて沈めると点灯し、そのときボールを通せば5,000点得られる

④ホワイト・ロールオーバー・レーン　ボールが通ると100点加算される。また、ホワイト・ドロップ・ターゲットをすべて沈めると点灯し、そのときボールを通せば1,000点得られる

⑤アドバンス　ボールがこの上をすべて通ると1,000点ボーナスに加算される

⑥ホワイト・ドロップ・ターゲット

⑦イエロー・ドロップ・ターゲット

⑧ピンク・ドロップ・ターゲット

⑨レッド・ドロップ・ターゲット

それぞれのターゲットをひとつ倒すごとにボーナスが加算され、すべて倒すとダブル・ボーナスが得られる

⑩ダブル・ボーナス・ホエン・リット　点灯時にはボーナスがダブル

➡《マタ・ハリ》バリー社製デザイン・ピンボール

①センター・ホール　ボールが入るごとに3,000点ずつ加算されていく。また、1回入るとボーナスは2倍、2回で3倍、3回以上で5倍となる

②アドバンス・ボーナス　Aレーンと Bレーンがあり、それぞれ1,000点加算される。この両レーンに各5回ボールを通せばエクストラ・ボール、スペシャルが得られる

③スコア・バンパー　当たると100点加算されるが、AレーンまたはBレーンをボールが通れば点灯し　そのときは1,000点加算される

④ドロップ・ターゲット　ひとつ沈めるとボーナスと500点加算される。この両サイドのドロップ・ターゲットをすべて沈めると、フィールド中央のラスト・ターゲット・ダウン・スコア・スペシャルが点灯し、再びすべてのターゲットを沈めるとスペシャルが得られる

⑤メーキングAオアBレーン・スコア　AレーンとBレーンを各2回以上ボールが通ると1,000点から5,000点までスコアされ、さらにエクストラ・ボールまたはスペシャルが点灯しているときにAレーンとBレーンをボールが通れば、シークエンスが完成され、いずれか点灯する方を得られる

⑥コレクト・ボーナス　最高29,000点までボーナスが得られる。そして、それが2倍、3倍、5倍とハネ上がるため、リプレイにもっていくのはそれほど難しくなくなる

⑦グローリー　アウト・レーンに落ちると、通常は1,000点加算されるだけだけが、AレーンおよびBレーンをボールが通過し、点灯していれば50,000点が加算されるのだ

⬇《ハイハンド》バリー社製　一番手前に円形のディスクが備えつけられていて、ポーカーの手を示すようになっている。《バリフー》に続きバリー社が次々と発表したバリエーションのひとつ

⬆《バリフー》1932年バリー社製　レイモンド・モロニーが考案した、ゴットリーブ社の《バッフルボール》とともにピンボールの歴史を開いたマシン。不況のなか世界に広まる

⬆《ワールドシリーズ》1933年ロックオーラ社製　ピンボールとベースボールは、不況にあえぐ30年代のアメリカ国民に残された数少ない娯楽だ

⬇《フリート》1934年バリー社製　初めてソレノイド機構（コイルに電気を流すことで電磁石の作用を生み出す仕組）を採用した、ピンボールの革命的機種

⬆《ストランド》デイヴァル社製　ポップアップするホール、キッカー、そしてライト表示システムを備えた、フリッパー以前のモデルとしては最高級クラス

⬇《ウィザード》ゲンコ社製　ボード上のバンパーに対応して、ライトボード上のライトが点滅する。この名前から後のピンボール・ウィザードたちが生れる

れらのマシンで熱くなっていたのかと思うと、なにやらニヤリとしてくるのだ。

FANTASTIC PINBALL

ピンボール・テクニック講座

ピンボールの楽しみのひとつにどれだけスコアを上げるかがある。しかし、そのためにはやみくもにプレイしてもダメだ。ここでは、経験から得られるカンではなく、グッド・プレイヤーが編み出したテクニックの数々を紹介しよう。

●プランジャー・テクニックを覚える。

ボールをはじき出す装置をプランジャーという。これは、たとえモデルが同じでも、マシンによってバネの調子が違ったり、また同じマシンでもゴミなどの影響でわずかの間に変ることもある。ピンボールでは、まずそれぞれに適したプランジャー・ショットをすることがハイ・スコアへの第一歩なのだ。

プランジャー・ショットは一定である必要はなく、フィールドの配置や狙うターゲットによって違ってくる。普通、センター・ホールやロールオーバー・レーンを狙うのがいいようだね。

さて、ピンボールの魅力にとりつかれたばかりのビギナーが、意外とおろそかにボールを打ち出してしまうのをよく見る。たしかに、フリッパーを駆使してのボール・コントロールやハッジング（マシンを故意にゆするテクニック）も必要だが、"いかにボールを理想的な位置に打ち出すか"が明日の勝利につながることを忘れないでほしい。

⬆フル・プランジャーは、プランジャーを引けるだけ引いてそこから打つことをいう。これは、目標によっては、一番正しいショットが打てることがある。また、初めてのマシンでプレイするとき、1球目をフル・プランジャーでショットすれば、そのマシンのプランジャー・コンディションが読めるだろう

⬆プランジャーの基本的な打ち方を教えよう。まず、プランジャーを適切な目盛りまで引く。次に、人差し指を使いハンドルの下側に上方への力を加え、ハンドルの下側のふちが指の第1関節の腹に触れるようにしてプランジャーをロックする。これがコツだ。そして、打つときは軽い上方への動きで指を引く

⬅シューター・ゲージは、プランジャーの上にあるハウジングだ。これには目盛りがあって、ショットの強弱を調節できる。プランジャーを引き、ちょっと止める。シューター・ゲージの目盛りに注意する。そして打つ。これで、狙ったドンピシャの位置にボールが行ったら目盛りを記憶する。次からは快調だね

⬆エクストラ・ショットは上級プランジャー・テクニックだ。これは、フル・プランジャーのショットではボールが狙った位置に届かないときに使う。まず、左手の指をマシンの上にのせ、左手の親指をプランジャーのハンドルにおく。プランジャーを右手で引けるだけ引き、右手をパッと離して左手の親指でマシンのなかにたたきこむように打てばOKだ

⬆フリッパー・ボタンは人差し指で押す。中指をその補助に添えるといい　⬇ハッジングは、ボールの軌道を変える技。フィールドに固定したものにボールが接触したときだけ行ない、そのときはマシン手前の両隅を軽くゆするのだ

●スタンスが大切だぞ！

プレイする際、絶対それがいいという特定のスタンスはない。それは、完全に個人的なピンボール・プレイの領域だからだ。

どんなスタンスでもいい、一番自分に快適な姿勢でマシンに向かおう。ただ、忘れてならない重要なことは、あまりマシンに近づきすぎないことだ。マシンの上にかぶさり、体ごと寄りかかるようなスタンスは感心しないね。

マシンを思いのままにあやつる、そのための最良のスタンスは、わずかにマシンに寄りかかる感じだ（もちろん、個人差はあるけどね）。そして、足はクロスさせ、クロスさせた右足でハッジングのタイミングをとる。両手は、いつでもフリッパー・ボタンに届くようマシン手前の両隅に添える。さあ、これでOKだ。

➡クロス・レッグでマシンの50センチ手前、これが一般的なスタンスだ　右足は遊ばせておかず、ハッジングのタイミングをとる

ILLUSTRATION by HIROMASA KATO

フリッパーによるボール・コントロール。

まず、ビギナーが犯しやすいミスのひとつにダブル・フリップがある。これは、なんとしてもボールをインプレイに保とうとしてあわてるあまり、ボールがどちらのサイドに向かいつつあるかも確認せず両方のフリッパーを作動させてしまうことをいう。両方のフリッパー・ボタンを同時に押し、どちらかにでも当たってくれと願うあまり、ついやってしまうのだ。

また、同じフリッパー・ミスにパニック・フリップがある。これは、プレイヤーがボールを失うのを恐れるあまり、フリップのタイミングを誤ってしまうことをいう。すると、いくらボールを打っても力がなく、ときにはフィールドの真上にホップしアウトになってしまう。

➡パス・フリップ ボールがアウト・ホールに向かって、フリッパーの先をかするようなスピードと角度で走ってくるときに使う。かすっても、フィールドを上昇するようなコンタクトが得られない場合だ。しかし、軽いこすりでも、ボールを隣のフリッパーにリレーすることはできる。隣のフリッパーを、その一瞬に作動させるのだ。そのためには、パーフェストなタイミングが要求される。ときには、コンタクトを増すために、横にハッジングさせるのもいいだろう

➡デフレクト・パス ボールがダウンのフリッパーにタッチしないときでも、フリッパーのいずれかがアップされればタッチするスピードと角度で走ってくるときに使う。フリッパーがアップされたため、ちょうどボールはそれによりデフレクト（それること）され、隣のフリッパーに当たる。そのボールをフィールドにフリップしてやればいいのだ。前述のパス・フリップとデフレクト・パスは、フリッパー操作の基本でもあり、ビギナーには必ず覚えてもらいたいテクニックだ

➡デッド・フリッパー・バウンス このテクニックを使うには、まずフリップしないことを学ばなくてはならない。ボールが、フリッパーめがけてまっすぐ落ちてくるときや、小さな角度で落ちてくるときに使い、フリッパーにそのままコンタクトさせる。すると、ボールは隣のフリッパーに当たるような弧を描き、それからリバウンドする。それをフリップすれば、このテクニックはリレーとして使ったことになるわけだ。また、これは後述のトラッピングのイントロともなる

➡トラッピング フリッパーをアップさせておき、近くのスリング・ショットやリターン・レーンなどを利用して行なう、ボールを捕えてしまうテクニックだ。ボールをトラップすると、プレイヤーはフィールドを調べ、必要なターゲットを選ぶなど作戦を立てる時間を稼ぐことができる。トラップしたボールを打つときは、ボールをまずフリッパーに沿って下に転がし、狙ったターゲットに当たる角度に来たらフリップする。スコアを倍増させるべく、ぜひ覚えてほしいものだ

➡リターン・レーン・トランスファー ボールがリターン・レーンを下がってくるとき、その側のフリッパーをアップさせておく。ボールがアップのフリッパーに当たると、それまでの加速により飛び出し、隣のフリッパーに向けて弧を描く。これを、隣のフリッパーで受け、瞬時にアップさせると、ボールはさらに走り、リターン・レーンを逆走する。このテクニックがリターン・レーン・トランスファーだ。逆走するボールは、トラッピングもいたって容易にできるわけだ

➡タップ・トランスファー これは、いってみれば前述のリレー技の一種だが、非常に速い反射的な運動が要求されるのだ。まず、ボールがトラップされた状態から始められる。トラップしているフリッパーがダウンされ、ボールが半分ぐらいフリッパーに沿って下がってくるとき、タップする（カップ状にした手でボタンを軽く、しかも速く打つ）のだ。すると、ボールは弧を描いて隣のフリッパーにリレーされ、慣性の動きで簡単にトラップすることができる

➡デフレクション・ポスト・トランスファー デフレクション・ポストとは、フリッパー・シャフトに最も近いポストで、普通スリング・ショットのボトムの一角にある。このテクニックは、前述のタップ・トランスファーとほぼ同じだが、デフレクション・ポストにボールを当て、その反動をアップのフリッパーで受け、そのリバウンドで隣のフリッパーにボールをリレーさせるのだ。ボールがアウトになる危険度からいえば、前述のタップ・トランスファーよりも安全だといえる

➡ストップ・ショット 図のように、右サイドから左のフリッパーめがけて走ってくるボールを一瞬フリッパーで受け止め（中央で受けるのがベスト）、さらにフリップするテクニックだ。フリッパーをアップさせ、ボールが当たる瞬間、フリッパーをダウンさせる。タイミングが完全に合うと、ボールはフリッパーに当たってもはずまず、一瞬フリッパー上に静止する。ボールの力は吸収されたわけだ。あとは、ボールがフリッパーに沿って下がってくるのをフリップすればいい

ILLUSTRATION by TADAFUMI TSUZAKI

⬆バランスの参考図だが、要は体に無理なく、ごく自然にプレイが楽しめればいいわけだ。ハッジングの際は、チルトに気をつける。台無しだからね

ールドは無限だ。

PEOPLE

⬇和製ファラオ団ならぬプロ・フリッパー連盟の精鋭の勇姿!

ピンボール・フリークは、日本にもたくさんいる。なかには、ゲーム・センターのピンボールに掲示してある最高得点を、新たに更新することに生きがいを感じている連中もいるのだ。

東京・新宿のプロ・フリッパー連盟を自称する『アメリカン・グラフィティ』に登場するファラオ団まがいの村越正人くん(18歳)のグループも、全員がマシンの最高得点者として名を出すことを生きがいとしている。そのフリークぶりは、彼らのプレイ・アクションを見れば納得するだろう。それこそチルト寸前のきわどいハッジングは、まさに典型的なアメリカン・スタイル。グループのメンバーは、ウィークエンドともなれば集まり、イルミネーションが輝くころゲーム・センターに出撃する。その飽くことのないプレイへの没頭ぶりには、さすがのゲーム・オーバーの文字もかすむのだ。

➡ハッジングも、こうなるとひとつのボディ・トーキングって感じですな

BOOK

ピンボールを徹底的に追求してみたい人のために、現在日本で手に入るピンボール関係の洋書を紹介しよう。

⬆『PINBALL AN ILLUSTRATED HISTORY』(Pierrot Publishing／嶋田洋書／1,500円)

⬆『PINBALL PORTFORIO』(Chartwell Books／嶋田洋書／2,800円)

⬆『ALL ABOUT PINBALL』(Grosset&Dunlap／イエナ洋書店 1,950円)

⬆『PINBALL!』(A Dutton Paperback／イエナ洋書店／2,330円)

▼『ピンボール・アン・イラストレイテッド・ヒストリー』76年に出版された、ピンボールのボードやフィールドに描かれたイラストに見るピンボール史。日本のピンボールというわけでパチンコも紹介されているのは面白いが、印刷が悪いのが欠点。

▼『ピンボール・ポートフォリオ』76年出版。全体は7章に分けられていて、歴史だけでなく、デザイナーの話から各マシン装置の解説まで、わかりやすくまとめられている。

▼『オール・アバウト・ピンボール』77年に出版された、今までの本とはひと味違った実践書。全体は11章に分かれ、歴史から基本、テクニック、トーナメント、未来まで詳細に紹介されている。フリークなら手元においときたい本だぞ。

▼『ピンボール!』77年出版。世界のピンボール・シーンを編集したもので、オールカラーの印刷もきれいだ。巻末の付録である『オール・ピンボール・マシン・インデックス』は、各メーカーから発売されたすべてのマシンが掲載されている。

WHEEL

アメリカのトラック・ウォッチャーが、その走る姿を眺めてタメ息をつく18輪トレーラーの機能美には及ばないかもしれないが、カリフォルニアのビーチ・タウンを行き交うホット・ロッドのボディ・ペインティングの美しさも格別だ。

ボディに描かれるデザインは、なにも夕焼けのサーフ・シーンばかりじゃない。若い連中に人気のあるものなら、なんでもペインティングされている。

もちろん、ピンボールもその例にもれない。《ファイア・ボール》から《ウィザード》、《キャプテン・ファンタスティック》、さらにはバンパーやターゲットなど装置そのものも絵になるんだね。キミもやってみたらどう?

⬆ボディに《ファイア・ボール》のペインティングがいいね ⬇この車の持ち主も相当なピンボール・フリークなんだろう

⬅ネオンが雰囲気の入口。まんまカリフォルニアにトリップしたみたい ⬇秋深し、夜ごとにフィーバー、する人ぞ……ん!?

SHOP

以前は、ピンボールといえば街のガン・コーナーか遊園地などにしか置かれていなかったけど、最近は店内インテリアの代わりとして、かなり身近な存在になってきている。

そこで、トロピカル・ムードあふれるなか、ピンボールを、ジョー・ウォルシュのメロディに合せて、ドリンク片手に楽しめるBARを紹介しよう。

横浜は本牧に8月オープンしたばかりの〈ALOHA CAFE〉は、まるでパサディナから羽根のはえた建物が飛んできて本牧に舞い降りたようなアメリカン・スタイルのBARだ。

大きなガラス張りの正面にはネオン・サインが輝き、白い壁とチェックの床の店内は、籐のインテリアがよく似合う。

店の隅にあるシュロの木の脇に、ピンボールが1台置かれ、普段は基地内に住んでいるブロンド娘が熱戦を展開している。バーテンのパトリシアの作ってくれるジン・トニックのグラスを傾けながらゲームの順番でも待とう。☎045・621・3645。年中無休、5・00PM～2・00AM。

ピンボールのフィ

HOMEWORK

自家用ピンボールが1台欲しいね。いつでも手軽に楽しめるし、自分の部屋で仲間を集めてコンペを開くなんてのもいい。

アメリカでは、この自家用ピンボールが実際に売られており、かなりの人気商品なんだ。

コレコ社の《スーパー・ショット》は、なかでも人気のあるマシンだ。値段は90ドル、110ドル、150ドルの3種。〈トイズアラース〉など、おもちゃのスーパーなどでキットとして売られている。これを買って家に持ち帰り、みんなでワイワイやりながら組み立てるわけだね。

このコレコ社は、アフターサービスがしっかりしており、キットの一部もこわれたらオーダーできるのだ。

⬆これが実物／オーダーはCOLECO INDUSTRIES, INC., P.O. Box 1250 Gloversville, N.Y.

MECHANISM

最近、あまり見られなくなったものにフリー・プレイ・リールがある。これは、ドラム・スタイルのプレイ・ゲーム数表示板のことだ。ソリッドステート化が著しい現在では、リールに代わって液晶のデジタル表示になってしまったが、往年のマシンにはボードの中央に小窓のようについていた。

このリールを開発したのも、チルトを開発したハリー・ウィリアムス氏なんだね。彼が現金によるペイ・アウト方式に代わるものとして考案し、1から15までナンバリングされていた。

たとえばラッキー・ナンバーのとき、景気のいいチャイムの音とともに数字がワン・アップする、あの興奮がよかったなあ。

⬅今やなつかしのフリー・プレイ表示

⬊ナンバリングが施されたドラムは、ソレノイド装置によりスコア、スペシャル、コイン・シューターなどに直結されていた

THEORY

ピンボールもインナー・ゲームだ。精神集中にスポットを当て、いかにスムーズにプレイができるか、どうしたら雑念を追い払って本来の能力を発揮し、上達するかが問題なのだ。

そのためには、もちろんある種のテクニックを修得することも大切だが、"インナー・ゲーム"の理論のように、いかにセルフ1（私）をプレイから排除し、セルフ2（自身）に最大能力を発揮させるかが大切なのね。（このことを詳しく知りたい人は、日刊スポーツ出版社刊『心で勝つインナー・ゲーム・オブ・テニス』を参照）

また、ピンボールは反射神経を養う意味で、テニスなどのスポーツの腕を上達させる、あなどれないゲームなのだ。

さて、ピンボールの魅力はハイ・スコア、スペシャル、そして気分解消など、あげてみればいろいろあるが、決定的にこれだ！というものがない。しかし、もう少し細かいところまで突っ込んでみると、それはひょっとしてピラミッド・パワーならぬマグネット・パワーのなせる業ではないかと思うのだ。

それは、ピンボールを作動させる電磁的なパワーと回路が、プレイヤーに微妙な"サイコ・マグネチック"なパワーを放射していて、それがさからいがたい、強力な魅力となっているのではないかと思うからだ。これは、PAAなどの団体による研究のレポートのひとつによるものだけど、実に興味深い。さて、キミが考える魅力は何かな?

CUT by H. KATO

SYMBOL

●いずれも悩殺的な美女ばかり。名もない彼女たちが、プレイヤーをマシンへと誘ったものだ。これは、いつまでも変わらぬサインだね

ピンボールをプレイしていると、ときどきプレイではなくセックスじゃないかと感じないか。もちろん、それはプレイに没頭しているとき感じるのだけれど、この想念はプレイヤーなら一度は頭の中をかすめたことがあるだろう。

また、ピンボールには、実にいろいろな美女たちが描かれてきたものだ。それは、時の流れなど吹き飛ばし、いつだってセクシーでグラマーな美女たちだった。

ピンボールがセックスだとすれば、名もなき彼女たちこそ、そのシンボルだといえるだろう。

MAGAZINE

音楽専門誌としてポピュラーな『ビルボード』や『キャッシュボックス』。この二大誌が、かつてはゲーム界の業界誌だったとは知らないでしょう。

新作マシンの紹介、テクニック、デザイナーの話など、かなり詳しくレポートしていたんだ。そう、30年代の頃なんて全盛期だったんだね。

今でも、この両誌を注意して読んでいてごらん。毎回《コイン・マシン》というコラムが連載されているだろう。そして、たまにピンボールの新作マシンのカラー広告が1ページで載っているのに気がつくはずだよ。

➡毎回連載の《コイン・マシン》

⬇32年発行の『ビルボード』は業界誌ね

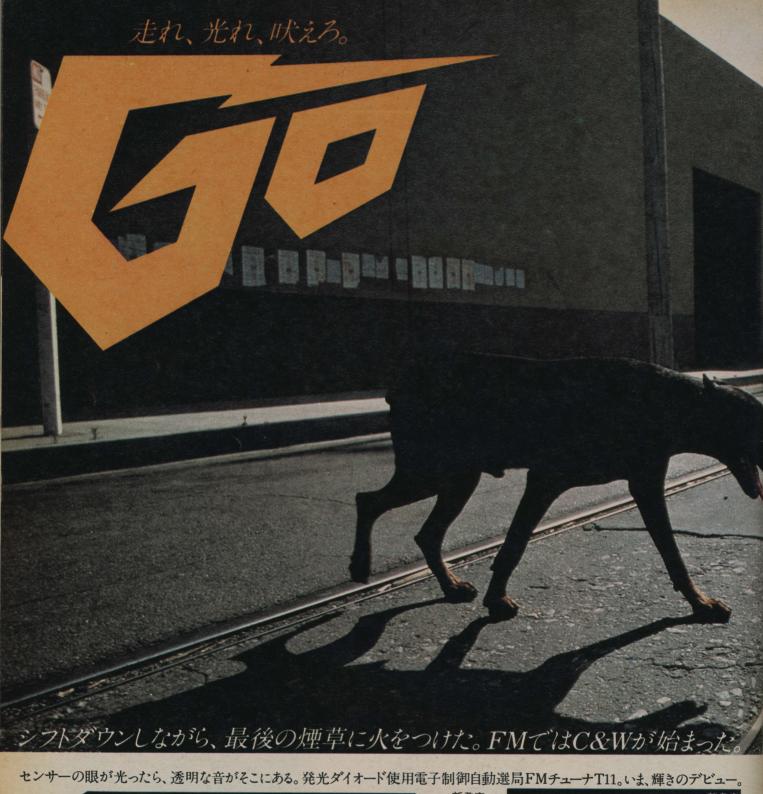
FANTASTIC PINBALL

走れ、光れ、吠えろ。

GO

シフトダウンしながら、最後の煙草に火をつけた。FMではC&Wが始まった。

センサーの眼が光ったら、透明な音がそこにある。発光ダイオード使用電子制御自動選局FMチューナT11。いま、輝きのデビュー。

新発売

T11電子同調式FMステレオチューナCX-T11D¥67,900指針式にかわって同調回路にLEDを採用した電子同調式チューナ。サーチボタンを押すと、FM放送を自動選局。電子の光が、電波を確実にキャッチします。26個のLEDを周波数表示やレベル表示などに使用。すぐれた操作性と同時に、高い視認性も追求しました。FM局からの遠隔地ではDXに、電波の強い所ではLOCに。感度切り換え機構により、快適受信。FM放送の多局化時代を考慮した、高感度設計のFMチューナです。

新発売

300SDオールアルミダイキャスト製バスレフ式ツインドライブ2ウェイスピーカシステムCJ-300SD…¥49,800(2本)

2本の10cmウーハと4cmツィータの密閉型2ウェイ3スピーカ。バスレフ式の採用で、迫力ある重低音を再生する最大入力30W。

音楽にオンチな女はゴメンだ。

ダイナミックレンジMOL+2dBの
一般・音楽用標準テープ

オールラウンドに使える
気軽なカセット

(Range)-2

音楽は青春のコミュニケーション。あるときはビー・ジーズ。あるときはオリビア・ニュートン・ジョン。その時その場の気分で音楽を着替えて楽しむのが俺たちのやり方さ。だからライブラリーは多く持っていた方がいい。音楽と自由につきあうには、フジカセット Range-2 がぴったり。 同ランクではひとまわり余裕の音の幅を持った音楽用テープで、価格も400円(C-60)と手頃。 もちろん英会話、会議の録音にも使えるオールラウンドカセットだ。

■磁性体に超微粒子ピュア・フェリックスを採用。■安定したテープ走行を実現するメカニカルなブラックハーフ。■どんなレコーダーでも使えるノーマルポジション。
●C-46 ¥350 ●C-60 ¥400 ●C-90 ¥650 ●C-120 ¥900

構成●石上三登志

STANLEY KUBRICK'S
a space odyssey

『2001年』は僕らのありったけの想像力を刺激する。すごい快感だ!

あれから10年。時の経過とともに、この映画の評価は静かに上昇しつづけている。

スタンリー・クーブリックの『2001年宇宙の旅』は、ちょうど10年前の1968年に完成し、SF映画初のシネラマ作品として全世界で公開された。日本ではテアトル東京で、同年の4月11日からスタート。初日から圧倒的な人気……といいたいところだが、劇場から出てくる観客はといえば、狐につままれたような表情の子供連れがほとんど。その印象は専門家も同様だったらしく、この年、日本SF作家クラブは、わずか9日おくれで公開された『猿の惑星』の方を推選したのだった。

もっともこういった現象は、たとえばオースン・ウェルズの『市民ケーン』のような、圧倒的な異色傑作にはつきもので、その評価は時の経過とともに、静かに、しかし上昇する一方。筆者は初公開の際も、翌69年の再公開の際も、アメリカでの観客の反応を身近に体験したのだが、そのあまりの変化には、おどろきあきれたほどである。

とにかく、あれから10年。この、20年に1本出るか出ないかという大傑作の評価は、まちがいなく高まるばかりなのだ。

⬅映画の後半、こうしたサイキデリックな映画が高く高くトリップさせる

⬆コンピューターに殺され宇宙を漂う飛行士をスペース・ポッドで収容する

2001:

原作者クラークは言う、「一度で理解されたら、われわれの意図は失敗なのだ・・・」。

「あれ以上の映画を作る人は、私の知るかぎり他にはいない」と、『スター・ウォーズ』のジョージ・ルーカスは言う。「新しいとか古いとかを超越している」と、『火の鳥』の手塚治虫は言う。この10年の間に、圧倒的な評価を得つつも、しかしその意味や思想については諸説紛々の、『2001年宇宙の旅』の正体は何か？

この映画の脚色者でもあるSF作家アーサー・C・クラークは、映画のクランク・インと同時に小説化の作業を開始し、小説版『2001年宇宙の旅』も、映画と同じ1968年に出版された。当然ながら映画を見て混乱した観客の多くが、なんとかつじつまをあわせようとこの本を手にとった。残念なことに、小説版はSFとしてきちんと書かれてはいるのだが、映画の持っている正体不明の大感動に関しては、ほとんど何一つ触れていなかったのだった。

そのクラーク自身は言う。「もしあの映画が一度で観客に理解されたら、われわれの意図は失敗なのだ」と。『2001年宇宙の旅』は、それほどにきわめて〝映画〟なのである。

SpFXのD・トランブルは当時25歳だった。

1200万ドルの製作費が投じられ、3年の準備期間を含め5年かけて作られたこのSF大作は、冒頭の原始のシークェンスの数カット以外は、すべて屋内のスタジオで撮影されている。いいかえれば、そのほとんどのシーンが特撮ということになる。

その特撮を担当した、当時25歳のダグラス・トランブルは、後にスティーヴン・スピールバーグと組んで『未知との遭遇』を完成した。このトランブルの助手だったジョン・ダイクストラも、その後『スター・ウォーズ』に参加した。SF映画の時代は、まちがいなく『2001年宇宙の旅』から出発しているのである。

SF映画を超えた伝説の映画『2001年宇宙の旅』が、謎を秘めたまま10年ぶりに再公開される！どうしても気になる映画だ。

↑木星を目指して宇宙を飛ぶマザー・シップ、ディスカヴァリー号のコックピット

STANLEY KUBRICK'S

2001: a space odyssey

この完璧なSF映画の中のたった1つのミス。

NASA(アメリカ航空宇宙局)などの大協力のもとに、きわめてリアリスティックにイメージされたこの作品にも、たった1つだけミスがある、と一部の人が騒いだ。月に行く科学者が、無重力状態の宇宙船の中で食事をするシーンがそれで、このとき彼はストロー状のパイプで食物を吸い込まねばならないわけである。そのシーンで彼がストローを口から離すと、液体状の食物が下にさがっていってしまったのだ。そういうことは無重力状態では起るはずがないのである。大映画のささやかな科学的ミス……ストローを不透明にしておけば、誰も重箱の隅などほじくらなかったのにねえ！

クーブリックは手塚治虫と組みたかったのだ。

この映画のSF美術は、トニー・マスターズ、ハリー・ラング、アーニー・アーチャーの3人が担当しているが、初めに声をかけられたのは、なんとわが手塚治虫！当時NBC・TVで放映されていた『アストロ・ボーイ』、つまりわが『鉄腕アトム』のテレビ・アニメ・シリーズを見たクーブリックが、直接、手塚治虫に声をかけてきたのである。そのときテレビ・アニメでやたら忙しかった手塚治虫いわく、「食わせなきゃならない連中が100人もいるんで、とても2年間なんて留守にできない」。そうしたらクーブリックの返事にいわく、「あなたの家族が100人もいるなんて知らなかった。残念である」。

われわれ日本のファンも、まことに残念である。

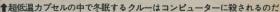
⬅地球と月の定期宇宙船が中継基地としているステーション5

⬅ディスカヴァリー号のキャビンは回転によって重力を

⬅無人の人工衛星の一つ

⬆超低温カプセルの中で冬眠するクルーはコンピューターに殺されるのだ

⬆ディスカヴァリー号の機能をすべて管理している超コンピューターのIC部

⬅月の地下に造られた巨大な基地の天井のドアが開き、エアリーズ号を迎え入れる

➡ディスカヴァリー号の外、宇宙空間へ出るためのスペース・ポッド ⬇月のクラヴィウス火口の地下に造られた宇宙基地の扉が開いて、宇宙船を呑み込む

⬆ディスカヴァリー号からスペース・ポッドが今発進する

映画の副産物として生まれた〃2001年大カタログ〃も、とてもスゴイ本だ。

1970年4月にアメリカのシグネット・ブックから、『The Making of Kubrick's 2001』という、367ページの大ペーパーバックが出た。その1ページ目に載っているのが、キューブリックが『星の彼方への旅』というSFをシネラマで撮るという、第1報の新聞記事の切れっぱし。以下、この映画の原作となったアーサー・C・クラークの短篇『ザ・センティネル』(前哨)や、各国の様々な雑誌に載ったこの映画関係の記事や、パロディ雑誌『マッド』の漫画や、『プレイボーイ』誌のクーブリック・インタヴューや、特撮用の製作メモ、あげくの果てには映画に登場した宇宙船のモデル・キットの組み立て図解やら、およそ『2001年宇宙の旅』に関してならなんでもぶち込んである、ヘンテコにスゴい本である。

編者はジェローム・エイジル……一時騒がれたマクルーハンと組んで、『メディアはマッサージである』を発表したあの人物の、これは大作業である。いわば『2001年宇宙の旅』大カタログ、こんな本まで生み出すことになった映画は、たぶんかつてないはずである。

タイアップ収入とリアリティのPR大作戦。

シネラマSF『2001年宇宙の旅』は、同時に巨大なPR映画、コマーシャル映画でもある。それも、アメリカ航空宇宙局など、公共機関のPRばかりではなく、アメリカの民間企業のPRにもちゃんとなっているのだから、おどろくべきことではある。

たとえば、登場してくるスペース・シャトルなどは、すべてパンナムのマーク入りである。大宇宙ステーション内のホテルは、ヒルトンである。その他、ウェスティングハウスとかBBCとか、色々な企業が具体的に登場し、2001年のリアリティを見事にPRしている。一挙両得とは、こういうのをいうのだろう。

宇宙船同士が見事なワルツを踊っていたっけ。

SF映画の音楽として、オリジナルよりもクラシックが使用されるようになったのは、この『2001年宇宙の旅』が原点だろう。それほどに、リヒャルト・シュトラウスの『ツァラトウストラかく語りき』を含む、この映画の様々な曲とイメージとの同調はすばらしく、とりわけヨハン・シュトラウスの『美しく青きドナウ』にのって、大宇宙ステーションとスペース・シャトルがワルツを踊るシーンなどは、SFファンならずとも感涙にむせぶはずである。

これ以後、クラシック音楽を使用したSF映画が続々と作られた。

ベートーヴェンなどを使用したクーブリック自身の『時計じかけのオレンジ』をはじめ、同じくベートーヴェンを使った『未来惑星ザルドス』(74年)、ヨハン・セバスチャン・バッハを使用した『電子頭脳人間』(74年)などがあげられる。

エルヴィスとツァラトゥストラの関係は?

エルヴィス・プレスリーが、自分のショーの序曲として『ツァラトウストラかく語りき』を使い始めたのも、この曲が『2001年宇宙の旅』で見事に効果的に使われていて、強烈なショックを受け、自分でも使ってみようということになったためだ。これは周知の事実である。最近でも、『サタデイ・ナイト・フィーバー』の舞台であるディスコの名が、〈2001オデッセイ〉となっていたことにも、みんな気がついたはず。

当のクーブリック自身も、次の作品『時計じかけのオレンジ』のレコード・ショップのシーンで、『2001年……』のサウンドトラック盤なんかを登場させ、自分で自作をパロってみせたりして、大いに遊んでいたもんである。

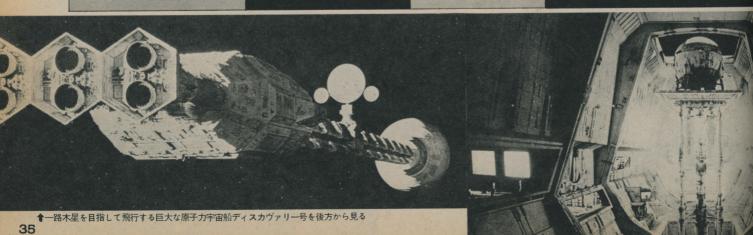
ところで、赤川次郎の傑作ミステリー『三毛猫ホームズの推理』のラヴ・シーンに、突然『ツァラトウストラかく語りき』が登場し、読者を抱腹絶倒させる。あれは、クーブリックの『2001年……』とは関係ないか?

⬆一路木星を目指して飛行する巨大な原子力宇宙船ディスカヴァリー号を後方から見る

↓月の火口で人類の前に姿を現わした"モノリス"は木星探検を示唆する

↓地球から40万キロ隔たる月だが、すでに確固とした宇宙基地がある

↑黒く輝く"モノリス"はこの映画の最大のキーだ

クーブリック作品群はすべて予感の映画だ。

スタンリー・クーブリックは、現在までに数本のドキュメンタリー、2本の中編劇映画、それに『現金に体を張れ』(56年)、『突撃』(57年)、『スパルタカス』(60年)、『ロリータ』(61年)、『博士の異常な愛情』(63年)、『2001年宇宙の旅』(68年)、『時計じかけのオレンジ』(71年)、『バリー・リンドン』(75年)と、それしか作っていない超寡作監督である。

そのうち『博士の異常な愛情』、『2001年宇宙の旅』、『時計じかけのオレンジ』の3本が、SF映画といえる。

従来は、デキのいいものであっても"お金をかけた娯楽作品"にすぎなかったSF映画を、本格的な"映画"として認めさせた功績は、たぶんいくら語っても語りつくせるものではないだろう。

オカルト小説が原作の『ザ・シャイニング』。

『2001年宇宙の旅』もそうなのだが、クーブリックの事実上の処女作『現金に体を張れ』も、発表当時はごく一部にしか評価されない不遇作だった。この作品は、ある競馬場の売りあげ金を狙うギャングの犯行を、そのチームの一人一人の視点から何度もくりかえして見せた、異色のエンタテインメント。つまり、A部分では主役だった男が、B部分では脇役にまわり、C部分ではAもBも脇役にまわり、という凝った構成で、だから観客は"時間"というものが人によっては違った意味をもっているという、一種のSF的な体験をするわけなのだ。

同じことは最新作『バリー・リンドン』にもいえ、これは18世紀のローソクのあかりしかなかった時代を、特殊カメラを開発してまで再現した異色作で、だから観客はまるでタイム・マシンにでも乗せられているように、映画を体験する。これまた一種のSF的体験にちがいないのである。

そんなクーブリックが現在製作中なのが、『キャリー』の原作者スティーヴン・キングの書いたオカルト小説『ザ・シャイニング』。公開は来年ということだが、今度はいったいどんなSF体験をさせてくれるのか……。

想像力全開作動の準備はできているか?

発売後10年を過ぎても諸説紛々の『2001年宇宙の旅』騒ぎに、スタンリー・クーブリック答えていわく、

「気に入った音楽は何度でも聴くだろう。素晴しい小説は何度でも読むだろう。なぜ映画だけ、1回で全部をわからなければいけないのか?」

これから初めてこの映画を見る人たち、覚悟しておいた方がいい。『2001年宇宙の旅』とは、そういう映画なのだ。キミのありったけの想像力を、スクリーンに注ぎ、ぶつけるのだ!

←ディスカヴァリー号での宇宙食は4種類のペーストとフルーツ・ジュースだけ

←『未知との遭遇』の宇宙人はこの胎児にそっくり

STANLEY KUBRICK'S
2001: a space odyssey

←"モノリス"は人類進化の象徴として最後の最も謎めくシーンにも登場する ↓スペース・ポッドから本船へ、宇宙空間での決死の突入

Screen

この映画を難解だと言って逃げ出すヤツは誰だ！

文●石上三登志

↑史上最大の映画作家と呼ばれるスタンリー・クーブリック（左）とSFの大作家アーサー・C・クラーク

10年前、僕は何の予備知識もなく、いそいそとテアトル東京へ出かけていった。いや、何の予備知識もなくというのは嘘で、そもそも空想科学映画の時代からSF映画が大好きだったから、あのスタンリー・クーブリックだったら、さぞや素晴しいSF映画だんべえと、期待に胸をはずませていたことだけはたしかだった。

そして、冒頭、『ツァラトゥストラかく語りき』が鳴り響き、圧倒的なイメージに翻弄された2時間数十分がすぎ、僕はなんだかションボリと映画館を出てきたのだった。

それは、正直言って一つには、この『2001年宇宙の旅』に、僕がきわめて共感しつつも、しかし肝心なところがどうにもわからなかったことに原因したのだろう。そして一つには、SF映画はこういうものじゃないと僕が勝手に決め込んでいたところからきた、実になんともヘンテコなズレに原因したのだろう。いずれにしても見た直後は、結局なんだかよくわからず、だが間違いなく年間ベスト・ワンの実感……いや、それどころか、もしかすると僕の映画観賞史の中でもベスト・ワンの実感すらあり、それでいろいろ必死に考えてみたのだった。

ところで、僕自身の混乱もそうだったのだけれど、この作品が不可解とか難解とかいわれるそもそもの原点は、全編に展開されるきわめてリアリスティックな未来イメージの中にときどき出現する、謎の黒光りする板にあるのだろう。普通〝モノリス〟と呼ばれるあれはいったい何なのか、見た人は誰も考え込んでしまい、クーブリックが解答を出してくれなかったことに対し、腹をたてたり、過小評価してしまったり、あるいは逆に過大評価してしまったりするわけだ。

しかし、それこそ考えながら何度も見ていると、いつのまにか僕なりに、あの〝モノリス〟の意味と、作品の心がわかってきたことも事実である。それは、こんな風である。

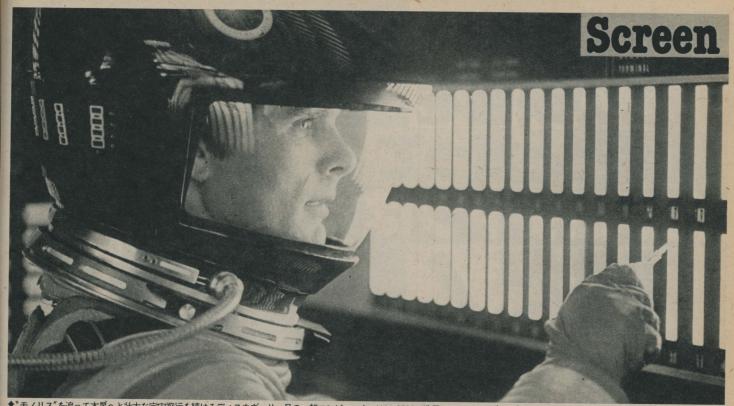
リアルなSFドラマの中に投げ込まれた〝象徴〟

まず、クーブリックは映画の冒頭で原始のころを描き、そこにその時代の僕らの姿を登場させた。そして、その原始のころの僕ら、つまり猿人たちに〝モノリス〟を見せ、触れさせ、まるでその結果のごとく猿人たちに人類への第一歩を踏み出させた。

ということを、僕はクーブリックが描いた人類の進歩の象徴ドラマと見る。そんな意味で、突然原始世界にそそり立つ〝モノリス〟は、まさしてその象徴そのものに見え、だから僕らはその具体的な意味——たとえば誰が、何のために作ったのかなどと、考えなくともいいはずなのだ。別の言い方をすれば、この〝モノリス〟は、いたってリアルに描き出されるこの映画の中に、たった1つだけ投げ込まれたリアルではない異分子なのである。

では、この異分子の、象徴としての意味は何なのか？ それを解くというか、人それぞれの立場で考えるのが、そこから以後の宇宙ドラマの部分なのである。そしてクーブリックは、なぜか僕らのよく知っている人間の歴史を、現在ただ今まで全部カットしてしまい、未来の宇宙にもってきてしまっているのである。

そうすると、こういうことになる。少なくともクーブリックは、かつて猿人が人類になったように、人類はまた更なる進化の可能性を持ち、それが宇宙の時代だと考えているらしい、というわけである。すると、はたせるかな、今度は月面の地下から、あの〝モノリス〟が出現した。さあ、その〝モノリス〟に、少なくとも僕ら自身に近い近未来2001年の人間は、どういう風に接するかと大いに興味を持っていると、なんと、かつての猿人と同様に、それにおっかなびっくり触れただけで、あとはその前

↑『2001年宇宙の旅』は10月28日（土）から全国大都市で再々公開される

⬆〝モノリス〟を追って木星へと壮大な宇宙飛行を続けるディスカヴァリー号の、超コンピューターHAL9000が造反した！　その〝ハル〟の頭脳であるIC回路を断ってしまうのだ

にみんなで並んで記念撮影ときたのである。

このとき、クーブリックが作った〝人類の進化の象徴〟は、人間たちを拒絶する。宇宙まで飛び出したのに、結局やることといったら猿人なみなのだから、当然である。なるほど、クーブリックが僕らのよく知っている人間の歴史を全部カットしてしまったはずである。僕自身もたぶん〝おっかなびっくり〟の口だから、これは切実な実感なのである。

そこで、クーブリックが作った〝人類の進化の象徴〟は、もうちょっと先に出現し、そこから〝おいでおいで〟をすることになる。そうはいっても、すでに宇宙までやってきてしまった人類だから、〝おっかなびっくり〟だけじゃないはずだという、これはクーブリックの思いやりと自問自答なのだろう。だから、人類は結局〝モノリス〟の意味を求めて、巨大な宇宙船ディスカヴァリー号で、木星までやってきてしまうのだ。

ここからドラマは、最も重要な、あるいは最も不可解な、しかしきわめて説得力のある部分に突入していく。それはまず、ディスカヴァリー号を管理する超コンピューター、HAL9000の謎の反抗として出発する。このHAL9000、通称〝ハル〟は、ありもしない事故を訴え出したのをかわきりに、ついには乗組員の生命まで次々に奪いだすのである。そして、なぜそうなったのかということは、具体的には何も語られないのだけれど、やっぱりあの〝モノリス〟に原因するのだと、僕は思う。

なぜなら、ディスカヴァリー号の木星探査の目的、つまり〝モノリス〟追跡の件を、人類の知的代表どもは、その乗組員には知らせず、ミスをおかさない超機械である〝ハル〟にのみ知らせておいたからである。そして、その〝モノリス〟とは、先に述べたようにどうやら〝人類進化の象徴〟である。

〝象徴〟などということを、コンピューターがわかるはずがなく、いや、わかる前に機械には無意味ですらあり、だから混乱した〝ハル〟は、ミスの原因になりそうな人間どもを否定し始めたのである。

〝モノリス〟探索を〝ハル〟に頼ったのは、記念撮影同様の、あるいはそれ以上の人間の愚行だろう。別な言い方をすれば、映画『2001年宇宙の旅』の意味を、コンピューターにインプットして理解

⬆ボーマンは宇宙空間を漂っているプールを探して飛ぶ

⬆地球と月との定期宇宙船での機内食。このストローに小さなミスが…

⬇長大なディスカヴァリー号の中央部にある大パラボリック・アンテナの部品交換のために宇宙を泳ぐ

STANLEY KUBRICK'S
2001: a space odyssey

⬆ディスカヴァリー号の乗組員。右がボーマン(キア・デュリー)、左がプール(ゲイリー・ロックウッド)

しようとしたようなものだから、人類の新しい進化などはおこがましいといったところなのだ。

⬆スペース・シップのキャビンの巨大なセット

人類の進化の象徴とは、進化の果ては、何か?

しかし、乗組員の一人であるデイヴィッド・ボーマン博士は、違っていた。コンピューターを通じて対決をせまってきた〝モノリス〟の意味に、絶望の宇宙空間でただ1人、それこそ命をかけて挑戦した。そして、それこそが、かつての猿人とは違った〝モノリス〟との対話……進化への道だったのだ。

だからボーマンは、宇宙時代の新しい人類、いわば超人類の先駆として、それから後、象徴的に再生していく。そんな意味で、この映画で最もわからないといわれているクライマックスは、僕にはよくわかったのである。

では、〝人類進化の象徴〟とは、いったい何なのか。クーブリックがいうように、それはたぶん人それぞれにとれるのだろう。だから僕は、僕の感情と僕の理性でもって、こう受け止める。〝モノリス〟即ち進化の象徴は〝死〟そのものである。そう……僕らは僕ら自身の死をみつめ、それと対決するとき、かつての猿人のように、あるいは未来のボーマンのように、本当の意味で生き始めるからなのである。

リアルなSFドラマであると同時に、きわめて超現実的な象徴劇でもある『2001年宇宙の旅』は、だから、かつて僕をションボリとさせ、同時に大感動もさせたのだろう。

⬆〝ハル〟が故障を予告したアンテナの部品はどこにも異常がない

da's L.A.EXPRESS

ヒッチコックこそ映画の先生だ

アメリカでは若い映画ファンがそのまま移行して映画作家になる。彼らのアイドルの代表はなんといってもアルフレッド・ヒッチコック!!

Screen

↑性的興味過剰の若者を演じるダドリー・ムーアは個性豊かな脇役陣のなかでも秀逸だ

A new comedy thriller from the creators of "Silver Streak"
Goldie Hawn
Chevy Chase
Foul Play

↑サントラ盤はバリー・マニロウ

生徒が作った傑作コメディ

「テクニックを盗むなら、ヒッチコックの作品がいちばん」と言って、『ジョーズ』のサスペンス、『未知との遭遇』のアドヴェンチャー・スリラーを描き切ったのはスティーヴン・スピールバークだ。

彼以上にヒッチコックに傾倒しているのがブライアン・デパルマ。『悪魔のシスター』は、デバカメについてのヒッチコックの見解をそのまま『裏窓』ふうにサスペンスに組み入れた作品だし、『悪魔のパラダイス』には優れた『サイコ』のシャワールーム・マーダー・ケースのパロディがあった。最近の『愛のメモリー』となると、これは完全に『めまい』のリメーク。(ちなみに日本版の『めまい』は加藤泰が演出した『陰獣』)

メル・ブルックスはそのものズバリ、ヒッチコック・スリラーの名場面をパロった『新サイコ』(あまりおかしくはなかったけれど)を作るし、ピーター・ハイアムスの脚本・監督の『カプリコン・1』も実にズサンな構成ながら、『北北西に進路を取れ』に代表されるヒッチコック冒険談志向であることは間違いない。

一昔前なら他人の映画をコピーすることは卑しむべきことであったのだが、'70年代になって、映画ファンたちが映画監督の座につくようになると、この傾向は一変した。映画ファンたる者、好きな映画や監督のことは声高に論じたい。なかでもヒッチコックのテクニックは抜群とあって、このラッシュである。

トリュフォーやシャブロルら'50年代末期のヌーヴェルヴァーグ派が、あくまで心をヒッチコックやホークスに寄せながらもスタイルは自分のものであったのに比べ、'70年代の〝アメリカ映画ファン監督群〟はストレートに、映画史の巨匠たちへの愛を謳っている。

その戦列に新たに加わったのがコリン・ヒギンス。UCLA映画学科の卒業論文として書いた脚本『HAROLD and MAUDE』(邦題『少年は虹を渡る』)を引っ下げて映画界入りした男である。

'76年にヒギンスは『大陸横断超特急』の脚本を書いた。『北北西に進路を取れ』志向のコメディ・アドヴェンチャーである。キャメラ・ワーク、レンズの選択は『北北西……』が作られた'59年と同じテクニックを用いたこの作品、重要な要素をひとつ忘れていたためにかなりお粗末なコメディになってしまった。'50年代のテクニックはケイリー・グラントのような、20年以上スターとして君臨したゴージャスな存在を中心におくことで燦然と輝くのである。ジーン・ワイルダーではグラントの執事の役すら務まらない。

ヒギンスの監督第1回作品は、『大陸横断超特急』の延長にあるヒッチコッキアン・アドヴェンチャー・スリラー『ファウル・プレイ』である。ただし今度の出典は『知りすぎていた男』。ゴールディ・ホーンが殺し屋グループに狙われるヒロインだから、〝知りすぎていた女〟というところ。

といっても全体的な構成が『知りすぎていた男』というだけで、シークェンスは殆どオリジナルのコメディ。これをアップ・トゥ・デートなキャメラ・ワークで綴っているからテンポはいいし、第一級のエンタテインメントに仕上っている。この作品の面白さの前にはメル・ブルックスの『新サイコ』などドッチラケ。

ゴールディの役はサンフランシスコに住む図書館員グロリア・マンディ。あるパーティの帰り道にヒッチハイカーを拾ったことからとんでもない事件に巻き込まれる。この男は何者かに追われているらしく、グロリアの知らないうちに彼女のバッグにフィルムを隠し、夜の再会を約束してシスコの市街で車から降りる。彼のあとを、頭の毛からツマ先までマッシロシロ

↑しつこく襲いかかる悪漢ども撃退の場

M. Hara

原田真人のロサンジェルス超特急

"FOUL PLAY" by Collin Higgins

の大男（アルビーノ、つまり白子）と黒いスーツの老人が迫っていることなどグロリアは気づかない。ヒッチハイカーとの今晩のデートのことなんか考えて、彼女、胸をときめかせている。

そのデートの待合せ場所は、とある名画座。上映中の作品はアラン・ラッド主演の『この銃は俺のだ』である。

いつまで待ってもヒッチハイカーはやってこない。苛立った彼女はひとりで映画館へ。

スクリーンでは殺人シーンが進行中。そのとき彼女の隣にドサッと座ったのは、昼間別れたヒッチハイカー。彼の胸には赤い大きなバラの花（ナイフの柄つきのやつ）が咲いているのだが、グロリアときたらスクリーンに目を据えたままでポップコーンをすすめたりして――。

死にゆく男はちょっと感じが違うなと思いながらも、小人に気をつけろ」と一言囁き、昇天。初めて変事に気づいたグロリアがギャーッと叫ぶと、スクリーンでもヒロインがギャーッと叫ぶタイミングのよさ。グロリアはマネジャーを呼ぶためにあたふたと通路を駆け上りまするが、右のような次第で周囲の誰ひとりとして変事には気づいておりませぬ。

ふとっちょのマネジャーは好色そうな外見を決して裏切らず、オフィスをロックして早番の女従業員か何かそのテの職業婦人とコチョコチョゴニョゴニョの真っ最中。

そこへグロリアが飛び込んできたものであんまり気分がよろしくない。それでも一応、殺人だというので映写中断を命じて場内に戻ってみると、グロリアにとっては驚いたことに、観客にとっては至極当り前のことに死体がない。

さて殺人者たちはグロリアがフィルムを預かっているに違いないとニランでおりますから、以後、仕事場で、帰り道で、アパートで、グロリアは命を狙われます。

狙われる本人にはまるで事情がわからない――。

ぼくチェヴィ・チェイス！

殺人者グループで最も凶悪なのがアルビーノことホワイティ・ジャクソン。演じまするは新顔のウィリアム・フランクファーザー。LAタイムズ紙の紹介では姓の部分がフランクフェザーとなっており、その紹介以来、出演依頼がウィリアム・フランクフェザー氏のほうに殺到しているという。たまたまフランクフェザー氏がフランクファーザー氏のイトコであったので、その辺の連絡はうまくいったようだが、その間の事情を説明するフランクファーザー氏の一文がLAタイムズ紙に掲載されていた。

コミック・ブックから抜け出したような白子の殺し屋は、存在それ自体強烈なイメージだが、グロリアを襲うショッキング・シーンの殆どが彼の労働力に由来するとあって、ドラマの核にも居座っている。

ではグロリアを守るナイトの役が誰かというと、前号『アニマル・ハウス』紹介でふれたジョン・ベルーシ同様、TV『サタデイ・ナイト・ライヴ』卒業生のコメディアン、チェヴィ・チェイスがそのひと。彼が登場するだけで、これまたベルーシと同様、客席からは「チェヴィ！」の声が飛び、場内は沸きに沸く。ベルーシのいない『アニマル・ハウス』、チェヴィのいない『ファウル・プレイ』であったなら、どれほどのヒット作となったであろうか。

チェヴィ・チェイスという名の通りはボクの住んでいるところから6ブロック南にあるけれど、これ、彼氏の本名。"ぼくチェヴィ・チェイス、あんた違うひと"のキャッチ・フレーズで有名になったチェイスは、『サタディ・ナイト・ライヴ』の出演ばかりでなく、その脚本も書いていた。大学のときに演技開眼したチェヴィの当時の仲間は『ケンタッキー・フライド・ムーヴィ』型ナンセンス・コメディ集『グルーヴ・チューブ』で監督・主演したケン・シャピロ。この名前は、20世紀終焉に向かってひんぱんと話題になる名前だから覚えておいたほうがいい。

チェヴィの役は富豪刑事ふうスノップ刑事のトニー・カールソン。初めのうちはグロリアのことを妄想狂だと決め込んでいるが、そのうちに彼女のペースに巻き込まれ、酒倉での死闘、サンフランシスコ市街でのドラッグ・レース、オペラ座での銃撃戦などの見せ場をつぎつぎとこなしていく。

キャラクター豊かな脇役の筆頭は、ピーター・クックとのコンビで売ったダドリー・ムーア。殺人者の魔の手から逃れるグロリアがどういうわけか邂逅し続けるシスコのイギリス人スタンリー・ティベットが彼の役で、彼にとって哀れなことに、グロリアの危機と彼の性的昂揚はサイクルが同じ。これがどのような笑劇を生み出すかは見てのお楽しみ。

ついで主要な役どころはグロリアのアパートの大家さんヘネシー翁（バージェス・メレディス）。かわいいグロリアのためならと、最後には殺人者たちの巣窟に乗り込んでブルース・リーまがいのカラテで大活躍の一場まである。これ、無論、怪鳥音つきのアクション。

ヘネシー翁の死闘の相手を務めまするのが殺人者連盟の女首領。演じるのが怪女レイチェル・ロバーツ。『土曜の夜と日曜の朝』や『孤独の報酬』では怒れる若者たちのラヴ・インタレストを演じた彼女も、すっかり暴力的になってしまった。

要するに『ファウル・プレイ』を愉しむために必要な情報は、誰が狙われるかということであって、フィルムの秘密は何であったのかということではないのだよ。

くれぐれもチェヴィに、「ぼくヒッチコッキアン、あんた違うひと」などと言われぬよう――。

⬆ヒロイン役のゴールディ・ホーンは、何も知らない"知りすぎていた女"に仕立てあげられちゃう

⬆全米の人気者になったチェヴィ・チェイス（左）

DAVID BOWIE

デヴィッド・ボウイーは20世紀末のポップアートを歌う。

文●立川直樹

今年12月、デヴィッド・ボウイーが二度目の日本公演を行なう。1973年のステージの様式美に続いて、今回どんなショーが展開されるのか？今年最大のイヴェントだ。

デヴィッド・ボウイーは現在という時代を生きる僕たちにとって、最も重要なアーティストだろう。

1972年、今は亡きマーク・ボラン率いるT・レックスに代表されるグラム・ロック旋風吹き荒れるイギリスのポップス・シーンに、〝ジギー・スターダスト〟として舞い降りて以来6年、ボウイーは、「音楽的にも、創造的にも、僕は常にアーティザン（職人）であるよりも、煽動者であった」

という言葉どおりにいつも僕たちを煽動し続けてきた。

錨を下ろすことを常に拒絶し、ひたすら前に突き進むことを考えているボウイーの残してきた、際立った仕事。それはよく〝混沌〟という言葉で語られ、また80年代を前にして〝何もなかった時代〟という結論が出されつつある70年代に、誰がどう否定しようと否定しえない刻印を刻みつけているのである。

だから、僕は声を大にして言いたい。今こそデヴィッド・ボウイーなのだ。いったい他の誰に、ボウイーのようにかっこよく、刺激的で、時代を見事にとらえた音楽がやれるだろう。スーパースターと呼ばれているスターはずいぶんといるが、その中の何人が、その呼称に値する仕事をしているだろうか——。

今年2月の来日公演が流れてしまい、ひどく意気消沈してしまった日本のボウイー信者に、新たな活力を与えるであろう最新2枚組ライヴ『ステージ／デヴィッド・ボウイー、'78アメリカ・ツアー』を聴いて、僕のボウイーに対するヴォルテージはまたまた高くなった。ボウイーの今年の4月から5月にかけてのアメリカ・ツアー。そのフィラデルフィアとボストンでのコンサートから編集、17曲を収録した『ステージ』。そのオープニングを飾る『君の意志のままに』はボウイーが72年に発表した名盤『ジギー・スターダスト』から選ばれたもので、フィナーレが、前作『英雄夢語り』（ヒーローズ）の中で最も印象深かった『美女と野獣』となると、ボウイーにとって2枚目になるこのライヴ・アルバム『ステージ』が、70年代のボウイー音楽の集大成であることは明白だが、それよりも何よりも凄いのは、ひとつずつの作品が確かな生命力をもってからみ合い、強烈なヴァイブレーションを放って、聴く者を呪縛してしまう点だろう。

来年の1月8日で32歳になるデヴィッド・ボウイーという天才は、僕たちの前に姿を現わしたときから、未来に対する不安とある種の強迫観念にかられたような視点で、創作を続けてきたが、彼はこの『ステージ』で、はっきりと力強く人間宣言をしたように思える。いってみれば、今までにない近い場所で、ボウイーのエネルギーというものを感じることができるのである。

だから僕は、もうボウイーをわからないなんて言わせない。ボウイーは、彼自身が選曲したベスト・アルバムのタイトルがいみじくも示しているように、常にchanges（変化）しながら創作し続け、時によっては聴く者を惑わしてきたが、ここにきて仮面をとり、変装もやめて〝ロックの巨星〟としての全貌を明らかにしたのである。

昨年の春先、イギー・ポップのプロモーションと称して日本を訪れたボウイーと話をしたとき、彼は、「最終的には映画監督になりたいんだ。歌手としてやり続ける意思はない。いい監督になるために、俳優として4、5本映画をやって、俳優の立場から監督というものを勉強しようと思っている」

と、現在では音楽とともにボウイーにとって重要なメディアのひとつである映画との関わり方について明かしてくれたが、彼の初主演作『地球に落ちてきた男』などもその例にもれない。ボウイーがスタンリー・クーブリック監督の大傑作『2001年宇宙の旅』に刺激されて作った『スペイス・オディティ』から『ヒーローズ』に至るまでの14枚のアルバムのどれについても、程度の差こそあれ映画との関わりが見える。

歌だけではなく、映画の分野でも注目の男

ボウイーは、

「もうこれ以上のキャラクターはいらない。自分自身につけ加えるのはもうやめた。君がいま見たイメージ、君がいま聴いた音楽、それが真のデヴィッド・ボウイーを反映しているのだ」

と語っている。

そう、デヴィッド・ボウイーとは誰なんだ、と考えるよりも、僕たちそれぞれの感性でボウイーと向かい合うのが一番いい。多くのアーティストにとって革新ということがギミックとなってしまった時代に、常に尖兵となり、常に以前より一歩は前進するボウイーのようなアーティストの価値は、人の言葉などでは決して推し量れはしないのである。

「僕はミステリアスなイメージを作りあげようなんて、これっぽっちも思っていない。僕は人を混乱させるために変化したりはしていない。僕は探しているだけだ。それが僕を変化させる。僕は自分のために探しているだけだ」

とボウイー自身もはっきりと言っているが、ボウイーの常に流行

➡ボウイーのステージは12月6、7日・大阪、11日・東京（ウドー音楽☎03・400・6536）

の先端にあるようなイメージは、前述したように、彼の不安や強迫観念の変装でしかなく、「僕にとって宇宙という言葉は孤独を意味している。そして宇宙人はシンボルで、現代において孤独を表わすのに宇宙人を使うのはごく自然なアプローチだ。つまり孤独が先行しているわけで、宇宙があって自分が孤独というのではない」

というような彼の言葉を聞くと、72年のロック・シーンを語る上で欠くことのできない、また日本においてはボウイーに対する偏見を作ってしまったともいえる、あの〝ジギー・スターダスト〟をボウイーが演じた意味も、ひいてはジョージ・オーウェルの未来小説『1984年』を音楽的に再構成したアルバム『ダイアモンドの犬』の存在というのもより明確になってくる。

そして、この「宇宙という言葉は孤独を意味している」というボウイーの言葉は、ミュージシャンが主演した映画では最高のものに仕上がっている『地球に落ちてきた男』という仕事が、ボウイーのアーティストとしてのキャリアの中で確固たる意味を持っていることを裏付けてもいる。僕が、

「『地球に落ちてきた男』という作品に満足してますか?」

と問うたとき、ボウイーは、

「自分自身、あの映画はわからない。それは監督のニコラス・ローグの秘密でもあるわけで、自分で解釈するしかないんだけど、彼が今までやってきたことと、これからやり続けるだろうことを考えると、〝他人とコミュニケートできない状況〟をひとつのテーマにしてると思う。ただ、僕が彼と同じように主人公を理解しているかどうかは疑問だね。ダブル・イメージが強い点は、監督がそうしたからだろう」

とトボケていたが、その言葉とは裏腹に、映画における自分のイメージというものをしっかりと考えているのは明白だ。

76年秋から丸1年ほど住みつき、タンジェリン・ドリームやクラフトワークと親交を結び、元ヴェルヴェット・アンダーグラウンドのニコのレコード制作に協力するなど、充実した時間を過ごしていたベルリン。その、ボウイーにとって因縁浅からぬ街で撮影が行なわれた『ジャスト・ア・ジゴロ』では、ずばりジゴロのポール・フォン・プジゴッドスキー、そして『ウォリー』ではドイツ表現主義の画家で、1910年代に生々しい人間群像のデッサンを残したエゴン・シーレを演じた。ボウイーは俳優としての個性も確立したようだ。

ボウイーは常に自分が何をなすべきかを知っているのだ。そして、ボウイーの目と才能は、間違いのない確かなものを僕たちに与えてくれるのである。

だから、僕の胸はデヴィッド・ボウイー12月来日のニュースを聞いて、どうしようもないくらいに期待と興奮で高鳴っている。ボウイーはきっと、20世紀末のポップアートを僕たちに残していく。

Music

⬆今年のアメリカ・ツアーのステージは、ロックンロールが煌めいていた

⬇最新盤はライヴ2枚組『ステージ』(RVC RCA−9149〜50)

ミュージシャンたち自身のステレオ

INTERPRETATION by NOBU YOSHINARI

プロのミュージシャン愛用のステレオはどんなメカなのか？ちょっと気になって取材した結果・・・・

↓もう素顔を知られちゃってるのに、隠してみせるジーン

Gene Simmons

大げさなものはいらん！ラジカセが一番じゃ

おなじみキッスの〝火吹き〟ベーシスト、ジーン・シモンズは、マリブ・ビーチにシェールと一緒に住んでいるが、彼のお気に入りは、ソニーのCF−570カセット・レコーダー。

来日公演の際に、日本のプロモーターからプレゼントされたソニーの機械は、このCF−570の小型のものだったらしいが、誕生日のプレゼントにもらったスライム（ポパイ読者はもちろん知ってるよね）と一緒にしまっておいたところ、機械の中にスライムが流れ込んでダメになってしまった。

そんなわけで、ニューヨークで見かけたCF−570を試したとたんに気に入ってしまい、AM／FMラジオ、一時停止ボタン、クローム・テープ用スウィッチ、内蔵マイク、AC／DC電源両用などのメカの便利さを強調している。

「部屋の中、特にベッドの下に置くと最高だぜ。何もかも聞こえるし、夜中の会話を録音しておいて、翌日には飛行場で再生できるんだから……1回きりで、そんなことはしなくなったけどね」

家でステレオを聴く以上にこのラジカセを愛用している。

Warren Zevon

セットをいつもコンサート・ツアーに持ち歩く

↓ぎっしりつまったスーツケースを持たされる人はカワイソー

〝型破りのロッカー〟として注目され、ジャクソン・ブラウンのプロデュースによるデビュー・アルバムが幸運をもたらしたウォーレン・ジーヴォンは、常にコンサート・ツアーに持っていけるようなコンパクトなセットを持っている。

「運べる、ということがまず肝心なのさ」と言う彼は、小さなスーツケースいっぱいのメカが自慢らしい。まず、ナカミチの350カセット・レコーダーと、それに接続される宝石箱サイズのADS−2002スピーカー、そしてナカミチ550カセット・デッキ、ソニー・TC−1100−Bカセット・マシーン、ソニーM−101Cマイクロカセット、パナソニックRF−015（AM／FMラジオ）……と、以上がスーツケースに納められてコンサート・ツアーに持ち歩かれるシステム。

ナカミチ350とADS−2002は、ホテルで新曲の仕上げに使ったり、彼の好きなスプリングスティーンやストラヴィンスキー、ヴァレーズなどのテープを聴いたりするときに、そして、ナカミチ550はコンサートでのミキシング・ボードに直接つないで録音し、後で反省材料にするという。ジャクソン・ブラウンが日本から持ち帰ったという、ソニーのマイクロカセットは、なかでもウォーレンのお気に入り。

気がつくのは、彼が持ち歩くこうした機械はどれもトーン・コントロールができないことだが、彼に言わせると、気分や体調次第で音の好みが変ってしまう程度で、さほど重要ではないらしい。

きわめて真面目な意味で、彼にとって最も重要なのは、制作中のアルバムの進行具合を聴くことで、そのためにはフラットの状態で聴いた方がいいとのこと。自分では、オーディオ製品に関してはほとんど何も知らない、と言っている。

Rick Danko

自宅では超高級システムをかわいがる、オーディオ・フリークだぞ

ザ・バンドのベーシストとして16年間にわたって活躍し、現在はソロ・アーティストとして精力的に活躍を続けているリック・ダンコは、知る人ぞ知るオーディオ・フリークだ。

まず中央にマッキントッシュの1700、ラックスマンL−85Vという2つのアンプがあり、バング＆オルフセン・ビオグラム2400のターンテーブル、ADSのスピーカーがL−500とL−810の2組、リヴォックスの2トラック・テープレコーダーがそれぞれ並べられてある。ナカミチ700のカセット・デッキも忘れちゃならない。

つい最近来日した際に、サンスイのAU−717アンプとTU−217チューナー、そして、SC−1110カセット・デッキを買い込んで、安くて性能がいいとゴキゲン。

事務所にはさほど高価でないシステムが置いてあると言い、高い機械は維持するのも大変だと言うあたりは、ホンモノのオーディオ・マニアといえそうだ。

STEREO OF THE MUSICIANS

Al DiMeola

↓あの素晴しいプレイを再現するには相当な装置が必要だね

ギターの魔術師はやっぱりステレオ・システムにも凝るのであった

1977年度のジャズ・ギタリスト第1位に選ばれた新進気鋭、アル・ディメオラは、自分のシステムにきわめて満足している。ニッコー8080レシーバー、アドヴェントのスピーカー、デュアル1229ターンテーブル、ティアックA―3340S・4トラック・テープレコーダー、それにソニーのカセット・レコーダーから成るディメオラのシステムの中で、スピーカーが特に気に入っているようで、低音部が申し分ないと言う。このシステムに決めるまでにはずいぶんと研究したらしいが、彼自身のおおかたの好みからいって、欲しい音が得られる最良のシステムだろう。とはいうものの、彼はよりパワーのあるものを求めて、既にあちこちを見て回っているようだ。

ニュージャージーのバージェン・カウンティにある自宅で、ステレオに耳をかたむけてくつろぎながら、早くも『カジノ』に続く新作の構想をまとめあげつつあるアル・ディメオラなのです。

Clive Davis

↓社長の威信にかけてもダサイものは置いとけませぬ

社長はとりあえずバカでかいサウンドがお好き

アリスタ・レコードの社長、クライヴ・デイヴィスといえば、泣く子もだまるスゴ腕だが、彼は1日の75パーセントを音楽を聴くことに費しているという。

彼のビジネス用のシステムは、サンスイBA―5000アンプと、マランツ7Tプリアンプ、JBL4333AWXスタジオ・モニター(スピーカー)、アンペックスのAG―440Cプロ・モデル(テープレコーダー)、トーレンス125ABマークⅡターンテーブル、スタントン500EEカートリッジ、といった具合に、完璧とも思えるほど。ビジネス用、というのは、彼のニューヨークのオフィスにこれらのメカが並べられているからだが、このセット・アップを自分で選んだのかと尋ねたところ、「いいや、私は自分の欲しい音を頼んだだけさ」ということだ。

ちなみに彼の指定とは、〝とりあえずバカでかい音で聴けるようなシステム〟という、かなり単純なものだった……。

Aerosmith

愛用のラジカセが2階から落ちるときの音を録音したくて

エアロスミスのヴォーカリスト、スティーヴン・タイラーと、キーボード奏者としてツアーに参加しているマーク・ラディスの2人はソニーのラジカセが気に入っている。

マーク愛用のCF―570は、以前スティーヴンが使っていたものだが、彼が2階のバルコニーから落としてしまったものを、売ってもらったそうだ。それで、アンテナこそ壊れたがメカには支障がなく、マークはギター弦をアンテナ代わりに張っている。

マークはこのラジカセに特別な感情を抱いているようで、いつも肌身離さず持ち歩いており、もしなくしたりしようものなら〝気が狂っちゃう〟そうだ。

それにしてもこのラジカセの頑丈ぶり、マークは過信しているようで、機会をみてもう一度高いところから落としてみよう、などと言っている。

「もしお望みなら、落ちた瞬間の音がどんなものか、このラジカセ自身で録音することもできるんだからね!」

⬆2階から落としても平気なラジカセはきっと何万台に1台のすぐれモノですゾ

Herbie Hancock

⬆人形のエリック君もJVCのヘッドフォンを愛用しているのです

自然なサウンドを得るには、音に没入できるヘッドフォンがよろし

キーボード奏者として常に時代の最先端にいるのがこのハービー・ハンコックだ。彼の部屋の隅に置いてある〝エリック〟は、彼のJVCバイノーラル・ヘッドフォンのための自慢の人形(頭だけ)で、それを使っていないときはエリックの頭にかけておくわけだ。

彼の意見では、人間の両耳を占拠する構造のヘッドフォンは、ふつうのステレオよりも優れているということで、より自然で深みのあるサウンドが聴ける点が気に入っているようだ。

彼のオーディオ・システムは、他にマランツ440レシーバー、ボーズ901スピーカー(4個)、ボーズ1800アンプ、シャープRT3388カセット・デッキ、ナカミチ550カセット・デッキ、BIC980ターンテーブル、ピッカリングOA―7ヘッドフォンなどがある。

ボーズのスピーカーについて、「ボーズのよいところは、小型で場所をとらないこと……カミさんが家の中をせまくするのを嫌うんでね、だから天井からつり下げてあるよ」と言っている。

オーディオ・マニアならよだれを流して欲しがりそうな、豪華なシステムを持ったハービーにも、たった1つだけ悩みがある。高台のハリウッド・ヒルズのすぐ下に住んでいるせいで、「ラジオを聴こうとしても、どこのステーションも聴こえやしない……」というのが、目下の最大の問題点のようだ。

⬆よいステレオのよい音はよい眠りを誘うなあ

BEFORE CONCERT

E・ダンとJ・フォードのデュエットに酔う

5人の腕っこきロック・ミュージシャンをバックにソフト・タッチで始まり、徐々にハードになって、観客を大いに酔わせるコンサートを展開するという、LAのスーパー・デュオ、イングランド・ダン&ジョン・フォード・コーリーが初来日する。

得意のバラッドだけでなく、リズム&ブルーズ、ジャズ、そしてロックをミックスした彼らのサウンドを際立たせているのは、その美しいハーモニーだ。たまには美しさに接してみるのもいい。11月1日=名古屋・勤労会館ほか。問合せ=キョードー東京☎03・407・8155。

ブルーズの本格コンビはB・ブランドとG・ブラウン

ファッションとしてのブルーズ・ブームは去っても本物のブルーズ・ファンは残っている。そしてまた本物のブルーズ・メンも残り続ける。シンガーのボビー・ブランドとギタリストのゲイトマウス・ブラウンは残り続けている人だ。巨体を利しての圧倒的迫力の強烈なシャウト・シンギングを得意とし、歌のうまさにかけては天下一品のボビー・ブランド。偉大なブルーズ・ギタリストであるティーボーン・ウォーカーに大きな影響を受け、テキサス・スタイルのエレクトリック・ギターを得意とするゲイトマウス・ブラウン。共に初来日である。11月6日=大阪・サンケイホールほか。問合せ=ユニバーサル☎03・585・3045。

LA4のヴェテランたちが西海岸スウィングを伝える

スコット・ハミルトンの来日公演はジャズのスウィング感を快感させた。

レイ・ブラウン(ベース)、バド・シャンク(フルート/アルト・サックス)、ローリンド・アルメイダ(ギター)、ジェフ・ハミルトン(ドラムス)からなるLA4もクールにスウィングする。ウエストコーストのヴェテランたちが、気分最高のひとときを約束する。11月8日=東京・厚生年金会館(PM6・30)ほか。問合せ=神原音楽事務所☎03・403・8011。

エネルギッシュなツイン・ギターならW・アッシュだ

Music

LPの解説文に500円の価値ありや?

ポパイ推薦盤
文●森脇美貴夫

現ディスコの女王

『ライヴ・アンド・モア/ドナ・サマー』(ビクター VIP―9553〜4) 現在ディスコの女王といえば文句なく彼女にとどめをさす。ギンギンのディスコ・ナンバーからメロウな歌まで、限りなくセクシーだ。

シブさを加えて快調

『M.I.U.アルバム/ビーチボーイズ』(ワーナー・パイオニア P―10560) ビーチボーイズといえばカリフォルニア。そして、サーフィン。彼らの歌は夏にぴったりというのは昔のこと。こんなにシブくなったハーモニーは秋の夜長にふさわしい。

POPEYE NEW DISC REVIEW

まさにナウ〜、売れるサウンドがこれ!

『ドント・ルック・バック/ボストン』(エピック・ソニー 25・3P−1) 全世界で1,000万枚を超す売りあげを記録した『幻想飛行』に続く待望のセカンド・アルバム。ファースト・アルバム一発であっという間にスーパーバンドの仲間入りを果した彼らの実力が思うがままに発揮されているのがこのアルバム。どこまでも伸びていくような透明なギター・サウンド。重さを感じさせないヴォーカル。ひとつひとつとってみてもまず文句のつけようのないポップ感にあふれている。

適度のビート、適度のメロディ。単純とも思える曲にうまく変化をつけている。だからへたをするとBGMに流れそうなほど聴きやすい音が、それだけで終らないサウンドに仕上った。

SFブームに沸く若者たちにぴったりの軽い浮遊感も味わえるし、おしつけがましさのないのもまたいい。プロデューサーからエンジニア、ミキサー、それにすべての作曲、作詩までやってしまう奇才トム・シュルツの凄さはちょっとしたものだ。彼は実に売るということをよく知っている。アメリカでの初回プレスはなんと300万枚だというのにはあきれてしまうが、その数字を納得させるだけの説得力がこのアルバムにはあるのだ。

パーカッシヴな幻想

『タイム&チャンス/カルデラ』(東芝EMI ECS−81103)

アルゼンチン生まれのエドゥアルド・デル・バリオを中心とするカルデラのメンバーは殆どがカリブ周辺の出身だ。そのため、クロスオーヴァーの気楽さにビシッとサスペンスを吹き込む、めりはりのきいたリズムが、パーカッシヴなファンタジーをつくりあげている。

ラグタイムの時代を

『プリティ・ベビー/サウンドトラック』(コロムビア YX−8147) 映画監督ルイ・マルの音楽的センスの素晴しさには何度も脱帽してきた。『死刑台のエレベーター』のマイルス・デイヴィス、『恋人たち』のブラームス、『ルシアンの青春』のジャンゴ・ラインハルト……。いま話題の『プリティ・ベビー』も、ラグタイムが画面を盛り上げている。

大きい気分で音楽を

『ブルーノート・ミーツ・LAフィル』(キング GP−3170) ジャズの専門レーベルであるブルーノートがクラシックとのフュージョン(融合)を試みた。ギターのアール・クルー、ヴァイブのボビー・ハッチャーソン、ヴォーカルのカーメン・マクレエたちがLAフィルをバックにのびやかでスケールの大きい演奏をくりひろげる。たまには大きな気分で大きい音楽を味わうのもいいものだ。

徹底ポップスに拍手

『恋のプリズナー/プレイヤーII』(フォノグラム RJ−7389) もうポップスの極致とでもいうべき、親しみやすい曲を得意とするプレイヤーに拍手してしまおう。何気なく耳に入ってきて、そのまま残って離れない。

新しいディスコ姫

『ディスコの恋人/イヴリン"シャンペン"キング』(RCV RVP−6319) 次々と新しいダンスを生み出すディスコ・シーン。シェイムというダンスを流行させているのがこのアルバムのヒロイン。軽いタッチに気分も身体も揺れてくる。

ブギウギ娘に酔って

『ウィズ・ピーター・エックランド/ポーラ・ロックハート』(トリオ AW−2006) ブギウギ娘と呼びたくなってしまうポーラの世界は、軽いお酒があると燃えあがる。軽いジャズのフィーリングもあるし、色気もあっていうことなし。後は聴きながらブギウギればもうバッチリというわけ。

スターになるムード

『ナット・シャイ/ウォルター・イーガン』(ポリドール MPF−1188) フリートウッド・マックの支援を得ているせいもあるけど、今風な透けるような音にポンポン弾むようなヴォーカルが気持イイ。

みずみずしい乙姫

『愛の営み/ローラ・ニーロ』(CBSソニー 25AP 1109)

フォークの乙姫が優しく愛を語りかけてくる。あたたかな鼓動がコンクリートのニューヨークから伝わってくる。いくつになっても彼女はみずみずしい。

貴公子の優しい歌

『チェンジ・オヴ・ハート/エリック・カルメン』(東芝EMI IES−81115) もう長いことポップス界の貴公子と呼ばれ続けていた彼が、ついにその名に恥じない作品をつくりあげた。大人の、とでもいうべき優しさも感じられるヴォーカル。

今やブリティッシュ・ロックの主流はパンクになったといえるが、オールド・ウェイヴであってもいいものはいい。華麗でエネルギッシュなツイン・ギターで日本でも人気のウィッシュボーン・アッシュが久しぶりに来日する。典型的なロックの気楽さが味わえるだろう。11月10日=東京・サンプラザほか。問合せ=ウドー音楽☎03・400・6536。

昔クロスオーヴァー、今フュージョン。スタッフ解散公演

日本でのクロスオーヴァー隆盛の引き金をひいたのがスタッフだ。心地よいリズムとメロディに酔ってしまった人のなんと多いことか。カワイイ女のコたちもコロリと酔わせる彼らの音を生で聴くのも今度が最後になる。後で、行っておけばよかったなあ、などといわないように。11月14日=大阪・フェスティバルホールほか。問合せ=ユニバーサル(☎前出)。

ILLUSTRATION by MAKOTO KANEYA

↓シェローの町の入口にある看板がこれだ

いちばんアメリカ的な女のコは、もしかしたら、このミス・ロディオ・アメリカなのかもしれない。

片岡義男のアメリカノロジー ㉜

↑あっという間に羊をしばってしまう“ゴート・タイイング”にアルマベスはいま熱中している

アメリカの人たちはクイーン（女王）が大好きだ。なにかといえばコンテストをおこない、クイーンを選出する。

オートバイのツーリング・クラブが遠出してキャンプで夜を明かせば、お祭りさわぎのなかでかならず美人コンテストがおこなわれる。アメリカのツーリング・ライダーは、奥さんやガール・フレンドとタンデムで走ることが圧倒的に多い。脚線美コンテストとかお尻の張りぐあいコンテスト、あるいは、胸の谷間の深さコンテストなど、いろんな工夫をしてクイーンを選ぶ。

こんなツーリング・クラブのオッパイ美人コンテストを、ぼくは見たことがある。

1位になったのは、ほんとに美人の、しかし近くでよく見るとサメ肌のソバカスだらけの女性だったけど、胸のすばらしい人だった。2位と3位もあり、勇気ある参加賞は、グループのなかのもっとも肥った男が胸のお肉をガムテープで前にもってきてしめつけ、谷間をつくって獲得したのだった。

ロサンジェルスでは、ドラグ・クイーン（女装愛好者の女王）の、老齢者の部、というやつをたまたま見たことがある。

大小、デブ、ヤセとさまざまなおじいさんたちが、ピンク・キャバレーのホステスのようなドレスをまとい、厚化粧、ハイヒール、お化けのようなカツラで、クイーンの座をあらそうのだ。

すさまじいものだった。荒涼として孤独な感じが濃厚に漂っていた。

ロディオ・クイーン・オブ・アメリカ、というクイーンの話をしよう。

『ウェスタン・ホースマン』という、西部ふうな乗馬の専門誌に、1978年度のロディオ・クイーン・オブ・アメリカである、アルマベス・キャロルが紹介されている。どんな女のコなのだろう。

見た感じは、写真のとおりだ。20歳、5フィート9インチ。まあ美人と言ってもいいだろう。

ロディオ大会のアリーナで、美しい名馬にまたがったカウガール姿の彼女が、満員の観客席にむかって、手袋をとった手を振っているありさまは、アメリカ的な美しさのひとつの典型であるにちがいない。

↑キレイなだけじゃクイーンになれないのよ

“美人”というだけでは資格不足だ

コロラド州の東南部、国道50号線の近くに、シェローという小さな田舎町がある。畑が連続するなかにぽつんとある小さな町だ。グ

⬇ウェスタン・ホースマン誌

1978 Miss Rodeo America

レイハウンドのバスで走ったりしたら、ドライバーが説明でもしてくれないかぎり、なにも印象に残らないところであるにちがいない。

　このシェローの町に、

「ミス・ロディオ・アメリカであるアルマベス・キャロルの家があるシェローの町へようこそ」

　という看板が立っている。立派な看板ではないが、つくった町の人の善意と誇りがにじみ出ていて、とてもいい。

　シェローの町には、アルマベスが卒業したコロラド・ステート・ハイスクールがあり、となり町のラフンタは、アルマベスのメイリング・アドレス（郵便物の宛先）になっている。

　看板を立てるにあたって、このふたつの町に争いがあったのだが、シェローの町がさきにつくってしまった。

　ミス・ロディオ・アメリカは、ただ単に美人だからといって選出されたお飾り的なクイーンではない。選考の基準は非常に厳しいのだ。ミス・ロディオ・アメリカの選出大会は、オクラホマ・シティでおこなわれた。1週間ぶっつづけの、ハードなコンテスト。

　アメリカ50州からそれぞれ選出された1州1名の女性およびカナダから参加する2名の女性、計52名は3つのグループに分けられ、あらゆる面でテストされる。

　スピーチもおこなわなくてはいけないし、パーソナリティといって人格や性質も厳しく評価される。

ホースマンシップのテストでは、どの女性も、それまで一度も乗ったことのない馬を何度もあてがわれる。どんな馬でも、いかなる状況のもとでも、手際よく乗りこなさなくてはいけないのだ。

　あてがわれる馬は、おとなしい馬ではない。おとなしく人を乗せるようにしつけられた馬ではなく、ロディオの世界で言うところのほんとうの馬、つまりカウボーイ・ホースだ。性質のまったくわからない馬にホースマンシップのコンテストで乗るのは、つらいものだ。

　コンテストのあいだ、参加女性たちは、日常生活とは完全にきりはなされた生活を送る。1週間のあいだ、肉親に会うことも許されない。

　8000ドルの賞金と、ミス・ロディオ・アメリカのタイトルを獲得したアルマベスは、スピーチをおこなった。ミス・ロディオ・アメリカとしての役割を自分がどんなふうに考えているかについて、具体的に説得力をもって述べるのだ。

「ミス・ロディオ・アメリカは、美人コンテストのウィナーではありません。ロディオをプロモートするための道具です。賢明な方法で、徹底的に使ってください」

　というのが、アルマベスの所信だった。

　1979年度の新しいクイーンに女王のタイトルを手渡すまで、PRの道具としてのハードなスケジュールが、つまっている。パリやロンドンへ出かけていき、ウェスタン・ウェアのプロモートをおこなうのも大事な仕事のうちだし、各地のロディオにゲスト出演したり、講演をおこなったり、たいへんだ。

⬆彼女はハイスクールでカウンセラーもやっている。インテリなのだ

キャロルは馬といっしょに育った

アルマベスの育った家庭は、ロディオと密接に結びついていた。父も母も、長いロディオ暮らしだったのだ。おさないころから、ウエスタン・ホースライディングやロディオのあらゆる面を体で吸収しながら育った。ミス・ロディオ・アメリカのタイトルをとったいま、アルマベスは、バレル・レーシングのチャンピオンを目指している。バレル・レーシングとは、一定の距離をとって置かれたふたつのドラムカンのまわりを、オーバル・トラックふうに馬で走る競走だ。1頭ずつ走る。

　アルマベスからロディオをとったらなにも残らないかというとそんなことはない。南コロラド大学での勉強との関連で、ラフンタ・ハイスクールのスタディ・ホールのカウンセラーとモニターをやっているし、かつては、コロラド・ボーイズ・ランチという少年院のインターンとして、2年間、活躍した。

　少年院に送られてくる複雑な生いたちや過去を持つ少年たちに、はじめのうち、アルマベスは手を焼いた。

　少年たちの更生プログラムに彼女は乗馬をとり入れたのだが、少年たちはジョン・ウェインやロイ・ロジャースみたいに馬を乗りまわしたがるだけで、基本を徹底的に学ぶとか責任観念を身につけるとかには、まるっきり無関心だった。

　朝寝坊をきめこむ少年たちに催涙ガスを吹きかけて起こし、グラウンドにひっぱり出しては、きたえにきたえた。

　昔の西部の騎兵隊のトレーニングを応用すると、少年たちも興味を示しはじめた。そして、最終的には、シェローの町や周辺のいろんな町での、建国200年祭の行事に、コロラド・ボーイズ・ランチの少年たちは馬とともに大活躍したのだった。

　ミス・ロディオ・アメリカとは、だいたいこんなふうなバックグラウンドと能力を持った女性なのだ。

撮ってすぐ観られるムービーの夢が現実になった。
さて、そのシカケはどうなっているんだろう。

噂の期間が長くてイラつかされたポラロイドの《ポラビジョン》、ついに日本でも発売された。本号では同録8ミリにかわる気配のビデオを特集している。そんな時代に、この8ミリ・ムービーはこれからの方向を示すものだ。

⬆⬇たとえばテニスのプレイを撮る。即座にプレイヤーにかける。フォームがその場でわかる

ビデオの脅威は隠しようのない事実だろうけど、それとは別に8ミリ・ムービーの世界は、同録高級機の時代から、初期の軽量小型サイレントの普及型がもう一度見直される時機にきている。確かに8ミリがビデオに対抗してもはじまらない。方向としてはド正解である。それもインスタント・8ミリ・ムービーとなれば、即時性の点でも申し分のないところであろう。

さて、《ポラビジョン》のシステムは、カメラ、カセット・フィルム（フォト・テープ）、プレイヤーの専用3機が手をつないではじめて成立する。ことにフォト・テープが画期的な役割を果たしている。フィルムをカメラに入れる。カメラは無限焦点の2倍ズームレンズ付だ。露光は内蔵のフォトセルでF1・8〜22まで自動決定されるシクミ。テープ撮影完了の赤ランプがついたらテープを取り出し、プレイヤーにかけることになる。ここではなにもすることがない。テープ挿入口にテープを入れてやると、プレイヤーはテープからの信号を受け、すべて自動的に作動するのだ。最初の作動で巻き取られたテープは次いで逆転し、初めの位置にもどるわけ。そのときテープ・カセットの中に仕組まれた現像液（極少量）が流れ出し、即座に現像してしまうというわけ。テープは表面に3色のフィルターを持つ白黒フィルム。3色に分解された白黒像は、自ら持つフィルターを通ってカラーに再現され、映写されるというシカケだ。驚異的システムなのだ。

⬆現像処理は、未処理カセットをプレイヤーに挿入するとテープは巻き取られ、処理剤ポッドのフタが開き、テープ面に処理剤をたらすことで、すべて自動的にカセット内で行なわれるシクミである

⬆カメラグリップを握ると、グリップ内側のスイッチが押され、フォトセルが作動し、露出を決定する。あとはシャッターボタンを引けばテープは巻取リールに送られ、カメラ内で露光されるという簡単なものだ

巻取りリール
シャッター
フォーカス
ノブ
送りリール
ポッド
ランプ
レンズ
ミラー
スクリーン

➡テープの処理が終るとプレイヤーは映写の態勢に入る。映写光はカセット内のプリズム、テープを通過し、レンズを通り、ミラーに反射して画面に映るシカケ

⬇ポラビジョン・プレイヤー。自動現像、自動映写、巻戻しとカセットのイジェクト。画面サイズは幅24×高さ18センチのテレビジョン型。カメラは毎秒18コマ、焦点調節は近景、遠景の2点式。レンズは8枚構成、12.5〜25ミリのズーム。絞りはF1.8〜22の無段階自動調節。フォト・テープはカセット式で2分35秒の撮影が可能

POLAVISION

女をのせるな。

男には、男のフィールドがあるんだ。男のロマンを知ったような顔をする女は、信用できない。有史以来、この事実は、変わっていないのだ。そんな、頑固な男たちのための東急ハンズ。写真のミニオートバイは30c.c.、2サイクル、カウリング付。その他、ジープ、キャンピング用品、フィッシング用品、ラジコンなど、男のためのすべての商品が揃っています。いま、男は、男に帰る。

東急ハンズは、全フロアであなたを応援します。あなただけのオリジナルな生き方を創って下さい。——
●ハム●マイクロコンピューター●オーディオ●ビデオ●模型●文具●デザイン用品 ●木彫 ●陶芸 ●彫金 ●クラフト全般●インテリア●ホームパーティ用品●ハンズセレクション●キッチン用品●園芸●エクステリア●輸入国産道具・工具・各種素材●ホビー書籍●プリントショップなど、手づくりホビー関連商品●各種手づくり教室●工房● 受注制作のすべて。

●営業時間／午前10時～午後8時　定休日／第2・第3水曜日

CREATIVE LIFE STORE
TOKYU HANDS
東急ハンズ 渋谷店

東京都渋谷区宇田川町12番地18号☎03(476)5461㈹
藤沢店0466(26)8735㈹　二子玉川店03(708)1211㈹

⬇彼が貧しい時代に通った〈クロズリー〉は今もにぎわう店だ

pop*eye

1

世界中を旅したくさんの友を持ち、狩猟や釣りを愛し、男としての理想を生きた、僕らの大先輩ヘミングウェイから学ぶこと。

アーネスト・ヘミングウェイは、冒険と恋に生きた男だ。それは彼の残していった小説の、どのページからもにじみ出ている。ザ・マンと呼ぶにふさわしい彼から、学ぶべきことはいっぱいある。それは、僕らがすばらしく生きるために、知っておきたいことばかりだ。

……文・松山猛

若い日の彼が愛した街パリを、彼は〝移動祝祭日〟と呼ぶ。

「もしもきみが幸運にも青年時代にパリに住んだとすれば、あとの人生をどこで過そうと、パリはきみについてまわる。パリは移動祝祭日だからね」

これはヘミングウェイが、ある友人に語った言葉だ。パリという街の持つ底知れぬ魅力を、これほど見事に言い当てた言葉は他にないだろう。1920年代に、海外特派員としてパリに滞在した彼は、同時代のスコット・フイッツジェラルドやドス・パソス、ジェームズ・ジョイス、ハリー・クロスビーなどの作家、そして多くの芸術家たちと親交を結んだ。

それはパリが芸術の拠点として、最も多くのアーティストを育てた時代でもあり、また古き良きパリが完璧なかたちで残っている時代でもあった。彼が愛した通りや公園、多くのカフェやバーが彼の小説に登場してくる。

彼の遺作となった『海流の中の島々』は、ほとんど彼の自伝とも呼ぶべき小説だが、その第5章に、息子のパトリックと想い出を語り合うシーンがある。

「街を歩いて『クロズリー・ド・リラ』に行き朝飯を食べる。私は新聞を読み、お前はモンパルナス大通りを行き交う人も物も何一つ見落さずじっと見ている……」とか、

「そこで私達は北の端の鉄門からリュクサンブール公園に入り、池に向って下りる。池を一回りして、右に折れ『メジチの噴水』と彫刻の方に向う。オデオン広場の前の門から出、横丁を二つ程抜けるとブルヴァール・サン・ミッシェル――」etc。

彼の記憶力のすばらしさは抜群で人々を驚かせたが、それ以上に彼はあらゆる物事を、豊かな愛情をもって見つめた。『日はまた昇る』にも、彼の若き日のパリ、そこで出逢った人々との出来事が克明に描き出されている。

彼の愛した風景やカフェは今でもそのまま残っているし、もしもパリに行くなら、これらの小説を読んでから行くか、さもなくば、一日、パリのカフェの陽だまりで、彼の小説を読むといいだろう。

このパリの街で彼は『日はまた昇る』や『武器よさらば』を書き、そして第二次大戦のパリ解放の日には、従軍記者として再びパリに帰ってきたのである。

正義のために戦った男。そして戦場でも酒を手ばなさなかった男。

多くの大作家は、その人生の後半には平穏な生活を望むものだが、ヘミングウェイは常に熱情と正義の人だった。第一次大戦には義勇兵として、イタリア戦線で赤十字の野戦病院車を運転し、重傷を負っている。

その体験はそのまま出世作『武器よさらば』に収められ、これが彼の人気を決定的にした。

作家としての地位を得た彼はその後キューバに居をかまえるが、1936年に起ったスペイン内乱のニュースを聞くと、彼は共和国軍側を支持し、特派員としてスペインに向う。このとき彼を駆りたてたものは、若い日から愛した土地スペインが、ファシズムに毒されること、また彼の愛した国が、戦争によって無惨に破壊されることに義憤を禁じえなかったからだろう。

スペイン内乱で彼は敗北を味わう。だが心をいやすひまもなく第二次大戦の戦雲がヨーロッパを覆う。

もちろん彼は、自由世界の正義のために、従軍記者として参加し、その戦争のむごたらしさ、しかも自由のためには戦わなくてはならないことを前線から記事として送る。

このときの彼の姿を、マルカム・カウリーが『ライフ』誌に書いたが、それは——ヘミングウェイは臀のかたっぽにジン、もう一方にベルモットをつめた水筒をさげ、戦場でマティーニを飲むうんぬん——というものだ。これはいかにも酒好きのヘミングウェイらしいエピソードだ。彼の後半生は酒と共に在り、彼ほど愛する酒とその美味さを文章にした作家も、他にはいないと思わせられる。

話上手のパパはまた、やたらとはったりをかませるのが得意だった。

ヘミングウェイは、自分が逢った人間、行った場所、体験したことを、年代はおろか日時までハッキリ憶えていた人で、強力で正確な記憶装置を頭の中に持っていたようだ。

それを彼は、きわめて魅力的に話したし、聴く人々はその楽しい話にふれると、なによりもここちよくさせられるようだった。彼は生涯にわたって正直で誠実な人であったが、ときどきは話がはずみすぎて、すごいはったりをかますこともあったようだ。

その好例は、ボクシングで大男をのした話だろう。ビミニの時代に、よく人々を集めて拳闘試合をやり、自らスポンサーとなって100ドルという、当時としては大金の賞金を出した。たしかにスポーツやハンティングできたえた彼は、たいていのビミニの島の若者をノックアウトした。この話にはさらにつづきがあって、遠くフロリダから巨人のような黒人が試合を申しこみにきたんだよ、とヘミングウェイが末っ子のグレゴリーに話す。

グレゴリーの伝記『パパ』にはこうある。「たぶんほんとうだろうが、半分は嘘かもしれぬ。ぼくの父はたとえ最上の本物の話にさえ少し手を加える傾向があったからだ」。

ヘミングウェイは、ボクシングに夢中になった。それはあらゆる闘いの中で最も男らしい闘いだったからだし、男らしさを身上とした彼は、自分のボクシングを語るとき、どうしても大げさに話してしまうのだった。

それは彼が2歳のときまで、女の子の服を着せられたことを、生涯にわたって償おうとした彼ならではのことだったと、その伝記にグレゴリーが書いている。ヘミングウェイはだれよりも男らしく生きたかったのだ。

⬇最後の妻メアリーと一緒の、晩年のヘミングウェイ

⬅これは1975年版のカタログ。毎年、品のいい表紙で飾られ、カヴァーのオリジナルの絵も売られていたのだが。世界で一番高級なイメージのスポーツ用品デパートも、時代の波には勝てなかったようだ

買物ぎらいの彼が、ただ1軒心を許したアバークロンビーの店。

彼は6フィート1インチ、200ポンドの頑丈で健康な軀を持ち、アウトドアでの生活をこよなく愛した。だから彼のファッションは、基本的にスポーティで、そして、くだけたものだった。キューバでの生活では、おおむねコットンのオープンシャツにショーツ、はだしにブラウンのローファーを履いて過した。これは船に乗りゲーム・フィッシュを追ったり、気の合った仲間とフロリディタ亭などのバーで、ダイキリを飲むのに、最も快適なファッションだからだ。

晩年を過したケチャムでの写真を見ると、やはりその土地に合った、ウール地のプレイド・シャツ（大格子柄のシャツ）にカーディガンをはおったり、ハンティングに出かけるときには、その上に、ハンティング用のベストや、ジャケットを着ている。

もともとバンカラな彼は、ファッションにはそう興味を示さなかったようだが、これも彼一流の〝男らしさの演出〟だったのかもしれない。

A・E・ホッチナーの『パパ・ヘミングウェイ』のある章で、彼の買物ぎらいのことにふれた部分がある。彼は試着してみることがいやでたまらなかったそうだ。というのも生来のはにかみ屋のせいで、いちばん最初に見せられた物をすぐ買ってしまうか、すすめられるより早く一目散に逃げだすのが常だったそうだ。

ニューヨークの〈アバークロンビー&フィッチ〉でも、売り子がまず彼の袖をしっかりとつかまえておいて、トレンチ・コートをとるようにと（多分奥さんのメアリーから）言われたことがあるらしい。ここまでくると、かなり本物のテレ屋だね。

唯一心を許した店

でもアバークロンビー&フィッチは、唯一彼が心を許し、そこへ行くのをよろこんだ店だった。ブルックス・ブラザースやJ・プレス、そしてポール・スチュアートなどが並ぶ一角にこの店はあり、彼はそこで銃のコーナーと靴の売場に立ち寄るのが好きだった。ファッションはどうでもいいが、愛すべきハンティングに必要な物、それはすばらしいライフルやショットガン、そしてどんな荒地にもビクともしない、優秀なブーツがあったからだ。

残された彼の多くの写真を見るにつけ、だだっ子のようにいやがる彼をなだめては、新品のシャツに着替えさせた、メアリー夫人のことが思われる。彼女はキューバに、そしてフロリダに、ケチャムにも、メイル・オーダーで、アバークロンビー&フィッチから、いろいろな衣料を取り寄せている。この店もまた多くのアメリカの老舗と同じように、どんな遠い土地にでも、人人の望む物を届けてくれるのだ。

ヘミングウェイの着るタッタソールやプレイドのシャツは、いずれも大きなフラップのついたポケットを持つ、いかにも土の匂いのする、アメリカのシャツだ。

おしくも先年、アバークロンビー&フィッチは店をたたんでしまった。老舗が店をたたんだ理由はいくつもあるだろう。街には新しくて機能的なスポーツギアがあふれているし、人々はもう昔のスタイルの、優雅なアウトドア・ライフにそっぽを向いてしまっている。

マディスン街から、この優雅なスポーツ用品のデパートが消えたことは、ひとつの時代が終りを告げたことを証明しているようだ。

だがこの店の、どの売場にも共通していた上品さや、集められた品々の質のよさは、いつまでも語り草となるだろう。

今、大理石の柱からは、飾り文字がはがされ、かすかに残った文字の跡が、なんとも物悲しく映る。時代のせいとはいえ、僕らは、たいせつな文化をひとつ失ってしまったような気がする。ヘミングウェイ・ファンの名所がひとつ、消えてしまったんだから。

↓サンバレーのシルバー・クリークの鱒釣り。1939年

5 3歳にして釣りの天才！ 彼はレインボー・トラウトを愛した。

ヘミングウェイ研究家カーロス・ベーカーの伝記によると、わずか3歳にして、この天性のフィッシャーマンは、完璧な釣りを楽しんだらしい。彼の母グレースの日記によると……「あの子は、釣りにきていた人たちのなかで一番大きな魚を釣りあげた。魚が引くとちゃんとわかり、掛かるとまったく独力で陸へ引きあげる……。あの子は、虫や、石や、貝や、小鳥や、動物や、花のことなら何もかも愛する博物学者だ」とある。彼の父クラレンス・ヘミングウェイは医者で、そして釣りや猟を愛する男だった。

毎年の夏、ヘミングウェイ家族の別荘のある、ワルーン湖で過した。幼いヘミングウェイが、父から得たものは大きく、彼の一生を決定づけたといってもいいだろう。そのころの印象は、彼の代表的短編集『ニック・アダムス物語』に収められている。5歳当時の彼が、河に向って釣り糸をたれている写真が残っているが、それはいかにも心楽しいといった表情だ。

新聞記者時代の21歳のとき、『トロント・スター・ウィークリー』紙に書いた『最高のにじ鱒釣り』は名文だ。カナダのスー川でのレインボー・トラウトのようすを彼は生き生きと記事にしている。

「蚊ばり（フライ）はマクジンティとロイヤル・コーチマンだった。2回目にキャスティングしたとき、爆雷の爆発かと見まごうばかりの大渦が生じ、ラインがピーンと張り、にじ鱒が水面から2フィートとび撥ねた。（中略）ついに、そいつを網にすくって、川岸におおあわてで引きあげ、土手でしっかり押えこむと、筋肉のすごい瞬発力が感じられるのだった。このころにはすでに夕闇が迫っていた。測ってみるとそいつは長さ26インチ、重さ9ポンド7オンスもある大魚であった」

軀で感じた小説家

『心が二つある大きな河』は、おそらく世界で一番美しく河釣りを描いた小説だろう。彼は人間の心理よりも、そのときの状況の流れを正確に再現する文章を好んだ。だからこの短編でも、彼が鱒と対決するさまが、すばらしく克明に記されている。

はりすをやわらかくするために、汽車の冷水タンクで布を湿らせてはりすをはさむとか、時間や陽の光によって、鱒たちが移動すること、どのようなポイントに鱒たちがいるとか、それはとてもくわしく書かれている。

この小説は2部作で、1部のほうでは彼が釣りに出かけるさまを、そして2部では巨大な鱒と対決するさまを描いている。

1部の終り頃に、コーヒーを沸かしながら、沸かし方について友だちと議論したこと、そしてその仲間たちとの楽しかった釣りの旅を回想する。テントを設営したり野外料理をしたりするのだが、そのすべてが彼の豊かな体験に根ざしていて、読む者も、その同じ場所にいて、新鮮な空気を味わう気分になってくるのだ。

彼は闘いを愛した男であり、『老人と海』などでも、魚とのかけひき、それは遂に生命を張るほどの闘いになるのだが、何かをやりとげる爽快感を、僕らに教えてくれている。ヘミングウェイは、自ら体験し、軀で感じとったことを、すてきな小説にしあげてくれたのだ。

←ヘミングウェイの3人の息子。右から2番目が長男のジャック。彼はバンビーと愛称された。坐っているのが次男のパトリック。ヘミングウェイのひざに坐っているのが末っ子のグレゴリー。右側は3番目の妻となった女流作家、マーサ・ゲルホーンだ

6 偉大な父親として、彼が愛した3人の息子たち。

62年の生涯に四度結婚をし、彼は3人の息子をさずかった。22歳のときにハドリー・リチャードスンとのあいだに長男のジャック。そして二度目のポーリン・ファイファーとのあいだに、パトリック、グレゴリーの2人の息子がいる。

もちろん、彼が父親からすばらしい生き方を教わったように、息子たちにも、男として生きる術を、楽しい環境のなかで教えたようだ。

『海流の中の島々』で、その息子たちと父親のかかわりが、手にとるように読みとれるだろう。それにしても猟をさせても、船を操らせても強くたくましい父親を持つのはしあわせなことだ。子供たちと共に対話し、教えるべきは教え、子供たちが自ら学ぶべきは、彼らの自由にさせておく、頼りがいのある父親として、ヘミングウェイは完璧な存在だった。

現代の父親が失いつつある物のすべてを、この人は持っていたといえるだろう。

三男のグレゴリーが、1942年に、ハバナで流行していた小児麻痺にかかったとき、彼は4時間ごとに熱を計り、つきっきりで何日も過した。そして自分の子供の時代のこと、特に鱒釣りの話や森の話をしてはげまし、祈った。また息子がサメにおそわれかけたことがあるが、彼は冷静にサメの群がる海を、息子を背に帆船に泳ぎ帰る。

彼は肉親や友だちをこよなく愛したが、このビミニでのサメ事件は、彼の強い愛情が行動となって証明されたものだといえるだろう。彼は娘にはめぐまれなかったので、もし女の子をさずかっていたら、どんな風な父親となったかは知るべくもない。

だが父親としての理想像に、この作家ほど近い人もいないだろう。彼がそのイメージゆえに多くの人々から〝パパ〟と呼ばれたのもわかる気がするね。

7 猫好きの彼の書斎には、いつも何匹もの猫が遊んでいた。

彼は自分が撃ち殺すアフリカの動物、そして野鳥、釣りあげるカジキマグロや鱒を含めて、あらゆる生物を愛した男だった。そして特に猫に対する愛情は深く、しばしば小説にも猫たちは登場し、重要な役割を演じている。『海流の中の島々』の第2部の冒頭は巡洋艦の名からとった〝ボイシー〟という猫のことではじまる。

「海の上で、男はボイシーのこと、その奇癖の数々や、空しい必死の愛情のことを考えていた。最初見かけた時を思い出す。あれはコヒーマルの町、港を見下ろす岩の上に張り出して建てられた酒場——葉巻売りのカウンターのガラス張りの上で、映る自分の姿相手にじゃれていた仔猫がボイシーだ（後略）」

ヘミングウェイは、キューバの家をはなれると、きまって猫のことが心配で、しかもちょっと病気ぎみの猫がいたりすると国際電話で猫のことを聞いたりもする。彼の電話ぎらいは有名な話だが、1955年にキューバをはなれたとき、出がけにボアーズという猫と、ブラック・ドッグという犬が病気ぎみだった。彼は、オペレーターの声にあがりながらも電話し、ルネという使用人から、愛すべき動物たちが元気になったというのを聞いて、すっかりゴキゲンになったそうだ。

彼は動物に対しても、人間とおなじように接した男だ。彼が子供の頃におぼえたインディアンのやる鳴き方で、サーカスの熊と話したというのも、彼らしいエピソードのひとつだね。

↓ヘミングウェイの孫娘マリエルはベッピンになったぞ

8 美しい2人の孫娘は、まったくおじいちゃんに似てる。

映画『リップスティック』で名をあげた、マーゴ・ヘミングウェイとその妹マリエルは、ヘミングウェイの長男ジャックの娘である。

それにしても妹の方のマリエルが、なんと美しくなったことだろう。『リップスティック』の頃は、ブスのおちびさんだったのに、最近の『アンディ・ウォーホル・インタビュー』の写真を見ると、ひょっとするとマーゴより美人になるんじゃないかと思わせられる。

このマリエルは『ニック・アダムス物語』中の一編『最後のふるさと』に登場する、小さな妹リトレスにとても似ている。

文中に妹のことを彼はこんなふうに描いた。「彼は暖いマキノオ・コートの衿が顎の下まできている妹の寝顔を眺めた。張った頬骨、ほのかにバラ色がかった、そばかすだらけの褐色の肌、美しい頭の輪郭を露わにし、真直ぐな鼻筋と隆起の少い耳を際立たせた……（後略）」。

おじいちゃん似という点ではマーゴもマリエルもひけをとらない。それは長男のジャックがヘミングウェイに生き写しだったせいもある。

いつか『エスクァイア』誌にマーゴやマリエルが、ほんの幼い頃にフロリダで祖父と過した写真がのっていたけれど、じいさんも孫娘がここまでベッピンになると思っただろうか?

そしてもしも『ニック・アダムス物語』が映画化されるとしたら、妹のリトレス役には、このマリエルが絶対だと思う。しかし小説中のリトレスは11歳ぐらいだから、もうおそいかな。あまりにも女っぽくなっちゃったしね。

しかしヘミングウェイ家の血は、意志の強そうな、すてきな美人を少なくとも2人は生んだ。これからも彼女らのいい仕事が期待できそうだね。

↓フィンカ荘の近影。後ろ姿の人はメアリー未亡人

9 フィンカ荘はパパのお気に入りの城だった。

フィデル・カストロは、熱心に引き止めたらしいが、結局ヘミングウェイはキューバを去る。そこには彼のお気に入りの城があった。そこは〈フィンカ・ヴィヒーア〉と呼ばれる農園で、13エーカーの花畑や菜園、果樹園と放牧地のなかに本邸があった。大きな居間の壁には、彼がしとめた、さまざまなアフリカの動物の頭や、使いこまれて家の一部となった家具がある。

彼の書斎は、タイプライター、部屋いっぱいの本、ミロの描いた『農場』の油絵、それに彼らしい幸福のためのさまざまなおまじないのがらくたで埋っていたようだ。

彼は朝の光とともに起き、すぐに仕事にかかり、たいていは午前中に仕事を終える。そして昼からは釣りに出たり、友だちとたんまり酒を飲むためにフロリディタ亭に出かけるのだ。

立ったまま原稿を書く

彼は初稿をペン書きし、そのときは立って書いたという。坐るのはタイプに向うときだ。

これは行動の作家らしい書き方で、彼はじっと坐っていたりすることがよほど苦手だったらしい。

ボーイのルネ、運転手のファン、中国人の料理人、庭師が3人、鍛冶屋が1人、メード2人、さらには、彼の好きな闘鶏の世話をする男が1人。それに猫が約30匹と、何匹かの犬がいた。

アーネストとメアリーのヘミングウェイ夫妻は、毎年のようにヨーロッパやアフリカに出かけたが、いつも帰るのはこのフィンカ荘であり、きっと彼の心が最もやすまる家がここだったのだろう。

ここには世界中から、いろんな友だちがやってきたらしい。彼の交友関係は広く、パリ時代の作家・芸術家仲間から、ゲイリー・クーパー、マレーネ・ディートリッヒ、イングリッド・バーグマンなどの映画人、さらにはスペイン内乱当時からの戦友にいたるまで、ありとあらゆる階級、職業の人々と、広くそして深くつきあった。

離婚のために同居はできなかった息子たちも、夏休みを利用してやってきたし、ここキューバでの生活こそ、彼の62年の生涯で、最も楽しいものだったにちがいない。

キューバ革命後も、もちろんフィンカ荘は健在だし、彼が足しげく通ったフロリディタ亭などのバーも栄えている。彼がこの土地が好きだった理由は、ヨットにいつも乗れ、友だちをもてなせる、あらゆるよい条件がそろっていたからだろう。

↑1954年、アフリカの旅から帰った頃

➡晩年のヘミングウェイ。ツイードのジャケットがよく似合うんだ

10 ヘミングウェイ風のワードローブを教えようか。

晩年の彼を特集した『ライフ』のカラー・ページは、ツイードのジャケットや、ハウンド・ツース柄のハンティング・ベストの似合う、すてきなじいさんの写真で埋っていた。

うんと若い頃の彼は、ソフトをかぶり、きちっとしたダブル・ブレストのスーツを着ていたりする。そして軍服のとてもよく似合う若者だったようだ。

いずれにしろ、この作家のいつも少しひかえめなファッションこそ、なんとも男臭いものだと思う。ハンティングやフィッシングのためのウェアは、もともと機能美を持つ。彼はそれをさりげなく身につけ、少し汚しながら、自分の体にしっくりなじむ形になるまで着た。そうするためにも、彼が選んだものはいつも質のよいツイードであったり、コットンであったようだ。

メンズ・ウェアも、変らないようでいて、いろいろなディテールの変化があった。でも、いつも落ち着く時期がくると、少し大人っぽい、なんでもないスタイルに返る。そこで要求されるのはクォリティ（品質）だ。ヘミングウェイの着ていた物には、永遠の男のスタイルが感じられてならないね。

Dデーのバーバリー

記者として参加したノルマンディ上陸作戦の日、彼はバーバリーのトレンチ・コートを着て上陸用舟艇に乗りこんだ。『コリアーズ』誌に送ったDデーの記事『勝利への航海』にそのものようが描かれている。彼は、波しぶきをかぶったツァイス製の双眼鏡をバーバリーのすそでふくのだ。

もう1枚のコートは、ヨーロッパ戦線で着ていた羊皮のコート。ずんぐりとした毛皮付きのコートで、冬のヨーロッパ戦線を取材して歩いた。

彼のファッションは、常にヘビーデューティな物を基調としていて、それは野外生活の好きな彼らしい遊び方のせいもある。アラン島の羊毛を編んだ彼のアラン・セーターもすてきだね。

↓1936年頃のヘミングウェイ、まだ若々しい雰囲気だ

11 パリへの旅の楽しみのひとつは、競馬に行くことだったらしい。

晩年の彼は何度かパリに旅をする。スペインに向う中継点でもあり、また若い日を想い出すにふさわしい土地として、彼はよくパリを訪れた。だがパリ滞在の大きな楽しみは競馬であったようだ。

ブーローニュの森のオートイユで、彼は秋の競馬を楽しんだ。銀の酒場に年代物のカルヴァドスを詰め、ぶかっとしたトレンチ・コートを着て、メアリー夫人の編んだワッチ・キャップをかぶって、双眼鏡で馬場を見る。トレンチとツァイスの双眼鏡の組合せは、Dデーと同じだが、1950年のオートイユは、もうまったくの平和が甦っていた。

競馬場のレストランでペロン牡蠣、ハムと野菜の香り高いオムレツ、オランダヂシャのサラダにポン・レヴェックのチーズ、冷たいサンセールのワイン――を食べたと、ホッチナーの伝記にはある。

ヘミングウェイの馬を見る目は確かで、それは若かった頃のイタリア戦線の戦友J・パトリックから教えられたり、いろんな競馬場に出入りし、顔になって時計係をしたりして身につけた才能だ。この人は何でも一流になってしまう人だったらしい。

貧しかったパリ時代に、J・パトリックのすすめで、かき集められるだけ金をかき集め、エピナールという馬のデビュー・レースに大バクチを張る。

もちろん彼は大勝し、配当率59対10で、その金で約8か月も生活できたそうだ。

1950年のパリ旅行では、最終日の2日前に、バタクラン2世号という馬に19対1の配当率でかける。これは障害レースであった。バタクランは予想されたほど走れず、もうだめかと思われたとき、先行していた2頭が飛越をしくじり、20馬身も差のついていたバタクラン号が、幸運な逆転優勝をとげる。

ヘミングウェイは賞金をコートのポケットにつっこんだが、その姿はまるで、子を孕んだ熊のようだったとホッチナーは書いている。

それにしてもヘミングウェイという人は、仕事にも遊ぶことにも、とても熱中した男なんだなあ！

↓このベルトが見当らないと彼はあせった

12 ヨーロッパ戦線で手に入れたナチのベルトをいつもしめていた。

ヘミングウェイは、わりと迷信深い性格だった。だから幸福をさずけてくれる"おまもり"には執着したようだ。

死んだナチの兵隊から手に入れた"Gott Mit Uns"(神はわれらと共にあり)という文字が彫りつけられた、ブラス製のバックルのついた革ベルトを晩年は肌身はなさず身につけていた。

地獄のようなヨーロッパ戦線、それは戦争を憎みながらも、その戦いの魅力にとりつかれた彼に、深い印象となって記憶された出来事だろう。その戦場から持ち帰ったナチ兵のベルトは、それ以来、どこへも彼のお供をするようになった。

ロイド・アーノルドの写真集『Hemingway――High on the Wild』の写真にも、猟に出かける彼が、いつもそのベルトをしめていたのが写されている。

もちろんイタリアやアフリカ、フランス、スペインの旅にも、そのベルトは必ずついてまわった。ベニスのグリッティ・ホテルでは、くしゃくしゃのバスローブの上に、そのベルトをしめていたのを人が見ている。

『移動祝祭日』にはこんな一節がある。

「幸福のまじないとして、右のポケットに、トチノキの実と、うさぎの足を入れて歩いた。そのうさぎの足皮が、ずっと前すり切れて、骨と筋肉が、すれて、つやが出ていた。爪はポケットのうらにひっかかり、幸運がまだそこにあった」というのがそれだ。

まだある。長男のバンビーがくれた赤い石のおまもり。これをヨーロッパ戦線で持ち歩いていたが、あるときズボンにそれを入れ忘れたまま洗濯に出し、なくされてしまった。ちょうど英国空軍の爆撃に同行するときで、彼はホテルのメイドに、何かおまもりをくれとたのむ。メイドがくれたのは、彼が前夜飲んだマムというシャンペンのコルク栓だった。

新しいおまもりは彼をまもってくれた。他の爆撃機はどこかしらやられたが、彼の乗機だけは、全くの無傷だったのだ。

おまもりを信じきるところなど、この人の子供っぽい部分だが、その永遠の少年風のところが、この大作家の大きな魅力となっているのを見逃せない。

いつも彼がポケットの中でおまじないをにぎりしめているのを想像すると、おもしろいね。

←闘牛の基本的動作。まずケープによるパス、ピカドールによる攻撃、バンデリーリャ（3フィートの、色紙を巻きつけて飾った槍）を牛の肩に刺す。ムレータによるパス。そして最後は、剣によるエストカーデとなる

13 彼はスペインを、闘牛を、いつも心に描いていたにちがいない。

若い日にスペインへ旅し、闘牛を見、それは三幕物の悲劇だという記事を『トロント・スター・ウィークリー』に彼は書き送っている。1923年10月20日の記事だから、彼が24歳のときのものだ。

以来、彼は闘牛の魅力にとりつかれる。最初の長編『日はまた昇る』から最晩年の『危険な夏』に至るまでの長い期間、闘牛は常に彼の心にすみついていたと言えるだろう。

彼の作品のいくつかは、最初新聞記事として書かれ、そして次第に発酵して小説となった。

この1922～3年の旅での通信『悲劇としての闘牛』『七月のパンプローナ』は、やがて永遠の名作『日はまた昇る』へと昇華されていく。もともとが新聞記事なので、おそらく正確にそのありさまや風景、人々の会話が語られているのだろう。

だから『日はまた昇る』が、あれほど真に迫り、読む者の心を打つのにちがいない。登場人物に関しても、ほとんど実在の人物がモデルだし、彼はその人間関係に少し手を加え、ドラマをおもしろくさせた。

だから小説の中でも、闘牛場で起ったコリーダの情景は、本当にあったことなのだ。そういった意味では、それは一種のドキュメンタリーとしての性格をそなえているといえるだろう。

闘牛士たちの美しい動き、ケープやムレータのさばき方、バンデリーリャや剣の使い方を彼は美しく活写している。

そしてランチアでの旅

1956年にヘミングウェイは闘牛を見に行く。パリから、"ランチア"でドライブしてスペインに向うのだ。彼はドライブ旅行が好きで、各地の風物を見て歩くのを楽しんだ。スペインには彼の重要な作品の舞台となった土地が少なからずある。

『日はまた昇る』のパンプローナの町やイラチ河、『誰がために鐘は鳴る』のセゴビアの町やエスコリアル高原。また彼の愛した大聖堂や美術館の絵、おいしい食物や酒が、そこにはふんだんにあった。

サラゴーサでの闘牛のある日、オストスという闘牛士がヘミングウェイに拍手をおくり、彼の名を呼びはじめたという。

彼らは、アメリカ人でありながら、スペイン人のだれよりも闘牛を描き、そしてスペイン内乱に生命をかけて参加してくれた彼への、あふれんばかりの感激で名を呼び拍手をしたのだ。

ヘミングウェイにとっても、最高にうれしい瞬間だっただろう。

↓メキシコ湾流に浮かぶ《ピラール》の美しい後ろ姿だ

14

《ピラール》での海の冒険は、まさに彼のライフスタイルだった。

彼の愛艇《ピラール》は、全長40フィート、黒とグリーンにペイントされた、美しいキャビン・クルーザーだ。スペインの神殿からとられた名前で、彼は『誰がために鐘は鳴る』に出てくる、パルチザンの女闘士にもこの名を与えている。

彼とこのヨットは、何度もハリケーンを乗りきり、大戦中はドイツのUボート掃海作戦に従事した。

彼にとって、海での冒険は大切なライフスタイルの一部だった。大きなマグロを追い、息子たちとメキシコ湾流を航海した。

彼は海なしでは生きられない男だったし、海とそこに生きる人を愛し、『老人と海』のような不朽の名作をものした。そこに描かれたサンチャゴ老人の闘い、大魚と人間の闘いは、生きることの意味、人間の生きざまの根元を描いている。

「人間は破壊されることはあっても敗れ去ることはない」と彼は言いつづけた。サンチャゴ老人は、せっかく生命がけで釣りあげた魚を、サメに食いつくされてしまう。だが彼は充実感を味わっている。人間は、己の心に湧いたことをなしとげるために、どれほど力をふりしぼれるかをヘミングウェイは書いたのだ。彼はまた「自分のしたことをくやみはしない。するのを忘れてたことをくやむんだ」と親しい友人に語っている。そういう言葉をこの人はたくさん使った。

男の時代は終ったのか

もう男の時代は終ったんだろうか。力強く行動力に富み、明晰な判断力と、豊富な知識を持ち、恐れを知らず、人々と正義を愛するのは、もうはやらないことなんだろうか。もちろん答は否だ！

ヘミングウェイ自身は、もがき、燃えつき、そして悲劇的な最期をとげてしまったが、それは彼が誰よりも強く生きようとした代償であったのかもしれない。

だがこのすばらしい人生の大先輩の残してくれた物は大きくそして意味深い。彼は生涯に多くの小説、新聞のための記事、そしていくつかの詩を残していってくれた。そして実生活にもこうして生きると絶対に楽しいよ！という実例を、たくさん示していってくれたのだ。

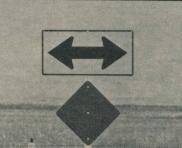
ヘミングウェイの愛した土地、アウトドアの楽しみ、人生を豊かにしてくれる食物や飲物、そしてそのほか、彼のライフスタイルにかかわるものは、どれも僕らの気になるものばかりだ。

今、ヘミングウェイを読みはじめた人、まだ読んでない人ならなおさら、彼の作品にふれてほしいと熱望する。何を読みとるかは別として、何か重要なことを僕らは、彼の文章のきらめきの中から発見できるだろう。

（この《ヘミングウェイ・ポップアイ》を作成するにあたり、三笠書房刊の『ヘミングウェイ全集』全8巻、新潮社刊のカーロス・ベーカー著『アーネスト・ヘミングウェイ』全2巻、早川書房刊のA・E・ホッチナーによる『パパ・ヘミングウェイ』を参考にさせていただいた）

ADVENTURE PLAN

僕たちの旅は、自由をとり戻した。

あの銀ピカのグレイハウンドに乗って、ニューヨークまでも行くか。それともエイヴィスでトランザムをレンタして、その日の気分で旅をしようか。途中、気にいった町があれば、そこで今日の旅はおしまいにすればいい。自分でスケジュールをたて自分で行動するアドベンチャープランは、冒険の大地、アメリカを駆けめぐるのに最良の方法だ。僕たちの旅はいま自由をとり戻した。このアドベンチャープランの他、バークレーやウエストウッドのアパートメントハウスで暮らすリブ・インに新コースも誕生した。

Call American Desk.

03-407-6831
本社/〒150 東京都渋谷区神宮前6-19-18コマツローリエビル6F
06-373-0412
大阪支社/〒530 大阪市北区芝田1-12-7大栄ビル6F
052-261-2891
アメリカンデスク/〒460 名古屋市中区栄3-2-7 丸善ビル9F
075-255-0481
アメリカンデスク/〒604 京都市中京区烏丸四条上ル梅軒ビル3F
092-713-7007
アメリカンデスク/〒810 福岡市中央区天神3-10-25 森連ビル3F

- アドベンチャープラン・サンフランシスコ・ロスアンジェルス16日間……¥193,000 12/15・12/22・'79 2/9・2/16・2/23・3/2・3/9・3/16出発
- アドベンチャープラン・サンフランシスコ・ハワイ23日間……¥222,000 12/16・'79 2/26出発
- アドベンチャープラン・サンフランシスコ29日間……¥207,000 10/13・11/10・12/10・'79 1/5・2/2・3/2・3/30出発
- アドベンチャープラン・ロスアンジェルス・ハワイ23日間……¥222,000 12/16・'79 3/10出発
- アドベンチャープラン・ロスアンジェルス29日間……¥207,000 12/10・'79 3/2出発
- アドベンチャープラン・ハワイ14日間……¥150,000 12/23・'79 3/20出発
- リブイン・サンフランシスコ16日間……¥229,000 毎週出発
- リブイン・サンフランシスコとローズボウル観戦・ハワイ23日間……¥333,000 12/16出発
- リブイン・サンフランシスコとヘブンリーバレースキーパック・ハワイ23日間……¥308,000 12/16・'79 2/26出発
- リブイン・ロスアンジェルスとハワイ23日間……¥293,000 12/16・'79 3/10出発
- リブイン・ロスアンジェルスとテニスパック・ハワイ23日間……¥324,000 12/16・'79 2/26出発
- リブイン・ハワイ17日間……¥199,000 12/22・'79 3/23出発

●パンフレットをさしあげます。ハガキにクーポン券を貼り、住所氏名、年令、電話番号、学校名(職業)を明記しお申込みください。●ただ今お申込みの方にトラベルバッグなど素敵なプレゼントをさしあげています。●5万円で出発できるトラベルローンがご利用になれます。

資料請求券
POPEYE
10
Ⓐ+Ⓛ

ヘミングウェイのスペイン

●ポパイの楽しみ方

●〈ポパイ〉はスペインに飛んだ。ぼくらの大先輩ヘミングウェイの愛したパンプローナに行ってきた。50年前のヘミングウェイの青春・スペインを、〈ポパイ〉は十分に楽しんできたのだ。

Corrida de Toros

闘牛はプロレスだ

●闘牛はプロレスだ！ なんてヘミングウェイは言わない。「闘牛はスポーツではない、悲劇だ」と言ったのだ。でも〈ポパイ〉には〈ポパイ〉の楽しみ方がある。

●まずはピカドールに注目！

➡金ピカの服着てきどっちゃっているけど、出番はわずか。その上引立て役で、もらう金も少ないのだ。ただ、大変な力持ちなのだ

⬅このへんは、まだ五分の勝負という感じ
↙アッアッアもうだめ、人間と馬の連合軍の腰くだけ　↙ピカドールは馬の下です

ピカドールは大変な力持ちなのだ。なにしろ500キロをこす牛と力くらべをするのだから、ホウレン草を食べたポパイみたいにがんばらなくちゃならない。マタドールが正義派プロレスラーだとするなら、ピカドールは悪役プロレスラーだ。負け役、引立て役だ。

真黒な牛が土を蹴散らし猛然と闘牛場に飛び出してくる。すごいのだ。なにしろ真黒などう猛な小型自動車が、角つけて人をひき殺そうと走ってくるみたい。殺気がある。

そこでピカドールが登場。太ったドン・キホーテよろしく、丈夫なだけが取り得のようなあわれな馬に乗っている。ピカドールの役目は、牛の肩にヤリを刺して力くらべして牛を適度に疲れさすこと。

だけど、相手はこの日のために訓練に訓練を重ねたお牛さま、人間と馬なんかに負けはせぬ、とばかりグイグイと押す。あげくのはて、プロテクターに守られた馬のおなかの下に角を突っ込んで人間と馬を投げ飛ばしてしまうなど、よくある話。観客はヤンヤの喝采。ピカドールはすごすご退場するのであります。

牛と駆けっこする

ピカドールが退場したら次はバンデリレロの出番。かざりのついたバンデリーリャ（短いヤリ）を2本同時に牛の肩に刺す。

まずバンデリレロが短いヤリ2本を頭の上に持ち上げ、きってかまえる。当然、牛は怒って突進してくるわけ。そこでバンデリレロも牛に向って走り出す。牛と人間が接触する瞬間にバンデリレロは横に飛んで、バンデリーリャを2本同時に牛の肩に突き刺す。

このタイミングを逸すると、おなかにブスリと角が刺さる。

⬅こんなプロテクターをつける

⬇なにしろ牛は大きくて重い。馬3頭で引っ張っていくと地ひびきがして土ぼこりが舞い上る

●殺された牛はもちろん食べられてしまう。

⬇みんなたかって、勇敢に闘って殺された牛の解体を見るのです

MATADERO

最後まで勇敢に闘って殺された牛は、観客の拍手に送られ馬に引っ張られて退場。さあそれからだ。牛は闘牛場附属の解体場に持っていかれて、待ちかまえていた専門家に、あっというまに皮をはがれ切りきざまれ解体されてしまうのだ。さっきまで勇敢に闘った牛はいとも簡単に、散文的に解体されて、皮と肉片と骨と角と内臓に化してしまう。

闘牛の牛の肉は硬いのだ

そしてそれらの肉や内臓は、きまった肉屋に買いとられる。スペイン人の話によれば、闘牛の牛の肉はちょっと硬いんだそうだ。そりゃそうでしょうよ、あれだけ筋骨隆々の闘うためだけの牛なんだから。いたれりつくせり、食べられてしまうように育てられた松阪牛とは違います。でもちょっとかわいそう。勇者は手あつくほうむってやればいいのに、というのは日本人のセンスなのだ。

ゴリラからモンキーへ
こちらUFO発見。オーバー。
モンキーからゴリラへ
それはUSOだろ!オーバー。
GORILLA
HONDA
MONKEY
NEW ゴリラ
ユーモラスなスタイルの、痛快バイク。
イカった肩のようなデカタンク。頼もしい走り。まさに全身ゴリラ。痛快まるだしのエンターテイナー。
●空冷4サイクルOHCエンジン・49cm³●2.6馬力●燃料タンク容量9ℓ●4段リターン●¥108,000
NEW TYPE モンキー
ホビー心を大きく満たす、傑作バイク。
入念な仕上げ、洗練されたデザイン。キラッと本格メカ。あなたとどこへでも行くパートナー。
●空冷4サイクルOHCエンジン・49cm³●2.6馬力●自動遠心3段リターン●¥100,000
ホンダ・クレジット
わずかな頭金とかんたんな手続きでお求めいただけます。お支払い方法は、ご予算にあわせていろいろ。クレジットカードはいりません。
ヘルメットをかぶりましょう。
●あごひもはキチンとしめましょう。
点検整備を充分にしましょう。
●定期点検は必ず受けましょう。
●日常点検もお忘れなく。
安全のため、車の改造はやめましょう。
★価格は標準現金価格
(北海道及び一部離島を除く)です。
HONDA®

Corrida de Toros

●パキリはいま一番人気のあるマタドール。

↑まずは入場のあいさつ　←どうですこのカッコよさ。牛が耐え切れず、土煙を上げてたおれる瞬間。剣は柄のところまで入っている　↓左胸に牛の血がついている。それだけ牛に近づいて演技をしている

↑現役のころのパキリの義父アントニオ。ヘミングウェイの親友だった

パキリはカッコいい。ハンサムだ。ハンサムでないマタドールなんて意味がない。当然人気もない。

マタドールの人気は、歌舞伎役者と相撲取りとスポーツ選手と歌手のそれを合せたようなもの。彼らはスペインのスーパースターだ。

マタドールはかっこうだけで生きているのだ。かっこうにいのちをかける。ああ、このダンディズム。スペインの子供たちは大人になったらなにになりたいかと聞かれると、胸を張ってマタドールになりたいと答えるのだ。

マタドールはピカドール、バンデリレロの演技が終ったあとに登場する。牛の方はこれまで適当にあしらわれていたので、その怒りは頂点に達していて、角をふりたてて突進する。マタドールは、それを赤いケープを使って見事にさばく。

マタドールの演技には花がパッと咲くような、あでやかさがなくてはだめだ。観客は、音楽に合せた牛と人間の危険な演技に「オーレ!」で応える。

親子代々マタドールだ

だけど調子にのってやりすぎるとケガをする。パキリはシーズンはじめに牛の角で両モモをやられた。それでもその牛を殺し、観客にあいさつしたとたんに、出血多量で気を失った。こういうのが、カッコいい。

そして入院して手術して1か月後にはカムバックした。

パキリの義父は、かつて人気ナンバーワンのマタドールだったアントニオだ。アントニオはヘミングウェイの友人で、ヘミングウェイの闘牛についての長いエッセイ『危険な夏』は、そのアントニオのことを書いたものだ。

アントニオの父親もマタドールで、ヘミングウェイは彼のことを『日はまた昇る』の中で書いているのだ。

●マタドールはなんと50年代のアメ車リムジンに乗ってやってくる。

↓➡かざり物じゃなくてこの上に荷物をのせて旅行する

●どの闘牛場にもカピラがある。

有名なマタドールはたいていプレイボーイと相場がきまっている。お金にも不自由しない。

相手も女優とか、金持ちの娘とか、有名人の人妻とか、はなやかなのだ。そして、さんざ浮名を流したあげく、地方の大地主とか、かつての名マタドールの真面目なかわいい娘と結婚してしまう。ずるいんだから、まったく。

その人気マタドールを一目そばで見ようと、おのぼりさん根性まる出しでマタドールが闘牛場に来るのを待っていると、彼らはなんと50年代のアメリカ車のリムジンでやってきたのだ。どうやらこれが今はやっているらしい。

その古いバカでかい車から派手なキンキラ・コスチュームのマタドールが降りてくる。カッコいいのだ。新車はいくら高くても金を出せば買える。だから新車ではだめなのだ。

↓たとえ現代的スポーツカーのポルシェを持っていたとしても、闘牛場には古い車で来る。それがマタドールだ　➡人気マタドールのパロモ

↓右のサングラスをかけたおじさんがプレジデンテ。彼の合図で今日の闘牛は進行する

〝カピラ〟というのはマタドールが祈る場所。闘牛場に来ると、マタドールはここに一人で入って祈る。ちょっと間違えば牛に殺されてしまう、という恐怖心に打ち勝つためにここで祈るのだ。

マタドールが入っていないとき、入口のところにいるおじさんにチップを渡せば、一般の人も中に入ることができる。

危険を人に見せる職業はカッコいいのだ。F1レーサーも死と隣り合せだから人気がある。もっとも、マタドールはこのごろ手術と薬のおかげで死ななくなったが。

●『オーレ!コルトレーン』は闘牛がテーマの音楽だった。

コルトレーンが死んで11年たつが、その人気はおとろえることがない。その影響力はジャズだけでなく音楽シーン全体に広がっている。これは1960年代はじめに吹き込まれたもの。

11年前は気がつかなかったのだけど、これはコルトレーンの闘牛がテーマの音楽だったのだ。ベースが2本で複雑なリズムをきざむが、これが牛。それをエルヴィンのドラムスとマッコイのピアノがバックアップする。フレディのトランペットとエリックのフルートは前座。そして、最後にジョン・コルトレーンがソプラノ・サックスを持って登場。西日をあびて死にものぐるいの演技をくりひろげる。

STEREO olé coltrane

↑フルボリュームで聞いていると、思わず「オーレ!」と声援を送りたくなる

Corrida de Toros

りっぱな闘牛用の牛は、どうにも手に負えないあらくれ牛なのだ。
………ヘミングウェイ

あのバカ野郎！ さっさとひっこめ。よくあれでマタドールだなんて言ってられるな。あれでいいカネとってるんだからあきれるぜ

あのピカドールの体すごいわ。牛と力くらべするのだからあのぐらいじゃなくちゃダメね。あら私オトコなのよ

パキリって本当にいい男ね。私うっとりとしてしまうわ。何言ってるのよ、私は正真正銘のオンナよ

あの若いのは見どころがあると思っていたが、あの演技はなんだ。人気とりのトリッキーなことばっかりしよって。少し人気が出るとすぐあれだ。オレの目はごまかせんぞ

よお大将！ 大統領！イイゾー、よくやった。耳２つの値打は十分にあるぞ。よし牛もよく闘った。近来にないよいコリーダだぞ

子供が泣きやがってシラケるよ。だいたい16歳以下の人間は闘牛場に入ってはいけないっていうキマリを知らないのかよ

●観客に闘牛の楽しみ方をおそわろう。

闘牛はお祭りなのだ。日本のお祭りのときの、仮設の舞台でおこなわれる踊りとか、漫才とか奇術とか、テントの中の見世物と同じだ。深刻ぶらないで楽しむものだ。

おかしなときは足をふみならして笑い、マタドールの連続技には「オーレ、オーレ」と声援し、失敗したらブーブー声を出し、見事な演技には立ち上って拍手だ。ようするにスペイン人の観客の中に溶け込んでしまえばいい。いっしょに楽しんでいれば、そばにいる人が、いろんなことを話しかけておしえてくれる。そういうときは、どんな外国語だって念力で分るのです。

あんたねえ、あんな演技に拍手しちゃいけないのよ。分ってないね、全然。危険なこと何もしてないじゃない

●特別席に坐っている男は誰か？

闘牛の進行役は、正面の特別席に坐っているその日のプレジデンテ（名誉会長）がする。プレジデンテは、有名人とか警察署長とかがなって、その日によって違うのだ。

進行は全部このプレジデンテがハンカチを使っておこなう。白いハンカチを1回振ったら耳1つ、2回振ると耳2つ、緑のハンカチは、牛に支障があるから別の牛にかえろ、というしらせ。でも本当は、プレジデンテの隣に坐っている専門家の指示でプレジデンテは演技しているだけ。

⬆この日のプレジデンテは、特別席（後列）の右側の人。マタドールは牛を15分以内に殺さなくてはならないという規則がある。その時間が近づくと白いハンカチを出す ⬇プレジデンテに、耳１つのサイン、白いハンカチを振れとうながす観客

●耳とシッポはマタドールの勲章。

見事な演技をしたときは、マタドールは耳1つを切ってあたえられる。耳2つをあたえられるときは、もっと素晴しかったとき。シッポを切ってあたえられることは、めったにないが、それはもっといいとき。マタドールは、その血のついた耳とか…シッポを持って場内を歩いてまわり、観客にあいさつする。ブドウ酒の入った革袋が投げ込まれて、それをマタドールが拾って飲んで投げ返す。耳とかシッポを何頭と闘っていくつ取ったかというのは、野球の選手の打率と同じようなものだ。

➡取った耳は、友人とか恋人に投げてあげる。父親がマタドールからもらった耳を子供が不思議そうに見ているけど、この耳、家に持ってかえってどうするのかな？

ASI VA LA TEMPORADA

(Inc

Matadores	Corridas	Orejas
José María Manzanares	34	53
«Niño de la Capea»	30	35
Dámaso González	27	41
Angel Teruel	25	25
«Paquirri»	23	47
José Luis Galloso	22	23
«El Viti»	21	14
«Manili»	19	27
José Luis Palomar	19	19
Francisco Ruiz Miguel	18	16
«Nimeño II»	17	13
Rafael de Paula	15	8
Curro Romero	15	4
Paco Alcalde	14	18
Antonio José Galán	14	12
Roberto Dominguez	13	6
Manolo Arruza	13	19
Gabriel de la Casa	12	15
«Niño de Aranjuez»	12	13
«Barajitas»	11	18
Luis Francisco Esplá	11	17
Joaquín Bernadó	11	8
«Armillita Chico»	11	5
Raúl Aranda	11	4
Palomo Linares	10	10
«Parrita»	10	0
Julio Robles	9	12
«El Puno»	9	9

Matadores	Corridas	Orejas
Julián García	3	2
Chucho Solorzano	3	1
Rafael Torres	3	1
Dámaso Gómez	3	0
Cinco Villas	2	11
«El Bogotano»	2	6
«El Merlo»	2	3
«Utrerita»	2	2
José Ortega	2	2
Luis de Aragua	2	2
Pepe Cámara	2	2
Lázaro Carmona	2	2
«El Tino»	2	1
Salvador Farelo	2	1
Sánchez Puerto	2	1
«Miguelín»	2	0
«El Inclusero»	2	0
José Luis Parada	2	0
Manuel Rodríguez	2	0
Curro Leal	2	0
José Ibáñez	2	0
«Rayito de Venezuela»	2	0
Curro Camacho	2	0
Antonio Francisco Vargas	2	0
Antonio Guerra	2	0
«Copetillo»	2	0
Curro González	2	0

Con una corrida: Luis Miguel Moro (4 orejas); Jesús Márquez (3); Everildo Segura (2); Pepín Peña y Chinito de Francia» (1); «El Jerezano», Manolo Martínez, Pedro Benjumea, Juan José, Calatraveño, Pepe Luis Segura, Pascual Mezquita, Simón, El

Matadores
Aguilar
Luis Re
Juan Ar Esplá
Juan de
Mario T
Cortés
Mari Fo
Santiag
Richard
Antonio Jimér
Enrique
Paco A
Pedro C
Paco O
Andrés
«El Mel
José Ma
«Chocol
«Chiquil
Pepe La
Curro A
Blanco
Luciano
Antonio
Josele
Rafael
Antonio
«El San
Rafael
Andrés
Diego V
Juan Mi Luque
Juan Ca Arran
Pepito S
Pepe Ro
Antonio

➡これが耳を何頭と闘っていくつ取ったかという表。闘牛新聞なんかに出ている。この表でも左の列上から5番目のパキリがもっともいい成績。23試合、つまり46演技して47の耳を取っている

↗得意気に耳２つを持って場内をまわるパロモ。左肩に牛の血がついている。もうこのときには、牛は場外に運び出され解体されている

●引用は『悲劇としての闘牛』（中田耕治訳、三笠版全集第２巻）より。

香れ、アメリカン スピリット!

わずか、1ヤードのために
ただ、そのためだけに、あのとき流した
血と汗の意味を男は決して忘れないものだ。
そして、その前進の軌跡をふり返るとき
アバンテの香りが風になる。
男の心をよぎる、若い風となる。

〈新製品〉
アバンテ フレッシュ コロン 240ml ¥2,400
あのアバンテの香りに、メントールをアレンジして
爽やかな清涼感をもたせたライト コロン スプラッシュ。
オーデコロンより軽く、スポーツやシャワーの あとの
ほてった肌を、冷たく、一瞬にひきしめる爽快さ。
全身にたっぷりと使いたい
オールデイ オールオーバー タイプ のコロンです。

AVANTI

MAX FACTOR

ヘミングウェイのスペイン

●ポパイの楽しみ方

Corrida de Toros

●牛の出身地、牧場も重要なのだ。

⬇牛に牧場のマークの入った焼印を押す

⬇牛に押す焼印のいろいろ。このマークを見ただけで闘牛の通はどの地方のどこの牧場の牛か分る。地方と牧場によって牛のタイプは違う

⬇牛を育てた人も闘牛場に来る

牛はそれぞれの地方によってその種類が違い、大きさとかたちも違う。そしてやはり競馬の馬のように血統によっても強い牛、弱い牛がある。そして、教育が重要。

牛は生れてほっておいたら闘牛の牛になるのではない。力が強くて闘争的で、気まぐれでなくタフな牛に育て上げるのだ。その中で弱かったり欠点を持っている牛はふるい落される。牛を育てた責任者も闘牛場に来ていて、育てた牛が最後まで見事に闘いぬいたときはマタドールに呼び出され観客にあいさつしたりする。だから牛の出身も、闘牛を見るときの重要なポイントなのだ。

●はじめて見るのなら切符はソンブラを買う。

⬆バルセロナのプラザ・デ・トロス(闘牛場)。アラビア風の模様のタイルが壁面をかざる。アラブ勢力は15世紀までこのイベリア半島にいた

⬇闘牛場の席はスリバチ状になっている。①④はソル・イ・ソンブラといって日陰と日なたの中間。②から牛が飛び出してくる。③はソル。日なたの席。値段は安いけど暑くてまぶしい。⑤がソンブラ、日陰の席でこちらが西側で正面。⑥ここに今日のプレジデンテが坐る。⑦ここが一番値段の高い席だ。野球でいうならネット裏の席だ

⬇街の切符売り場

ヘミングウェイの『午後の死』は1932年に書かれた闘牛についてのエッセイ、解説書で、死ぬ1年前の1960年に書かれた『危険な夏』は、1959年の闘牛シーズンのルポルタージュだ。

この二冊の本を読めば、闘牛についての知識は仕入れたことになるけど、本を読むということと、それを実際に見るということは、まったく違うのだ。

闘牛は夕方から始まる

闘牛のシーズンはスペインだったら春から秋、中南米だったら冬の間だ。

闘牛は毎日やっているわけではない。大都市だったら毎日曜日、小さな都市ではそのシーズンに何回か日曜日におこなわれる。あるいはフィエスタ(祭り)の間の何日間かぶっとおしでおこなわれる。

闘牛が始まる時間は夕方6時。日が西にかたむき、すずしくなったころ始まる。切符は野球の内野席、外野席、ネット裏のように分れていて、はじめて闘牛を見るのなら正面席、日陰ですずしいソンブラがいいだろう。少し高いけど。切符は大きなホテルでも、街の切符売り場でも買えるが、闘牛場で直接買うと2割ほど安い。

●闘牛はカウボーイから始まった。

➡見事に訓練された馬

闘牛はもともとカウボーイから始まったらしい。馬に乗って牛の集団を誘導するのはカウボーイの重要な役目だが、群からはずれた牛とか気の強い牛を棒でひっぱたいて誘導したりこらしめたりすることから、闘牛は始まった。だから最初のころの闘牛は馬の上からやったのだ。

今でもマタドールの役を馬の上からやる闘牛のスタイルはあって、時々おこなわれる。このときの馬はプロテクターをつけていないから角が刺さったら死ぬ。訓練された馬を見事にあやつって牛を殺す。

●マタドールは男でなけりゃだめなのだろうか?

女のマタドールもいるんだ。でもやはりそれほど人気が出ない。ちょっとめずらしいというだけのことらしい。でも牛の方は相手が男だから女だからと区別したりしない。どちらでも同じように突っかかっていく。だから女性だろうとケガもすれば殺されもする。今シーズンもアンヘラという女マタドールが、カナリア諸島ラスパルマスの闘牛場で大ケガをしている。でもマタドールはやっぱり男のものだ。本質的に男でなければだめなのだ。

短いヤリを、走っていって牛の肩に刺すバンデリレロなら、女性にも見事にできるかもしれない。あの演技はマタドールの演技と違って中性的なものだ。

↗女マタドール、マリベル・アティエンサル

●闘牛週刊紙を紹介しよう。

AplausoS
TOROS
FERIA DE VALENCIA
COMIENZO APOTEOSICO DE DAMASO
CARTEL DE LA CORRIDA DE LA PRENSA DE ALICANTE
Reinauguración de la plaza de la Linea
EL VITI Y PALOMO LINARES ACTUARAN POR FIN EN VALENCIA
ALVARO DOMECQ, FRACTURA DE LA MUÑECA IZQUIERDA
Pepe Luis Vázquez (hijo): debut con un vestido de luces de su padre
AMPLIA INFORMACION DE LOS FESTEJOS DE AYER

どこの世界にもそれに熱中する人とか通というのがいるもので、当然この闘牛の世界にもそのテの人間がいる。そういうのはスペインでは、家族・親類を見まわせば、かならず1人ぐらいはいるらしい。

闘牛の通になるにはやはりお金がかかる。中小の都会に住んでいたらいい闘牛を見るチャンスはそうないので、いい闘牛がまとめておこなわれるフィエスタに出かけていかなければならない。あるいは気に入りのマタドールを追いかけて日曜ごとにあちらの都市、こちらの都市と旅行しなければならない。

ごく普通の闘牛好きには、そんなことはできない。このごろではテレビの中継もあるので、それを見たり、週刊の闘牛新聞とか闘牛雑誌を買って読む。

闘牛新聞には、誰々がケガをしたとか、どこそこの闘牛場で見事に牛をしとめたとか、これからの日程なんかが書いてある。マタドールが何頭と闘って牛の耳をいくつ取ったかという表がのっているのもこのテの新聞だ。

おもしろいことに、こういう新聞の紙面の多くが、マタドールの個人広告でうめられている。自分でお金を出して広告をのせるらしい。

50年近く前に書かれたヘミングウェイの『午後の死』の中でもこういう新聞のことが触れられていて、当時は新聞にお金を出さないマタドールは悪口を書かれたらしい。マタドールの評価もお金の額によったのだ。

CURRO LUQUE
O EL PODER DE LA RAZON
PORQUE MADRID LO CONSAGRO

➡マタドールは自分で広告を出す

SPALDING
BEST SCORE CLUB

ポパイ諸君。走ってるかね‥‥

走ることがメシより好きだ。なんてのは行きすぎだと思うけれど体にいいことはどんどん取り入れようではないか。野球やテニスはもちろん、スポーツをより楽しむためにも基礎体力はぜひ作っておこうよ。しかし、トレーニング・ウェアはイージーに選ぶべきではない。体にフィットするよりもややルーズなものが好ましい。

スポルディングはプロスポーツの本場アメリカで生まれ育った。だからジョッキング・ウェアひとつにも、数多くの契約プロたちの経験にもとずいた適切なアドバイスをもとに、大切に仕上げられている。キミの目と手でよく確かめてほしい。だけど、ファイテング・スピリットのない男にはすすめられない。

a way of life

since 1876

スポルディング
ジョギングウェア

カネタシヤツ株式会社
スポルディング事業部

〒103 東京都中央区東日本橋2-1, Tel(03)861-1796
〒460 名古屋市中区錦1-3-27, Tel(052)211-4046
〒541 大阪市東区博労町4-44, Tel(06)251-4137
〒812 福岡市博多区博多駅前4-13-23, Tel(092)411-8197

●百貨店・プロショップ・専門店でお買い求めください

Gorra Euskadi!

ヘミングウェイの愛したパンプローナ

パンプローナも、もちろん変った。だが、ぼくら自身の方がもっと老けこんだじゃないか。
……ヘミングウェイ

●アーネスト・ミラー・ヘミングウェイ。1899年7月21日、イリノイ州ノースオーク パークに生れる。1961年7月2日、アイダホ州ケチャムで死す。

●どこの街にも〝フランコ将軍通り〟はあるけど、〝ヘミングウェイ通り〟のあるのはパンプローナだけ。

⬇闘牛場の前の通りが、ヘミングウェイ通りだ。〝パセオ〟というのは散歩道という意味

⬆闘牛場の前にあるヘミングウェイの銅像

ヘミングウェイの最初の長編小説『日はまた昇る』(1926年)はパンプローナのフィエスタ(祭り)、サンフェルミンを舞台に書かれている。この小説がパンプローナのサンフェルミンを有名にしたのだった。

サンフェルミンの祭りは毎年7月のはじめに爆発して1週間続く。毎日闘牛がおこなわれる。毎朝その闘牛用の牛に街中の道を走らせ闘牛場に追い込む。人びとは自分の勇気と体力をしめそうと、あらそって猛然と走る牛の前を駆ける。毎日何人もの人間がケガをし、ある場合は小説の中に出てくるように、牛の角に刺されて死ぬ。祭りの中でみんなが興奮する。それがサンフェルミンだ。

●イルーニャには老人しかいない。

⬅〈イルーニャ〉は由緒あるカフェだ

カフェというのはラテン的なものだ。スペインとフランスとイタリアと、それらの国々の北アフリカと中南米のかつての植民地のカフェは、広場とか大きな道路に面している。人びとはそこで外の空気に触れながら、コーヒーを飲み、歩いている人びとを見て、雑談をする。

パンプローナのカスティージョ広場のカフェ〈イルーニャ〉はヘミングウェイの小説に出てくる有名なとこだけど、今はどういうわけか老人ばかりが坐っている。若い人たちは隣のカフェに多い。

のんびりする時間、それが、ここでは大切な時間だ。

⬆⬅夕方すずしくなってからカフェはこんでくる

⬆⬅カフェでの飲物は、セルベッサ（ビール）、カフェ・コン・レチェ（ミルク入りコーヒー）、そしてコカ・コーラ。それだけでねばる

●珍本！『闘牛アルバム』。

パンプローナの本屋でその闘牛好きの主人が、店の奥からほこりをかぶった大判の厚い雑誌のような本を持ってきてくれた。〝闘牛アルバム〟と黒い表紙に書いてある。

前の方に白黒の写真と闘牛についての文章が印刷してあるけど、あとは真白だ。そこのおやじさんは、べつの袋からカラーで印刷されたマタドールの写真を何十枚も取り出し、これをこう切ってこうアルバムにはる、と身ぶりで説明してくれる。この2つが1つのセットなのだ。切りぬいてはりつけることによって完成する本なのだ。作る楽しみが味わえる。10年前に〈アルカサル〉というマドリードの新聞社から出た本だった。その本屋のおやじは本当の闘牛好きで、昔の闘牛の写真のコレクションをたくさん持っていて見せてくれた。

⬇ノリとハサミで『闘牛アルバム』を完成する。あてがいぶちでなく自分で作る本なのだ

●今年、サンフェルミンはなかった。

今年のサンフェルミンの祭りは内戦のとき以来40年ぶりに中止になった。バスク地方は今、おさえつけられてきたスペインから独立する機運が高まってきている。そのデモ隊に警官隊が発砲して2人が死んだのだった。それが祭りの前日だったためサンフェルミンは中止になり、パンプローナ警察の一番エライ人が更迭された。

⬆街には事件についての絵入りポスターがはられている ➡撃たれて死んだ場所

⬅サンフェルミンのポスター

●引用は『午後の死』（佐伯彰一・宮本陽吉訳、三笠版全集第5巻）より。

Gorra Euskadi!

➡午後9時ごろのグレゴリオ通り。まだまだ明るいのです。これから少しずつ暗くなっていく。10時ごろにならないと暗くならない。夏は夏時間を使っているので、時間の感じが狂ってしまう。3階からバスクの旗がさがっているのが見える

⬆かなりゴキゲンな感じ。「ゴーラ・エウスカディ！」なんて言っている。〝バスク万歳〟という意味 ➡ゲルニカがバスクの旗を吹き出しているポスター

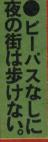
●グレゴリオ通り午後10時。パンプローナ中の若者が集まってくる。

⬇ただこうやって道の真中でしゃべりまくっているだけなのです。道交法違反で逮捕だぞ、もう

⬆かわいいなあ、このコ。ぼくの好きなタイプです。でも将来太るんだろうなあ。心配です ⬇ヒゲ青年が多いのです

ヘミングウェイのスペイン

●ポパイの楽しみ方

●ピーパスなしに夜の街は歩けない。

➡バルは満員なので、すずしい外に出てフラスコから直接ブドウ酒を飲むのです

⬇若いのが多いバルと大人が多いバルがある。ここは大人ばかり

⬇量とか品質が違ういろんな〝ピーパス〟を売っている。10円か20円ぐらいのもの。ポリポリとクセになる

暗くなり始めた午後10時のグレゴリオ通りを歩いている人間は、みんなボリボリ、豆のようなものを食べている。アレは何だ？　きょろきょろまわりを見回すと小さな売店があってみんなそこで買っている。さっそくまねして買ってみる。〝ピーパス〟というのだそうで、ようするに〝ヒマワリ〟のたね。これを煎って塩を振ってあるだけのものなり。前歯でパチッとからを割って中身だけチョロッと食べる。技術が必要。病みつきになる。

⬆なるほど、これでスペインにヒマワリ畑が多いわけが分った。ピーナッツなんかより軽くていい

パンプローナのグレゴリオ通りには、夕方になるとどこからわいて出たのかと思うほど人が集まってくる。昼間はわずかの人通りしかない閑散とした通りなのだ。夕方といってもスペインの夏は午後10時にならないと暗くならない。シェスタ（ひる寝）をして、それからひと仕事して、家に帰ってひとやすみしてから出てくるのだ。9時すぎから10時すぎの間が最盛期だ。学生、労働者、老いも若きもごったまぜ。グレゴリオ通りをブラブラ歩き、バル（バー）にはいってちょいと一杯。つまみをすこし。また外に出てブラブラと歩く。これを何度もくりかえす。飲むものは、セルベッサ（ビール）かビノ（ブドウ酒）。つまみは天プラみたいなの。

⬆この女のコもコブシを振り上げて「バスク万歳！」。左はしはミゲル君 ⬋キミたちどこから来たの？　日本、ふーん。まあがんばって

⬇この人たちおまわりさんだって。やっぱりにぎりコブシなのです

➡パンプローナの夜はけっこう寒いのだ。みんなシャツの上にセーターなんかを巻きつけて歩くのだ。このコは寒くなってあわててボーイフレンドのジャンパーを着てしまった。それでもまだ寒いのか、踊っています。どうやら旅行者のよう。フランスからバカンスで遊びに来たらしい

➡左手のタバコに注意。みんなよくのむのだ

⬋ワーどうしよう。写真に撮られるなんて、テレちゃうんだな。こんなもんでいい？　キャッ

ヒーローは、突然、現われる。
ドイツから、スニーカーの新しい風。
シティボーイ諸君にとって、ジーンズが第二の皮膚なら、スニーカーは、さしずめ第二の足といったところだろう。この頃では、ひとりで3、4足のスニーカーを持っているシティボーイは、ざら。中には一週間毎日、スニーカーを履きかえるという連中がいるとか…。ところが、そんなスニーカーにうるさい我がシティボーイ諸君も、まだ"スニーカーはアメリカ"という固定観念にとらわれてはいないだろうか？ そこで、ご紹介するのが、この"スニーカーのもうひとつのルーツ"ともいえる、ドイツからやって来た、ロミカだ。その靴造りの伝統と技術は定評のあるところだ。もはや、スニーカーなら、なんでも良いという時代は終わったといわれている今、ロミカは本物を待ち望んでいる日本のシティボーイ諸君に、新しい衝撃を与えてくれるに違いない。
ロミカ— この名門シューズ・メーカーが、
日本ゴムと技術提携。ついに上陸した。
ロミカ社は、半世紀以上の歴史をもつヨーロッパ最大のシューズメーカーだ。現在、ロミカ社は、スポーツシューズをはじめ、あらゆる用途の靴を製造していて、その名はヨーロッパ全域はもちろんのこと広くアメリカにまで知られている。この名門シューズメーカーと日本ゴムが、技術を提携して、ついにみんなの前に姿を現わしたのだ、いま、スニーカーの世界にヒーローの出現だ！
●HERRING BONE（杉綾意匠）
ロミカシューズの代表的靴意匠の一つです。滑り止めと摩耗のバランスを十分考慮した設計です。
●挿入式インソール
通気孔
踵に合わせたソール設計
足の疲れはカカトから始まります。カカトをソフトにつつむソール設計です。
綿パイル
中敷の上部には、吸湿性抜群の綿パイル使用。
アーチクッション
土ふまずを保持し、歩行の疲れを防止します。
通気孔
通気溝
凸状が足の圧力により平状になり、その反復運動により、エアポンプの作用をします。
爪先部に比べて踵部が厚く、足の疲れを防止し、歩き易くします。
●踵部ソール
踵部のソールがゆるやかにカットされています。これは、歩行運動をスムースにする人間工学的設計です。
●筒口パッティング
幅広い高級軟質スポンジで、アキレス腱を保護し、ソフトなフィット感をもたせます。
ロミカグランプリ-10
色＝オフホワイト、ライトブルー、ベージュ
サイズ＝24.0〜28.0cm
￥4,800
ロミカグランプリ-20
色＝ホワイト、ブラウン
サイズ＝24.0〜28.0cm
￥3,800
ロミカグランプリ-30
色＝ホワイト、ネイビー
サイズ＝24.0〜28.0cm
￥3,500
ロミカグランプリテニス
色＝ホワイト、ネイビー
サイズ＝22.5〜28.0cm
￥3,000
ロミカスポーツ ロー
色＝ホワイト、ネイビー
サイズ＝22.5〜27.0cm
￥2,300
ロミカPU—テニサーナ
色＝ホワイト
サイズ＝22.0〜25.0cm
￥2,800
●お求めは有名靴店、デパートでどうぞ。
ROMIKA
UNDER LICENCE BY ROMIKA, WEST GERMANY.
Asahi shoes
Nippon Rubber Co.,Ltd.
〒104 東京都中央区京橋1-10-1(B・Sビル内)
TEL(561)8421〜9

Gorra Euskadi!

ヘミングウェイの

スペイン

●ポパイの楽しみ方

➡バスク地方の田舎の風景。緑が多く柔らかな風景だ

●バスク・ルネッサンスが始まっていた。

パンプローナは昔の〈ナバラ王国〉の首都だった。このナバラ王国というのは、今の北スペイン、南フランスにまたがっているバスク地方にあった王国で、スペインとフランスに16世紀にほろぼされてしまったのだ。だいたいベレーというのは、このピレネー山脈を囲むバスク地方の牧童たちのボウシ。

それをパリに集まった各国のボヘミヤン芸術家、あるいはそういうのにかぶれたおニイさんがかぶった。そして世界中にひろがった。

このナバラ王国の最後の宰相の三男が、フランシスコ・ザビエルで、彼が日本に最初にキリスト教を伝えた。長男と次男はゲリラになってスペイン軍とたたかったらしい。日本になじみの深いザビエルもパンプローナの生れだったのだ。

国がなくなって500年近くたつのだけど、やはりここにはバスク語が残っているし、バスク人はスペイン人ともフランス人とも違う。

このバスクをもう一度、国として独立させようという運動があって、特にフランコが死んだあと盛り上っている。若い世代の風俗・文化の中にも、バスク万歳！（Gorra Euskadi！）の気分があふれている。

オートバイにはナバラ王国の紋章のステッカーをはる、Tシャツにもバスク地方の地図が描いてある、子供たちもシャツの上に4＋3＝1のステッカーをはる。バスクのフォークソングも盛んで、10年以上前の、アメリカの公民権運動とフォークソング運動の関係に似たものがある。あの中からボブ・ディランが出てきたのだけど、ここにもバスクの美しさとかバスクのアイデンティティをうたう若い歌手がたくさんいるのだ。

パンプローナは今バスク・ルネッサンスの中にあるのだ。

⬅バスク解放運動の女性のグループが出しているバース・コントロールのパンフ。性の解放をめざす実用的な情報だ

↗バスクにあったナバラ王国の紋章。ステッカーになっていて、オートバイとか車にはる ⬆"バスク万歳！"のTシャツ。こういうシャツが着られるのもフランコが死んでからのこと。その前は大弾圧を受けていた

⬆こういう落書とか、手描きのポスターが街中にあふれている。みんななかなかユーモラスで美しい。これは会議がある、という知らせ

⬆グレゴリオ通りでバスクの旗をたて、ポスター、ステッカー、パンフレットを売る活動家。楽しそうにやっている ➡典型的なバスクの田舎のおじさん

●革袋(ボタ)からどうやってビノを飲むか？

この革袋にブドウ酒を入れておいて、チューとロにそそぎ込む。これがなかなかむずかしい。うっかりすると、顔中ブドウ酒だらけ。この革袋のことをスペイン語で"ボタ"という。まあ日本でいえば、お酒を入れるヒョウタンみたいなもの。これにブドウ酒を入れて野良仕事に持っていったり、狩りや旅行や闘牛場に持っていく。闘牛場なんかでは、最後にマタドールがリンクを回ってお客にあいさつするときこれを投げる。するとマタドールがひと口飲んで投げ返す。このボタというのは、スペイン人の生活、特にバスク地方の生活にはかかせないもの。

パンプローナで、ヘミングウェイの小説に出てくる革袋屋を見つけた。店の主人によれば、革袋には2種類あって新しいタイプは内側がビニール、古いタイプはピッチがぬってある。——それじゃその古いタイプの1リットル入りちょうだい。よし写真撮ってくれたからまけてやる——と、1000円ほどのを1つ買った。スペイン語なんかできなくても手振り身振りは国際語です。次は酒屋でブドウ酒を買う。

⬆これがむずかしい。コツは左手で強く革袋を押して圧力をかけてブドウ酒を勢いよく飛び出させることにある。あとは止めるときすばやくやること

⬅大きさも形もいろんなボタがある

➡⬅ラケットはパンプローナで買ったけど左の写真はフランス側で撮った。バスクは両方にまたがる

●ペロータはパドルボール、ラケットボール、ハンドボールの元祖だ。

ペロータはバスク地方の球技。ゴムのボールを木のラケットでひっぱたいて壁にぶつけ、かわりばんこに打ち合って争うゲーム。これがつまり今アメリカで大はやりのパドルボールとかハンドボールとかラケットボール、スカッシュなんかの元祖。屋外でもやるし屋内でもやる。ハイアライなんていうのも、このペロータが変形してできたものだ。

なにしろこのペロータは、野球のバットとテニスのラケットの中間みたいなものを振りまわすので疲れる。ラケットが重たい。

このペロータの賭があって、パンプローナ、サンセバスチャンなんかのバスクの都会、それとマドリードでおこなわれる。大人気です。もちろんヘミングウェイの小説にもこのペロータについて書かれてある。

「どの村にもペロータの遊び場があり、明るい太陽をあびて子供たちが遊んでいるところもあった」と『陽はまた昇る』に書いてある。

⬆バスクのフォークソング運動のレコード ⬅バスク語の子供向き絵本 ⬇4はスペインにあるバスクの州の数、3はフランス側の数。両方合せて1つの国という意味

4＋3＝1

●引用は『陽はまた昇る』(及川進訳、角川文庫）より。

1K
2-76-10
ポパイ資料請求券

WE SKI AMERICA

'79 JAL Snow Rally ● Lake Tahoe Resort: Squaw Valley, Heavenly Valley

この冬、スキー野郎の憧れは、愉快なアメリカ・スキー。アメリカはお国柄でしょうか、スキーもハッピーそのものです。スキー場だってスケールが大きいだけでなく、アフタースキーを楽しむ施設も完璧。興奮のカジノや華麗なショーと24時間滑って遊べるのです。そこで、ジャルパックが注目したのは、タホ湖を中心に広がるアメリカ最大のスキー・リゾート、レイク・タホ。ヘブンリーバレーやあのスクォバレーはここ。たっぷり楽しめますよ。

スキー・ヘブンリーバレー8日間(1・2月発)………249,000円…(3月発)……………271,000円

スキー・カナディアン・ロッキー7日間(1・2月発)……………263,000円

スキー・ウィスラーとバンクーバー7日間(1・2月発)……………211,000円

スキー・アラスカ6日間(1・2月発)…189,000円(3月発)…211,000円……(12月発)…226,000円

スキー・ツェルマット12日間Aコース(2月発)……………378,000円

スキー・ツェルマット12日間Bコース(2月発)……………349,000円

スキー・モンブラン・シャモニーとラ・プラーニュ15日間(1・2月発)……………406,000円

JALPAK SKI

主催:旅行開発㈱運輸大臣登録一般旅行業第133号
お申込みは旅行代理店へ。●パンフレットのご請求は右上の請求券をハガキにはり住所・氏名・年令・職業・電話番号・ご希望コース・出発希望日をご記入の上で〒100-91東京都中央郵便局私書箱205号日本航空メイルボックス宛にお送りください。●持込み手荷物は1個だけに。●ご搭乗前の検査にご協力を。

日本航空

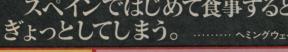
ヘミングウェイのスペイン

●ポパイの楽しみ方

Vamos a Comer

食べるのは楽しい

スペインではじめて食事するとぎょっとしてしまう。

………ヘミングウェイ

⬆手前から、ポテト・サラダ、タコ酢、鰯のマリネー、鰯のからあげ、イカの天プラ。このようなものを、シェリーとかビールとかブドウ酒を飲みながら食べる

●食事の前にバルに行ってまず一杯。

食べすぎなのだ。もう一度声を大にして言ってしまおう。絶対スペイン人は食べすぎだ!

いやそんなことはない、日本人が食べなさすぎなんだ、とスペイン人なら言うかもしれない。しかし、いくらなんでもあれはいきすぎだ。

お前は食べる楽しさを知らない、と言われるかもしれない。だけどやっぱり食べすぎだ。

北の人たちの方が南のアンダルシアの人たちより食べるらしい。

今までイタリア人が大食だと思っていたけど、スペイン人も同じ。さてその食事は、バルの一杯から始まる。

⬇デザート用の果実。たらふく食べた後でまたこれを食べます

⬇赤い大きなピーマンです

⬇腸づめとハモン。うまいのだ

●食べれば当然太ります。

スペインの女のコはかわいい。ポパイ取材班はパンプローナのレストランで、すこぶるつきのかわいいコを見つけたのだ。メロン・コン・ハモン(メロンにハムをのせたもの。メイン・ディッシュの前に食べる)を食べていた。さすが女のコ。太るのを気にして、あれだけで食事をませるのだ。あれだけでも日本のハムと違うから、けっこうおなかがふくれる。ところが予想がはずれて、次に大きな皿に野菜とレバーの煮込みが出てきた。まあいいでしょう、ここはスペインなのだから。でもあんまり食べると太るよ、と思っていると、なんと次はリブ・ロースを食べ始めた。まいった。いっしょに見ていたカメラマンは、見ているだけで気持ち悪くなって次の日ショックで下痢なのだ。いったいあのかわいい女のコはどんなウンコをするのでしょう。あれでは将来太るはずです。ここではダイエットなど問題外なのです。どんどん食べてどんどんウンコするわけです。

●このくらいペロリだ。

⬅エビを直火で焼いたもの。こんなものに日本料理もスペイン料理もない。日本で食べるのと同じエビ料理

⬅オリーブの実がおいしい。それとサラダのドレッシングにオリーブオイルがたくさん入っている

⬅ガスパチョ。多分これが一番どんな好みの日本人にも気に入られるスペイン料理だと思う。野菜サラダとスープの中間のようなもの。火をいっさい使わないのです。もともとは、暑い夏のアンダルシアの料理。なにしろセビリアは今夏45度の暑さを記録したというぐらいだからメイン・ディッシュの前にこういう冷たいスープを飲んで胃を冷やす必要がある。日本の夏にも大変よろしい。

これを飲めば胃が刺激されて、食欲がわいてくる。病気で熱があって食欲のないときなどもおすすめ品。ただよく冷やすことが大切。ぬるかったらダメ。

ガスパチョの作り方

ニンニク 4コ
ピーマン 4コ
トマト 10コ
キュウリ 3本
みじん切り
かたくなったフランスパン1本を水にふやかし、しぼる。
ミキサーにかける。
冷やす
味つけする。
ワインビネガー
オリーブオイル 又は サラダオイル
塩

●作り方　上のイラストを見てもらえば分るけど、野菜はこれだけときまっているわけではない。量もこのぐらいという感じ。冷蔵庫にある野菜をなんでも使えばヨロシイ。ただしトマト最重要。それからパンは日本では湿気の関係でなかなか硬くならないので軟らかくてもガマン。ペースト状になったものをよく冷やしてから、これも冷やした水で薄め、味つけする。味つけも好み。サラダのスープなのだ。

あれだけ食べるためにはビノ(ブドウ酒)が絶対必要。ミネラル・ウォーターとかビールなんかでは、あれだけの量を流し込めるはずがない。しかし、多く注文しすぎないように注意すれば、スペインの料理はおいしい。それぞれの地方にそれぞれの特色がある。

タコとかイカとか貝の料理なんか日本人の口に合うと思う。ただアッホ(ニンニク)とオリーブオイルを使うから、それがきらいな人はだめ。

なにしろスペインに行ったら食事時間はたっぷりとって、ゆっくりあせらず、ブドウ酒を飲みながら食べるのです。自分でも驚くほど食べられるものだ。

⬅パエジャ。日本では〝パエリア〟と言っているけど、あれでは通じない。ようするに、エビ、貝などのたき込みゴハン。日本のお米と違うパラパラのお米がおいしい

⬅子豚のロースト。〈カサ・ボテイン〉で食べたもの。そのテンマツについては96〜97頁参照のこと。ヘミングウェイの大好物だったらしい。いろんなとこに書いている

●食べることはいいことだ。たくさん食べることは楽しい、という意識が徹底しています

●引用は『陽はまた昇る』(及川進訳、角川文庫)より。

SANSUI
J33
art directors' index to photographers no.4
art directors' index to photographers no.3
AMERICAN SHOWCASE OF PHOTOGRAPHY & ILLUSTRATION
CHASIN' THE TRANE
SWING JOURNAL

FIGHT IT OUT
振りむくな、最後まで
あのコンサイスコンポが
50台当る!
グンゼ YG サウンド BIGプレゼント PART II
締切/昭和53年
11月5日㊐消印有効
クイズ
◯の中に当てはまる英字は?
ヒントをよく読んでお答えください。
グンゼYGは、
◯OUNGにふさわしい
◯UTSな男の肌着です。
ヒント
鋭いカッティングでスリムなライン。
情熱の白 —— グンゼYGは、コットン100%。
YOUNG にふさわしい GUTS な男のアンダーウェアです。
応募方法
クイズの答と、住所・氏名・年令・電話・郵便番号をご記入のうえハガキでご応募ください。店頭の応募ハガキ、または官製ハガキのいずれでも応募いただけます。
あて先 〒530 大阪中央郵便局留置
グンゼ株式会社 グンゼYG
サウンドBIGプレゼントPART II 係
締切 昭和53年11月5日㊐(消印有効)
抽選・発表 正解者の中から、11月中旬に厳正に抽選します。BIGサウンド賞は、11月下旬読売新聞朝刊紙上に発表すると同時に当選者に直接ご連絡いたします。なおYG賞は、景品の発送をもって発表にかえさせていただきます。
※関係者のご応募はご遠慮ください。
※現金引き換えはいたしません。
BIGサウンド賞
※写真の品をすべて差し上げます。
コンサイスコンポ
Technics
■ステレオ/モノDCパワーアンプ — SE-C01
■ステレオプリアンプ ——— SU-C01
■FM/AMチューナー ——— ST-C01
■リニアフェイズスピーカーシステムSB-F2×2
(スピーカースタンドSH-SI付)
■D.D.フルオートマチックプレーヤー SL-1301
■ステレオカセットデッキ —— RS-M75
■オーディオタイマー ——— SH-4040
■アンビエンス・コントローラ — SH-3040
■マイク/シンセサイザミキシングアンプ SH-3035
■ステレオヘッドホン ——— EAH-320
■ミキシングマイク ——— RP-3010
(マイクスタンドRP-3010付)
●メーカー標準価格¥456,700
YG賞 グンゼYG
"FIGHT IT OUT"Tシャツ
10,000枚
グンゼYGオリジナルTシャツを10,000名の方にプレゼント。
サイズはグンゼYG114Ⓜサイズ。
情熱の白
グンゼ
UNDERWEAR
YG

Visca Barcelona
ビバ・バルセロナ

●スペイン人は散歩が大好き。

⬅タダだと思って坐っていると、時時思い出したようにお金をとりにくる。10円ぐらい

スペイン人は散歩が大好きな国民なのだ。街に住んでいるスペイン人はみんな散歩フリークだ。

どこの街にも夕方散歩をする道というのがある。大きな都会なら散歩に適した道というのがいくつもあるけど、バルセロナだったらまずランブラス通りだ。

犬をつれたり友だち同士でみんなぶらぶらと歩く。疲れれば、道のはしにおいてあるイスとかカフェのイスに坐って、今度は自分が歩いている人を見る。

散歩をしていると、散歩をしている友人に出会う。すこし話してまた別れる。これがスペイン風の都会の人のつきあい方だ。会いたい友人がいたら、電話をかけて約束する必要はない。彼が行きそうな散歩道にこちらも散歩に出かけるのだ。その方がわざわざ約束をつくって会うよりずっとスペイン的だ。散歩とひる寝と食事。これがスペインでは重要なことなのだ。

カタルーニャ広場
サンタアナ教会
ランブラス通り
ベレン教会
ゴシック地区
装飾美術館
リセオ劇場
レアル広場
チーノ地区
グエル邸
ろう人形館
N
コロンブス記念柱
サンタマリア号実物大模型

⬆散歩道には木が植わっている。どんなに暑くても木陰はすずしい

⬆犬がいれば散歩はより楽しくなる

⬇あなた、花なんかでごまかそうと思ってもそうはいかないわよ。今日こそ家に来て父にあいさつしてよ

⬅おじさん、ヘミングウェイの親戚?

⬆日本の都会は散歩しようにもなかなかいい道がないものね。うらやましいよ。スペイン人によれば、散歩は肉体と精神の両方にいいんだって。生き生きしてくるのだそうだ

ライトニングボルト/メンズ&ギャルズスポーツウェア、サーフボード、スケートボード及び関連商品
Lightning Bolt
A PURE SOURCE®
波の意志にさからわず、最もよい状態で
ライディングする。けっして波を
ねじふせるのではなく、波に体をまかせるように……
ハワイアンスタイルのサーフィン哲学だ。
だからハワイに住むサーファーたちはマイペースだ。
自宅で芝刈を楽しみながら、
コンディションの調整をする。
心の余裕が、いいライディングに
欠かせないことをよく知っている。
ライトニングボルトは、ハワイ生まれ。
本当のサーフィンを知っている。
Take what you get
あるがままに。 ジェリーロペス
〈ライトニングボルトジャパン株式会社〉
東京都千代田区神田
鍛冶町3-5工藤ビル4F
TEL.03-254-0171
大阪本社・営業部商品センター
大阪府泉佐野市鶴原2553
TEL.0724-64-6996
ライトニングボルトはハワイで生まれたアメリカのブランド名です。日本ではライトニングボルトの名を語った製品が出廻っていますがライトニングボルトのブランドは、ライトニングボルトジャパン社のみにその使用が許されています。類似品にご注意ください。

←へー、日本にもパンクがいるの、初耳だねえ。ヨロシク言ってくれよ。ちょっとそいつらにあいさつするから写真撮れよ

↓このパンク男、カメラを食べようとした!

パンクはエゲレスのものだけではありません。ちゃんとバルセロナのランブラス通りにもおります。「ハッホー」などという奇声を発して飛びはねておる。

●バルセロナにもパンクはいるぞ!

だいたいバルセロナというのはスペインで一番プログレッシブなところで、悪口を言う人は、あそこはスペインではなくて外国だ、なんて言う。事実、バルセロナは国際都市でヨーロッパのほかの国の風俗をスペインで一番敏感に受けとめるところ。バルセロナ以外では今のところパンクは出現しないだろう。

このテの恐怖のパンク男ならびに女装の男性（こちらはたいていプロ）に会いたいお人はまずランブラス通りで、ホテル・オリエンテを見つける。ランブラス通りの中ごろ西側です。その1軒北に小さなドラッグストアがありますね。この24時間営業のドラッグストアがこのテの"飛んでる人間"のたまり場。ふらっと入ってビールでも飲みながらピンボールでも楽しくやればヨロシイのだ。

Visca Barcelona

●マリワナ解禁にはほど遠いけど、スペインでもマリワナは問題になっている。

←マリワナの育て方のマニュアル

⇒「とうちゃん、マリワナいっぷくやろうよ」「まったくこのごろのガキは……」

マリワナをすうということは、もはやとめることのできない、世界的な動きなのだ。ヨーロッパでは一番こういうことのおくれていたスペインでも、マリワナの育て方なんていう本が本屋にならんでいる。雑誌でも取り上げられているし、マンガにも登場する。

スペインのマリワナはだいたいモロッコから入ってくる。ハッシッシのかたちになったものが多い。

モロッコではマリワナは外国タバコより安いし、内陸部に入ると昼間から広場かなんかですっているぐらい。それが多量にスペインに入ってきてるわけだ。

●知らない間にスペインのポルノ解禁は日本を追い越してしまった。

ああ日本は絶望的なのだ。知らない間に、スペインまでポルノを解禁してしまったのに、この日本ではあいかわらずつまらない取締りを続けている。そしてくだらない裁判がえんえんと続くのだ。

アルものはアルように見せればヨロシイのだ。それをかくしだてするのはバカらしいのです。ファック・シーン映画も写真もそんなたいしたものではないのです。まず全部解禁してしまえばいいのだ。

あの前をキミョーにおさえたりしたヌード写真、あげくのはてに修整までしたヌード写真が日本の雑誌から早くなくなることを望むものです。アルものがナイなんて、おかしいと思わない? スペインはカトリックのうるさい国で、ついこの間まで胸がチラッと見えてもダメ。それが解禁に踏み切ったのだ。当然です。

このままでは、日本は一番おくれてしまう。いつまでも不自然なヌード写真が雑誌をかざるわけ。絶望的!

↓フォト・ノベラのポルノ

↓街角のキオスクにずらっとポルノ雑誌がならんでいる。ビニール入りがドぎつい

●ホモセクシュアルの"自由化"も進んでいる。

↓キオスクで買える雑誌

スペインはマチョ（強い男）の国なのだけどホモが多い。そうじゃない。マチョの国だからホモが多いのだ。そのホモが浮上してきた。数は変らないけどオモ・ポデル（ホモ・パワー）なんて言葉も登場してきて、ホモが堂々と表面に出てくるようになった。

マティスモ＝男らしさを追求するとホモになっちゃう。女なんかバカにする。男だけが価値になる。

筋骨隆々でものすごく男っぽいのがホモだったりする。女なんてなよなよしているのに興味なくなってしまう。

子供のときから男らしさの価値を強く押しつけられるので、女に弱さを見せられなくなる。女と関係がうまくつくれなくなる。ぼくはホモじゃないけど、その気持ちよく分るよとスペインの友人が言う。

もとスペインの植民地だったメキシコも同じこと。マチョの国だからホモが多い。

ホモということで、なよなよしたのを想像するのはおくれているのです。マチョの国のホモは強くて男らしいのだ。

↑このMr.アメリカは体が触れるとすぐどなりつける

↑もう若くはないホモのカップル

WESTCOAST
10
PEDWIN
ずんどう靴
ペドウィン〈サファリブーツ〉。No.1260。
まず、足首から上の部分を見ていただきたい。ほぼ一直線である。ちょいと太めである。そう、ルーズフィット・ラインなのである。だから足をいじめない。歩きやすい・はきやすい・脱ぎやすい。そのうえ、ラウンド・トウ(丸味のあるつま先)、しなやかな牛革の素材、タフレン・ソールと呼ばれる底が、はき心地の良さを助け、大自然に負けない耐久性をつくり出している。自然を愛する冒険児に、おすすめしたいこのペドウィン。
③
②
①
はきやすさ
Pedwin®
ブラウン社技術提携──日本製靴株式会社
①No.1260②No.1258③No.1259※色はそれぞれベージュ、キャメル。

Visca Barcelona

⬅この建物、地震がおこったら一発でくずれそう

●天上の神様も驚いたガウディの教会。

⬅〈カサ・バトリョ〉。これも住居とか事務所に使われている　⬇〈グエル公園〉。子供の遊び場に最適なり。子供だったらガウディの造った変な公園でもなんとも思わないで自然に楽しく遊ぶだろう

⬆〈カサ・ミラ〉。人がちゃんと住んでいます。テラスなんかにポリバケツが置いてあったりする

やっ驚いてしまった。本当に驚いたぞ。建物を見てこんなに驚いたのはじめて。写真を見たり、話に聞いてはいたが、聖家族教会(サグラダ・ファミリア)を見たときはまさしく仰天。

シティボーイたるわれらが考えている都市と、このガウディという建築家のおじさんの考えていた都市はずいぶんと違うらしい。このおじさんの考えていた都市はこれはずいぶん奇怪なものだろう。

スマートな日本のシティボーイは、ただただあきれてサグラダ・ファミリアのまわりを歩いたので、首が疲れてしまった。

これは未確認情報なのだけど、ガウディがサグラダ・ファミリアを造り始めたとき、天上の神様もあの男何を造り始めたのかと驚いたという。それが教会だと聞いていよいよあわてたらしい。

このおじさん、1926年に市電にひかれて死んでしまったのだ。

●『マジンガーZ』は『スター・ウォーズ』と並ぶ人気なのだ。

⬇『レクチュラ』誌の特集。カラー見開きポスターも入ってる

GO NAGAI, EL CREADOR DE "MAZINGER-Z", ENTREVISTADO EN SU CASA DE TOKIO

⬆➡アメリカにも東南アジアにも、わが日本のテレビマンガが輸出され、子供たちが熱狂しているけど、スペインでは今『マジンガーZ』が大人気。ナガイ・ゴーさんは有名人

バルセロナでは右をむいても左をむいても『マジンガーZ』なのだ。映画はヒットしているし、土曜日の2時30分からテレビでやっていて、子供たちは釘づけ。本屋に行けば絵本が何冊もあるし街のキオスクに行けばマジンガーZのマンガがいくらもある。もちろん、おもちゃもあります。なんでこんなにマジンガーZがはやっているのか不思議。『スター・ウォーズ』とならぶかそれ以上の人気なのだ。

大人の雑誌もこのマジンガーZブームの記事をのせている。たとえば『トリウンフォ』という真面目な雑誌はそれこそクソ真面目にこのブームを批判しているし、『レクチュラ』は永井豪の東京の家の訪問記をのせている。これがなんともケッサク。永井豪がお母さんといっしょに写真におさまったりしている。これを本屋で見つけたとき、笑っちゃった。

⬆絵が日本製でないのもある

●今週の催し物が知りたかったら『ギア』を買う。

⬅毎週出てます。20ペセタだから50円

シティボーイたるもの、ある都会に着いたら、まずその都会についての情報が満載されている雑誌か新聞を見つけなければならぬ。映画、コンサート、芝居、テレビなどの情報を知りたい——そういうとき、スペインなら本屋か街角のキオスク(売店)に行って『ギア』を買う。バルセロナ版とマドリード版がある。

今週の映画、音楽から始まってレストランの紹介から《バルセロナ・エロティカ》なんていうページもあります。全部スペイン語。

あれ、あなたスペイン語が読めないって? あんなもの念力を使えば簡単。文法なんか必要ない。ジーッと見つめれば意味なんか分る。だいたい書いてあることといったら、店の名前と住所、電話番号、営業開始時間ていど。そんなものならただジーッと見れば分るわけ。

「あんまり話すと大事なものが失われてしまうかもしれないよ」
「だからそのまわりだけ話しているのよ」
………ヘミングウェイ

●引用は『日はまた昇る』より。(室謙二抄訳)

クラボウ

AUTO-BI

THE MAN

アメリカ綿使用　WORKING WARDROBE

男にコットン。男にザ・マン！

したたかな男たちのために「ザ・マン」
ワークに良し、ウイークエンドにまた良し.
色はアーミー・グリーンとサンド・カーキの2色
素材は自然繊維コットン100%のみ使用.
だから着心地も良いにきまっている.
ばっちりハードに着てほしいものだ!

●カバーオール(つなぎ)●綿100%●Y7,600　Y8,300
●シャツ●綿100%●Y4,100
●ジャンパー●綿100%●Y4,100
●ウインターベスト●綿100%●Y5,200
●ウインターコート●綿100%●¥12,800
●スラックス●綿100%●Y3,000　Y3,400　Y4,800
●ショートコート●綿100%●Y5,200
※ウオッシュアウト製品もあります(別価格)

オートバイ印　山田辰株式会社

for OUTDOOR LIFE
SHORT COAT

●全国の「ザ・マン」ショップにお問い合わせください。

ザ・マン札幌
札幌市狸小路1丁目 ☎(011)271-1555
札幌市南6条西3丁目(ススキノ) ☎(011)511-4538

ザ・マン北見
北見市2条西2 ☎(0157)24-2095

ザ・マン釧路
釧路市北大通11丁目 ☎(0154)22-4782

ザ・マン室蘭
室蘭市海岸町 ☎(0143)22-8115

ザ・マン函館
函館市入船町1-6 ☎(0138)23-2495

ザ・マン八戸
八戸市小中野新町橋のたもと ☎(0178)22-3926

ザ・マン弘前
弘前市上土手170 ☎(01722)2-1703

ザ・マン仙台
仙台市1番町1丁目14-48 ☎(0222)27-1511

ザ・マン新潟
新潟市本町12番町 ☎(0252)22-3035
新潟市山ノ下北葉町 ☎(0252)74-7211

ザ・マン長野
長野市南石堂町1丁目 ☎(0262)26-4419

ザ・マン甲府
甲府市中央4-9 ☎(0552)35-4111

ザ・マン東京
東京都千代田区岩本町3丁目5-6 ☎(03)861-0218
東京都世田谷区代田6丁目30 ☎(03)460-3751
東京都中野区本町1-33-24 ☎(03)372-0174
東京都足立区千住3-7 ☎(03)882-1881

ザ・マン横浜
横浜市中区宮川町3-89 ☎(045)241-8911

ザ・マン沼津
沼津市上本通り10 ☎(0559)62-4390

ザ・マン清水
清水市村松1丁目1-8 ☎(0543)34-2521

ザ・マン名古屋
名古屋市港区港本町2-4 ☎(052)661-2219
名古屋市西区藤ノ宮通り ☎(052)565-1407
名古屋市千種区都通り1丁目 ☎(052)722-4055

ザ・マン京都
京都市東山区三条通東山線東2丁目 ☎(075)771-4910

ザ・マン大阪
大阪市城東区中浜3-9-15 ☎(06)961-2923
大阪市平野区平野京町 ☎(06)791-6650
大阪区西区本田町3-2-4 ☎(06)582-6067
東大阪市上小阪2丁目4 ☎(06)723-6566
大阪市住吉区沢の町98 ☎(06)694-1201
大阪市西淀川区出来島3丁目1 ☎(06)474-1000

ザ・マン神戸
神戸市兵庫区羽坂通3丁目 ☎(078)575-0341

ザ・マン和歌山
和歌山市北ブラクリ町 ☎(0734)22-5232

ザ・マン福山
福山市船町6-20 ☎(0849)21-3333

ザ・マン広島
広島市京橋町7-10 ☎(0822)61-6281

ザ・マン福岡
福岡市博多区上呉服町12 ☎(092)291-1178

ザ・マン大分
大分市府内町1丁目 ☎(09752)34-3721

ザ・マン長崎
長崎市樺島町6-1 ☎(0958)22-3709

ザ・マン熊本
熊本市川原町2 ☎(0963)54-0753

ヘミングウェイのスペイン

●ポパイの楽しみ方

●オートバイはタンデムが美しい。

➡古いオートバイも日常に使うのです　➡めずらしく日本製

➡イギリスのノートンのカフェレーサー。日本のオートバイの日の出の勢いにつぶされかけているイギリス製もバルセロナではけっこう走っている　⬇「操縦させろと言うからさせてるけど、タンデムシートはたいくつでアクビが出るよ」

⬆めずらしくヘルメットをかぶっている安全第一派　⬇ラフを突っ走るモトクロッサー風のデザインのオートバイを都会で乗るのだ

日本のオートバイは世界で一番だ。加速性能、高速性能、コーナリング、操縦のしやすさ、メインテナンスの容易なこと、故障の少ないこと、それに安さ、みんな日本のオートバイの優秀さを物語っている。その上オートバイのレースで、特にロードレースで日本のメーカーが真剣に取り組んでいるクラスは、みんな勝っているということが日本のオートバイが世界で一番だということを証明している……。

というのはウソだ。日本のオートバイが世界で一番だというのは思い上りだ。オートバイというのは、乗り手である人間とオートバイと、環境によってはじめて完成するプリミティブな機械なのだ。機械としてそのオートバイがいかに優秀でも、それがいいオートバイだとはかぎらない。

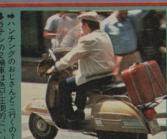
ラテンの国の作るオートバイは美しい。それは大企業の作った計算されたオートバイでなしに、人間の作ったオートバイなのだ。

バルセロナの街をオートバイが走る。ヘルメットをかぶらずにタンデムでぶっ飛ばす。

⬆あんまり言いたくないけど、そんな風にして新聞読んだら目が悪くなると思うよ

●スクーターはラテンの都会の乗り物だ。

➡ハンチングのおじさんどこ行くの？　⬇ラテンの2輪車は色が圧倒的にいい

日本ではどうしてスクーターがなくなってしまったのだろう。戦後の一時期、ピジョンとかラビットとか、それにホンダのスクーターがあんなに走っていたのに。

⬆ツッパリ革ジャン派は真黒なスクーターできめる。

20歳以下の人はそんな記憶はないかもしれない。でも、日本もかつてスクーター国だったことは記憶しておいてもいいことだ。

スクーターというのは本質的にラテンの都会の乗り物らしい。イタリアとスペインがスクーターのおもな生産国だ。日本ではスクーターをスーパーカブのような機能第一のモペッドが駆逐してしまった。機能だけ、性能だけを考えれば、スクーターはオートバイやモペッドにおとるかもしれない。

でも2輪車は性能とか機能だけの機械じゃない。未完成の機械、人間がおぎなってはじめて完成する機械だ。

日本人とラテンの国民とでは機械というものに対する考えが違うのだろうか？

ラテンの機械は美しい。

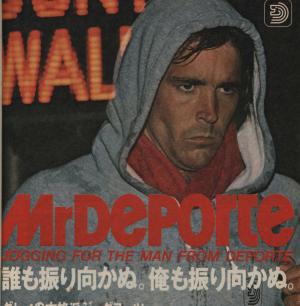
⬆2輪車は若者だけのものではないはずだ　➡男のコの脚もきれいだけど、ちらっと見える女のコもかわいいな

⬆フォーマルなスーツもスクーターに合う

⬆「後ろに乗る？」

MrDeporte
JOGGING FOR THE MAN FROM DEPORTE
誰も振り向かぬ。俺も振り向かぬ。
グレィの本格派ジョグスーツ
MrDeporte

Camping

狩猟民族はキャンプが大好き

われわれは裸のまま、短い草の上に日を浴びて寝そべり、つぎに木蔭で休んだ。

……… ヘミングウェイ

●キャンパーはヨーロッパ中からスペインにやってくる。

➡彼らは友だち同士でドイツからやってきた。北ヨーロッパの人間は夏の間にできるだけ太陽をあびようとする

●ヨーロッパじゅうのナンバーが、スペインのキャンプ場にはある。そこで話される言葉も、フランス語、ドイツ語、英語、スペイン語、オランダ語、バスク語、イタリア語と多種多様だ。夏はバカンスの季節だ

⬇ナバラ州のキャンプ場

ヨーロッパ人はキャンプが大好きだ。狩猟で暮した彼らの祖先をキャンプで思い出すのだろう。そしてわれらがパパ・ヘミングウェイもキャンプと狩猟が……大好きだった。都会に閉じ込められた肉体を、広い自然の中にときはなつのだ。青い空の下で新鮮な空気を吸い、野山を歩き、水に泳ぐ。そうすると、都会に閉じ込められた肉体が昔の人間の肉体に返っていく。

バカンスになるとヨーロッパ人は自分たちの車に、テーブル、イス、自転車、ボート、オートバイ、テントその他なんでも積んで南へ南へと……民族大移動だ。家族みんなで、友だち同士でこのスペインにやってくる。ピレネーをこえて、スペインにはヨーロッパ中の車がやってくるのだ。

政府のツーリスト・オフィスに行けば、全国のキャンプ場の地図をただでくれる。その裏にはそれぞれのキャンプ場の設備がちゃんと印刷してある。

日本は全国が一つの都市のようになってしまった。田舎がどんどんなくなっていく。ヨーロッパでは大きな都会からでも少し車で走れば、すぐそこは田舎の風景だ。車を降りて、イスとテーブルをおろして、木陰で食事をするのだ。

⬇ヘミングウェイの愛した釣り場ブリュゲーテで会った2人組。BMWに乗った彼らはスイスから来た

●イベリア半島をクルマで旅するのは快適だ。

●道はいいとは言えないけど、交通量も少ないし人もいないので、みんな100キロで飛ばす

⬅フランスからスペインへの国境。簡単に通過できる

⬆車で走っているとこういう息をのむような風景にも出合う。小さな白い壁の家々が立ち並ぶ村の教会から鐘の音が聞えてくる

➡ロバに乗ったバスクのおじさん

イベリア半島を旅行するなら車が快適なのだ。500キロぐらいなんの苦もなく1日で突っ走ってしまう。オートレースの好きな国だけあって、みんな、こまめにシフトダウン、シフトアップして山道だろうが平野の道だろうがビュンビュン飛ばすのだ。大きなオートマチックの車より、小型の車の方が運転が楽しめる。

地図はフランスのタイヤ会社のミシュランの出している地図とグリーンのガイドブックのセットになったやつを買うか、本屋でスペインの道路地図を買えばいい。日本の道路と違って、標識もちゃんとしているし、めったに道に迷うこともない。

イベリア半島は車の天国だ。車が大地を高速で移動する機械として発明され発展してきたのだということ、日本では気づかない当りまえのことを思い出させてくれる。

その上、車で旅行すれば、飛行機とか汽車では出会えない、その土地に住んでいる人びとに出会えるのだ。

●引用は『午後の死』(佐伯彰一・宮本陽吉訳、三笠版全集第5巻)より。

AMERICAN CASUAL
スポルディングをはく男の顔は、なぜか晴れている。
どこがどうイカスかの図
アメリカが漂うはきやすい本物
ヘビーデューティみたいで、けっしてそうじゃない。ぐんと都会的にセンスアップされた洗練さが身上のスポルディング。あくまでナチュラルな感覚を大切にしたはきやすい本物だ。アメリカのあの行動的なヤングたちのハートが息づいている。レジャー、スポーツ、タウンなど、いろんな風にはきこなしてほしい。
しなやかな風合い、自然志向の素材
素材は油を含浸させた高級オイルレザー使用の本物だ。浸みこんだ油がアンティックな雰囲気をかもし出している。風合豊かなしなやかさ。ソフトな肌ざわりで、レザーの味が満喫できることうけあい。起毛したレザーは流行のベロアで、とくに吟味された上質のキップ本ベロアを使っている。自慢してはいてほしい。
軽いウレタンソール D·U·S製法の採用
靴底、それはもう軽いの一言。はいてみると見た目よりもぐ〜んと軽快、あまりの軽さに足があっとおどろく、と言ったヤングもいるくらい。秘密はダイレクト・ウレタン・ソールという世界特許の製法にある。比重0.6、ゴム底の4倍、スポンジ底の10倍も強い耐久性を誇るウレタンソールを使用している。また、底の斬新なパターンは、歩行の機能性を徹底的に追求したもの。柔軟ではき心地がよいことでも人気をよんでいる。
足首にもはきやすさが……
足首ってのは靴にとって大切な部分だ。ここが悪いと疲れやすいし、動きにくい。そこで、スポルディングはこの足首の部分に、ソフトタッチの高級革とスポンジを組み合せたパットを使用。足の当りがよく、しかもしっかりガードするよう工夫されている親切さだ。
スポルディングをはくと、街はカントリーロード。
アンティック調、落着きのあるアクセサリー
スポルディングは行動的なアンティック調。まずハトメを見てほしい。SPALDINGマーク入りの特製真鍮だ。ロー引きの靴紐は胛革、ハトメのアンティック調にマッチした落着きのある雰囲気をつくっている。また、太いステッチの縫糸が手づくりの味をかもし出しているのもいかすポイント。
外からは、見えないけれどクッションのいいインソールも
インソール…靴底の中側のこと。アーチ部にスポンジが入っていて、最高のクッションが得られる機能的な配慮がなされている。またデザインはSPALDINGのマーク入り。ここにもアンティックなアメリカンイメージが漂よっている。
風合い豊かな手づくりの味、本物が全部で25種。
パッケージは、あとで役立つツールボックス。
a way of life
SPALDING
since 1876
スポルディング・インターナショナル・インコーポレーテッド・イン・ジャパン
東京都千代田区内幸町2丁目1-14(日比谷中日ビル10F)
総発売元　東洋ゴム工業株式会社　スポルディング部
京都府綾部市栗町沢115 TEL (0773) 47-0221

De Pesca en Burguete

ブリュゲーテへの道

五日の間、私たちはブルゲーテにいた、おもしろい釣りであった。

………ヘミングウェイ

●ブリュゲーテはヘミングウェイの釣り場。

⬆〈ホスタル・ブリュゲーテ〉。ヘミングウェイは50年前にこの宿屋に泊まった。ここから歩いて丘をこえてイラチ川の支流の釣り場に通った　⬇ブリュゲーテの教会。どんな小さな村にもかならず立派な教会がある。カトリックが生活の中心にしっかりと腰をすえている

⬇緑の木々にかこまれた川のよどみでマスを釣る。彼はドイツからやってきた。この直後かたちのいいマスが釣れた

パンプローナから東北の方向にフランスの国境に向ってのびる135号線を走り出す。まわりは平野からゆるやかな丘陵地帯になって、麦畑と牛のための牧草地が広がっている。時々、白い壁の家々が立ち並ぶ小さな村を通りすぎる。この道を40キロちょっと、時間にして45分ほど走ればブリュゲーテだ。ブリュゲーテを通りすぎてそのまま走れば、30分ほどでフランスに入ってしまう。

ブリュゲーテはヘミングウェイの好んでいた釣り場で、小説とエッセイの中で何回か触れている。そのブリュゲーテに向う途中、1つ手前の村でミネラル・ウォーターを買いに食料品店に入った。

⬇ブリュゲーテからもう少し北に走ればすぐ国境だ。国境を持たない日本では想像しにくいのだが、パンプローナを朝10時に出発してフランスのバイヨンヌまで行って昼食をたっぷりとり、おそい午後にはパンプローナに帰ってこられる

おばさんに怒られてしまった

スペインの夏の日射しは強い。のどがかわいてしようがないのだ。ミネラル・ウォーターを買ったついでに、カメラマンが店内の様子をカチャッと写真に撮った。「ノー！」とそこの女主人らしいのが飛び上ってさけぶ。40代後半のフランス系の顔立ちの女性だ。

店を出て車のところにもどると大変な剣幕で飛んできて私たちにスペイン語でまくしたてる。写真を撮られたことを怒っているのだ。なにか宗教的理由があるのかもしれない。目に殺気がある。尋常でない。

英語と日本語であやまるのだけれど許してくれない。私たちの身分を証明する手紙を出して、あとでフィルムは捨てると身振りで言うのだけど、向うは今ここでカメラをあけろ、と言っているらしい。結局もの分れ。彼女は私たちの車のナンバーをノートに書きつける。

ごめんなさい、おばさん。あのフィルムは約束どおり破棄しました。『ポパイ』にはのせません。

ブリュゲーテは別に特別な村ではない。普通のバスクの村だ。

⬇マスとハモン(ハム)をバターで焼いて、レモンをしぼって食べる。ブリュゲーテの小さなレストランで食べたマス料理。おいしいのです

●ブリュゲーテに行くと言ったら、スポーツ用品店のおやじが親切に道具をそろえてくれた。

➡ミミズ入れ。10センチほどの大きさのもの　➘釣りにはかかせない折りたたみイス。1,500円　⬇長グツの上からはく滑りどめ1,000円　⬅長グツ4,000円。以上、全部スペイン製

⬇〈マルプン〉のおやじと義理の息子と孫たち

⬇釣り具は日本製が多い

スペインで釣りをするのには、まずライセンスが必要だ。これは釣り道具なんかを売っているスポーツ用品店が手続きをしてくれる。ヘミングウェイがはじめてスペインで釣りをした50年前もそうだったし、今もそうだ。

パンプローナの釣り道具とハンティングの道具を売っている店〈マルプン〉で私たちは釣りに必要な道具をそろえた。そこのおやじによれば、スペインでも川が汚くなってきたのかマスなどの川魚が少なくなってきたという。ブリュゲーテに行くのだと言うと、パンプローナの街から135号線に入るまでの道を地図に書いておしえてくれた。

釣りはヘミングウェイの愛したアウトドア・スポーツの一つだ。彼は海で大物も釣れば、川に入って川魚も釣った。

ヘミングウェイは釣りとハンティングとそして闘牛について、実にめんみつにたくさんの文章を書いている。彼はそれらの愛しているスポーツをやりたいだけやって、愛しているお酒を飲み、愛している国に旅行して、愛している地方に住み、自らすすんで戦争に参加した。彼は好きなことをやって、好きなように死んでいったのだ。

わがままのように見えるかもしれない。だけどヘミングウェイの生き方は、一つの理想的な生き方だ。

彼は1961年に死んだ。

FRANCE
Burguete
44.5km
PAMPLONA
SAN SEBASTIÁN
MADRID

●引用は『陽はまた昇る』(及川進訳、角川文庫) より。

コーデュロイ・ジーンズ!!

キー・リングの付いたコーデュロイ・ジーンズ……発売中。

14wales

10wales

MATERIAL

エドウィン・コーデュロイ・ジーンズの素材は本格的なアメリカ綿を使用。コットンの自然の素朴さとソフトな感触を生かした最高のマテリアル。この選ばれた素材にふさわしい研究しつくされたシルエットを持っています。感覚が多様化しても、エドウィンが追求するのは常に良いジーンズを作り上げること——この秋、14ウェールと10ウェールのコーデュロイ・ジーンズにその成果が結晶。

14 wales or 10wales

コーデュロイの畝(うね)の太さをウェール(wale)という単位で表現します。14walesとは1インチ(約2.5cm)の間に14本の畝を、10walesとは10本の畝を持つコーデュロイのことです。つまり14walesが細コーデュロイ、10walesが中コーデュロイということです。

COLOR

エドウィンのコーデュロイ・ジーンズはカラー・バリエーションが豊富です。14walesのジーンズは17色、10walesのジーンズは14色展開です。お好みの色をセレクトしてください。

キー・リングはシティ・ボーイの華麗な小道具

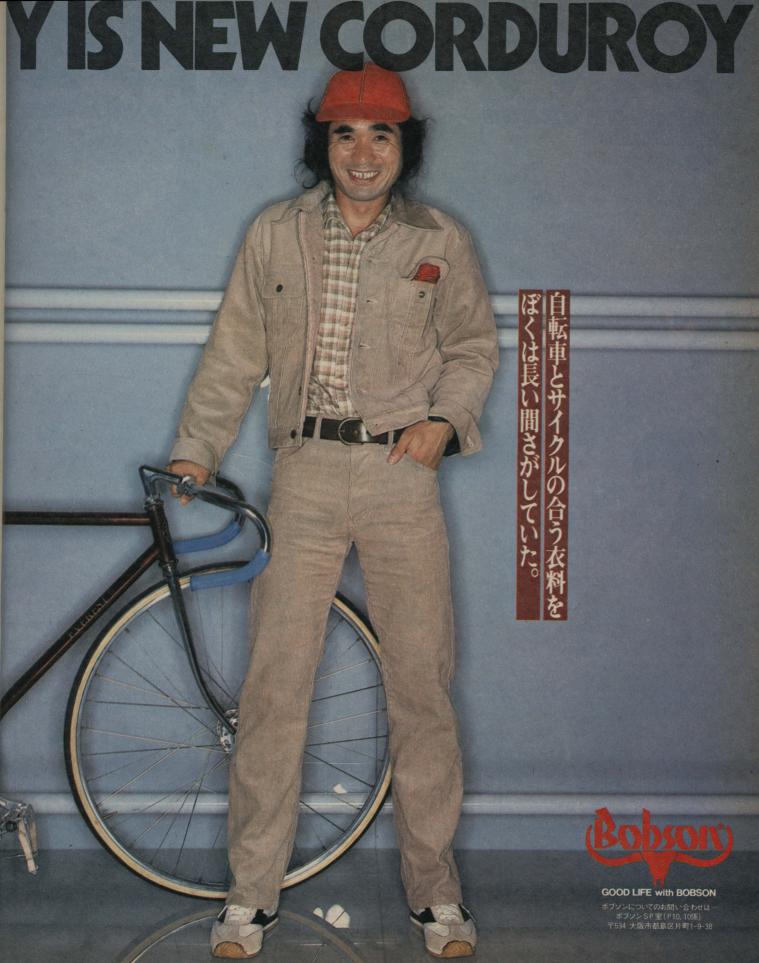
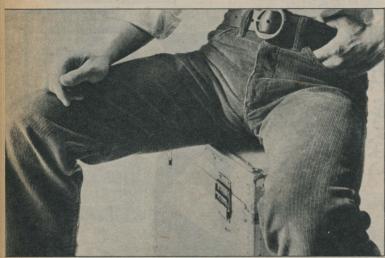
キーリンググは今、ジーンズのアクセサリーとして実用的で、しかもニートな感覚がよいのでシティ・ボーイの間で大流行の兆がある。

このコーデュロイ・ジーンズは9月1日より発売中。腰にキラキラと輝かせて歩けば、やがて土曜日の夜。キャンペーンの詳細はキャンペーンポスターの貼ってある全国のジーンズ・ショップでお聞きください。

ブルー・ジーンズのエドウィン。

EDWIN®

SOLD ONLY AT THE FINEST STORES.

アメリカ・コットンの

CORDUROY JEANS BY EDWIN

●アメリカ綿使用

付いてるわヨ！

キー・リングが付いているエドウィンのコーデュロイ・ジーンズ4アイテム

14wales スリム ¥3,800	14wales ストレート ¥3,800	14wales フレアー ¥4,200	10wales アメリカン ストレート ¥4,300
綿100%	綿100%	綿100%	綿100%

CORDUROY JEANS

Y IS NEW CORDUROY
自転車とサイクルの合う衣料を
ぼくは長い間さがしていた。
Bobson
GOOD LIFE with BOBSON
ボブソンについてのお問い合わせは…
ボブソンSP室(P10.10係)
〒534 大阪市都島区片町1-9-38

『自国について一番愛している国スペイン』

……とヘミングウェイは書いた。だけどぼくたちはスペインについてほとんど知らない。

⬅こういう風にヨロイ戸をしっかりとおろしてしまえば、中は暗くてすずしいのです。冷房なんていらないのです

⬇彼女たちもきっとシエスタのときの子だね

⬇彼女も今ではおばあちゃんだろうなあ

●シエスタをしなかったらスペインは理解できない。

スペインではかわいい女のコのことを「あのコはシエスタのときにできた子だ」と言うそうだ。シエスタとはひる寝のこと。

シエスタとフィエスタという言葉、なんとなく似ているけど、フィエスタはお祭りの意味。お祭りもひる寝も両方ともスペインを知るためには重要なものだよ。

ひる寝といってもバカにしてはいけません。日本みたいに、〝ひる寝はなまけ者のすること〟ではないのだ。ここでは、国民全部がひる寝してしまう。日本では国民全部が**よる寝**するのと同じようなもの。つまりスペインではシエスタは社会のシステムなんですね。個人の好みの問題とは違います。

まずあのドでかい昼食をどーんと食べますねえ。それから大切なことをするわけ。スペインではだいたいこのシエスタの時間に大切なことをするのがよいとされている。だから、かわいい女のコのことを、シエスタのときにできた子だ、という言い方がある。それから本当に寝ます。横になるだけじゃなくてグーグー眠る。

この時間に電話したり、人をたずねたりするのは大変失礼に当たる。日本で夜中に電話したりたずねたりするのが失礼なのと同じこと。

郷に入れば郷に……

この昼食とひる寝のために、店も事務所もしまってしまう。みんな一度家に帰るのだ。観光客はこのことを知らないと、とまどう。その時間になると街がガラガラになってしまう。なんにもできなくなる。

そういうときはやはりひる寝をするべきなのだ。田舎を車で走っていても、その時間になると車の交通量がへってしまう。木陰に車を入れて、ドアを開けてシエスタをしている。あるいはバカンス中なら、車の上から折りたたみの寝イスかなんかおろしてシエスタだ。その時間走っている車といったら、ドイツ人とかアメリカ人とか日本人の運転しているものばかり。

やっぱり〝郷に入れば郷に従え〟なのだ。シエスタをした方が気持ちいいし、疲れない。特に夏は暑いのでシエスタをしないと体がもたない。ついでにシエスタのときに大切なこともしたいんだけれど旅行中なのでままならない。そこだけ郷に入っても郷に従えないので大いに残念。

その国に行ったらその国の一日のリズムに従う。シエスタをしなかったら、スペインの一日のリズムに乗れない。特に夏はね。なにしろ午後10時ぐらいまで明るい。だから夜おそくまで起きているのだ。ひる間は暑いので、シエスタしていなかったら夜にはくたばってしまう。

暑さも日本とは違う。日差しが強いけど湿気が少ない。汗はすぐ蒸発するから、汗をかいているのに気づかない。日本と違って日陰に入るとヒヤッとする。アンダルシア地方なんて夏は40度以上になるのはざらだけど、日本の暑さとは違い、しのぎやすい。だからシエスタをするときはヨロイ戸をおろしてしまう。だいたい昼間はどの家もそうしている。そうすると部屋の中はすずしくて、冷房なんていらないのだ。

●映画『誰が為に鐘は鳴る』がやっと公開された。

今、スペインではヘミングウェイの原作によるハリウッド映画『誰が為に鐘は鳴る』が公開されて評判になっている。イングリッド・バーグマン、ゲーリー・クーパー主演のやつだ。

なにを今さら35年前の映画じゃないかと思うかもしれないけど、これまでこの映画はスペインで公開されなかった。30年以上続いたフランコ独裁政権は内戦について自分たちに都合悪い情報はいっさい許さなかったのだ。ヘミングウェイはこの内戦に志願して共和国軍の側でたたかっている。そのときの体験をもとに書いた小説だから当然反フランコ。

ところがフランコが死んでからスペインも自由化が進んできて、やっと内戦関係の本とか映画が出てきた。それで『誰が為に鐘は鳴る』も公開されたわけ。ヘミングウェイは共和国軍が敗けてから1953年まで、「自国について一番愛している国スペイン」に14年間入国していない。「その14年間の大半は、牢獄にでもいるような気分だった」と書いている(『危険な夏』)。

「あの国にいる友人の1人でも投獄されているあいだは足を踏み入れまいと決心していた」からだった。

しかしこの映画、あんまりできのいい映画じゃない。だいたいヘミングウェイの小説を元にしたハリウッド映画はひどいものばかりじゃないか。一番ひどかったのは中編『キリマンジャロの雪』を映画化(52年)したやつ。小説では最後に敗血症で主人公が死ぬ、という暗示で終っている。キリマンジャロの雪の幻想がその男の頭に浮んできて終るのだ。ところで映画の方は、なんと飛行機が飛んできて、男は助けられ、全快してしまう。

↓牛が勝った瞬間。しかしこれはつかの間の勝利だ。この後、牛はやはり殺され、解体場に引っ張っていかれたはずだ。

↓ミゲル・ボッセはスペインの新しいスター

●『危険な夏』に出てくるマタドールのミゲルの息子はジュリー級のすごい人気歌手だ。

ミゲル・ボッセは、すごい人気歌手だ。日本でいえば、ジュリー級らしい。どんな雑誌にも登場している。《ソラヤもミゲル・ボッセのファン》というタイトルで、ミゲルのパーティに参加したイランのソラヤ元王妃のカラー写真を特集している雑誌もある。ソラヤ元王妃はスペインに住んでいるらしい。

ミゲルはガールフレンドもたくさんいて、その上ボーイフレンドもいるらしい。バイセクシュアルだというもっぱらのうわさなのだ。

このミゲル・ボッセの母親はイタリアの女優で、父親は有名なマタドール、ルイス・ミゲルなのだ。このマタドールのミゲルは、ヘミングウェイと親交があって、『危険な夏』は彼とマタドールのアントニオの試合のことを書いたものだ。そしてまたかつてライバル同士だったルイス・ミゲルとアントニオは義理の兄弟で、今人気のマタドール、パキリはアントニオの義理の息子という具合なんだ。

なんだかみんな親類になってしまう。スペインではマタドールはスーパースターだから、彼の妹とか娘はやはり有名なやつと結婚するし、息子も親の名を使って有名になったりする。

↑父親のルイス・ミゲルと

でもミゲルはバカ、ジュリーほどよくないよ、と日本にいるスペイン人の友人は言う。その友人はジュリーのファンだ。

↑ソラヤ元妃も彼のファン

↓姿勢が似ているのだ

●故フランコ将軍とソックリのオジサンが評判になっている。

何年か前に日本にも田中元首相のソックリさんがいて評判になってテレビに出ていたけど、今スペインでは故フランコ将軍のソックリさんが評判になっている。その人はドン・ホセ・ソラナ・アルファロさん。

このアルファロさんはなんとおまわりさん。19歳のときからフランコに似ていると言われ続け、一度フランコ将軍に手紙を書こうかと思ったけど、なんかトラブルが起るんではないかとやめたそうだ。

黒メガネをかけてヒゲをつけて自分でもフランコに似せて作っている。フランコが生きてる時代だったら、こういう人が評判になって雑誌に登場するなんて考えられなかった。

それにしてもあの田中元首相のソックリさんも、よく似ていたなあ。またテレビのドラマなんかに出てきたらいいのに。

ソックリさんになる人の心理ってきっとおもしろいね。自分が自分だけでは意味なくて、誰かに似ていることが意味あるんだ。

●闘牛はスポーツじゃない——とスペイン人は言う。

このごろの牛は昔の牛にくらべて弱くなったというのは本当らしい。それに外科手術の進歩と抗生物質によってマタドールも死ななくなった。だからといって闘牛（コリーダ・デ・トロス）が危険なゲームではないとは決して言えない。

なにしろ500キロ以上の重さのある、闘争的に育てられた動物が頭にとがった角をつけて突進してくるのだ。

それを屠殺場でのように殺すのは簡単だ。だが、マタドールは、それを安全圏からではなく、わざと自分を危険にさらして、相手をコントロールしなければならない。牛と自分とである種の舞踊を見せる。スタンドでは楽団が音楽をかき鳴らす。それはミュージカルだ。そこでは牛を殺すということは問題ではない。

牛を殺すとき観客が緊張するのは、マタドールが危険をおかすからだ。安全に殺す方法はある。しかしそのとき、もっとも危険な方法をとる。飛び込む瞬間、牛が角を突き上げれば、角はマタドールのおなかに突き刺さる。

闘牛場には附属の診療所もあるし、外では救急車が待っている。

しかし少しぐらいのケガならマタドールは演技を続ける。足を牛にふまれても、なにしろ500キロだ、痛くないふりをしなければマタドールではない。お尻を角がかすってズボンが少し破れて血がにじんだぐらいでは引っ込むわけにはいかない。まず牛を殺す。手当を受けるのはそれからだ。

↑闘牛場附属の診療所。ここで手当を受ける

●フォト・ノベラはなぜラテンの国でしか盛んでないのだろう。

⬇日本の少女マンガと同じような世界なのです

“フォト・ノベラ”というのは日本のマンガ、劇画と同じようなもの。ただこちらの場合は写真を使っている。写真に吹出しをくっつけて、そこに活字が印刷されている。

どういうわけか知らないんだけどこの“フォト・ノベラ”はラテンの国にしかないみたい。スペインでしょ、イタリアでしょ、スペインの植民地だったメキシコでしょ。フィリピンにもあったような記憶があるけど定かでなし。南米は知らない。

話の筋というのも、だいたい同じようなもの。センチメンタルでプラトニックなメロドラマばかり。

好きな彼氏がいるんだけど、彼氏には別に好きな女性がいて主人公の女性は苦しみながら、でもだまっている。するとライバルの女性が交通事故で死んだりして、でもやはり主人公の女性は男になにも言わないで悲しみを自分の中にかくし持ったまま去っていく。ざっとこんな感じ。

ところがこのごろポルノ解禁でフォト・ノベラ形式のポルノが出まわっていて、これはケッサク。吹出しなんか「アーアー」とか「オーオー」ばかり。

●汽車の旅は安上りでその上友だちがつくれる。

⬇時刻表。こんなもの何語で書かれてたって同じこと

⬆アーア、もう休みも終り

学校が休みに入ると、車を持っていない、飛行機の切符もちょいと高いと思っているヨーロッパ中の学生がドドッと汽車でスペインにやってくる。

陸つづきの国境はいいな。汽車でだって歩いてだって自転車でだって、オートバイでだって車でだって外国へ行けちゃうんだから。

日本だと外国へ行くのはやっぱり大げさになる。それに汽車というのは船と同じで長い間乗っていると、共同体的な気分になってきて友だちになれる。知らない者同士が和気あいあいとしてくる。これが飛行機だとこうはいかない。飛行機だととなりの席の人と果物を分けて食べるようなことしない。同じ人でも飛行機に乗っちゃうと、少しツンとする。

ともかく外国で汽車に乗るのは楽しい。日本ではこの楽しみがだんだん味わえなくなってきている。新幹線みたいなのばかりがビューッと走っているし、外の風景も同じようなもの。

⬆ここで切符を買える

renfe（レンフェ）というのはスペインの国鉄のこと。大きな都会だったら街中にかならずレンフェの事務所があって、そこに行けば予約することができる。インフォメーション・デスクもあるからいろいろ聞けばいい。そこで時刻表も売っている。もっともこれは日本でもトマス・クックの時刻表が、東京・日本橋の〈丸善〉とか、渋谷〈パルコ〉の〈マップハウス〉でも買える。

一度マドリードからグラナダに帰る帰省夜行列車に乗ったことがあったけど、夜中に列車の中でフラメンコ踊ってるんだ。

●スペインでどこが一番住みやすいかと言うと……。

⬇グイプスコアは港町だ

東京は世界でも最も住みにくい都会の一つになってしまった。スペインでも、マドリードのような大都市はだんだん住みにくくなってきてる。そりゃ東京ほどではもちろんないけどね。

それじゃどこが住みやすいかということを、スペインの『ブランコ・イ・ニグロ』という雑誌が特集でやっている。

統計なんかをいろいろと使って出した結論は、北スペインのバスク地方のグイプスコアが一番住みやすい、となっている。2位がナバラ。これはパンプローナのあるナバラ州のことか？

水道、電気、道路、電話はどのくらいあるか。病院、薬屋、医者はどうか。死亡率は高いか低いか。自殺率は、交通事故の件数、犯罪の件数は、どこが多いか。そうやって全国の大小の都市を調べた結果らしい。ここに東京を入れたらどの辺に位するのだろうか。この特集では物価についての指数がない。スペインはまだ物価が安いからいいけど、物価という指数を入れたら、東京は最下位におちるんじゃないか？ ちなみにマドリードは8位、バルセロナは4位だ。大都市は便利でも住みにくい。

⬇➘コーフンした牛はこんな風にサクを飛び越えてくる。そうなったら逃げるだけ

●昔の牛は今の牛よりずっと強かった。

闘牛の牛と普通の牛との差は、狼と犬ほどの差だ、とヘミングウェイは言っている。

その闘牛の牛も今より昔のほうがずっと強かった。昔の方がよかったと聞くと、すぐそんなことはないでしょと思いたくなるが、これは本当らしい。

ただ、今の牛の方が昔の牛より大きくて強そうに見える。闘牛がショー化するにつれ、牛にショーとしての要素、強そうに見えることが必要になったのだ。実際はともかく。

戦後の一時期、闘牛の牛の角を短く切って、それをまた鋭くとがらせてリンクに出したことがあった。そうすると観客からは立派な角に見えるけど、実際は牛は距離感を失い、角という武器を十分に使えなくなる。そういう牛を相手にマタドールは危険そうに見える技を披露したのだった。しかしこのインチキは、法律で禁止された。

スペインの古い本に『雄牛列伝』というのがある。強かった牛の記録が書かれてある。

コンチャ・シエラ牧場出身のエチセロという灰色の牛は、1844年にカディスで闘い、7頭の馬を殺し（当時ピカドールの馬はプロテクターをつけていなかった）7人のマタドールとピカドールを病院におくった。

ドン・ビクトリアーノ・リパミラン牧場のコミサーリオという赤い牛は、1894年にバルセロナで闘った。その牛はさくを飛び越え、観客の間をかけまわった。警官イシドロ・シルバは牛にサーベルを突き刺し、巡査部長ウバルド・ビグエーレはカービン銃を発射したが牛は死ななかった。

アリバス兄弟牧場出身のオフィシアルは1884年にカディスで闘い、バンデリレロに大ケガをさせ、ピカドールを刺し、リンクと観客席の間に飛び込み、警官を刺し、警備員数人の体の骨を折った。

牛を見たら逃げろ

観客席だって決して安全ではない、というわけだ。あんな牛が観客席にかけのぼってきたら大変なことだ。このごろの牛は弱い、なんて言ってられない。小さいときから闘争的に育てられているのだ。

ヘミングウェイが『午後の死』の中でそんな牛のことを書いている。そのころ闘牛の牛は田舎では去勢牛の群にまぜて田舎道をカウボーイが誘導していったらしい。その闘牛の1頭が群からはずれて、家の戸口に立っている男を角でひっかけ、はね飛ばした。牛は家の中に入り老婆を殺した。そして男の妻を刺した。戸口ではねとばされた男は銃を持ち出したが、この男も角で刺され殺された。そして部屋の鏡に攻撃をしかけ、大きなタンスをぶちこわした。次に通りに出て馬車に出合い、車をひっくりかえし、馬を殺した。そこでカウボーイたちがなだめ役の去勢牛をつれてかけもどって、その牛をもとの群にもどした。

そういう群からはずれた闘牛の牛が機関車に敵意を抱き突進したことがいくらもあるそうだ。なにしろ闘牛の牛は強いのだ。

まあ、今の牛が昔のより弱いと言ったって、やっぱり強い。

↓人気マタドール、バキリのインタビュー

↓ちくしょう、オレをはなせよ。オレは牛に用があるんだ。

↓なんか日本のフンドシみたい。特に男の方がそうだなあ

●スペインの自転車フリークはピレネーを越えてフランスまで走ってしまう。

日本ではまだあまり見かけないけど、ヨーロッパやアメリカでは、自転車を自動車の屋根に車輪が上になるようにさかさまにつけて運んでいる。サーフボードを運ぶキャリアみたいな自転車専用のキャリアも売っているのだ。

日本の常識としては、自転車は平地むきの乗りものだけど、ヨーロッパでは、そんな常識は通用しない。自転車でバリバリ山間部を走ってしまう。スペイン、フランス、イタリアの自転車フリークは、自転車でどこでも走ってしまう。

車の屋根にキャリアをとりつけ、それに自転車をくくりつけ、スペインとフランスの国境近くまでやってくる。この辺は山道の連続だ。そのふもとで自転車をおろして走り出す。ヨーロッパの自転車フリークはそんなに若くない。半分はげた頭をふりふり走るのだ。

↑平らなところはぶっ飛ばす

●イビサにヌーディスト・ビーチができつつある。

スペインでも『サタデイ・ナイト・フィーバー』が大当りしていて、ディスコは連日満員。この夏、イビサのディスコではタンガいっちょうによる踊りのコンテストまでおこなわれた。

イビサは地中海に浮ぶ島で、マジョルカ島の少し南。ヨーロッパ各国から若い世代が集まってきている。今年は日本男児が1人イビサの海岸でかき氷屋を開いて大もうけをしたとか。ともかくそのイビサのディスコでタンガのコンテストがおこなわれた。

タンガというのは小さなフンドシみたいなもので、イビサではこれが流行。一部では素裸になって泳いだり日光浴をしているが、時々警官隊がとりしまりにくる。ここを完全なヌーディスト・ビーチとして警察が認めるかどうかまだわからない。ともかく今は、タンガでがんばっているのだ。

何年か前までのフランコ将軍が生きていたころの、厳格なカトリックの国スペインでは考えられなかったことだ。

ただイビサのディスコはタンガのコンテストなんかやって飛んでいるが、バルセロナとかマドリードのディスコはもう少しおとなしい。フランス的でおしとやかなディスコの感じだ。『ポパイ』ニューヨーク特集号で紹介したニューヨークのディスコのようなわけにはいかない。

ヨーロッパのディスコはけっこう服装にうるさいから注意。

●飛入りで闘牛場に飛び込んで見事に牛を殺した男がいる。

↑アルバセテの闘牛場のリンクに飛び込んだマヌエル・ハストル。なかなかきまっている。牛もビックリしているみたい

闘牛を見て好きになると、ぜひワタシもあれを一生に一度はやってみたいと思っちゃう。なにしろ牛をあつかうマタドールはカッコいいのだ。

カッコいいのを見ると、誰でもそれのマネをしたがるものなのだ。テレビとか映画に出てくるスターのマネは簡単。彼らと似たようなファッションで身をかざったり、カラオケ・テープをバックにうたってみたり、テレビにも物マネの番組というのがあるから、それに出ればよろしいのだ。ところが闘牛の場合はそんな簡単にはいかない。

闘牛をはじめて見るとたいていはコーフンしてしまって、ベッドのシーツをはいで、マタドールのマネなんかするものだ。

ヘミングウェイも一時期、真面目にマタドールになりたいと思ったらしいというからおもしろい。牧場で何度か牛を相手にマタドールのマネを試みたらしいが、結果はムザン。牛の角でお尻をつつかれ、逃げ出したのだそうだ。もう歳をとりすぎていて、反射神経がいうことをきかない、もっと子供のときから訓練しなくちゃだめだ、それに私はマタドールになるには太りすぎだ、と言いわけしている。

飛入りは罰金だ！

『危険な夏』『午後の死』と、闘牛についての本を2冊も書いたヘミングウェイも、最初はマタドールのカッコよさにシビレたのだった。

さて一度マタドールをやってみたいと思っているスペイン人はどうするのか？　赤い布と剣をひそかに闘牛場に持ち込み、サクを乗り越えて、飛入りでリンクに入ってしまうのだ。

もちろんこれは規則違反なだけでなく法律で禁じられている。飛入りが素人に危険なだけでなく、そのさわぎでリンクにいる人間全部が危険になるからだ。

だがたいていは、牛のところに行くまでにつかまってしまう。うまくいったって1回か2回ケープさばきを見せられるぐらいだ。つかまればブタ箱行き。そして罰金となる。ところで、この飛入りで見事に牛を殺してしまった男がいるのだ。

マヌエル・ハストルというのがその男で33歳。以前、バンデリレロをしていたことがあるというからただの素人ではない。その上、これまでの飛入り歴は2回、今度が3回目なのだ。三度目の正直というが、牛をあれよあれよという間に殺してしまった。

ブタ箱にほうり込まれ、罰金もはらわなくてはならないし、その上この男は無職ときている。

雑誌のインタビューに答えて、だれかぼくに職を見つけてくれる人はありませんか、なんて虫のいいことを言っている。

でもずいぶんうまい具合に殺せたものだ。きっと牛のそばでケープをさばきはじめたら、ほかのマタドールやバンデリレロは危険なので近づけなくなってしまったのだろう。この夏の話だ。

●テレビのおかげで夕方の散歩の習慣が薄れてきたとなげく人がいる。

《マジンガーZ》も大はやりだけど、日本製テレビ映画『水滸伝』も人気番組だ。日曜の午後7時30分などという時間に堂々放映だ。

ヨーロッパはだいたい日本とかアメリカのようなテレビ国ではない。スペインにも今のところステーションは2局しかないのだ。

カラーテレビも8万ペセタぐらいするそうで、これは日本円になおすと20万円ぐらい。日常物価の安いスペインでは高い買物だ。

でも今年のアルゼンチンでおこなわれたサッカーの世界選手権のときに、ずいぶん多くの人がカラーテレビを買ったらしい。宇宙中継でサッカーの試合が見られるというので。

やっぱりサッカーとか、闘牛の中継なんかに人気がある。日本でも皇太子の結婚のときにそのセレモニーを見ようと白黒テレビが売れて、東京オリンピックのときは、カラーテレビが売れた。

↑『水滸伝』も人気番組

ところがこのテレビのおかげで、スペインの大切な習慣である散歩があまりされなくなったとなげく人がいる。スペイン人は散歩の国民で、おそい晩メシの前に街を歩くのだが、その時間にいいテレビ番組が集中しているので、散歩をしないで室内のテレビにかじりつくという寸法だ。そのうちスペインから散歩の習慣がなくなってしまうのだろうか。

ヘミングウェイはいつも私に〈カサ・ボティン〉で変な人を紹介する。

文・室謙二

●ILLUSTRATION by TOKE SAITO

私はスペインに向う飛行機の中で『陽はまた昇る』を読みかえしていた。私は10年ぐらい前、毎日この小説を読んでいたことがある。この小説が大好きだった。

私は飛行機の中で『陽はまた昇る』を読みかえして、自分が今でもこの小説とヘミングウェイが大好きなのを発見してうれしかった。

バルセロナに何日間か滞在して、闘牛を見た後、私たちは小説の舞台になったパンプローナに出発した。それは快適なドライブだった。

まずマティーニを1杯

1週間後、私たちはマドリードのパレス・ホテルにいた。ぐうぜん、泊まることになったホテルだが、このホテルはヘミングウェイの常宿だった。『陽はまた昇る』の最後の章で作者は主人公のジェイクとその女友だちのブレットをパレス・ホテルのバーにつれていく。

「大ホテルのバーなのに、こんなに気持がいいなんて不思議だね」とジェイクに言わせている。

私たちも当然このバーに行ってみる。

「ぼくはマティーニの中のオリーブが大好きだ」と小説の中でジェイクは言う。

そこで私も50年後のパレス・ホテルで、「ドライ・マティーニ1杯。オリーブを2つ入れて」と注文する。まるでヘミングウェイかぶれの、おのぼりさんだ。

そうすると今夜の夕食は〈カサ・ボティン〉に行かなければならない。ジェイクとブレットはこのバーを出ると〈カサ・ボティン〉に行って食事をしたのだ。ただ、現在の〈カサ・ボディン〉は、かつてヘミングウェイが小説の中で"世界で一番いいレストラン"と書いた〈カサ・ボディン〉ではない。彼がそう書いたおかげで、50年後の今日、〈カサ・ボティン〉はアメリカ人観光客に占領されている。

子豚のローストを食べる

〈カサ・ボティン〉は満員に近かったが、まだ時間が早かったので2階の壁ぎわに席を取ることができた。

私たちはリオハ・アルタ（ブドウ酒）の赤と、子豚のローストを注文した。小説どおりだ。私たちのまわりは全部アメリカ人だった。左どなりのテーブルは老夫婦、右どなりが中年の夫婦、その向うが若はげの男とその妻とスペイン人の男の組合せだった。

子豚のローストが運ばれてくると右どなりのテーブルの中年の夫の方が、それはなにか、と無遠慮に聞く。「子豚のローストでヘミングウェイの好きだったものだ」と言うと、フーンとえらく感心したようだった。ただヘミングウェイというところは、まったく反応がない。私の発音が悪かったのだろう。

ステーキをほとんど食べ終っていたその中年の男は、イスの向きを少しかえて、子豚のローストのかたまりにとりかかった私のことを露骨に見ている。オレもあれにすればよかった、としきりに考えている様子なのだ。その男のかみさんの方は、向うのテーブルの知識人風の若はげ紳士に話しかけている。そうだ、彼はウディ・アレンに似ている。

「私は自分がアメリカ人だということを誇りに思っているわ」とその金髪の毛を頭の上にモリ上げた女性はキンキラの大声で言う。ウディ・アレンは小さな声で、しかしきっぱりと「ナショナリティとか人種とかは問題でありません。私はパリに住んでフランス人の学生を教えています」と言う。

よけいなお世話だ

ウディ・アレン氏は多分、ユダヤ人で東海岸の名門大学の大学院でも出ているのだろう。

「おいきみ、それを残すのかね。それはいかん。全部食べるべきだ」と

今度は私の口もとのローストを見つめていた中年夫婦の夫の方が私に大声で言った。私はおなかがいっぱいだった。だいたいスペインの料理は量が多すぎるのだ。私だって残すのは嫌いだ。でもこちらにはこちらの都合がある。よけいなお世話だ。

だけど私は戦争を好まないので、「それじゃ試みてみるか」と言ってもう少し食べてみる。どうやらアメリカ中年夫婦はもともと無遠慮なだけでなく少々サングリアに酔っぱらってしまっているようだった。

「きみは日本人か？　テキサスに来たことがあるか？」

なるほどこいつらはテキサス人なのか。

「ありませんね。カリフォルニアなら何か月か暮したことがあるけど」

この答は彼の気に障ったらしい。男は私たちのテーブルをその大きな厚い手でバーンとたたいた。これはおもしろいことになってきた。

「テキサスは天国だ」と彼は言った。「第一広い。夏は暑いし冬はちゃんと寒い。いいところだ。一度来るべきだ」

「100パーセント賛成だ。私はきみに100パーセント賛成する。テキサスは天国だ」と私のテーブルの左どなりの老夫婦の夫の方が、芝居がかった調子で言った。そして私の方を向いて、素早く片目をつぶってみせた。

私はローストを食べるのをあきらめてコーヒーを注文した。

今度は天国で会おう

「私はね、テキサスの大学でMA（修士）を取ったの」とテキサスおばさんは言う。本当かな？　彼女はインテリ・コンプレックスみたいだ。

「おいボーイ、かんじょうだ」とテキサスおじさん。

真面目な顔で請求書を持ってきたボーイに、テキサスおばさんがカタコトのスペイン語できく、「どこ、タクシー？」。

男はチップをいくら置けばいいか考えながら、小さな皿の上にお金を置いている。女はウディ・アレン氏に話しかける。

「ねえ、アメリカ人はアメリカに住むべきよ。私は自分がアメリカ人であることを誇りに思っているわ」

「そのとおり」と男が大きな声でつけくわえて、サングリアをもう1杯飲む。彼らはリベラルなインテリが気に入らない。同じボーイが来て、今度はスペイン語で、タクシーが下で待っています、と言う。それをウディ・アレン夫人が英語に翻訳する。

彼らふたりは立ち上る。

「今度はあなたの天国で会おう」と私が言うと、左テーブルの老人が、「私は、そこの日本人のジェントルマンに100パーセント賛成だ」と、また芝居がかった調子で言うのだ。

⬆一度は英語で読みたいね

弁解する機会をください

テキサス2人組が立ち去ると、ウディ・アレン氏がナプキンで口をふいて私たちのテーブルに来た。

「私はアメリカ人です。私にアメリカ人として弁解する機会を与えてください」とすまなそうに言い出した。

このエピソードは私に2つのタイプのアメリカ人を浮き彫りにしてくれる。

ヘミングウェイはいつも私に変な人間を〈カサ・ボティン〉で紹介する。以前来たときはここでもとナチの将校に出会った。あれも変な男だった。

▼ポパイ・スペイン取材班　レポーター／室謙二　カメラ／栗本信実　協力／スペイン政府観光局、スパンタックス航空、フェデリコ・マシアス・バエナ、加藤裕将（イラストレーター）……Special thanks to our friends in Spain.

▼本文中のヘミングウェイの作品からの引用は、三笠書房刊『ヘミングウェイ全集』全8巻、角川文庫『陽はまた昇る』によりました。

POPEYE'S Action Audio

いよいよビデ・カセ VIDEO CASSETTE の時代だ

ビデオ・カセットデッキがすごく売れ出した。まだちょっと高いけれど、一度手にすると、この機械のおもしろさはコタエラレナイ。とくに近ごろのポータブルビデオは、使ったが最後、病みつきだ。

←見てくれ、このキマっているスタイルを！

ビデオなんて子供と年寄りのものだ、という風潮が広まっているのはこまったことだ。ビデオこそ若者のためのもの、一度その楽しさを知ったら病みつきになるほどの魅力を秘めたものなのに。
ビデオというと、TV番組のエアチ

VCレコーダーにはこれだけの機能が満載されている

①マイク入力ジャック。カメラを使った同録やアフレコに使う②トラッキング調整。これでヘッドの微妙なズレを修正する③音声録音用ボリューム④録音レベルメーター⑤オーディオリミッター。過大入力による音の歪みをなくす⑥入力切換えスイッチ⑦テープカウンター⑧テープカウンターと併用してオートリピート、オートリワインドを行なうスイッチ⑨オーディオダビングボタン。アフレコ用⑩タイマー使用時の録画・再生切換えスイッチ⑪録画ボタン。再生ボタンと一緒に用いる⑫早送りボタン⑬再生ボタン⑭ポーズボタン。一定時間たつと自動的に解除される⑮ストップボタン。すべての動きを止める⑯巻戻しボタン⑰エジェクトボタン。テープ取出しに用いる⑱電源スイッチ⑲ヘッドフォンジャック

DIRECT by MASAYUKI KAWAMURA
PHOTO by N. KURIMOTO
ILLUSTRATION by H. OKAMOTO
CUT by H. KATO

エックが頭に浮かぶと思うが、それはほんの一面、可能性はもっともっと大きい。すでに映画界などはビデオの有用性を認め、様々な使い方を開発しているのは知っているだろう。『スター・ウォーズ』ではビデオで録画した画面をフィルムに直すことが多用されているし、今やフィルムの独壇場だったアニメまでビデオで作られ始めている。

今まで、家庭用ビデオというと据置き型が主だったが、ここにきて各社からポータブル・タイプが続々と発表され始めた。いよいよ我々の出番がきたようだ。ポータブルビデオとカメラを持ってのアクティブなビデオライフ。テープ1本で2時間も録画できるのだから時間など気にせずバリバリととりまくることができる。

8ミリと比べても、その場で画面を見られる、不必要なテープは消して再使用できる、テープはフィルムと比べてずっと割安、などとメリットは多い。ビデオは結婚式を録画するだけのものじゃないのだ。

もう一つ、身近な利用法としてテレシネがある。テレシネとはフィルムや写真をビデオテープに移して観賞、保存することだ。わざわざビデオで見ることはないと思うかもしれないが、これが非常に便利。写真には古くなると退色するという欠点がある。古い写真や映画を見ると必ず不自然に赤っぽいはず。これは光の三原色のうち青紫と緑が薄くなったから。ビデオはこれを電気の力で元の色をよみがえらせることができるという素晴しい力を持っている。

この他、写真にはナレーションや音楽が入れられるし、劇画を一コマ一コマ録画して楽しむことだってできるのだ。

ビデオ、特に家庭用ビデオはまだ生まれたばかり。プロ用にしても今までは実用面の追求ばかりで可能性の追求の歴史は浅い。ビデオの可能性を見つけ出すのは我々の世代。ガンバラなくちゃ……。

ビデオには2方式ある

家庭用ビデオにはVHS方式とベータフォーマットの2つの方式があり、両者激しい販売合戦を繰り広げているのはご存じのとおり。買う側にとってみれば互換性のない2つの方式があるなんて迷惑の限りだが、考えようによっては、競争があるからこそ高性能化、低価格化が進んだともいえる。

VHSとベータフォーマットの違いは何かというと、まずカセットからテープを引き出し録・再ヘッドのついた回転ヘッドドラムに巻き付ける方法が違う。VHSはテープを2本の指でチョコンと引き出し、Mの字の形にドラムに巻きつけるMローディング方式、シンプルなところが特徴。

それと比べ、ベータフォーマットは回転ヘッドドラムの回りに3/4回転ほどぐるっと巻きつける。構造は複雑になるが、この方法はプロ用としても定評のある3/4インチ（テープ幅はVHS、ベータ共1/2インチ）方式で長い間使われており、安定性がよい。

カセットはVHSの方が少し大きく値段も高いが、ベータの1、2時間（アメリカでは3時間テープも発売中）と比べ基本が2時間録画で年末には4時間デッキも発売されそう。

この2方式、どちらにもよい点があるからこまる。メーカーに言わせれば選択する楽しさを与えてくれているのかもしれないが、選ぶ側としては時間をロスするわけだ。2方式を紹介しなければならないなんて『ポパイ』だって頁を半分損しているのだし。

ビデオデッキとオーディオデッキを同じように考えている人がいるが根本的に違う所がある。オーディオデッキでは録・再ヘッドが固定されており、その上をテープが走っていくが、ビデオデッキはというとテープの上をヘッドがななめに走っていく。といっても、ゆっくり走るテープの進行方向と同方向に、ヘッドを2つつけたドラムがテープに対して傾きをもって高速回転するんだ。すると信号はテープ上に斜線を細かく引いていくように記録される。これは、ビデオ信号は周波数が高く、その高い周波数をなるべく短いテープに記録するためにはテープとヘッドの相対速度を速くして高密度に記録しなければならないからなのだ。わかったかなー、ヘッドの話。

どの方式にしてもビデオデッキはミクロン単位の超精密技術で作られている。そして、これを今の価格で作れるのは日本だけ。世界中で使われている家庭用ビデオのほとんど100%を日本で作っているなんて信じられないけど本当なのだ。海外メーカーのマークがついていても中身はすべて日本製ということ。

海外で作っていないのでどんなに輸出しても文句を言われることはない。これからの日本はビデオがになっていくのかもしれないな。

↑ビデオカセットではテープをカセットから引き出して回転ヘッドドラムに巻きつける。この巻き方の違いがVHS方式とベータフォーマットの大きな違いだ。上図の左側がVHS方式。巻きつけた形がMの字に似ているためMローディングと呼ばれる。右側はベータフォーマット。VHSと比べるとローディングが複雑になっている。

↑ビデオテープと回転ヘッドドラムを簡略化するとこうだ。テープは左側から右へドラムのヘッド面をこすりながら進み、ドラムはテープの進行方向と同じ方向に高速回転する。ドラムの端には180度の位置にヘッドが1つずつおかれ、1つがテープからはずれるともう1つがつくという離れ技を高速で繰り返している。

↑未来のビデオ作家をめざして練習中

↑テープメーカーからもビデオテープが登場

↑8ミリフィルムやスライドをビデオテープに移すためにはテレシネ・アタッチメントが欠かせないゾ

↑これだけ揃えば、テレビドラマだって作れるな

↑この複雑なメカを見てくれ。こんなものを考える人がいるなんて信じられる？

↑ポータブルビデオの回転ヘッド部。人間にたとえれば心臓部だ

こんなに機材も揃ってきたのだ。

●VHSはVideo Home Systemの略。家庭用として扱いやすさと安定性をテーマに作られている。倍速再生、コマ送りなど多彩な機能を持つ機種が出てきた

VHS

①三菱HV-1500 アフレコ、マイクミキシングもOK。一時停止のリモコン装置つきで、24万8000円

②三菱CIT-270 24万8000円

③④⑤アカイVTS-350 アカイ独自のカセットを利用した白黒ポータブルデッキで、カメラ、とセットで売られている。ポータブル型に重要な自動編集機構がついているのは便利だ。他の方式のテープとの互換性はない。セットで332,000円

⑥ナショナルVZ-C510 光学ビューファインダー装備。17万8000円

⑦ナショナルVZ-C500 6倍ズーム、電子ビューファインダーつきで23万8000円

⑧ナショナルNV-5000 野外ロケもこれならラクラクできちゃうポータブルビデオ。22万円

⑨ナショナルVW-ET5000 TV番組の予約録画のできる電子チューナー。11万円

⑩ナショナルNV-6600《マックロードSS》 静止画像を1コマずつ再生する"コマ送り"機構がついたビデオデッキ。いまや多機能ビデオの最先端を突っ走る機種。27万9000円

⑪シャープVC-5100 スイッチひとつでポーズのリモコン操作ができるというビデオデッキ。ビクターのHR-3300とほぼ同性能だけど、TVを見ながらリモコン操作できるというのはありがたいシカケであるぞ。249,000円

⑫ビクターCV-G70 電子ビューつきなのだ。248,000円

⑬ビクターHR-4100 自作番組が手軽にできる、うれしいポータブルデッキで248,000円

⑭ビクターHR-3600 "倍速ビデオ"でおなじみ。279,000円

⑮ビクターHR-3300 HR-3600よりちょいと安くて256,000円

Action Audio

●βはベータフォーマット・グループのシンボルマーク。プロ用として長い実績を持つ方式を家庭用にリファインしたのがベータ方式。テープが小さいのが特徴

⑯ソニーＳＬ-8500　同社の最新型２時間録画（再生）デッキ。普及機として発売されただけに使いやすさは抜群。228,000円

⑰ソニーＳＬ-3100　ハンディなポータブルデッキ。249,000円

⑱ソニーＨＶＣ-1100　まるで８ミリカメラのように軽くて使いやすい。269,000円

⑲ＮＥＣ・ＶＣ-2200　ＲＦコンバータを内蔵。デジタル電子タイマーでＴＶ番組の予約も可能。ポーズ機構で一時停止もＯＫ。最長録画（再生）時間は２時間という、なんだかいたれりつくせりという感じのビデオデッキ。いろいろついてて、おネダンは228,000円

⑳東芝Ｖ-7100　番組予約のできるプログラムタイマーつき。自動テープ頭出し方式も採用されて、なかなか扱いやすい。268,000円

㉑ゼネラルＶＧ-７００　２時間録画（再生）可能。スイッチ類の切り忘れがないフルシャットオフ機構、自動録画タイマーつきのビデオデッキなのだ。22万８０００円

㉒ゼネラル　小型カラーカメラ。色ずれの少ない単管式を採用。29万８０００円

㉓サンヨーＶＣ-１４００　光学ファインダーつき、同時録音ＯＫのマイク内蔵のカメラ（白黒）。５万９８００円

㉔サンヨーＶＴＣ-９１５０　２時間録画（再生）専用なので購入時に注意。22万８０００円

ひとつだけ選ぶとすれば ポータブル・タイプをすすめる

一億総タレント化時代と言われるが、実際にTVにうつった経験を持つ人は案外少ないようだ。そのためかもしれないけどTVに出るということには一種独特の魅力があるらしい。なにしろTVスターや有名歌手が毎日出ているそのブラウン管に自分がうつるのだから。

これからは、その魅力ある画面を、自らビデオを使ってクリエートしてみないか。家の中でお仕着せの番組をエアチェックするだけでなく、ビデオデッキとカメラを持って野外に飛び出し、ビデオを目、耳、そして頭脳の一部として使いこなす。

これこそ新しいビデオライフだ。

そこで用いるビデオデッキはもちろんアクティブなポータブル・タイプ。ポータブルデッキはチューナーがついていないのでエアチェックには使えないと思っている人もいるようだが、オプションのビデオチューナーを使えばできる。その辺、メーカーも商売、ぬかりはないゾ。

野外ではカメラと共にアクティブに行動し、室内ではチューナーともども据置き型に変身、なんとも便利なやつじゃないか。

⬅カラーカメラ用ケース

⬆カメラ延長コード

⬆デッキ用キャリングケース

①別売の超指向性マイクなどのオプションを取り付けるアクセサリーシュー②露出を自動的に合わせる自動絞り（オートアイリス）③焦点距離17～102㎜F、2の6倍ズームレンズ④ビューファインダー取り付けネジ⑤1.5インチ白黒テレビ内蔵、露出インジケーターつき360度回転式電子ビューファインダー⑥ビデオデッキのスタート／ストップをリモートで行なうスイッチ⑦グリップ⑧高感度無指向性コンデンサーマイクを用いたカメラマイク⑨カメラマイクや外部マイク用の入力端子⑩カメラとビデオデッキを結ぶケーブルをつなぐカメラ出力端子⑪光学式や電子式のビューファインダーを接続するコネクター⑫自動絞りの接続プラグコネクター⑬通常はON、均一照明の下ではOFFにして使用するAGCスイッチ⑭乾電池や充電式電池パックを収めるバッテリーケース⑮肩にカメラをかけるとき固定させるための肩あて⑯三脚取り付け穴とスクリュー

⬅スポーツクラブでもビデオは大活躍だ

スポーツ練習には最適

ポータブルビデオがその威力を発揮するのはなんといってもスポーツだ。野球、ゴルフ、テニスなどのプロはもとより、高校野球などのアマチュアにまで使われ、効果を上げている。

ビデオカメラは冷酷なまでに正直にレンズに入ったものを全部とってしまう。

その点がスポーツの練習には都合がよい。人間は頭で選択を行なうのでかわゆいコがいればどうしても注意はそっちにいってしまう。ところがカメラは冷静に被写体を追う。思ってもいなかった欠点がビデオで発見できるのもそのためだ。

また、ビデオはバードウォッチングを単なる観察からそれを自分のものとすることができるように変えた。

ビデオカメラは8ミリカメラと異なり音が全くしない。考えてみりゃテープが回っているのはデッキの方なのだから当り前なのだけど。

だから、鳥の近くにぐーっと近寄っても気づかれない。望遠レンズの効果をグーンとアップできるというわけ。

これで鳥の声も本格的な生録をしておいたら最高だね。まさに自然が自分のものになるわけだ。このように今やスポーツマンにとってビデオは必需品になっている。ところできみは……。

デッキとカメラを肩に、出かけてみよう。（『第1回東京ビデオフェスティバル』についての問合せは、ビクター・ビデオセンター☎03・580・4264へ）

生活記録も手軽に

スポーツもいいけど、記録や芸術作品を作ろうとしている人も多い。記録というとまず親バカが頭に浮かぶが、子供の毎日をビデオにとっておく。これは将来大変な宝だよ。もし、有名になったら。

今まではビデオ作品を作ってもそれを発表する場がなかった。個人的に人を集めて発表していたのが現実だ。だが、今やビデオ時代。中京テレビの『6時のニュース』ではアマチュアによるビデオレポートを放映しているし、『第1回東京ビデオフェスティバル』というコンクールの作品募集も始まっている。

いよいよビデオの時代がやってきた、という感じだ。ビデオの価値、楽しさが認められ始めたわけだ。さあ、ポータブル

⬆ベータフォーマットのソニー・ポータブルデッキとカラーカメラ。ポータブルデッキは機動力が勝負なので軽量、小型、そしてバッテリー寿命が長いのが条件

⬋VHS方式のナショナル・ポータブルデッキとカラーカメラ。6倍ズームレンズは野外での撮影に威力を発揮する

ロスのアンティーク屋で、ソーダ・ポップスが日本人の若い人たちに買い占められているそうだ……。

アンティークのブームなどは何も今さら始ったわけではないのだが、昔の日本人は物を大切にとっておく習慣が無かったせいか、日本のアンティークには限りがあって、いいものは骨董品という名で、ずい分高くなったりしてしまう。アメリカのアンティークというと、そう呼べるほど歴史の深さはないのだが、やはりアメリカだけが持つポップで楽しい味があふれている。

ここ数年このアンティーク…というかオールディーズ・グッズが、日本の若い人たちに受けているのはご存知の通りだが、最近はロスあたりのアンティーク・ショップは日本の若い観光客らに軒並み荒されている。

とくにアメリカン・ポップ・アートというか、ソーダ・ポップと呼ばれる1920年代から、1950年代のガラクタが買い占められている。アンティークにもコレクションの対象があって、たとえばミッキー・マウスだけ、コカコーラだけ、灰皿だけ、ムービースターに関するものだけで、他の分野にはあまり手を出さないものだが、日本人の場合は手あたり次第なので始末が悪い。そのうちアメリカン・アンティークの数パーセントはすっかり日本上陸してしまうのではないだろうか。

さてVAXのスニーカーで軽やかに、メルローズあたりのアンティーク屋流しに出かけて見るか。VAX LS-4。

Action Audio

ビデオはこんな方向にも広がりつつある

ビデオプロジェクターで映画館の迫力を味わおう

➡120インチ(305センチ)の巨大なプロジェクター。映画と変らないな

画面はデッカイほうがいいに決まっている。迫力が全く違う、まさに映画を見る感覚でTVが楽しめるのだ。だがTVは走査線の数が決められているため画面が大きくなると粒子が粗くなる欠点がある。とはいえ、欠点も迫力には勝てないし、目の方も見ていると次第に慣れてくる。スペースに余裕があったら、TVプロジェクターを使いたいものだ。これこそお茶の間映画館の決定版だ。

レコード盤から映像が!?と驚くようじゃ古いぞ

➡一見、普通のレコード盤からカラー映像とステレオサウンドが!

ステレオで音楽を聴いていて、これに映像がついたら申し分ないのに、と思うことがよくあるが、これがもうすぐ実現しそうだ。

ビデオディスクと呼ばれているものがそれ。ビデオディスクには光学方式、電気機械方式、静電容量方式などがあり、さらにその中で各メーカーそれぞれの規格が違う。

この規格が統一できたらすぐにでも発売されそうな気配なのだが、何の場合も利権がからむと規格統一は難しいらしい。

でも、レコード盤から映像が出る、という夢のようなことが現実になろうとしているなんて、ファンタスチックだね。

ビデオは今話題のPCM録音とも、密接な関係があるのだ

⬆PCMユニット、ソニーPCM-1。いいことは分るのだが値段が480,000円とはチョット…

オーディオ界でPCM録音という言葉がはやっている。PCMとはパルス・コード・モデュレーションの略、要するに音楽信号をすべて数字に置き換えて、その数字をテープに記録する方式。

これではよく分らないと思うが、PCMの技術面について深入りはやめよう。よけい分らなくなる可能性があるから。

ただ、その方式によって素晴しい音での録音再生ができるということ。本当に今までの録音とは次元の異なるようなリアリティのあるサウンドなのだヨ。

PCMにはビデオデッキを用いる方法とマルチトラックデッキを用いる方法、そしてディスク、と3つの方法があるけど、その中で最も注目されているのがビデオデッキによる方法。

なにしろ、1台のビデオデッキでTVの録画とPCM録音、言い換えるとビデオとオーディオの2つのデッキの役目を果せるのだから、便利だ。

➡PCM信号のTVパターン。TVゲームじゃないゾ

➡PCMディスクはレコード針の代りにレーザー光線を用いている

ちょっと専門的だが、市販のビデオテープはこの機械でダビングされる

下の写真は何だと思う。難しそうな機械がズラーッと並んでいる。実は右側はビデオソフトのダビングマシン。左側はVHS標準テープ作製機。

ダビングマシンは日本ではまだ少なく、アメリカ向けの輸出がおも。これなどはビデオソフトの少ない日本と多いアメリカの現実を表わしている。

このマシン1台で1回に12本ずつダビングができてしまう。これが日本でフル操業し始めたらソフトの値段が安くなると思うのだが。

標準テープ作製機は何に使うのかというと、VHSデッキメーカー各社の調整用。ビデオはミクロン単位の精密さが要求され、ヘッドの取付け角度が1度狂っても互換性が損なわれるそうな。

そのため、このような完璧な標準テープ作製機が必要なのだ。

➘何ごとにも縁の下の力持ちがいる。この標準テープ作製機はビデオ産業のそれ。力強そうだなあ

➡1回動くと子供12人だって、マケソー

おなじみ飛行機内のムービーもビデオになるのだ

飛行機の機内で映画を上映するのは今や常識。『スター・ウォーズ』などは日本での公開前に飛行機内で見たという人が続出したほどだ。

まあ、滞空時間の長い国際線なら映画もいいだろうが、日本の国内線では、劇映画をゆっくり、というわけにはいかない。そこで、飛行中、乗客が退屈しないようにとの配慮から、TVプロジェクターとビデオをうまく活用したシステムが開発された。

ソニーと全日空が共同開発した《スカイビジョン》がそれ。50インチのビデオプロジェクターとビデオデッキ、カラーカメラをシステム化してトライスターにのせたものだ。

客室内におけるインフォメーションや娯楽の提供はもちろん、カメラを使って機外の風景を投影することもできるというのだから楽しい。

そのカメラもコックピット内に取り付けてあり、離陸、着陸の様子を映し出すというのだから、チョッとしたパイロット気分を味わえる。いやローラーコースター気分かな？　トライスターに頻繁に乗る人などは、投影された画面を見て「もう少し右、右、今日のパイロットは下手だな」てなことになるかも。

また、運が悪い人は自分の乗った飛行機の墜落を自分の目で見るハメになるかもしれないね。また、目的地の情景を事前に知らせて乗客をシラケさせたり、修学旅行では授業をしたり、よくも悪くも使い方次第だ。実際にはどう使われるのだろう。

⬆暗くしないですむビデオプロジェクターのおかげで痴漢が減ったそうな。オレ、残念だなあ

TV音声多重放送が始まる。おもしろいことになるぞ

鳴りもの入りで始まったTV音声多重放送も何か拍子抜けの感じ。テレビの音声がすべてステレオ並みの迫力溢れるサウンドで聴けると思っ

近ごろのビデオソフトはすごいぞ。あらゆるものが揃っている

印象が強いということは恐ろしいものだ。ビデオもそのひとつ。家庭用ビデオが普及する前は、日常我々が接するビデオというとラブホテルのソレ。

愛の営みを録画し、それをもう一度客観的な目で見直して楽しむ。考えてみりゃヘンな話だね。今でもそのイメージが残っていて、ビデオと聞くとポルノテープを連想する人も多いみたい。

そのせいもあって、ビデオのソフトを買った、なんて言うと、まず、いやらしい目つきで見られ、次に、「オレにも見せてくれよ」だ。中身が何であるかも知らずに。

現在、日本で売られているビデオソフトの数は数千本。中にはポルノもあるけど大半は大真面目なもの。なにしろ多いのは、企業経営や職場教育もの、次が医学、スポーツものという具合なのだから。

最近はその傾向が変わってきて、映画、音楽などがぐーんと増えてきたけどまだまだ少ないな。

今年、ビデオソフトで最も売れたのは何かというと、『キャンディーズ・フォエバー』だそうな。このテープはTV放送した分と合わせて、4時間半のコンサートがそっくり手に入るという代物。キャンディーズのためにビデオデッキを買った人も多いらしいのでテープの売行きもうなずける。

キャンディーズの次の話題作はというと、そうピンク・レディー。後楽園での『ジャンピング・サマーカーニバル』が発売中だ。ピンク・レディーこそ、TV時代、いやビデオ時代を代表するタレントだね。なにしろダンスを覚えるにはビデオが最高なんだもの。

映画では昔の名作ものが揃っている。ひと昔、いやふた昔前の名作映画がズラリ。例をあげると阪妻の『雪の渡り鳥』『七人の侍』『ゴジラ』『網走番外地』『㊙女子大生……』という具合だ。新しい映画が見当らないのは寂しい気もするが。洋画はどうかというと更に少ない。手元の『ビデオソフト総合カタログ'78』を見ても計31本。その中でプレスリーものが4本も入っているのが目立つ。

次は音楽もの、これは更に更に少ない。クラシックと歌謡曲を除くとなんと2本。ピンク・フロイドとビートルズだけだ。

世界一のビデオ王国でソフトがこの数とは……。でも逆の見方をすればこれは、テレビ放送が発達しているせいともいえる。東京では7局が朝から晩までカラー放送している。それらの番組をエアチェックしておけばタダでソフトが手に入るわけだ。

ということは、わざわざ高い金を出してまでビデオソフトを買う人は少ないということ。つまり売れないのだから、ソフトの単価は安くなるわけないね、コリヤ。

目をアメリカに転ずると事情はガラリと変わる。アメリカはビデオソフトの天国だ。ソニーがアメリカで初めて家庭用ビデオを出したときにはタイムライフ社が1万巻以上のビデオソフトを発売したし、現在もメイジャー系の映画製作会社が自社作品を続々とビデオで売り出している。

封切後半年ぐらいでビデオソフトとして登場するというのだからなんともうらやましい限りだ。値段も日本の半分以下。こうなりゃ、日本で発売されるのを待っているより、円高の威力で直接買い付けようじゃないか、1万数千円で新しい映画が手に入るのだぜ。

映画に関しては8ミリフィルムも数多く売られているが、ビデオと違う点はほとんどダイジェストされていること。ハイライトシーンだけで映画は判断できない。その点ではTV放映されている映画も同じ。現在全長版をプライベートに楽しめるのはビデオだけだ。日本も早くアメリカ並みにソフトが揃わないかなあ。

➡これがアメリカのビデオソフトの最新版カタログ。この内容がスゴイ。映画の話題作がぎっしりとつまっている。これだけ見せつけられちゃ買わざるをえないな

⬆日本で売られているビデオソフトは、ベータかVHSかを指示して電機店にたのむと手に入る

⬅異色のビデオソフト。これはビデオテープを用いた世界唯一のPCM録音ミュージックテープだ

Action Audio

て、高いチューナーを買った人も多いと思うが、始まってみりゃ1日数時間のチョボチョボ放送。

と書いてはみたが、実はこの原稿、音声多重放送の始まる前に書いているので真偽のほどは分らぬが、初めからそんなに大規模にやるわけはない、多分当っているのではないかナ。

今までのTVに付属している小さなスピーカーをオーディオ用スピーカーに替える。これだけで音は大分よくなる。それに加えてTVチューナー。このチューナーはふつうのTVの音声受信装置とは違ってグッと本格的なもの。実はFMチューナーとほぼ同じ方式を用いているのだ。スピーカーとチューナーの相乗効果に加えて音声がステレオ化するのだから、今までとは次元を異にするよい音となるのは間違いないはず。

音楽放送はFMのライブステージ並みの音で、スポーツなどは臨場感抜群。こうなれば、まさにTV音声多重放送サマサマだ。

しかし、チョット待ってくれ。音声はステレオ化するかもしれないけれど、それをエアチェックするビデオデッキはモノラルではないか。これではビデオデッキの価値は半減してしまう。さあどうしよう。

メーカーも音声多重放送に対応したTVやTVチューナーはたくさん売り出したが、ステレオ・ビデオデッキを発売する気配はない。ビデオはステレオ化しないのだろうか。

まさか、そんなことはありえない。ビデオデッキ・メーカーもステレオ化にそなえて着々と準備を進めている。ただ、発売時を考えているだけだ。今、多重放送開始だ、ソレッと調子にのってステレオデッキを発売したら、今までの客から苦情がくることは目に見えているし、多重放送がどれほど定着するか分らないので、ただ今静観中というのが現状だ。

それでは、ビデオデッキで録音できる音はどの程度の音なのか、というと、カセットテープより少し質が落ちる程度のクオリティ。これでは現在のオーディオの水準からみるともの足りないが、ビデオには画像という強力な武器がある。これで少々の欠点は補って、オツリがくる。

来年には現われるであろうステレオ・ビデオデッキに期待しよう。

↑TVと2つのスピーカーでワンセット。こうなるのかなあ

ビデオ用のいろいろな施設が揃い始めた。使わぬテはない

ビデオの楽しさは、実際に使ってみないと分らない。頭で考えるだけでは、カメラの扱いは難しそうだし、電気は全く分らない、エアチェックするだけにしては高すぎる、ぐらいの認識しかないのじゃないかい。一度使うと病みつきになるほどのビデオを、そんな理由で敬遠することはあない。さあチャレンジしてみよう。

そのためのプレイスポットがビデオメーカー各社で用意したショールームだ。ショールームといっても単に製品が飾ってあるだけではなく、それが自由に使えるところがミソだ。

8ミリフィルムをビデオテープに移すテレシネ、カメラを使っての撮影、ビデオソフトの観賞、これらを自分の手で行なうことができる。そして、簡易スタジオも付属しており、これも自由に使える。ビデオメーカーってなんて親切なのだろう。

これらのスタジオは現在、東京と大阪にしかないが、親切なメーカーの皆様、全国に造って!! 我らビデオ予備軍のために。

➡ショールームのビデオスタジオ。これだけの機材を使いこなせるチャンスは少ないゾ。テクニックを身につけるには最高だ
⬆カメラこそアクティブビデオの基本。ミニチュアを本物みたいにとれるかなー

■ビデオ・ショールーム

	名称	所在地・電話
東京	●テクニクスギンザ・ビデオコーナー	東京都中央区銀座5-8-20、銀座コアビル7F ☎03・572・3871
東京	●三菱スカイリング・ビデオイン	東京都中央区銀座5-7-2 ☎03・571・9426
東京	●銀座ソニービル	東京都中央区銀座5-3-1 ☎03・573・2371
東京	●東芝ショールーム・銀座セブン	東京都中央区銀座7-9-19 ☎03・571・5951
東京	●ビクター・ビデオセンター(VIC)	東京都千代田区霞ケ関3-2-4、霞山ビル1F ☎03・580・4264
東京	●シャープ東京支社ショールーム	東京都新宿区市谷八幡町8、シャープ東京支社 ☎03・260・1161
東京	●日立ビデオセンター	東京都千代田区神田小川町2-12、進興ビル1F ☎03・291・8571
大阪	●梅田阪神ナショナルショールーム	大阪府大阪市北区梅田1-13-13、阪神百貨店6F ☎06・345・4161
大阪	●東芝・大阪ショールーム	大阪府大阪市東区京橋1-7、大阪マーチャンダイズマートビル☎06・943・2205
大阪	●ソニータワー	大阪府大阪市南区心斎橋筋1-47 ☎06・251・2391
大阪	●ソニー商事・大阪特機営業所	大阪府大阪市西区立売堀南通り2-70 ☎06・531・4111
大阪	●サンヨーVTRスタジオ	大阪府守口市大日東町100 ☎06・901・1111

全国500万のテニスファンからの熱烈な要望に応えて増刊第3集は『ザ・テニスボーイ』。
●例によって、ポパイ増刊『ザ・テニスボーイ』は〈テニス〉のことばかりを取材しているのではありません。テニスに興味のない人にも十分役に立つ、この秋冬のいろんな情報が満載されています。
↓そのときムサシは小次郎の燕返しを見てとったのだったハ（夢声の声色で）
→おネエさま、あの空の向うには何があるんでしょうね
↗ナンダベね、ホイサッと。しんねっす、コラヤッと
↑トンボちゃん、今日はどこまで行ったやら、シーシー
←味方の頭なんかにぶっつけたら、もうブッ殺すかんね
→ぼん！　無法松の乱れ打ちゃアー
●諸君のテニスに対する考え方は、もしかすると間違っているかもしれない。この一冊で、本当にフリーなテニスの楽しさをみんなで考えてみよう！
↓くじけちゃいけない。ネ、ぼくらには、ホレ、輝く未来が、あそこに、ホレ、あるじゃないか、ネ、ネ
ポパイはいま〈テニス〉に注目!!
だから『ザ・テニスボーイ』が出るのです。
POPEYE
増刊
第3集
●
the Tennis Boy
ザ・テニスボーイ
1978 10月31日 火 発売
●第1集『ザ・サーフボーイ』
第2集『ザ・スキーボーイ』は即日完売!!
テニスは、生まれてから死ぬまでできる数少ないスポーツです。だからテニスをちゃんとやりたい……これがポパイの願いなのです。
『ザ・テニスボーイ』編集チームは、いまアメリカのテニス・フリークを追って
猛烈取材中！
↑ニジンスキーまっ青、ヌレエフごめんちゃい。白鳥です、やっぱ
↑まるでニューカムみたいだって。ぼくハニカムであります
↘美しい瞬間！　しかしこの直後の事件については口外すべきではないだろう
←セーサンな場面です。ついにズンドコ節です
→忍の字は刃の下に心を置くじゃ
↑〝誓言たててもォ、ア、なりませぬかァ〜、なんとしょ、なんとしょ、ア、しゃっしゃりませェ〜
←ケン玉ケンちゃんのセカイイッシュは、それはみごとなものでした
●テニスにはまるで自信のなかったボーイズ＆ギャルズ諸君、少年少女とはずいぶん前にお別れしたはずの勇ましいビギナーたちをとくと見てほしい。ムラムラと自信が湧いてくるでしょ?!

フォームを見れば出身校が一目でわかる。コナーズはモチロンUCLA型テニスの代表だ!!

●構成／宮本恵造

◎秋は、やっぱりスポーツがいい。それもテニスが。編集部ではいま、増刊第3弾『ザ・テニスボーイ』の編集に全力投球中だ。カリフォルニアのテニス小僧たちの熱狂ぶり、テニス・ランチの大がかりなシカケなど、面白い話がギッシリ詰まっている。いざ、発売日の10月31日を待っていてくれ、といいたいが待てないせっかちはどこにでもいる。そんな人のためにお届けするのがこれ。フォームを見ただけで、プレイヤーの出身校がわかるなんて、ちょっと興味ある。『セイコー・ワールド・スーパー・テニス』（10月31日〜11月5日、於東京体育館）の観戦を2倍も3倍も楽しくしてくれること間違いなし。

U.C.L.A

UCLA出身のプレイヤーのスウィングは、フラットに近い打ち方だ。

Connors

Ashe

アメリカにはテニスの名門校が3つある。UCLA、USC、そしてスタンフォード大だ。この3つの大学がアメリカのテニス界をリードしているのは、それぞれ優秀なコーチを擁しているからだ。

UCLAにその人あり、と名が高いのがグレン・バセット・コーチ。選手を育てたら全米一との定評がある。

UCLA出身のNo.1プレイヤーといえばジミー・コナーズだ。1年のときに、NCAA（全米学生選手権）のシングルス・チャンピオンになり、中退してプロ入りしているが、入学当初からNo.1プレイヤーだったのではない。No.1は前年の優勝者ジェフ・ボロビアック、No.2はパキスタンからの留学生ハルーン・ラヒーム、No.3がコナーズだった。それが入学後数か月で先輩を追い抜きNCAAのチャンピオンになれたのは、バセット・コーチの力によるところが大であったのはいうまでもない。

UCLA歴代No.2のプレイヤ

U.S.C

ストロークのフィニッシュが頭上高くにきていたらUSC出身。

Smith

USCのマーク・テニス・スタジアムに行くと、スタン・スミスと名づけられたコートがある。いわずと知れたUSCが生んだ最高のプレイヤー、スタン・スミスを記念したものだ。

スタン・スミスのプレイを見ていると、ストロークのフィニッシュが頭上高くにきているのに気づく。このフォームこそ、USC出身のプレイヤーに共通するものだ。

スタン・スミスに次ぐプレイヤーといわれているのがラウル・ラミレス。メキシコのエンセナダで生まれたが、テニスをするためにサンディエゴのラホイア高校にテニス留学をしたという根っからのテニス狂。USCでは2年のときにNo.1プレイヤー。カンのよいネットプレイやロブを上げるタイミングのよさは、トーレー・コーチ直伝のテクニックだ。

Ramirez

USCのコーチ、ジョージ・トーレーは3校のうち一番優れた戦術家として有名だ。チーム・タイトルを11回、シングルス・チャンピオンを11人も輩出しているが、これもトーレー・コーチの戦術面のアドバイスが優れているからにほかならない。

ラッツはWプレイヤー

ボブ・ラッツは典型的なダブルス・プレイヤー。スタン・スミスとは大学時代からコンビを組み、長い間世界のトップにいる。両ヒザの故障はもう治る見込みはない。それでもフットボール・プレイヤーのつけるギプスをしてプレイしている。泣かせるプレイヤーだ。

トム・レオナードはことしのアメリカン・エア・ライン・トーナメントでベスト4に残ってから、コンスタントに力を発揮するようになった。年齢的にピークを過ぎているので、優勝までは望めないが、サーブ＆ボレーでガンガン攻めまくるテニス

McEnroe

Stanford

なんとも個性的なフォームをしている、と思ったら、スタンフォード大に間違いなし。

ーはアーサー・アッシュだ。65年にNCAAでシングルス、ダブルス、そしてチームとタイトルを総ナメにしたのは知る人ぞ知る話だ。また黒人選手として初めてデ杯のアメリカ代表に選ばれたり、この年からプロの参加を認めた68年の全米オープンで優勝するなど、その活躍には目ざましいものがある。

UCLAは育成が上手

アッシュのUCLA時代のコーチは前任のジョー・モーガン。現在はUCLAのアスレチック・ディレクターで、UCLAのすべてのスポーツをとりしきっている。彼もやはり選手育成には定評があった。その伝統をバセット現コーチが引き継いでいる。

No.3を捜すとなると、ジェフ・ボロビアックだろう。NCAAのシングルスでも優勝しているし、コナーズが優勝した年のダブルスにも勝っている。音楽家としても非凡な才能を持ち、ピアノとフルートはプロとして十分通用する。それがテニス・プレイヤーとして超一流になるのをさまたげてもいるようだ。

このほかピーター・フレミング、1年のときNCAAで優勝し、第二のコナーズと騒がれたビリー・マーチン、トレーシー・オースチンの兄、ジェフ・オースチンなどUCLA出身のプロは後をたたない。

さて最後にUCLA出身のプレイヤーに共通するフォームを紹介しよう。ラケットのスウィングがほとんどフラットに使われていることだ。トップスピンのプレイヤーが多いなかにあって、UCLA出身のプレイヤーはフラットに近いストロークを打っているので、特に目立つ。じっくり観察してほしい。

オーソドックスなプレイヤーを引っ張ってきては、バセット・コーチがこのようにフォームをつくりかえているためだ。

UCLAのバセット・コーチは選手の育て方が非常にうまい。高校時代、無名に近い選手でもランキング・プレイヤーにしてしまう。USCのトーレー・コーチは戦術を立てさせたら、彼の右に出る者が大学テニス界にはいない。その知恵が今までUSCの選手をどれほど勝たせたか。

それではスタンフォード大にはどんな優れたコーチがいるのか。デック・グールド・コーチは優秀な選手をスカウトさせたら天下一品なのだ。スカウト網を全米に広げ、モノになりそうな高校生がいる、と聞けば、どこへでもすぐに飛んでいく。コートの上での指導は、バセット、トーレーの両コーチに劣るが、選手の力を見抜く目は前二者が遠く及ばないものを持っている。そして、これと思った選手を口説くのもグールド・コーチはじつにうまいのだ。

スタンフォード出身のNo.1プレイヤーは、現在はロスコ・タナーだ。〝現在は〟と但し書きをつけてあるのは、近いうちにそうでなくなるという意味だ。

タナーは学生時代、トリニティ大のストックトンに破れることしばしばで、とうとうタイトルは一度も取れなかった。

だが、左腕から繰り出すサーブはそのころからスピードがあり、それが決まると、相手は手が出せなかった。現在でも彼のサーブに泣かされている選手は多い。

マッケンローもプロに

父親はテニス・コーチ、弟もプロのプレイヤーで、スタンフォード出のテニス一家といえばサンデー・メイヤー一家のことだ。大学時代にウィンブルドンでナスターゼを破ってベスト4に残り、NCAAでも優勝している。プロになって一時期低迷していたが、ことしに入ってからの活躍はめざましい。

昨年のウィンブルドンを思い出してほしい。予選から勝ち上り、あれよあれよという間に準決勝まで勝ち進んだスーパーボーイがいた。その少年こそ、ジョン・マッケンローなのだ。

ウィンブルドンでヒーローになった後、マッケンロー少年は名門スタンフォードの門をくぐった。

Tanner

スタンフォードには昨年のNCAAシングルス・チャンピオン、マット・ミッチェルがいたが、マッケンローは入学早々、前年のチャンピオンを押しのけてNo.1の座についた。そしてことしのNCAAで優勝した後、すぐプロに転向。今ではATPのランキング14、15位のあたりにつけている。すぐにでもベスト5に入る位置だ。

Mayer

サウスポー、それにカンのよい素早い動き、NCAAのシングルス・チャンピオンをみやげにプロ入りしたのはコナーズにそっくり。〝コナーズ2世〟の声が上がっても不思議ではない。スタンフォード出身のNo.1プレイヤーがタナーからマッケンローに代わるのは時間の問題だ。

スタンフォード出のプレイヤーはメイヤーを見るまでもなく、じつに個性的なフォームをしている。それはグールド・コーチがヘタにフォームをいじらないからだ。

Leonard

は見ていて頼もしい。USCにしてもUCLAにしても、多くがほかの州からやってきたプレイヤーだが、レオナードは数少ないカリフォルニアン。

このほかUSC出身のプレイヤーにはチリのハンス・ギルドマイスターがいる。彼はフォアもバックも両手打ちだ。

Stockton

カレッジ・テニス界に吹いている風は〝トリニティ旋風〟だって。

Columbia

IVYの校風はどこへやら、ゲルライティスはオーストラリア・テニスだ。

コロンビア大学はアイビー・リーグの名門。アイビーといえば、例のIVYファッションの故郷。テニスのスタイルもどことなくそのイメージをほうふつとさせる。

コロンビア大出身の出世頭のひとり、ビタス・ゲルライティスは、残念ながらその校風に似ても似つかない。ロング・ヘア、流れるようなオーストラリア・スタイルのフォームと、彼を見ているとてもアイビー・リーグ出身とは思えない。それも、ジュニア時代からハーリー・ホップマン（R・レーバーやK・ローズウォールを育てた名コーチ）に鍛えられ、その後もローズウォールの影響を強く受けているからだ。

素早いコート・カバーでネットへのつめも早い。バックハンドは、ローズウォールばりの華麗さに加えてアメリカ人独得のトップスピン。ジュニア、大学を通じて強敵が多く、ビッグ・タイトルには縁が遠かった。しかし、最近メキメキと頭角を現わし、現在全米No.2だ。

Gerulaitis

Ohio State

Gullikson

オハイオ州立大式テニスなんてなかったかな。ただガムシャラなティムのド迫力プレイは凄い。

Miami

マイアミ出身のプレイヤーはストローク中心。ディブスはさしずめその代表。

Rice

ライス大は〝テキサスのハーバード大〟と呼ばれるほどのインテリ大学。テニス・プレイヤーで有名なのは、あとにも先にもハロルド・ソロモンただひとり。野球ではヤクルトのヒルトンもライス大の出身だ。

ソロモンは典型的なフロリダ・スタイルのストローク・プレイヤー。小さな身体を精一杯使って思いっきり打つ。スピード豊かなうえに、強烈なトップスピンで相手を圧倒する。E・ディブスとは体型もプレイ・スタイルも似ているが、ストロークのフォームが違う。二人の試合ぶりを比較するのも面白い。

大学時代はパッとした戦績はない。この1〜2年で世界のトップに堂々と割り込んできた感じ。特に〝グレーコート・スペシャリスト〟の異名をとっている。

Solomon

ライス大が生んだただひとりのテニス・プレイヤーがH・ソロモン。

Gottfried

Trinity

トリニティ大は、現在全米カレッジ・テニスのNo.1にランクされている。WCTのファイナルにも使用される体育館をはじめ、設備も抜群。コーチにはつい数年前まで現役のプロだった、ボブ・マッキンレーを迎えている。

マッキンレー・コーチは、ストックトンらと同期生。学生時代はチームのNo.4で、プロ転向後、ウィンブルドンで九鬼潤選手を破ったりしている。彼の強みは、選手と一緒に練習できること。若さを武器に文字どおり選手をグイグイと引っ張っている。

トリニティ大の選手はほとんどがフロリダの出身。アメリカン・スタイルのサーブ&ボレーよりも、オーソドックスなストローク中心のプレイヤーが多い。

ブライアン・ゴットフリードは、大学時代は同期のストックトンにNo.1の座を奪われNo.2に甘んじていた。プロ入り後もダブルスの世界タイトルは握ったものの、シングルスではなかなか芽がでなかった。昨年あたりから、突如として優勝戦線に名を連ね始めたのは、実弟ラリーの活躍に刺激されたからだろうか。ラリーは現在トリニティ大のNo.1、ジュニア・チャンピオンになったこともある。この1年間で、ゴットフリードがトリニティ大OBのNo.1の座を獲得した感がある。

ディック・ストックトンは、大学時代は全米学生のシングルスとチームのタイトルを独占、二冠王に輝いてトリニティ大に初優勝をもたらした。昨年、コナーズを破って全米プロに優勝。

プロ転向後も順調に活躍している。

トリニティ仕込みの巧みなストロークはもとより、サーブ&ボレーを得意としたプレイ・スタイル。クレー・コートも苦にしない。

ゴットフリード、ストックトンの両雄のほかにもトリニティ大出身のプロは多い。2年前の学生チャンピオン、ビル・スカンロンもそのひとり。弟のラリーも近くプロ入りするだろう。プロ・テニス界に〝トリニティ旋風〟が巻き起こる日もそう遠くはなさそうだ。

アメリカン・フットボールやゴルフで有名なオハイオ州立大も、テニスでは日陰の存在。〝オハイオ州立大式テニス〟なんてあるはずもないのが、特徴といえば特徴だろう。

その〝無名校〟から飛びだした〝一匹狼〟がティム・ガリクソン。ティムは、双生児の弟トムと一緒に世界を駆け回るテニス渡り鳥。大学時代はもちろん無名。卒業後も『サテライト・サーキット』で予選から出場していた程度のプレイヤーだった。

そのティムが、驚くなかれ世界のベスト20以内にランクされるトップ・プロにまでのし上がった。恐ろしいほどの馬力を武器に、すさまじい迫力でネットに突進する。

ベスト10入りの壁は厚いが、ティムには〝大物食い〟の魅力十分。ボルグやコナーズを破る大番狂わせを演じてくれそうな期待の一番星だ。

●『セイコー・ワールド・スーパー・テニス』に『ポパイ』の読者100名をご招待！

賞金総額20万ドルという世界中のテニス・ファン注目のビッグ・イベント『セイコー・ワールド・スーパー・テニス』は、10月31日(火)から11月5日(日)まで東京体育館で行なわれる。ジミー・コナーズやビヨン・ボルグなど世界の強豪が集まるとあって、前売り開始と同時にメイン・シートは売切れという大変な前景気だが、セイコー・ワールド・スーパー・テニス事務局のご厚意により、10月31日と11月1日の両日、『ポパイ』愛読者各50名をB席に招待する。希望者は左記の要領で申し込まれたい。

●官製はがきに住所、氏名、年齢、職業、希望日を明記のうえ、〒104東京都中央区銀座3—13—7、平凡出版㈱『ポパイ編集部／セイコー・ワールド・スーパー・テニス係』へ。発表は入場券発送をもって代えます。

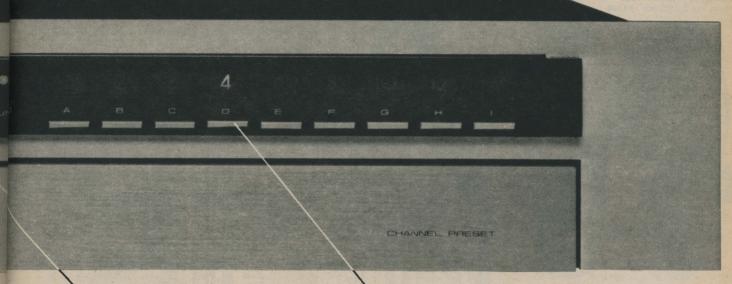
マイアミ大は、チーム成績は芳しくないが、個々に優秀な選手を多く輩出している。コナーズのコーチとして有名なパンチョ・セグラはマイアミ大出身。NCAA3連勝をマークしている。ブラジルを中心に南米のトップ・ジュニアをスカウトしてくるのもマイアミ大の特徴だ。

マイアミ出身のプレイヤーはストローク中心のスタイルが多い。エディ・ディブスはその代表格。サーブ&ボレーを学ぶため、テキサスやカリフォルニアに移る選手が多いなかで、彼はガンとしてストロークに生きている。身長165cm。小柄ながらトップスピンのフォア、両手打ちのバックは威力十分。ベースラインからでもエースが取れる。今では完全に世界のベスト5の仲間入りを果した。特にクレー・コートにはめっぽう強い。

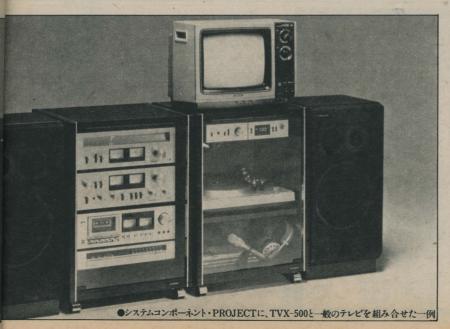
Dibbs

PIONEER®

ビにまかせられない。

なった。パイオニア・ステレオTVチューナーTVX-500、新発売。

●TV音声多重／ステレオ放送が楽しめます。
音の広がりや、奥行き感など、まさに、あなたのオーディオルームは、コンサートホールそのもの。また、ステレオサウンドによる臨場感にあふれるスポーツ中継も楽しめます。

●ソフトプッシュのチャンネルセレクター。
このボタンで、TVの音声と映像のチャンネル切換えが同時にできます。VHF局・UHF局あわせて9局までプリセット可能。

●システムコンポーネント・PROJECTに、TVX-500と一般のテレビを組み合せた一例

ステレオTVチューナー(RF出力付) ¥50,000 新製品

TVX-500

オーディオ・システムをお持ちの方は、TVとステレオにつなぐだけでTV音声多重放送が楽しめます。

ステレオTVチューナー(RF出力付) ¥79,800 新製品

TVX-700 オーディオ・システムに凝っている方は、ステレオTVチューナーの最高機種TVX-700とTVを接続してお楽しみください。

ステレオTVチューナー(VIDEO出力付)¥45,000 10月下旬発売予定

TVX-500V TVの買替えをお考えの方でステレオをお持ちの方は、TVX-500Vとパイオニア・カラーモニターTVM-201とでお楽しみください。

ステレオTVチューナー(VIDEO出力付)¥45,000 10月下旬発売予定

TVX-205V パイオニアのミニコンポーネントと同サイズのTVX-205VをTVM-201と組み合せてお楽しみください。

20インチカラーモニター 近日発売

TVM-201 VIDEO入力の鮮明画像のカラーモニターTVM-201とTVX-500V、TVX-205Vと組み合せてお使いください。

カタログの請求は郵便番号、住所、氏名、希望製品名、年令、性別、職業、ステレオの有無をご記入のうえ、〒142 東京都品川区荏原郵便局私書箱40号パイオニア・カタログセンター・ポパイ©TVX10A係へ。

パイオニア株式会社

エキサイティング ステレオTVスペシャル
矢沢永吉 ザ・ワン・ナイト ショー
ライブイン後楽園 ゴールドラッシュ'78
日本テレビ 11月4日(土) 午後1時～2時20分
提供：パイオニア株式会社

テレビの音は、テレ

ついにTV音声多重放送開始。TVはステレオにつなぐ時代に

ANTENNA
POWER TV TUNER
MPX MODE
MAIN SUB BOTH
MPX STEREO SIGNAL
PIONEER STEREO TV TUNER TVX-500

●電源スイッチ

●アンテナ切替スイッチ(TV／TUNER)
裏番組のTVサウンドも録音できます。
スイッチをTUNER側にすれば、TVサウンドをステレオ・システムで楽しめます。TV側にすれば、あなたの見たいTV番組を見ながら、同時に裏番組を録音することができます。

●TV音声多重／2か国語放送が楽しめます。
日本語(MAIN)、外国語(SUB)、あるいは両方(BOTH)を同時に聴くことができます。TV洋画劇場を俳優自身の声で楽しんでみたい、そんな時は、SUBスイッチを押してください。

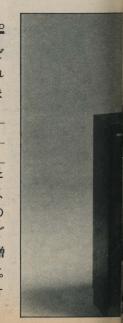
お手持ちのオーディオ・システムにつなぐだけで、TVのステレオサウンドが美しい音質で楽しめます。

ついに、TVの音がステレオになりました。オーディオのソースが、また1つ増えました。まるで、ステージの前にいるような臨場感。ダイナミックなサウンド。このTVのステレオサウンドを、いい音で聴きたい。オーディオ・ファンなら、きっとそうお思いになるでしょう。音の広がりといい、奥行き感といい、今までのTVサウンドとはまるで違います。それだけに、TVに組み込まれたスピーカーでは、おそらくあなたは飽きたりなくなるでしょう。いま、TVはステレオにつなぐ時代になりました。

いい音をいい音で聴いていただきたい。
ステレオTVチューナーTVX-500。

パイオニアは、TVの音をHiFiサウンドで楽しんでいただくために、ステレオTVチューナーTVX-500を開発しました。このTVX-500を、お手持ちのオーディオ・システムに接続すれば、それだけでTVのステレオサウンドを美しい音質で楽しめます。いい音をひたすら求めるあなたに、ぜひ聴いていただきたいパイオニアのステレオTVチューナーTVX-500。これからは、あなたもTVの音楽番組に無関心でいられなくなります。いま、TVはステレオサウンドの時代になりました。

ステレオTVチューナーTVX-500は、
音質重視設計のスプリットキャリア方式。

一般にTV受像機は、インターキャリア方式といって、画像と音声の信号を共通の回路に通すために、画像側の信号が、音声側に混入しブーンというバズ雑音が出がちで、せっかくのステレオサウンドが楽しめません。TVX-500は、アンテナでとらえた電波を映像信号と音声信号に分け、べつべつに増幅、検波します。これを、スプリットキャリア方式と言います。バスの影響をほとんど受けず、すぐれた音質でTVステレオサウンドを再生することができます。

■第36回……迷路に隠れているのは果して誰か？

ポパイ・懸賞パズル

MAZE ◎迷路◎

先号より登場の新手の〈迷路〉どうかな。ちょっと見るとかなり複雑なようだけど、見た目よりは簡単に解けたかと思う。

では、今回の〈迷路〉の遊び方を説明しよう。

右の〈迷路〉の左上にある入口から、右下の出口に通ずる道を探り当て、その通路を塗りつぶしていくと、アメリカン・コミックスのヒーローの顔になる。果してそれは誰なのだろうか？ 答えは〃スーパーマン〃とか〃バットマン〃とか、そのヒーローの名前を書いてくれたまえ！

LET'S チャレンジ！

応募規定

▼正解者のなかから抽選で10名様に、《メージャー・スポーツ・シューズ》を贈呈します。

解答は官製ハガキの表面に第36回と書き、裏面に解答と、住所、氏名、年齢、職業、靴のサイズを明記してください。なお、本号で最も興味のあった記事のタイトル、つまらなかった記事のタイトルもわすれずに書いてください。

▼締切り＝昭和53年10月20日、当日消印有効。発表＝『ポパイ』44号。

▼あて先＝〒104東京都中央区銀座3—13—7、平凡出版株式会社『ポパイ編集部／パズル係』。

by TAKANORI AIBA

Wheel

Chevrolet Blazer Cheyenne

スーパーカーとはおれのことかとブレイザーいい。

文 寺崎 央

〝快適な内装を持つ4輪駆動車〟に向うアメリカの4駆の傾向を、より発展させ、豪華なサルーンタイプでありながら強力な底力を見せる4駆の決定版、として誕生したのがシヴォレー・ブレイザーだ。以来、9年目でやっと日本の土を踏むことになったのだが……。

⬇この程度の浅瀬ではなんのコウフンもない。子供プールで水遊びしてるようなものだ。しかしサマになっとる

河原から川の流れへ、そして大きな石を乗り越えながら堤をよじ登ってしまうのに、なんのテクもいらない。アクセルを踏み続けているだけだ

ニューヨークやロサンジェルスといった大都市を離れると、がぜんピックアップ・トラック、ワゴンタイプの4輪駆動車といった類のクルマが増えてくる。特に中西部、北西部ではこのテのクルマ以外クルマに非ずの雰囲気だし、アラスカにいたっては、4駆以外のクルマなんて存在するんでありますか、不思議ですね……と並みのクルマの話をすれば奇人扱いされかねないありさまだ。

4輪駆動車といえばオープンタイプのジープとか作業車というのがちょっと前までのイメージ。ラフロードでの走破性は高いかもしれないけれど、居住性の悪さ、悪天候での不快感、ただもうガチガチの操縦性と高速巡航性に欠けるところなど、あんなもなあ乗る気もしない、クルマじゃないね——これが日本での一般的評価だろう。

しかしその指摘された問題点がすべて解決されたとしたら、そこらあたりの乗用車なぞ全員脱帽、ゴメンチャイの、まさに真のスーパーカーとなるはずである。アメリカで競争しているワゴンタイプの4駆がまんまこれなのだ。

レジャー・ヴィークルとして文句なし、ビジネス用にしてもできすぎ、日常の足としても女性に無理な運転を強いない機構である。その最高傑作といわれるのがシヴォレー・ブレイザーなのだ。

我がポパイの友人でもあり、《フード&ドリンク》ページのよき協力者でもある白馬の〈プチホテル・ベルプレ〉のチーフ、胡さんが、こいつを購入に及んだというのだから黙っていられない。早速拝見に馳せ参じた次第である。

こちらは愛車、スバル・レオーネ・4WDセダンを参加させた。とカッコいいことといっても、これ1台きりしかないのだから、ま、トウゼンといえばトウゼンなり。しかし、これだって4駆の世界ではユニークにしてかつ傑作の部類だと評価されているし、こちらはそれ以上にど優れ車だと考えているから、こいつはおもしろい、いい勝負だわい。

オーナーの心情が伝わったのか伝わらないのか、我が4駆のレオーネは勝手に闘志をみなぎらせ、巨漢ブレイザーに挑むべく、小さな体にへの字の口をして、国道20号線を北西へとひた走ったのだ。

➡プチホテル・ベルプレの前で胡さんの記念写真。ブレイザーはかくの如き土地に似合うのですなあ

⬇リアゲートを手前に下ろせば、ちょっとしたベンチ。うまいバーベキュー・ショートリブでも作って食おうか

PHOTO by TSUTOMU NAGANO

クルマだけの写真では、その大きさはわからない。よしんばここに人間を立たせて比較してみても実感は湧かない。その巨大さはやはり目の前にしてみなければわからないだろう。とにかく巨人国の乗用車というカンジなのだ。全長468.5cmというのは大した数字ではないが、全高183cmは9人乗りハイエースに近いし、全幅202cmといえば、25人乗りマイクロバスよりも幅広いということになる。それでも巨大さがわからなければ、やっぱり目にする他はないというわけだ。ピックアップ・トラックにルーフをつけたサマだが、このFRPのトップはボルトでしっかりとりつけられているものだから、とりはずそうと思えばはずすことができる。しかしそれではワゴンにはならなくなっちゃう

Cheyenne Wheel

⬆ツードアはパワー・ウィンドウ。リアシートへは助手席から

⬆ダッシュ、ステアリング、シートは豪華車並み

フルタイム4×4(フォー・バイ・フォー)が世界の4駆の主流になるだろう

シヴォレー・ブレイザーはシヴォレーの小型トラック部門から69年に発売された。アメリカではこれとウリふたつの、フロントグリルだけが違うGMCのジミーもよく見かけるが、ウリふたつも当然で、名前とフロントのデザインが違うだけのまったく同じクルマだ。つまり、フォードがブロンコを登場させて、4×4(フォー・バイ・フォー)のワゴンタイプに斬込みをかけてきたことに対して、GMがとった手段がGMCジミーとシヴォレー・ブレイザーだったというわけだ。

ブレイザーを目の前にして、その巨大さにびっくりする。国産のピックアップ・トラックを、そのままマイクロバスの大きさに引き伸ばしたカンジだ。全長468・5cm、全幅202cm、全高183cm。幅と高さにはもうあきれ果ててしまうのである。これで6人乗りとくる。

➡日本の林道では1台で道を占領する

日本の道路では、とにかく毎日マイクロバスを運転するというカッコウになるだろう。

車内のシート、ダッシュまわりはその誕生の思想どおり乗用車のそれとかわりがない。箱が大きいだけに国産乗用車ではとてももたちうちできない居住性を持っている。むろん、リアシートはゆったりだし、荷室も広い。そのリアシートの背もたれを倒して、座席をフロントシート側に起こすと、荷室は½トン・トラックの荷台の大きさになるんだからかなわない。そうなってはじめて、ああ、これは½トン・トラックをベースにしたものだったんだな、とやっと気づくほどの快適な内装なのだ。白いFRPのトップをとりのぞいてみると、なるほどピックアップ・トラック。

イージー・ドライブ化

4×4のクルマといえば、通常のトランスミッションのシフトの他にトランスファ・ケースのシフトがあって、低速4輪、高速4輪、

⬇リアゲートは丈夫なワイヤの吊下げ式

⬇ホワイト・ホイールに10—15のタイヤだ

⬇大型ミラーが大きさを示す

⬆シヴォレー小型トラック部門の特別車だ

⬆愛称"シャイアン"のエンブレム

➡サイドの窓にプロテクターがついてる

⬇リアのロックカバーは窓のハンドルに

⬆フロントグリルにはシヴォレーの紋章

⬆5,700cc V8エンジンは165馬力

⬆K5とはブレイザーを示す車両部類表示

⬆広い荷室とリアシート

⬆リアゲート右下にちゃんと入ってます！

⬆それを折り畳むとかくも広き荷室

⬆FRPトップの両サイドのベンチレーションは77年モデルから標準装備

Chevrolet Blazer

➡不可能なアクションについつい挑戦してみたくなっちゃうわけ

高速2輪だとかをセレクトしなきゃなんない、なんだかめんどくさいところがある、と考えてしまう。しかし、いまの4×4は内装の豪華さ、乗り心地のよさとともに、ドライビングしやすい方法をとっている。

ブレイザーのトランスミッションはオートマチックであり、シフトはコラムに置かれている。これで女のコでもイージーに運転できるわけだ。トランスファ・ケースは4駆、2駆の使い分けをなくしたフルタイム4駆で、ローとハイの変速機とやはりローとハイのメカニカル・ロックつきのセンター・デフを持っている。シフトはドライバーの右フロアにオートマチック・シフトのように体裁よくおさまっているのだ。

このフルタイム4×4によって、2輪から4輪にかえたり、2輪駆動の際の騒音と燃費をおさえるために前輪につけたフリーハブのロックを解除しにいったりする手間がなくなったことになる。ドライビングはトランスファのシフトをハイにし、トランスミッションをドライブにぶちこんでおけば、あとはアクセルを踏むだけなのだ。

しかしやっぱりアメ車

センター・デフによるフルタイム方式はタイヤに同じ力を伝えることができるのでバランスがいい。ただ、1輪でもスタックするとカメっちゃうので、ロー、ハイのメカニカル・ロックをつけてそれを防いでいる。だから世界の4×4の傾向はフルタイムに向っているわけだ。

さらにブレイザーにはチルト・ハンドルのパワー・ステアリングがついている。悪路でのキックバックを防ぐのとクイックな操向性の要求から、4×4には不可欠なものとなっている。

猿倉の林道、松川の河原と走りまわってもらったが、実にスムーズで力強い走りっぷりにはなんの心配もいらないほどだ。高速走行は試せなかったけれど、そこではきっとイージー・ドライブをたっぷり味わうことができるだろう。しかし燃費が4km/ℓとは！

➡ボンネットも広いから、その上で昼寝なんてできちゃう ⬇崖の林道もパワー・ステアの威力で

おもちゃというにはあまりにも進化しすぎたオモチャたち。

1978東京国際玩具見本市を見て・・・

⬅アメリカのアーテル社のブリキのおもちゃ。ここんちの製品は凝ったものが多いんだ。写真はちゃんと貯蔵庫がついたモービル・タンクローリー。ガソリンを入れてもいいけど水でガマン。上部のボタンを押すとチョロリです。7,000円（不二商）

⬇コーギー社のボンドもの。アストン・マーチンDB5は大きくなって新登場！1,900円（アサヒ玩具）

⬇これは、ラビリンス（迷宮）というゲーム。ノブの操作で盤を斜めにして玉をころがし、終点に着く速さを競うというもの。ブラジル製につき値段が安く、対米輸出価格は5ドル95（参考商品）

⬇こちらバットマン印の新顔バットバイク。メーカーはコーギー社。期待を裏切らぬつくりで1500円（アサヒ玩具）

見本市というと、なにやら堅苦しいイメージがあってなかなか見に行く気になれない。でも、それがおもちゃとなれば話はコロッと変ってヒョイヒョイ出かけていってしまう。やはり、このテのものは好きですからねえ、ポパイは。

去る9月5日、6日、7日の3日間、東京国際玩具見本市が開かれた。名前はしかつめらしいけど、要するにおもちゃの見本市。場所は東京・晴海の見本市会場だ。日本は世界第2位のおもちゃ生産国。さすがに出品会社は多い。その数は海外30社を含めて160社にものぼった。

さて、会場の様子は……。これがモノスゴかった。ものがものですからねえ。ハデでした。おもちゃで遊ばせてくれる会社はあるわ、お茶を出す会社はあるわ、ホンモノの車をディスプレーとして使ってあるわで、えらい金のかけよう。でも、あまり見とれてはいられない。なにしろ、160社もあるわけですからビシバシと見て回らなければいけない。見る人もかなりシンドイ。「人間辛抱だ」とつくづく思った。

⬆やたらアメリカっぽいビーチボールセット。タイワン製につき安くてうれしい1,200円（盟朋）

さらにマニアックに

問題のおもちゃに話を進めよう。あいかわらずエレクトロニクス志向が強い。内容的には昨年のTVゲームからラジコン・カーに主流が移っていた。1000円以下のダサおもちゃに関しては、ホンコン製やタイワン製に押されて、いまひとつ活気に乏しいようだ。

ずっと見ていくうちに、エラい時代に

⬆⬇実際に遊んでもらったり、ばかデカいロボットを使ったりでメーカーも必死

⬅ピエロづくりコージ・ムライ氏がデザインしたオルゴール。この色使いの素晴らしさを見てほしい。箱型3000円、木馬型6800円（三協商事）

⬆マスターマインドは24種類もあった

なってきたぞ、という感じがした。それは、おもちゃがますますマニアックになってきたことと、おもちゃを楽しむ人の年齢が高くなってきたことだ。これは子供用、これは大人用という区別がなくなってきていて、出来のよいおもちゃだけがよく売れるというシビアな状況だ。

ミニチュアはより小さく精密になっていた。電気じかけのおもちゃは最新のエレクトロニクスの技術を盛り込み、本物のような複雑な動きをするものが多かった。とくにラジコン・カーにおいて、それが目立った。また、テレビ・映画の公開とシンクロしてつくられたキャラクターものも多く、その宣伝方式も大がかりなものになっていた。

こうしてひと回りしてみると、驚くことあり、感心することありで、なかなかいい見本市だった。さすが世界第2位のおもちゃの国だ。それにしてもおもちゃの世界は進みすぎている。猿が進化して人間になった。おもちゃが進化したらいったい何になるのだろう。やっぱり、おもちゃはおもちゃというモノでしかないのだろうか。それとも……。

⬆この野球盤でいっちゃんすぐれたところは、ピッチャーが投げるタマが空中に飛ぶことだ。今までの野球盤ではタマをころがす方式をとっていて、どっちかというと二次元的だった。でも、これは違う。ピッチャーが投げるタマは完全に浮きますからね。やっぱり根本的に違いますよ。これで速度調整や変化球が出せれば最高なんだけど、高望みかなあ？ 3,500円（ミウラトーイ）

⬋⬇チェスの持ち時間を計る特殊時計。囲碁・将棋にも使える。左、西ドイツ製で11,000円。右、日本棋院御用達の時計で非売品（日本遊戯玩具）

➡ダサおもちゃもたくさん展示されていた。これはピンポン玉を飛ばすオートピンポール・ピストル。オート……という名前がいいね。500円（盟朋）

⬊カードを1枚ずつ出す道具、カード・シュー（日本遊戯玩具）

⬇イギリスは、今は経済的に落ち込んでしまって精彩がないけど、やはりスゴい国だ。たとえばこの木馬。もうおもちゃの域を完全に超えてしまっている。メーカーはハドン・ロッカーズ・リミテッドといい、一台一台専門職人の手でつくられている。本体はFRP製で、台は木製だ。ハーネス部分は革を使用している。そして、乗り心地は素晴らしく、本物の馬の動きに近い、やさしく、しかも力強い動きをする。値段は200,000円とひどく高価だが孫の代までも持ちそうだ（株式会社エー・ジー）

⬆異常なほどの精密さで知られるイタリアのポケール社のプラモデル。型はメルセデス・ベンツ500K／AKカブリオーレ1935。スケールは8分の1だ。部品の数は2,375もある。一説によると完成まで半年はかかるといわれている。ドアの窓も開閉するつくりで80,000円。値段も超一流だ（朝日通商）

小林泰彦の〈街をさわる〉…㊳

マリーナと漁村のある風景

逗子市小坪（神奈川）

⬇埋立ての逗子マリーナは南欧風といわれる建物がいくつも建って、その間にヤシがずらりと植えてある。人工的に、もともとの湘南とはまったくちがう風景が造られている。コンクリートの防波堤が高く続いているので歩いたり車に乗っていたりでは海はまるで見えない。マンションに住まないと海辺にいるという感じがしないわけ。そこで堤に上るとその先はテトラポッドの行列でその先がやっと海である。ハワイのビーチの美しさを思い出した。

鎌倉と逗子の間で目立たなかった漁村、小坪も、いまや湘南きってのマリンスポーツの基地になっているのだが——

➡小坪マリーナーは小坪漁港と共存している。突堤のあたりや港内は子供たちの釣り場で、熱心な釣り少年がたくさん集まっている。湘南有料道路は鎌倉と逗子の間をあっと言う間に走り抜けてしまうので、もちろん小坪はバイパス。トンネルとトンネルを結ぶ高架道路が小坪の家並みの上を通り抜けている。そのかわりに高架道路の下は以前のひっそりした漁村のままで、麦わら帽子でバスを待つ人が目につく程度の静けさ。休日でなければ外来者も少なく、漁港のにぎわいどき以外は静かな村にかえる。
由緒ある寺社や史跡もあるのだけれど、鎌倉見物の客もなぜか小坪まで来ることは少ないようで、すなわちトンネルをくぐらずに帰ってしまうらしい。小坪への交通は逗子駅、鎌倉駅からバスに乗って同じくらいの距離。車でもそのバス道を入るのがわかりやすい。小坪4丁目、5丁目あたりが海辺の町ということになる。

Town

鎌倉からも、逗子からも、小坪に入るには山がじゃまをする。山はそのまま急峻な崖になって海に落ち込んでいるから磯づたいというわけにも参らぬ。

そこで陸路ならトンネルを穿(うが)つということになり、あとは海からしかない。小坪は漁村だから船なら得意だが。

そういうわけで結局トンネルがいくつもあって、どこから入るにもトンネルをくぐって小坪に入る。

静かで小さな漁村だった小坪を変えてしまったのはマリーナだ。

ひとつは小坪湾に向って左手に見える小坪マリーナー。小ぢんまりと粋な感じのこはハーバーが小坪港と一緒なので船は全部陸置。小型船舶操縦士小坪教習所というのもここにある。マリンショップもある。

もうひとつは規模がずっと大きい逗子マリーナ。こちらは湾の右手の海を広く埋め立てて造った人工的な平地にディベロッパーがリゾートマンションを分譲していて、その隅にハーバーがある。マリーナというのだからマリンスポーツ中心かと思うと、ここは分譲マンションが主体なのだ。だから湘南には珍しく艇置場にアキがだいぶあるのだけれど、残念、マンションを買わないと船は置けないのだ。

●海辺の自然を大切に

ここはボウリング場、ガーデンプール、一軒建のレストランなどの施設もあって、ハーバーもそうした分譲地付帯設備の一部といったおもむきだ。

それにしても自然の海岸を実に思いきりよく埋め立てたもので、もちろんもともとの浜辺や磯はつぶされているのだけれど、ここに限らず日本中で次々とこうして自然の海辺が消されてゆくのはおそろしい。土地がないとかいろいろ理由もあるのだろうけれど、もう問答無用で絶対こんなことは止めて欲しい、と私は思います。ヨット置場はまことに必要だけれど、海辺がすっかりコンクリートで固まるのも困るのです。

Food & Drink

モザイク・パン どこを切ってもモザイクだ。

久しぶりであります。元気でありますか。ナヌ、元気ナシとな。それではパツイチ栄養満点、簡単至極の絶頂、モザイク・パンを作ったろやんけ。リキつきますでえ、です。

レポーター・内坂庸夫

撮影／高島譲二
指導／マダム・ド・スウ
協力／ミュージック・インターアクション☎03・402・8339

⬆というわけで材料はこんなところが基本線。好みによりフランスパンも細長いものでなくコロッとしたフットボール型などでもヨロシ。ただあまり太いのは食べると き中身ボロリの危険ありです。詰めモノがハム、サラミ、ピクルス……といった風にて酒のつまみとしてもピッタシなのです。ちなみにこの分量で4～5人分であります

⬆パンを半分に切ったれば、中身ホジホジにて空洞にするのです。奥の方はフォークを使います

東京名物かどうかは知らんけど、お祭り縁日の屋台に金太郎飴ってのがある。まんま千歳飴の風体なれども、どこを切ってもキンタロさんの顔が切り口に登場してくるのね。コレを伝統芸術といわずしてなんとする。

これに対抗するようにアメリカにもキンタロさんがある。といっても飴ではなくサンドウィッチ、サンドウィッチといってもパンのはさみモノではない。むしろ詰めモノなのです。もちろんアメリカのお祭り縁日に出てくるわけもなく、家庭料理のおべんとアイテムと考えていただきたい。

にて、その名もモザイク・パンケーキ。通称モザイク・パンと呼ぶのであります。手先ブキッチョな方々が多いお国でありますゆえ、どこを切ってもキンタロさん、というわけもなく、どこを切ってもモザイク模様。ま、これはこれで美しいものなのであります。

ならば用意すべきモノはフランスパン、バターに牛乳、生クリーム。あとはモザイクとなる中身、ハム(ソーセージも可)、サラミ、チーズ、ピクルス、オリーブの実などが主役です。ほかにもトマト、アーモンドの実、干しブドウ、干しアンズなど……フランスパンとバターの味に合うモノなら、なんでもね。

栄養ありすぎかな

とにかく以上のモノが1本のフランスパンの中に入ってしまうのですから、半分食べればニキビがポツポツ、1本食べれば鼻血ドドーッ……てな感じです。

しかるゆえ、モリモリ食らうてはいけません。それにひと切れなれども中身フカフカにあらずして、グリグリに詰まり放題、ボリュームたっぷし。

ひと切れといえば薄く切った方がいいのか、厚く切った方がいいのか、いつも悩んじゃうんだけれど、これは切るモノによって違うみたいだ。たとえばヨウカン、これは絶対に薄く切るのに限る。ひと切れというより1枚という風にね。1枚食べて、お茶飲んで……もう1枚食べて、お茶飲んで……この繰り返し。

食べるごとに甘味はお茶でゼロにされるから、常にヨウカンがおいしく食べられるわけ。

で、レアのチーズケーキはブ厚く、むしろ丸ごとだ。特にシュワッチ、脂ギトギトのタイプならばなおさらのこと。一度にドドッと勢いよく、ケーキというよりゴハンという感じでモリモリ食べてしまう、これがいいのよね。気がついたらお腹いっぱい、ぐらいね。

甘いものは一度にたくさん食べられないけど、シュワッチものなら一度にドッサリ食べちゃった方が味覚的に楽しいのです、と思うのだけど。ま、人さまざまですからして、決してコモンセンスなどとは申しません。

ので、すでに了解ずみでありますところの栄養満点にてボリュームたっぷり、厚からず薄からず切るのがヨイようです。細かく言え

⬅水道管、継げども破れ水漏れパイプ。修理修繕いくたびか、艱難辛苦乗り越えて水が通れば……の友に◎印

➡キンタロさんの顔は出てこないけど、色盲検査にはヨイみたい。ハイ、数字いくつに見えますか、なんてね

CUT by H. KATO

⬆溶けバターに生クリームと牛乳、そしてホジホジのパンを小さくちぎったモノ。全部をグリグリ

⬆次は5㎜角に切ったハム、サラミ、チーズ、ピクルスなんぞをドドッ。柔らかいモノは一番あとに入れませり

⬆スプーンを使ってパンの中に詰め込むの、グイグイ押しこんでヨイのです。すきまができると切り口無残、だもの

⬆入口までタップリ詰めたらスプーンの裏でパンパンパン、この3回がおいしく食べられるおまじない、本当だよ

ば1・5㎝から2㎝といったところが食べやすく、お腹のためによく、見てくれもいい……実感です。

こんなんを4～5切れも食べれば納得、7～8切れ食べたらもう苦しい、9～10は極限……とにかくそのくらい充実したボリュームなのですから、覚悟必要。

まずは採掘作業だよ

ではでは、作ってみましょう。フランスパンを1本手にとりて、ド真ン中よりスッパリします。次にスッパリの切り口よりパンの中身をほじくり出します。先っぽの方まで指は届かないからフォークなんぞを使ってホジホジします。

次にバターを1箱（1ポンド）ボウルにブチ入れ、湯せんにてトロトロにしますな。そこにコップ半分の生クリームと、同じくコップ半分の牛乳（両方合計すると180ccてな分量がよろしい）をタシ算してしまいます。そのタシ算ボウルの中にさきほどのホジホジしたパンの中身、これを入れてマゼマゼ。パンはできるだけ小さく小さくちぎっておくのです。

して、ハムやらサラミ、ピクルス、オリーブ……おっとチーズも忘れてならず……を5㎜角ほどに切ってタシ算ボウルの中にタシ算。塩、コショウ、ガーリック、ナツメグをパランして、グリグリ混ぜ合せます。

ピクルスやオリーブ、トマトなどは柔らかいゆえ、いちばん最後にタシてグリグリです。ご注意。

そして、そのボウルの中身すべてをくり抜いたフランスパンの中に詰めるのです、ギッシリと。切ってみたらスカスカ……なんてヤダもんね。スプーンを使って少しずつ、トントンたたいたりしてまんべんなく。まちがいなく、出したものは過不足なくぴったり詰まっちゃうからエライのですよ、コレ。

入口付近だけでなく全体もラップで包んで冷蔵庫に1～2時間、これにて完成。あとはスパスパ切って並べてモザイク模様に感激しつつ口に運べばヨロシ。パン1本で4～5人は大満足ですぞ。

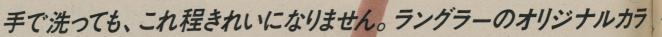
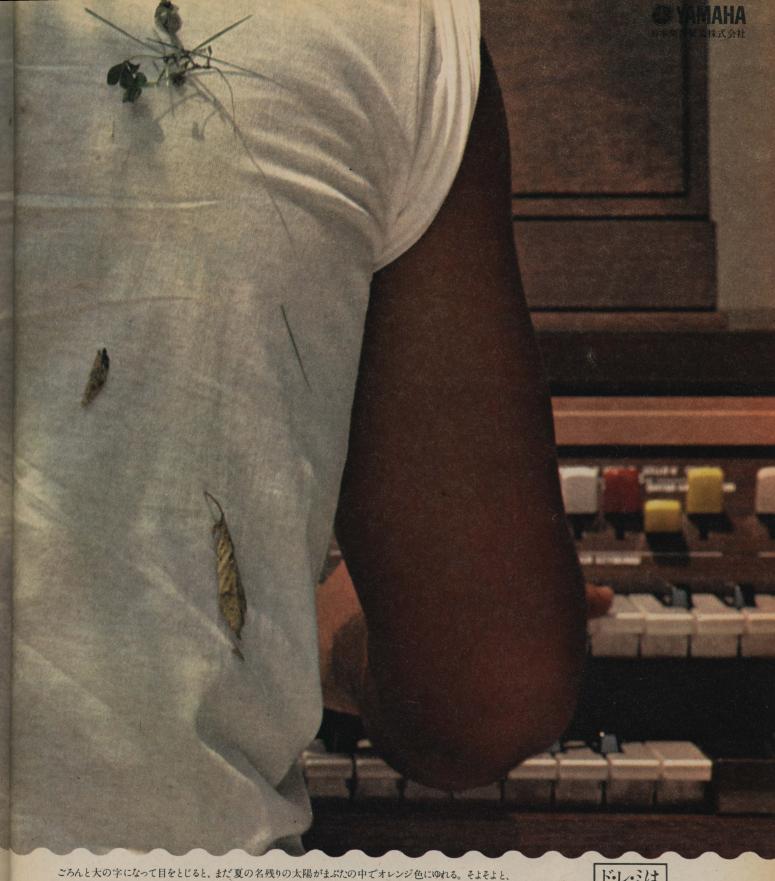
FABRICS BY
TOYOBO

手で洗っても、これ程きれいになりません。ラングラーのオリジナルカラ

YAMAHA
日本楽器製造株式会社

うとうと、と 音の旅。

ジョンのコーデュロイ・ジーンズ。

It's your brand BIG-JOHN
BIG-JOHN

秋。男のスピリットが
ひときわ軽快に、ビビッドに、
輝きを増すシーズンです。
で、この秋のホットな話題をひとつ——。
ビッグジョンがコーデュロイ・ジーンズの
世界を大きく変えました。
はくとマインドがわかる。
はき込むとクォリティがわかる。
先進のコーデュロイ・ジーンズだから、
ビッグジョンは＜コーズ＞とよびます。
シティに、カントリーに。ワークに、プレイに。
ニートに決める。組み合わせて着こなす。
はくだけでスピリットが光る。
フィールドが新しい。
この秋からのコーデュロイ・ジーンズ、
＜コーズ＞はビッグジョンの自信作です。

ビッグジョン〈コーズ〉

これが〈コーズ〉。新しい、強い、違いが伝わる5つのポイント。

5つのポイント。

もちろん、風合い、色合いともに、わかるひとの〈コーズ〉です。

Comfortable ＜コーズ＞は最高級コットン84%とポリエステル16%からなる新素材ミニブレンドを中心に使用。伸びにくく、縮みにくい素材ですから、はき心地は快適そのものです。

Optional ＜コーズ＞はコーデュロイのもつ素朴さ、ニートな風合い、シックな光沢、そして丈夫さをポイントに、ベーシックからシティ、アクティブウエアまで、じっくりお選びいただけます。

Refined ＜コーズ＞は最高級染料の使用、うね立ちのリフレッシュ、ワックス仕上げなどにより、洗練された色合い、風合い、そして光沢を、いつまでも保ち続けます。

Dependable ＜コーズ＞はブルージーンズを育てたビッグジョンの自信作。ジーンズづくり一筋のしたたかなマインドが伝わります。ひとびとの深い信頼と、絶対の愛着に応え切ります。

Strong ＜コーズ＞は防縮加工をはじめ、ヒートセット加工、一方方向裁断加工、Wカット法など優れた技術によって、伸び縮み、色落ち、毛抜けなどに対し強い力を発揮します。

香港の詳しい資料をさしあげます。住所、氏名、年令、職業を書いて、送料切手200円分とクーポンを同封しお送りください。〒100-91 東京都中央郵便局私書箱359号

クーポン
PP-10

英国の伝統に酔う。格調高きパブ。香港。

ビールで1日の仕事にピリオドを打つ英国紳士たち。彼等にとって、オフィス帰りのパブは、もう生活の一部とさえいえます。だから5時を過ぎれば満員。カウンター前に集い、仲間をかこんで話が弾みます。冗談と風刺が飛び交い、あちらこちらに笑いの輪を広げ、寛ぎの時間がゆっくりと流れます。あくまで陽気に楽しくやるのがイギリス流の社交精神。紳士を自負するものには、酒の席でも厳しいマナーがあるのです。話題から服装まで、パブの儀式は、どこまでも英国的。男として研究しておきたい飲み方です。1週間でも物足りません。4時間むこうに大きな休日。さあ、おでかけください、香港へ。香港観光協会

HONGKONG

ビバリーヒルズが東京にやってきた。

Popeye Forum

ILLUSTRATION by TAKASHI MOTOMORI

空はすっかり秋の色。こんな空には、そうだなあ、真っ白なグライダーでも飛ばそうか。上昇気流をつかまえてのソアリングは、何回経験しても豪快なもの。かなり冷たくなってきた風が顔に当たる。気持ちいいなあ。
フォーラムは？ もちろん、ストークト！

ラコステの赤のポロシャツにカンタベリーの白いショーツ、そしてスタン・スミスの組合せでも、ヒルトン・ホテルでディナーが食べられる。それがビバリーヒルズだ。

開店時刻は午前10時30分。ところが、1時間ほど前から、店の前には髪の毛逆立てて白ブチのサングラス、そしてかなり立派なボディを所有した田舎から旅行にきている婦人たちが、アリのように群がっている。それがビバリーヒルズだ。

略して"BH"のこの街を一言で表現すると、そうだなあ、上品で清楚でグリーンの街ってことになるだろう。もともと、ハリウッドの西に位置することでも分るように、銀幕のスターやTV関係のファッショナブル人間たちが集まっているぐらいだから、ファッション的に面白くないはずがない。どちらかといえば、イタリアっぽい雰囲気で迫っている彼らのファッションはこのBHでの日常生活、つまり食事したり、飲んだり、遊んだりという"街の暮し"の中から生まれてきたものなんだ。で、この秋はそんなBH人間のライフスタイルを着ちゃおうという提案。

というのも、BHにあるショップのロゴ入りのTシャツやスウェットシャツ(ま、分りやすく説明すればトレーナーっていうやつですな)を東京は渋谷にある〈SWEAT SHOP〉という店で手に入れることができるという、おいしい話があるからなんだ。先月オープンしたばかりのこの店のテーマが、その名もズバリの"ビバリーヒルズ・マニア"というから涙が出そう。

では、ちょいと気になるTシャツやトレーナーを紹介しちゃおう。まずは〈PINK'S〉というチリ・ドッグ屋さん。MITZ COKEといっしょでたった1ドルという安さで、バカ受けのレストランだ。ロゴも素敵だよ。

次は〈CAMP BEVERLY HILLS〉というブティック。BHで一番HOTなファッションがいっぱいの店なのだ。女のコに圧倒的人気がある。これまた素敵なロゴね。

と、風もかなり冷たくなってきた今日このごろだけど、トレーナーやTシャツの上にダウンベストでも着て、そうだなあ、田園調布にでも出かけよう。

あっ、通信販売もOKだから利用してくださいとのこと。㊔12:00～20:00(年中休)、☎03・407・8869でした。

⬆その名もズバリのTシャツ。2400円

⬆〈CAMP BEVERLY HILLS〉の広告

⬆その名もズバリの雑誌もある

⬅ボクはビバリーヒルズが大好きですって主張したい人のための2400円

⬅チリ・ドッグが評判の店です。これが飲食店のロゴとは驚き。2400円

⬅英国ムードいっぱいのこの店のTシャツは英国メイドで3600円です

⬅大人っぽい雰囲気が売りの〈MAC KEEN〉のTシャツは2400円

⬇〈SWEAT SHOP〉は、まさしくBHの雰囲気です

SWEAT SHOP DC BEVERLY HILLS MANIA

⬆DAILY COMMUNICATIONを略しましてDC。ここが〈SWEAT SHOP〉の親会社というわけ。ディレクターの三好さんが「ビバリーヒルズやパームスプリングスが大好き」という人なので、この店が登場したというわけ。今、渋谷は太陽がいっぱいです

⬇BHで最もHOTな店のT(2800円)とトレーナー(4800円)

⬇〈HAMBURGER HABIT〉のTシャツは2400円です

⬆左から、乗馬専門の〈MAYFAIR〉の馬マークつき茶色、女性向きブティック〈SWANK〉グレー、そして〈JERRY MAGNIN〉青。各4,800円

文・小林信也

円盤話

アメリカで投げられた1枚のパイ皿が、やがて日本の空まで飛んできた。

➡F・モリソン氏が美女にアドバイス ⬇右が今や超珍品のフリスビー・パイ皿

➡プラスチック製円盤の発明者、フレッド・モリソン氏

⬆フリスビーの語源となったといわれるパン屋のジョセフ・P・フリスビー氏 ⬇75年秋、世界チャンピオン、ビクター・マラフロンテとモニカ・ルーが来日。後列中央は日本フリスビー生みの親、岩本勝也氏

1978年の夏、日本の空には無数の円盤が飛びかった。北といわず南といわず、海、山、公園、あらゆる空で円盤はわがもの顔。人はこれを〝フリスビー・ブーム〟と呼んだ。

つい2〜3年前まで、〝フリスビー〟という言葉を耳にしたことのある日本人がどれほどいただろう。フリスビーを見ても「円盤だ!」と叫ぶ人の方が圧倒的だった。このナゾの円盤は、一体いつ、どこから日本に上陸したのだろうか。

●フリスビーの誕生

フリスビー誕生のきっかけは30年以上前にさかのぼる。アメリカのエール大学の学生の間でパイ皿投げが流行した。ボールとはまったく違う飛行に、学生たちはすっかり心を奪われた。

この光景を偶然目にしたのがLAの建築検査官フレッド・モリソン氏。皿投げに異常なまでの興味を持ったモリソン氏は、とうとう自分でプラスチック製円盤を開発してしまった。第1号の完成は1948年だった。

モリソン氏は、もっと飛行性能のよい円盤をつくりたいと願い、WHAM-O社に研究を依頼した。WHAM-O社は、期待に応えて抜群の性能を持つ円盤をつくりだした。それが《フリスビー》だ。フリスビーはその後も絶えず研究と改良を加えられている。30年以上たった今でも、さらに完璧な円盤づくりへの意欲は少しも衰えていない。その証拠に次々とモデル・チェンジを繰り返している。

●名前の由来は

なぜ〝フリスビー〟という名がつけられたのだろう。

その答えにはいくつかの説がある。最も有力な説を紹介しておこう。エール大学の学生たちが投げていたパイ皿が、〈フリスビー・ベーカリー〉というパン屋さんのものだったことにちなんで名づけられたというのがそれ。もっともパン屋さんの方のスペルはFRISBIEで、W社のFRISBEEとは1字違う。商標権のトラブルを避けるために、わざと1字だけ変えたという。

●最初のトーナメント

1958年にミシガン州エスカナバで、世界最初のフリスビー・トーナメントが開かれた。これはIFT(インターナショナル・フリスビー・トーナメント)と呼ばれ、最も古い歴史を誇る大会として、今なお毎年行なわれている。個人競技の世界選手権である『フリスビー・ローズボウル』と並んで、ガッツ・フリスビーの世界大会として広く親しまれている。

●IFAの設立が起爆剤

ジワジワとアメリカ全土に広がったフリスビー。単なるレジャーとしてでなく、スポーツ・ライクにフリスビー・フリークを誕生させる火つけ役となったのは1967年、IFA(インターナショナル・フリスビー・アソシエーション)の設立だ。

それまでの〝愛好者〟を、一気に〝フリーク〟に変身させ、アメリカ全土を一体とした功績は計り知れない。アメリカ人の生活の中にフリスビーがすっかり浸透した陰に、このIFAの努力があったことも見逃すことはできない。

●ローズボウルへの進出

アメリカのフリスビー人気を決定的にしたのが、『フリスビー・ローズボウル』の開催だ。

カリフォルニア州パサデナにあるローズボウル競技場は、フットボールであまりにも有名。1974年から、そのローズボウルを舞台に『ワールド・フリスビー・チャンピオンシップ』が毎年夏に開かれている。年々盛大になり、観客の数も6万人を超えるほどになった。

●いよいよ日本上陸

フリスビーが日本に姿を現わしたのが1975年秋。正式にフリスビーの輸入が始まり、10月には日本フリスビー協会が結成された。それ以前にも何度か少しずつ輸入されてはいたが、本格的にはこのときからだ。

世界チャンピオンのビクター・マラフロンテとモニカ・ルーが来日したのも同じ時期。全国各地でデモンストレーションや講習会を開き、フリスビーの普及に大きな役割を果たした。

●日本で初めての大会

日本で初めてのフリスビー・クラブは中京大学で結成された。宮本秀逸君をキャプテンに、約10人の仲間が第一歩を踏み出したのだ。これに続いて、関東では東京農大、慶応大、名古屋では学生選抜チーム、中京商高、関西では大阪体育大のチームが発足。1976年7月には、このメンバーが名古屋に勢ぞろいしてオープン戦を行なった。優勝は名古屋選抜、2位は東京選抜、このときから東京と名古屋のライバル関係は始まっていた。

同年9月、名古屋で第1回全日本選手権開催。10月には、アメリカ選手11人を招いて『日米フリスビー・チャンピオンシップ』が東京・日大講堂で行なわれた。

そのときの日本選手の中には山森玲治、佐藤雅人、杉山嘉久、中村優史、掛布貴小衣、そしてボク……と、今でも第一線で活躍中のメンバーがズラリ。

昨年からはローズボウルに日本代表が派遣されている。さらに飛躍を!

⬅2年前の小林信也。このキャッチングが大得意!

➡代々木公園にフリスビーを広めたメンバー

➡初代ジャパン・オールスターズ。現在もみな健在

西高東低のテクニック戦争に異状がありそうだ。

渋谷はどうやらスケートボードの街になってしまったようだ。なにしろカリフォルニアSPが都内のパーク第一号だから無理はない。オープンの8月26日は、きっと東京のスポーツマップも異状ありありだったはず。開場の4時間前から並んでいたという過熱ボーイが出現したのには、こりゃオドロキ。それにしてもなぜなのだろうか。早耳小僧のポパイ諸君のことだから知っていると思うけど。スケボーの本場、アメリカも不思議なことに、パークの建設ってウエストコーストからイーストコーストだったよね。なぜか西高東低の気圧配置。日本だって関西から関東だろう。ふしぎにピッタシカンカン。スケボーの嵐は、どういうわけか西から吹くというわけだ。風が吹けば桶屋がもうかる。もちろん技も冴えてくるのが相場。今年4月で、もう第一回西日本大会が行われている。さすがに関西の旋風児たちの意気ごみ、迫力はものすごい。パークでかなり乗り込んだって感じ。されど関東のスケボー諸君よ。怖れることはない。日本のスケボーシーンは、いま始まったばかりだ。それに最近の関東の熱もオーバーヒート気味。どっこい東男のテクニックも捨てたもんじゃない。スケボーというスポーツ。要は度胸と技の問題。オリジナリティーが勝負なんだから。西を意識しながら、一に練習、二に練習。東と西で技を競えば、日本のスケボーシーンはグッと熱くなるぞ。

うろうろジープの犬も歩けば棒にあたる

Fever

『とんでもナイト・フィーバー』なんてうれしいレコードがすぐ出ちゃうから、邦楽のディスコ物からはいつも目を離せないんだよね。しかも、B面は『トラボルタの逆襲』。こっちもいいでしょ。ゲテ物ファンなら絶対に手に入れなくてはなりませぬ。

もうひとつ、見逃せないのが、みなもと太郎先生の描くジャケット。胸毛もりりしく黒のドレスシャツに純白のスリーピースで身を固めた大口君の腰の線。さすが分ってるという感じです。（ポリドール　DR6239）

Book

『ビートルズ・エピソード550』という本が出ました。その名のとおり、リヴァプール時代から解散までを、550のエピソードで綴った、そう、一種のバイオグラフィといえる本なわけ。

例えば、こんな話がある。バッキンガム宮殿で、エリザベス女王とビートルズが交した会話。女王「長いこと一緒にやっているんですか?」、リンゴ「ええ、40年ほどやっています」。

また、こういうのもある。あるとき、ビートルズのもとに、1本の葉巻が手紙とともに届けられた。「私のかわいい孫のために、サインをいただければさいわいです。——ウィンストン・チャーチル」。

ね、こんな話が、あなた、550ですよ。もちろん日本公演のときの話なんかも、おかしいんだよね。

で、著者は、リンゴ・スターの仲人で結婚式を挙げた香月利一さん、30歳。立風書房から980円でリリースなり。

Magazine

『デラックス・プロレス』という、熱血プロレス大好き少年泣いて喜ぶ本が出ましたよ。A4サイズの中には、アメリカ、メキシコ、韓国、そして、もちろん日本のマットのことがビッチシ。とりわけ、メキシコ編が雰囲気なのよね。もう、よーく分っていると思うけど、メキシコのプロレス界には覆面レスラーが多いわけ。で、誰もが知ってる正義の味方のマスカラスとか、ドス・カラスなんているなか、時流に乗ったというか、ロボット軍団（ロボットR—2号、C—3号）なんてのが登場しちゃいました。これなんか、カラーで素早くのご紹介。他にも、《三団体写真名鑑》というファン必携のアルバムとか、『駆けろ!野牛』という国際プロの原進を題材にした劇画、それに、ブッチャーのイラスト・カレンダーもついている親切編集。おっと、女子プロレスが載っているのも、ウフフですなあの430円でした。ベースボール・マガジン社から毎月27日発行。表紙の馬場の顔、絶対見てね。

Best Single

『ウラトビサスケ'78』が最近のいっちゃんお気に入り。歌っているのは山川ユキちゃん。ウランちゃんみたいな顔して、わけの分らぬタイトルの曲を元気いっぱい歌っているのね。作詞・作曲はかまやつひろし。おお、そういやあ、なんとなく『フリフリ』っぽい乗りじゃわいなどと感心しながらB面へとターンさせりゃあ、おっとー、『不確実性の時代』で二度ビックリ。（ミノルフォン　KA-1131）

Goods

〈ノローナ〉のフィッシング&スポーツ・バッグを愛用しています。この〈ノローナ〉というメーカー、ノルウェイのザック専門店だけあって、ショルダー・ベルトにパッドが入っているのが大助かりなのね。色はオリーブ・グリーンと渋い味。素材はナイロンで防水性も北の湖。フラップつきの大きなポケットには、そうだなあ、ゴロワーズでも入れて、2時限目に間に合うようにラッタッター。タマキスポーツ（☎03・252・9241）で1万2000円で入手可能。

Best Ad

ベンクーガーのADには、ちょいとうなってしまった。「燃える男の学生服」とある。ははあん、学生服のADだったんねと納得したんだけど、ほれ、タンクトップのお姉ちゃんが大アップ大会だから、こりゃなんのADかいなあと悩んじゃいましたよねえ。

で、よーく見ると、おや、左側に"詰襟"を着たハワイアンがいました。ワイキキかなんかの浜辺でタンクトップ・ギャルズ連れて、おおご苦労さんにボタン全部はめて笑顔で歩いております。おまけに、標準より長めのシルエットなもんで、見ているだけで35度になってしまいますがな。『M·C』誌10月号をパラパラめくっていて見つけた。

秋の夜　長は仲間を集めて ワイワイ・ゲーム

by SEIICHI SUZUKI

ひとりよりもふたり、ふたりよりも……人、というように、本来ゲームというものは、多人数でするものの方がどんなに楽しいか計り知れない。

事実、幼い頃、「かくれんぼする者この指とまれ」「鬼ごっこする者この指とまれ」という言い出しっぺの指にとまり、ワイワイいってたくさんで遊んだときの楽しさは、今でも強く心に残っている……。

最近、「かくれんぼする者この指とまれ」なんていう子どもの声があまり聞かれなくなってしまったが、それは遊びの興味の対象が《鬼ごっこ》《かくれんぼ》といった素朴な多人数でするものから《ピンボール》《テレビゲーム》といったメカニカルなもので、ひとりまたは小人数で、気軽に楽しめるようなものに移ったからだろうか？

確かに《ピンボール》《テレビゲーム》といったゲーム類もプレイしているときは楽しい。が、その楽しさがずっとあとまで持続するかというと、これは疑問だ。人間と機械とのふれ合いもコミュニケーションには違いないが、この関係は、あまりにもむなしいのではないかな。やはり、人間と人間とのコミュニケーション、これが大切だ。また、人数が多くなればなっただけ心に残るものが大きいしね。第一、ゲームを通じてふだん疎遠な仲間たちと旧交を温めるだけでも楽しい。

というわけで、今回のゲームは多人数で楽しめる、新しいゲームを紹介することにした。さあ、始めようじゃないか、お楽しみはこれからだ。

SUPERELASTIC BUBBLEPLASTIC

↑これが大フーセンのもと（450円、キデイランド）

←自分たちでいろんなルールを考えてやる、バレーボールならぬヘッディング・バレーなんていうのもかなり楽しめますぞ

GROOP LOOP

●スキンシップこそ最高のコミュニケーションだ

←ゲーム開始前は緊張した空気が漂う

Groop Loop

➡この《グループ・ループ》セット、の中には、約2ｍのロープが2本、赤、白、青、黄、緑、黒の6色のプラスチック・ベルトが24本(各色4本ずつ)。それに、バス停の標識みたいな形のマーブル・シークエンサーが入っている

まずは、今アメリカで静かなブームの起こりつつある《グループ・ループ》の説明から。

このゲームは最低4人、最高8人までの人数で楽しめる。エキサイティングなゲームを望むなら8人でプレイするのが最適だろう。（今回のゲーム説明は8人でプレイしたときとする）

8人がジャンケンか何かで4人ずつ2組に分かれるところからこのゲームは始まる。次に、赤、白、青、黄、緑、黒と6色、各色4本ずつ計24本あるプラスチック・ベルトを、各組にそれぞれ1色2本ずつ12本配り、それを、ひとりに同じ色が重複しないように3本ずつ配る。この3本のプラスチック・ベルトを各自、腕、手首、足首、ベルト通しなどに巻いてとめる。これでこのゲームの準備が完了だ。

←思わず床に手をついてしまったら負けなのだ

「ヨーイ・スタート！」の合図とともに、プラスチック・ベルトと同色の玉が2個ずつ計12個が入ったバスの停留所の標識みたいな形をしたマーブル・シークエンサーを振って立てると、透明な管状のところにその12個の玉が次々と落ちてきて並ぶ。この玉の色の順番（下の方から）に合わせて、あらかじめ体の各部にとめておいたプラスチック・ベルトの先にあいている穴にロープを次々に通していき、早く全部の穴に通し終わった方の組が勝ち、というゲーム。

ロープが2ｍ弱のものだけに、あっちこっちよじれたり、からみ合ったり、見るもあわれな格好になること必至だ。（価格未定。〈バンダイ〉より今秋発売の予定）

↓ベルト通しにプラスチック・ベルトをつけるもよし　↓足もまたよし

↑手首にプラスチック・ベルトをつける、これカナメ　↑腕もまたカナメ！

THE GAME

ドジ井坂の結婚披露パーティはまるで15フィートのスウェルだった。

文…テッド阿出川

ドジが結婚した。相手は〈ブレッド＆バター〉のオーナー、瑞江さん。で、8月26日に葉山の〈ラマーレ・ドゥ・チャヤ〉で結婚披露パーティが催された。

その日は、日本のサーフィンを育ててきた多くのサーファーたちが集まった。あの『ビッグ・ウエンズディ』では、大波に乗ることで、自分たちがやりたい放題やってきた青春にクギリをつけるが、ドジの場合には、結婚という形で彼の青春にひとつのクギリをつけたに違いない。

さて、パーティだが、乾杯の音頭は、日本のサーフィンの創始者・高橋太郎さんがとった。JSPの斎藤鉄太郎氏、大阪から来た梶原英一君などが次々と祝いの言葉を述べた。皆、心からドジの結婚を祝っていた。

ドジが神田にあった僕のボード工場に「シェーパーになりたい」といってやってきたときは、まだ彼は学生だった。ドジの削った板は、またたく間に湘南をカバーし、長沼一仁、出川三千男、小室正則、小川秀之などが彼の板に乗り、我が偉大なるTED時代をつくった。その後、67年に下田で大規模な『読売サーフィン・スクール』が開かれ、

●バンダイ（☎03・842・5151）、キデイランド原宿店（☎03・409・3431）

Popeye Forum

HEAD BALLOON

●頭も使いようによってはいろいろ楽しめるぞ

何も既成のゲームをするだけじゃ能がない。遊びにかけてはベテランのキミたち、7〜8人集まれば、新しいゲームのひとつやふたつ、考えだすのはワケないだろう。

アメリカのフットボール競技場や野球場の観客席でよく見かける光景なんだけど、かなり大きなビーチボールみたいなものを観客が、そのボールが自分のところにきたとき、バレーボールのようにパスしたり、スパイクしたり。つまり観客席全体がバレーボールのコートになっていると考えればいい。こんな光景をヒントにして考え出したのがこの《ヘッド・バルーン》なるゲーム。必要なものといえば、お祭のとき、夜店でよく見かけた、セメダイン状のものをふくらまして作った、ふんわり軽い風船ふたつ。ここでは、WHAM-O社の《Super Elastic Bubble Plastic》を使ってみた。

まず2組に分かれ、たてに一直線に並び、風船はいちばん前の人が持つ。「ヨーイ・ドン！」の合図で頭だけ使って後ろの人に風船を送り、どちらが早く1往復できるかというゲームなのだ。

とても単純なゲームだけど、実際プレイしてみると風船がふんわりと軽いので風で流されたりして、なかなか自分の思うようにはいかず想像以上に楽しめるよ。

このふんわり風船を利用して《ヘッディング・バレーボール》なんていうのも楽しめる。使っていいのは頭だけ。自分たちでルールを考えれば、また趣の違うバレーボールができる。

それにしても頭は生きているときに使わなくちゃ。

⬇ふたつのグループに分かれ、頭だけ使って後ろにフーセンを送るゲーム

⬇おなじみの石井秀明さん(左)　⬇千葉の川井幹雄は家族そろって

➡ドジの〈コスミック〉のスタッフと

女のコも大勢参加し、それはそれは『ビッグ・ウェンズディ』のごとき騒ぎであった。出川はホテルのゲームマシンを壊し、マーボーは両腕に女のコを抱え、エドはなんだか目が飛んでいた。し、ドジはあまり女のコなどには興味がないみたいに、ひたすら飲んでいたようだった。

徴兵のがれのジョンとかもいた69年の第3回のスクールには、ドジがキャプテンに昇格し、ハワイからダギー山下も加わり、勝浦マリブで台風の影響を受けた10フィートのビッグ・スウェルを滑ったのを今でも忘れることができない。どれひとつとっても楽しかった思い出だ。このころからサーフィンに対する気持は、すごく純粋であったと思う。

現在でも、サーフィンにおけるそれぞれの分野で活躍している僕たちだが、未だに青春の真っただ中にいると自負している。それだけに、サーファーの奥さんはまことに大変なのであります。仕事のスケジュール、生活のスケジュールなど、すべては波が左右することを忘れては大変！　グッド・スウェルが立てば、シェープやショップを放っぽらかして海へ出てしまうのが、僕たちサーファーの宿命。どうぞ、それだけは認めてください。僕たちには、サーフィン以外に求めるものといったら、あなただけなのですから……。

ドジ、瑞江さん、新しい波を求めて、テイク・オフ！

⬆マーク・フー(左)も祝福　⬆これはボク

➡サーフ・ギャルズがお洒落するとこうなります。それにしても黒い顔です。

さらにパワフルになって新しいKISSが登場する。

文●アスカ蘭

↑『キッス／アライヴII』（ビクター　VIP-9529-30）その圧倒的パワーで、驚異のセールスをあげた『ライヴ』に続く、彼らの2枚目の実況録音盤。日本公演でも演奏された曲がズラリとラインアップされている。LAのフォーラム・オーデトリアムを埋めつくしたキッス・アーミーの声援と4人のアンプを通して発せられる音とがぶつかり合って、興奮は頂点に達する。キミはこの洪水から逃げられるだろうか？

マーベル・コミックスによるTV番組、映画、音楽のコミックス化がいよいよ本格的に進められてきたようだ。

その中でも音楽に関していえば、『キッス』の1号が爆発的に売れたことにより、『ビートルズストーリー』も刊行され、その後にも続々とロック・アーティストのコミックス化が企画されているらしい。

しかし現在、確実に刊行が決まっているのは『キッスII』ぐらいだろう。

『キッス』は、すでに50万部以上売れたというから、他の有名なコミック・ブックに比べてもその売れゆきは圧倒的に多い。『キッスII』が刊行される運びとなったのは、売れゆきもさりながら、キッス自身の持つ魅力にあることは否めないだろう。

キッスぐらいコミックス感覚にあふれたロック・グループがほかにいるだろうか？　答えはおそらくNOだろう。

↑こちら日本語版は880円　↑アメリカ版は750円

↑二度の来日ですっかりおなじみの強烈ステージング

とにかく、あのコスチューム自体コミック・ブックから影響を受けていることは確かだし、デイモンに扮するジーン・シモンズは、根っからのコミックス・ファンで、彼自身ファンジンを発行したこともあるという経歴の持ち主だ。ステージがこれまた凄絶。火を吹いたり、血を吐いたり、花火をあげたりの大騒ぎ。演奏を聴いているより彼らのアクションやコスチュームを見ているだけで充分楽しめる（こんなことをいうとキッス・アーミーに殺されるかな）グループだ。

ロック界よりコミックス界の方が、彼らが棲む場所にふさわしいんじゃなかろうか？　と考えたりもする。

とすれば、マーベルの『キッス』こそ彼らの活躍の場所としては、ステージ以上にふさわしい。

1号目の『キッス』では、マーベルの悪役中の悪役、ドクター・ドゥーム（破滅博士）や、シルバー・サーファーを悩ましたメフィストと闘ったりしたわけだけど、2冊目の彼らの敵役は一体誰になるんだろう？

ボクとしては、宇宙魔人ギャラクタスやFFと闘わせたいところだけどなあ。

『キッスII』のペンシラーは、ジョン・ロミタ・ジュニア、インカーが、フィリピン出身のトニー・デズニーガ。ライターはラルフ・マキーオ。1号目に比べると制作スタッフがちょっと寂しい感じだけど出来はどうなるんだろうか。まだ中身がわかっていないだけになんともいいがたい。

中身は、2号目の方が盛りだくさんのようで、コミックスのページは前回の40ページから48ページに、それとNBCのTV映画『キッス・ミーツ・ザ・ファントム』からとった25ページにも及ぶキッスのカラー写真、折込みのポスターまでつけるという念の入れよう。マーベルの大変な意気込みを感じる。日本語版の方も、1号に続いて計画されているらしいから、コミックス・ファン、ロック・ファンともに注目してみたいね、このコミックスは。

➡ディスコ・マラソンに参加した4人は、フラフラです　⬅ジーン・シモンズ得意のベロ出しが出ましたね

↑2号の原稿。実寸は44cm×28cmの大迫力もの

DRUG NEWS

あなたは5日でタバコをやめられる!!

やめなきゃいけないって理性では分かっていても、つい気持ちよくてやめられないという悪癖が人間にはいくつかあるもの。

喫煙、つまりタバコを喫うというまったくいいことなしの悪習は、そのうちでもやっぱり横綱格かな。タバコを喫うのが習慣になっているんだったら、だれでも一度は禁煙にチャレンジし、そしておそらくは失敗に終わった苦い経験があって当然。肉体的な禁断症状というよりは自分自身の心の弱さとの闘いだから、かえって苦しく、難しいのです。

もちろん、禁煙にともなう苦しみをなんとか軽くしようと医学の分野でもさまざまな研究が進められているわけ。

本誌38号の《ポップ★アイ》でも、ミシガン大学病院の研究班が開発した〝禁煙ボックス法〟という恐しい、だけど効果的な禁煙法を紹介したのを憶えているかな？

ところが日本でも禁煙法の研究はかなり進んでいて、最近では東京・杉並区にある東京衛生病院禁煙教室の〝5日でタバコがやめられる〟禁煙講習会が、とっても効果があると評判なのです。

なにせ、この講習会に参加した全員の、約30〜45パーセントが、1年後の調査でも禁煙を守っているというから大したもの。アメリカの禁煙クリニックなんかは、平均18〜20パーセントだというからね。

さて、このレコードは、今年の7月16日から20日にかけて同病院の禁煙教室が主催した、『〝5日でタバコがやめられる〟健康特別講座』の模様を実況録音したアルバムなのです。

だからA、B両面を通して第1日から第5日まで振り分けてあって、それぞれ外科部長の林高春先生と臨床カウンセラーの藤田潔先生のお話が収められているうえに、毎日のお話の後には心をなごませる音楽まで入っているという気のつかいよう。

その音楽だって、バッハのカンタータ147番『主よ、人の望みの喜びよ』という凝りようが、うれしいじゃない。つまり、このレコードはいっぺんに全部聞いてはいけないのです。

きちんと禁煙決行期間を定め、5日間毎日、1日分ずつ針を落としていくのが、この『5日でタバコがやめられる』の唯一正しい聞きかた。《明るい家庭の禁煙のためのレコード》と副題がついているのをみると、どうも一家のパパ用みたい。でもタバコなんて早くやめるにこしたことはないのですから、ニコチン中毒の諸君、必聴ですぞ！

➡『5日でタバコがやめられる』（CBSソニー　20AG392）

（シロヤ本店）

見つけたぞ！名古屋にユニークなスポーツショップ……シロヤ！

ポパイがカリフォルニアだ！グァムだ！またまた湘南だと騒いでいるうちに、つい見逃しているのが日本のおへそになる名古屋だ。名古屋でもその中心が栄町。有名なテレビ塔がエッフェル塔ばりに立っていてこれがなかなかの見応えなんだ。そのエッフェル塔を背にして南へどんどん行くと松坂屋本店東側にユージーンのスポーツショップも真ッ青のシロヤ栄店がある。売場も広く、270㎡の中にシーズンものがギッシリ。

見つけたぞ！涙、涙のフィラもある。もちろんスケボー・ウインドサーフィン・サボーもある。ウェアアドバイザーは、ご存知！名古屋の名門女子大、金城大学出の素敵な女の子。テニス担当の男の子は原田真二にそっくりでテニスガールに人気がある。店内を見渡せば、ウェストコーストのアウトドア用品がゴッチャリ。ロスアンジェルスのコートキングシャツ、ヨーロッパ、スウェーデンのスキーヨットシャツ。アディダスのリビエラ、タバコetcの品揃えはスポーツボーイにたまらない。名古屋へきたら覗いてみて損はない。イッテみよう。

さて栄店がこんな具合だと、本店を気にせずにはおけない。本店は金のシャチホコ名古屋城の西、全国でも有名な菓子問屋街の真ん中、新道町。平日は車・車で混雑しているが、そこはシロヤ本店心得ている。店の真横に駐車場が併設されていて、乗り入れは若葉マークのシティガールでも軽々OKだ！

シスコから地下鉄で30分のバークレーにあるスポーツショップと品揃えはかわらない。とくにサッカー用品は圧巻だ。担当は今枝君といってまだ20才前の小柄なボーイだが、彼がねっからのサッカーフリーク。夜はアディダスのジャージをパジャマがわり、朝目覚めるとまずペレの写真と朝礼、そして店へ出てくる。

店内はサッカーシューズの品揃えも面白い。古いものでも、耐久・機能的に変りなければ2000円ぐらいで売っている。だから店の中はサッカー狂たちで連日大にぎあいだ。

店の中がサッカーフリークの汗と声がはんらんしているかと思えば大きな間違い。テニスコーナーへくると、落着いた雰囲気で、こちらはテニスボーイというより社会人と奥様が主流。ガット張りもオーストリィ製オリバー機で張り上げ、それを記録しておくというのもユニークなサービスだ。やはり一度はいってみる店だ。シロヤのお客は顔つきがいいって評判だよ！シロヤ情報の第一回はここまで。次集ではスキーコーナーを紹介しよう。洒落たものがいっぱい。面白いぞ！

〈英国貿易センター〉にダーツは舞った。

↓「おい、どや調子は？」「さっぱりわやや。酒飲まんとあかんねん」

ダーツの世界選手権があるって知っているかい？

イギリス生まれのダーツは、今や世界中で着実な人気をもつ国際的な競技だ。単なる的当てゲームでなく、正式なルールも制定されている。毎年イギリスで開かれるワールド・マスターズと、2年毎に世界各国を転戦するワールド・カップがダーツの二大トーナメントだ。

8月27日、今年のワールド・マスターズ日本代表を決める、『ジャパンマスターズ・ダーツ・トーナメント』が行なわれた。

➡日本ダーツ界の第一人者、江崎享億氏

➡出場者中最年少、22歳の福島俊樹選手

➡堂々2位に入賞の三笠雅司選手

↓ダーツの試合方法は、501点の減点法。ダーツに関する詳しいことは本誌3号を参照のこと

会場の〈英国貿易センター〉（東京・青山）には、全国各地から選抜された32人が勢ぞろい。3人の代表ワクをめぐって激しくシノギを削った。

集まったメンメンは、髪の毛の淋しくなった青年、サーファー・ルックのヤング・パワー、女性もチラホラと多彩な顔ぶれ。おまけに半数は外人勢とあって会場は独得なムードに包まれていた。

「いつもはパブでスコッチをチビチビやりながら……」というダーツ・フリークス。「シラフじゃどうも調子がでない」と、控え室に駆け込んではビールをグイッ！でエンジンをかけていた。

ダーツの試合方法はちょっと変わっている。トーナメント方式でも総当たり方式でもない。次々に試合を消化し、3回負けると失格となる。最後まで3敗せずに勝ち残った選手が優勝というわけ。栄冠をつかむまでには、10試合前後の長丁場を延々と闘い抜かねばならない。

この日は午前10時にスタート。ロバート・パーカー選手（アメリカ）が〝最後のひとり〟となったときには、すでに午後4時をまわっていた。

R・パーカー選手のほか、2位の三笠雅司選手、3位の小熊恒久選手の3人が、12月に開催されるワールド・マスターズ（於イギリス）の日本代表と決まった。

ダーツに関する問合せは、日本ダーツ協会（☎03・721・4967）まで。

➘眼光鋭くボードに向って矢を投げようという瞬間

USA文房具はどう考えても官能的だなあ。

⬇話題のアメリカ学園映画『ハイスクール』にも文房具がわんさと登場。➡同サウンド・トラック盤（ビクター VIM-6160）

こだわりウィンピーJr.の
モノをさわる

アメリカの文房具の特徴は、ポップな商品とトラディショナルな商品が他の国にない絶妙さで共存しているところにある。そして、それらがつくる文房具宇宙はボクらを官能的な世界へと導いてくれる。

40年も前にデザインされた卓上ライトが未だにつくられ、多くの人々に愛用されているのを見たりすると、アメリカ人はかなりガンコだなあと思う。ガンコさゆえにある種の不器用な感じを受けるのだが、そのときけっして歯がゆい気持ちにならないのは、完成度が高いものはいつまでもつくっていくという精神に裏打ちされているからだろう。

さきに、ポップな商品とトラッドな商品が絶妙なバランス感覚を保ちながら共存していると書いたが、その根底にあるのはきわめてトラッドなものである。そのトラッドな商品群の間をぬってポップな商品が売られている。

アメリカの文房具を見ると、ボクは一本の大木を思い浮かべる。その枝と葉はポップなものだが、幹はトラッドである。遠くから見れば、まったくポップなものだが、近寄ってていねいに見ていくと、ちょっとやそっとでは倒れることのないトラッドな幹に支えられていることがわかってくる。ボクはそのトラッドな幹が大好きだ。美しい色をした葉もいいものであるが、ボクの目は力強く根をはった幹の方に向いてゆくのである。

その幹となっているものは何かというと、それはスイングラインのホチキスであり、イートン社の手帳であり、イーグル社の卓上ライトである。

ここに紹介する文房具はその巨大な木のたったひとつの枝だと思っていただきたい。これを一本の木といってしまうにはあまりにも視野が狭い。アメリカの文房具という木は、もっともっと大きいのである。でも、悲しむこともない。枝は枝としてアメリカの文房具と呼ばれる木の枝であるから、じっくり観察すれば、木のすべては見えてくるに違いない。

キミはこの枝を挿木にすることもできるし、部屋に飾っておくこともできる。ちょっとお金を貯めればアメリカへ巨大な木を見にいくことも不可能ではない。さらに、これらを一刻も早く手に入れたいと思うせっかちなキミは、最後までしっかり読むこと！

①

●鉛筆でモノを書いていて一番腹立たしいのは、消しゴムが見つからないときだ。それにしても、消しゴムってヤツはどうしてあんなにすぐどっかにいっちゃうんだろう。

さて、ここに紹介する消しゴムは、タイヤで有名なグッドイヤー社のゴムを使ったすぐれモノ。3種類の消しゴムがパックされているのだけど、真ん中の消しゴムがいいんだなあ。鉛筆の尻の部分につけられるようになっていて、実に便利。これならめったなことではなくならない。ファーバー・カステル社の製品だ。

②

●ボーデン社のチビ鉛筆削り。プラスチック製で4㎝×2㎝×2㎝の大きさなのだ。ところで、よく見ると何かの形によく似てるんだよね、これ！ 昔の人ならこれを見て「ほう、なるほどなるほど。ふぐりにそっくりじゃ」などというだろうね。

ちなみに"ふぐり"とは今の言葉でいえばタマタマだよ。

③

●これは、アメリカのリトル・リーグ公認の野球ボール。文房具とはいえないけど、勉強の合間にキャッチボールでもしよう、なんていうコンタンでこの際仲間入りさせてあげちゃう、ゆるせ！ で、この野球ボール、リトル・リーグ公認のものだから、当然硬球。サイズがちょっと小さいだけで、つくり、硬さともギンギンの本チャンもの。ニューヨークにあるリージェント・スポーツ社製。

④

●日本では、ほとんど無名に近いけど、アメリカを代表する鉛筆がこれ。《ビーナス》という商品名で、製造は西ドイツに本社があるファーバー・カステル社だ。色は目のさめるような美しい黄色で、ちょっと細めにつくられている。また、尻の部分に消しゴムがついているのも特徴といえる。

故ジョン・F・ケネディがホワイトハウスでメモをとるとき使っていた鉛筆が、何を隠そう、この《ビーナス》だったんだ。

⑤

●アメリカには、アイデアを凝らした新しい文房具が豊富だが、こんなガンコな製品も共存しているところが面白い。うれしくなってくるな。

これは、発売してから40年間たつが、スイッチひとつデザインを変えていない卓上ライトだ。日本にもこういう丸まっちいライトは売っているが、このライトほどの存在感はない。台はズシリと重い鋳鉄製でカサはホーロー。色は渋いブロンズ仕上げでいつまでもアキない。イーグル社製。

⑥

●アコーディオンよろしく、ビロンビロンに広がり狂う書類入れ。タテ13㎝、ヨコ27㎝と比較的小型だけど、かなりの量の書類を入れられる。ヒモがついているのでしっかりと閉じることもできる。色は茶で厚手の電気絶縁紙でつくられている。

製造はスミード社。この会社はこのテの書類入れをつくることに関しては、アメリカ随一で大小さまざまのアコーディオン型書類入れをつくっている。『ポパイ』の海外取材班もこの書類入れには感心しっぱなしで、愛用しているのです。

⑦

●アメリカ版王様のアイデア的商品がこのマグナ・ライト。拡大鏡＋懐中電燈という単純な組合せなれど、用途は無限（ちょっとオーバーかな）。パッケージを見ると、暗いレストランでメニューを読むときに使うとよいとか、映画館でプログラムを調べるとき最適とかいろいろなことが書いてあった。まあ、これはほんの一例だけど、使いみちが豊富な道具であることは間違いない。プラスチック製。単4電池2本使用でかなり明るい。マニング・ホロフ社製。

⑧

●ギッシリと予定が記入された手帳を見て、われながらア然とすることがある。余白がなく、黒っぽいそのさまは、迫力がある、といえば、そりゃありますが、予定をひとつひとつ確実にこなさなければならないということは、やはりつらい。

さて、この手帳ですが、片ページに『ニューヨーク・タイムズ』紙のクロスワードパズルがついていて、もう片ページは1週間分の予定表になっている。タテ21㎝、ヨコ14㎝で手帳としては比較的大きい。記入欄もタップリある。イートン社製。この手帳を使えば、少しは気がラクになると思うけどダメかなあ。

⑨

●銀色でピカッと光り、やたらプロっぽいのが、このスチール製ノートパッド。大きさはタテ30㎝、ヨコ22㎝でかなりB・I・G。矢沢永吉が「誰もがB・I・Gになれるはずだ」といわなくてもこのパッドはB・I・G。下部が蝶番式になっているのでフタの開閉はスムーズだ。レディフォーム社製。（写真は閉じた状態）

⑩

●どう考えてもなんてことないこのハサミ。ルーペで一生懸命見てもどこといって特徴があるように思えぬこのハサミ。でも、本当はかなりのシロモノなのですよ。それというのも、アメリカの家庭雑誌『グッド・ハウスキーピング』誌が「このハサミの切れ味は責任をもって保証します」といっているぐらいですからねえ。やはりすぐれモンですよ。

『グッド・ハウスキーピング』誌といえば発行部数541万を誇る大雑誌だから、デタラメはいわないと思いますよ。アクメ社製で長さ21㎝。

MADE IN

⑪ ●1979年版のポケットダイアリー。大きさはタテ13・5cm、ヨコ9cm。見開きで1週間の予定を記入するようになっていて、とても能率的な手帳だ。使っている紙が美しい淡いブルーなのも気分がいい。紙の質においても申し分ない。適度にザラッとしていてインクののりもよさそう。もちろんボールペンで書いても裏抜けしない。製造は定評あるイートン社。

⑫ ●《ブルドッグ・クリップス》とは、まったくうまい名前をつけたものだ。名前だけ勇ましくとも、実際に強力でなければ意味がないのだけど、このクリップは名前負けすることなくリッパに働いてくれる。これぞまことのヘビーデューティ。幅は2・5cm。ハント・ボストン社製。

⑬ ●〝今日できることは明日に延ばすな〟なんていう言葉があるけど、まったく至言だ。で、その日の予定をビシバシこなすためのノートがこれ。名づけて《Things to Do TODAY》。12の予定が記入でき、おまけにチェック欄つきのありがたさ。タテ28cm、ヨコ21・5cmの大きさはイヤでも目につきチョンボなし。グリーン社製。

⑭ ●アメリカ製の文房具で一番思い出深いものといえば、黄色の螢光マーカーだ。日本では、アンダーラインを引くときほとんどの人が赤色の色鉛筆を使っていた。そんなときに、シースルー・インクの螢光マーカーの登場は鮮烈だった。しかも、色は黄色だ。興味半分に買って使ってみたら、これがとても具合がよい。目立つし、不思議なことに赤の色鉛筆より目の疲れが少なかった。写真は、カーター社の螢光マーカー。

⑮ ●本来はお店のドアにブラ下げておくメッセージ・カードなんだけど、あえて個人用として使っちゃおう。1人で住んでいても〝YES/WE'RE OPEN〟なんていうのが面白い。また、〝CLOSED〟の方には、手動式のおもちゃの時計がついていて、帰宅時間を訪問者に知らせることができる。指でスッと動かせばよいのだから、メモを書いておく必要もない。無精者にはありがたき品。

本体は塩化ビニール製のケースで中に文字をプリントした紙が入っている。ヨコ29cm、タテ14・5cm。ぶらさげられるようにクサリもついている。この商品のアイデア自体はそれほどのものではないけど、文字のレイアウトやコピーのうまさにはまいってしまった。ボクもひとつ欲しいなあ。ソラリ社製。

⑯ ●こんな時代がかった鉛筆削りはもう日本ではとっくになくなってしまった。アメリカには、まだまだこんな鉛筆削りメーカーがたくさんある。このハント・ボストン社もそのひとつ。差込みの穴は8つあり鉛筆の太さに応じて選ぶしかけだ。穴が鉛筆を固定するので鉛筆にキズがつかないのも特徴。付属のネジで机に固定することもできる。

⑰ ●手紙の整理箱。机上用の辞書みたいな大げさなカッコがいい。中のしくみも外観に負けず劣らずでよく考えられている。A、B、Cというふうにインデックスがついているので名前ごとにキチンと整理ができるのだ。大きさはタテ29cm、ヨコ29cm、厚み7cmもある。この箱がいっぱいになるには何年もかかるだろうね。アンバーク社製。

⑱ ●郵便料金の不足は、手紙を受け取った人が払うシステムだから、ちゃんと計量してから手紙を出そう。

これは、手紙用の重量測定器。手の中に入るぐらいの大きさだから、机の引出しなどに常に入れておくと便利だ。グラムとオンスの2通りの表示というのも心憎い。グラムの方は100gまで量れ、オンスの方は3½ozまでだ。こういう道具に関してはアメリカ製が一番進んでいる感じがするなあ。ロサンジェルスにあるソラリ社製。

⑲ ●こんな軽快な辞書だと、単語を調べるときもウキウキしてくる。タテ15cm、ヨコ11cm、厚さ2cmで、ジーンズのポケットにもスッポリ入る。それに、発行は〈ウェブスター〉だから安心できる内容だ。小さくとも4万語のボキャブラリーを誇り、すばやくひけるスピード・インデックスもついている。あっ、忘れたけどコレもちろん英英辞典。ジーンズ感覚にあふれていて部屋の中で使うより、明るい太陽のもとで使うとピッタリくる。

⑳ ●最後はアメリカ製のプラモデルの紹介。プラモデルを文房具といってしまうのは考えものだけど、ソフトクリームのクリームとカップの組合せみたいに相性がいいんだ。勉強のあとのプラモデルづくりもまた楽しいものだよ。

さて、これはAMT社のプラモデル。シェビーのワゴン、1955年型ノマッドだ。それにしても、アメリカのワゴンって野性的だなあ。

プレゼント

で、これらの文房具、実は〈ラングラー〉のキャンペーン・グッズなんだ。コーデュロイ・ジーンズを買うと、その場で抽選が行なわれて、YESとでたら大当りとなるわけ。このほかにも30種のグッズがある。今回は特別に、本誌読者にここで紹介の文房具を各1名ずつ20名にプレゼントしちゃいましょう。希望の番号を書いて、〒104東京都中央区銀座3—13—7、平凡出版㈱『ポパイ/こだわりウィンピーJr.係』まで。締切りは10月25日。

Surf Times
WRITTEN by HIDEAKI ISHII

"SEX & TUBE RIDES"が傷ついたカモメを幸福にする

ニューキャッスルのマーク・リチャーズといえば、サーファーなら誰でも知っていると思う。リチャーズは"The Birdman"のニックネームを持ち、人は彼のサーフ・スタイルを"Wounded Gull"（傷ついたカモメ）と呼ぶ。最近は、自ら自分のボードやウェットスーツにスーパーマンのマークを入れ、文字どおり波の上のスーパーマンになった。波が大きかろうが小さかろうが、彼独自の、鳥がはばたくようなスタイルで波を切りきざんだ結果、リチャーズは70年代後半のサーフ・ヒーローのひとりとなった。

その彼が、最近、アメリカの雑誌のインタビューを受けた（『SURFER』誌7月号）。それが、ちょっと面白かった。どうして面白かったのかというと、そこにサーフィンの、あるいはサーファーのライフスタイルのエッセンスがあったからだ。

⬆オーストラリアが生んだ童顔の天才児マーク・リチャーズの豪快な"傷ついたカモメ"ライディング

⬅『チューブラー・ベルズ』（ビクター VIP-6911）官能的な音の洪水です

波乗りのエッセンス

そのインタビュー記事のタイトルは《Sex and Tube Rides》という。そもそも、このタイトルの由来は、「What makes you happy？」という質問にリチャーズが「Sex and tube rides」と答えたことによる。サーフィンのエッセンスを語るインタビュー記事（インタビュー自体は、肩をいからせてなんらかの結論を導き出してやろうなどといういやらしさはみじんもなく、自然な雑談のようなものなんだけど）にとって《セックス&チューブライズ》のタイトルは、まさにこれに勝るものはない。

なぜなら《セックス&チューブライズ》という命題は、サーフィンのエッセンスだからだ。下衆に勘ぐろうが高尚に解釈しようが、真実というのはどちらからでも説明がつく。

余談になるが、サーフィンのエッセンスといってもよいこの"セックス&チューブライズ"の思想をまっこうから否定した日本の哲学者の言葉もいちおう紹介しておこう。マーク・リチャーズはM・Rとなるが、こちらはM……Oというリチャーズよりはちょっと落ちるサーファー。その彼が、かつて湘南の稲村ケ崎でいった。「女と寝るのもいいけどよ、あれは一発やると疲れちゃうじゃん。その点、波乗りは最高だね。何回乗っても気持ちいいもんね」。

さて、マーク・リチャーズはインタビューの中で次のようなこともいっている。「海岸のこみ具合はマックスに達して、波に乗るためにはボードの先にマシンガンをつけなければならなくなるだろう」と。これはハワイについての予言だが、すでに日本ではマックスを超えているビーチがいくつもあって、サーフボード・メーカーは早く試作品を発表すべきかな。マシンガンではあまりにも物騒だから、催涙ガス発射装置付きとかアイデアはつきないだろう。

「1本シェープするのにどのくらい時間をかける？」、「少なくとも6時間だね」。だから彼は、彼のサーフ・タイムを朝と夕方に限るんだ。「音楽はキミにとって重要かい？」、「もちろん。ポータブル・ステレオなしにはどこにも行かないんだ。ひとつはベッドのわき、ひとつは車の中、ひとつはシェーピング・ルームにあるんだ」と。

⬇『ザ・チューブス・ファースト』（キング GP-261）センセーショナルなアルバム

S&Tを音にすると

というわけで、チューブに関係あるレコードをちょっと紹介してみよう。まず1枚目。マイク・ブルームフィールドじゃなくて、マイク・オールドフィールドに『チューブラー・ベルズ』（ビクター VIP-6911）というのがあったね。オーストラリアのビクトリア州にベルズビーチというサーフィンのメッカがあるんだけど、チューブになるいい波のときは、みんな、それを"チューブラ・ベルズ"と呼ぶ。だけどことの真相は、映画『エクソシスト』に使用された同名のアルバムを、どうやらジャック・マッコイあたりが気に入って、バックドアで大いにその名を広めたにすぎない。彼は『チューブラ・スウェルズ』という映画を作ったし、だいたいロキシー・ミュージックとかこのオールドフィールドとかいうのが好きなんだ。ちなみにここでの"チューブラ・ベルズ"というのは、なんていうことはない、お昼の『のど自慢』などでたたく鐘があるでしょう、あれのことなんだ。

ところが、その名も〈ザ・チューブス〉というバンドがあるね。音はエロチックなジャケットで有名なロキシー・ミュージックのアメリカ版といったところなんだが、どっこいステージじゃロキシーのジャケットもぶっ飛ぶヒワイさ。これこそ"セックス&チューブライズ"にふさわしいバンドだと思ったね。

しかも、M・Rに共通したところがこのバンドのリーダー、ビル・スプーナーにはある。このビルという男は、なんでもロールス・ロイスに乗りたいがためにグループを結成したというんだけど、わがリチャーズ君も似たところがある。というのも「ボクは前からBMWを持ちたかったんだよね。だけどまだ持っていない。それが、たったひとつ、今の時点で欠けているものなんだ。他に悩みなんかないね」というわけ。

だから、これこそ"セックス&チューブライズ"のミュージック版と思いきや、アル・クーパーがプロデュースした彼らのファースト盤のジャケットを見たら、なんとタイヤのチューブを巻きつけた女の裸がそこにあった。病的だね、都会的に。やはり、パブロしかないのですかね。もっと健康的にいきたいですね。

⬇そのセンセーショナルなステージングで評判のチューブス。リード・ヴォーカルのブーツを見ただけで、もうゴメンナサイです

サンタ・エスメラルダと故古賀政男が'78年の歌謡界を揺らす

文・近田春夫

THE 歌謡曲

➡サンタ・エスメラルダの最新盤は『ジプシー・ファンタジー』（フォノグラム RJ-7509）

前にもちらっと『太陽は泣いているセンセーション'78』の話（36号）のときに書いたと思うけど、サンタ・エスメラルダって本当に歌謡曲に異常な影響を与えたみたいね。ヒットした『東京らばい』を初めとして10枚以上はサンタ物のシングルが出てるハズです。よっぽど日本人の生理に合ってるんでしょうなあ。ここ当分何らかの形でサンタ・エスメラルダのにおいって残りそうな気がするのですが。ということはまだ企画さえよければ何匹目かのドジョウのいる可能性は大いにありということになります。あるのよね、ヒットしそうな企画が。今回は、それをこっそりとここに書いてしまおうという大胆な話なのです。

サンタ・エスメラルダっていうとまず何が頭に浮かぶか？決まってるよね。あの寂しげなギターでしょ。イントロなんかに必ず入ってるヤツ。日本人は好きだからねえ、あのテの音色が。そこいらへんからとりあえず考えてみた訳です。しかも正調サンタ・エスメラルダならそれプラス、リバイバル・ソングであることが大切な要素になってきます。となれば誰だって簡単に考えつくと思いません？

エエイ！勿体ぶらずに書いてしまおう。歌謡界の大御所、先頃、80億円とかいう気の遠くなるような遺産を残しておなくなりになった古賀政男先生ですよ。昔っから古賀メロディといえばギターと相場はきまっているよね。『影を慕いて』なんて、もう条件にピッタシじゃあありませんか。しかし、ただ『影を慕いて』をサンタ物にしたところで話題に乏しいとおっしゃる方もたくさんいると思うので、更に盛り上げる意味で誰がそれを歌うべきかまではっきり書いてしまおう。アントニオ古賀です。いやあ我ながら本当にいいアイデアだ。アントニオ古賀さんも久しくヒット曲がないし、どんなもんでしょうな。週刊誌もとびつきますよ。悪ノリついでに書いちゃうならばB面は彼の最大のヒット曲『クスリルンバ』のサンタ物にすべきです。どっちにしても、考えただけでバカでもアレンジできそうなぐらいまんまサンタ・エスメラルダでしょう。案外、実際にレコード会社じゃそのぐらい企画してたりしてね。

とどめはロマンチカ

アントニオ古賀の『影を慕いて』が本命だとすれば穴は何か。ロマンチカに決ってるじゃない。曲は当然『小樽の女'78』。しかしこれだってレコード会社じゃもう考えてるかもしれない。とにかく洋楽、ことにディスコサウンドの何割かがリバイバル・ソングで占められているという事実から考えれば、そろそろ日本でもリバイバル・ブームが来てもおかしくない時期なのだからして、私の提案が決していいかげんな思いつきだけからではないのはおわかりいただけると思う。あっ、原稿を書きながら不安になってきちゃった。もし、この『ポパイ』が発売される前に、今いったような企画のレコードが実際に発売されちゃったらどうしよう。どこかのレコード会社に売りつけようと思ってるのにさ。だって絶対あたるハズだもの。

それにしても、ディスコ物はいつまで続くのだろう。来年はどんなブームになるか楽しみね。

⬇日本人の心を歌う古賀メロディの集大成。温かな人柄がしのばれる（コロムビア AX-7187）

⬆鶴岡先生のレキント・ギターが日本人の心に優しく響きます。東京ロマンチカの初期のお姿でした ⬇『小樽の女』、デビュー曲が大ヒットでした。残念ながら廃盤となったので、幻の名盤であります

⬅『影を慕いて』も入っている『弾詩』は最新盤（コロムビア AX-7174）

⬆すっかり"ベテラン"という風格がそなわってきた感じのアントニオ古賀 ⬅軽快なリズムが懐しい『クスリルンバ』は、今や廃盤になってしまった

October → November

CALENDAR

ILLUSTRATION by HIROMASA KATO

TOUCHDOWN

東西のフットボール・リーグも、いよいよ後半戦に突入。勝敗が気になり、リーグ順位にも一喜一憂する頃だ。

関東は日大を筆頭に明大、法大などの七大学リーグや日体大や東海大の関東八大学リーグ、それにさつきリーグやローズリーグなど母校の応援にも熱が入る。関西も関学、京大の関西学生リーグに進出した大経大がどこまで勝星をのばすか？ 興味はつきない。

▼関東学生アメリカン・フットボール・リーグ
10月14日(土) (場)駒沢第2グラウンド (時)9・00AM〜〈駒大vs関東学院大〉 (時)11・30AM〜〈日大vs法大〉 (時)2・00PM〜〈成城大vs武蔵大〉〈和光大vs明星大〉〈慶大vs東大〉 (時)2・00PM〜 (料)500円／(場)駒沢補助グラウンド (時)9・00AM〜 (時)11・30AM〜 (料)無料
10月21日(土) (場)駒沢第2グラウンド (時)9・00AM〜〈国際商科大vs一橋大〉 (時)11・30AM〜〈学習院大vs明学大〉 (時)2・00PM〜〈青学大vs成蹊大〉 (料)500円／(場)駒沢補助グラウンド〈東海大vs中大〉 (時)2・00PM〜 他2試合 (料)無料
10月28日(土) (場)駒沢第2グラウンド〈青学大vs学習院大〉 (時)9・00AM〜〈東海大vs日体大〉 (時)11・30AM〜〈日大vs明大〉 (時)2・00PM〜 (料)500円
10月29日(日) (場)早大グラウンド (時)0・00PM〜〈法大vs専大〉 (時)2・30PM〜〈中大vs早大〉 (料)無料
11月5日(日) (場)慶大グラウンド (時)0・00PM〜〈上智大vs一橋大〉 (時)2・30PM〜〈慶大vs立大〉 (料)無料
問合せ☎03・449・2021関東アメリカン・フットボール協会

▼関西学生アメリカン・フットボール・リーグ
10月15日(日) (場)西宮球技場 (時)0・30PM〜〈甲南大vs大経大〉 (時)2・30PM〜〈関学vs同大〉 (場)西京極陸上競技場 (時)0・00PM〜〈近大vs桃山学院大〉 (時)2・20PM〜〈京大vs関大〉
10月22日(日) (場)西京極球技場 (時)0・00PM〜〈同大vs大経大〉 (時)2・20PM〜〈京大vs近大〉
10月28日(土) (場)イタミスポーツセンター (時)0・00PM〜〈桃山学院大vs大経大〉 (時)2・00PM〜〈同大vs甲南大〉
10月29日(日) (場)神戸中央球技場 (時)0・00PM〜〈近畿学生リーグ東部ブロック代表校vs同西部ブロック代表校〉
11月3日(金) (場)西宮球技場 (時)2・00PM〜〈関学vs近大〉 (時)0・00PM〜〈近畿学生リーグ中部ブロック代表校vs東海学生リーグ代表校〉
11月5日(日) (場)西宮球技場 (時)2・00PM〜〈京大vs同大〉 (時)10・00AM〜〈桃山学院大vs甲南大〉 (時)0・00PM〜〈近畿学生リーグ南部ブロック代表校vs29日第1試合の勝利校〉
他1試合
(料)前売一般400円 当日一般500円 問合せ☎06・429・4019関西アメリカン・フットボール協会

瞑想せよ

映像が瞑想に引き込む、もの想う秋、行楽の秋、格好のトリップだぞ。

▼黙壺子フィルム・アーカイブ――瞑想映画の旅
10月11日(水)『ラピス』(監)ジェームス・ホイットニー／『メデテーション』(監)ジョーダン・ベルスン／『モンタレーのラビ・シャンカール』(監)D・A・ベネベーカー／他 (時)4・30PM／7・00PM (場)高田馬場・東芸劇場 (料)1000円 問合せ☎03・325・3102サトウ・オーガニゼーション

娼婦の館

好評だったベロック写真展のパート2。今回は日本未公開の代物だから期待しよう。映画『プリティ・ベビー』のモデルである、ベロックの残したセピア色の世界に浸ってみるかい？

▼ベロック写真展II――プリティ・ベビー
10月14日(土)まで（日曜・祝日休館）(場)東京・ギャルリーワタリ (時)11・00AM〜7・00PM (料)無料 問合せ☎03・405・7005ギャルリーワタリ

遠すぎた橋●

去年の夏に話題をさらった戦争大作がもうブラウン管に登場。あの大画面の迫力がどこまで活きているか。あわてて観て損したなんて文句をいわずに、もう一度注目してみてはいかが。

▼水曜ロードショー（NTV 9・00PM〜10・54PM）
『遠すぎた橋』(監)リチャード・アッテンボロー (出)ロバート・レッドフォード ショーン・コネリー／他
10月11日(水) 前編
10月18日(水) 後編

恐るべきタコと戦慄の犬たち●

『キングコング』以来、動物のパニック映画が盛んに製作された。この2本も去年公開されたが今いちパッとしなかった。阿呆けた気分で観るには最高。

▼木曜洋画劇場――空前の動物パニック（12ch 9・00PM〜10・54PM）
10月12日(木)『テンタクルズ』(監)オリバー・ヘルマン (出)ジョン・ヒューストン／ヘンリー・フォンダ／他
10月19日(木)『ドッグ』(監)バート・ブリンカーロフ (出)デビッド・マッカラム／サンドラ・マッケーブ／他

Miss Grease●

▼オリビア・ニュートン・ジョン来日公演
映画『グリース』でトラボルタとともに人気急上昇の彼女が来日する。
10月16日(月) (時)6・30PM〜 (場)京都府立体育館
10月17日(火)・18日(水) (時)6・30PM〜 (場)東京・武道館
10月24日(火) (時)6・30PM〜 (場)大阪・フェスティバルホール 他全国8都市で公演
(料)S席3000円 A席2500円 B席2000円
問合せ☎03・407・8155キョードー東京

●●雨降りはTVを見よう●

TVが先生だった、なんてどこかで聞いた言葉だけれど、ボクたちが受けたカルチャー・ショックのほとんどが、TVによってのものなんだね。

『スーパーマン』の昔から『ハッピー・デイズ』まで、TVがボクたちに与えた影響ははかり知れない。ちょうど12chが『ザ・テレビジョン』と題して、あのなつかしの『パパはなんでも知っている』（ベティ、バド、キャシー、あの兄弟たちはどうしているのだろう）や現在アメリカで大人気の『ザ・ゴング・ショウ』、ビートルズのパロディ番組『ラトルズ』までを網羅したスペシャル・プログラムを組む。この機会に、もう一度ボクたちとTVの関わりを考えてみよう。

▼『ザ・テレビジョン』（東京12ch 毎週金曜日11・10PM〜0・35AM）
10月13日(金)『ザ・ゴング・ショウ』
10月20日(金)『パパはなんでも知っている』
10月27日(金) ドキュメント・フィルム
11月3日(金)『ラトルズ』（予定）

ボブ・ディランの映画●

あの天才が映画を作った。47曲の音楽を駆使して壮大な哲学世界を映像化。

▼『レナルド&クララ』上映会
10月14日(土)・15日(日)『レナルド&クララ』(監)(脚)(出)ボブ・ディラン (出)ジョーン・バエズ／他 (時)14日2・30PM／15日11・15AM・6・00PM (場)東京・厚生年金会館ホール (料)前売・指定1200円 自由1000円／当日・自由1200円 問合せ☎03・407・8155キョードー東京

笑わぬ喜劇王に笑う●

キートンの傑作ドタバタをこの料金で観られ、しかも帰りに展示物をじっくり観察できる、今どき貴重な催しだ。笑わぬキートンを気持よく爆笑！

▼鉄道記念日特集・鉄道映画会
10月14日(土)・15日(日)『キートンの大列車追跡』(監)(出)バスター・キートン (時)11・00AM 2・00PM (場)東京・交通博物館 (料)入館料のみ（大人150円 中学生100円 4歳から小学生まで70円） 問合せ☎03・251・8481交通博物館

MY FAIR LADY●

久方ぶりにゴージャスなミュージカルが放映される。オードリーの華麗なムードとレックス・ハリスンの洒脱な英国紳士ぶり。いまどきの映画じゃ出せない、佳き雰囲気に満ちた作品だぞ。歌われるナンバーもおなじみのものばかり。必見のTV初登場なのだ。

▼日曜洋画劇場（テレビ朝日 9・00PM〜10・54PM）
10月15日(日)『マイ・フェア・レディ』(監)ジョージ・キューカー (出)オードリー・ヘプバーン／レックス・ハリスン／他

エノケンと時代劇●

エノケンこそ、日本喜劇界に輝くスーパースターだった。その素晴らしい

Free Space

●日大vs明大のカレッジ・フットボールから鈴鹿グランプリまで、息もつけぬイベント・ラッシュ!

才能に酔ってみないか。

▼**無声映画鑑賞会――剣と笑いとエノケンと大河内**
10月15日㈰『エノケンの森の石松』(監)中川信夫/『旅姿人気男』(監)渡辺邦男 (出)エノケン/大河内伝次郎 他1本 出演弁士・松田春翠/他 (時)5・30PM (場)東京・紀伊国屋ホール (料)一般1300円 前売・学生1000円 会員700円 問合せ☎03・605・9981

幻のアニメーション●

アニメ・ファンにとってはヨダレの出る催しが2つ開かれる。ひとつは、幻の名作『動物農場』がようやく公開されることだ。アニメの本にはたびたび登場している美しいフル・アニメなのだ。原作はジョージ・オーウェル。(石森章太郎が『少年マガジン』でマンガ化したことがある)
もうひとつはソ連の、社会諷刺を得意とする2人の作家の特集。『ヤマト』やTVアニメもいいが、日頃観られないこれらの作品にこそ注目したいね。

▼**幻のアニメ初上映!**
10月18日㈬『動物農場』(監)ハラス&バチェラー (時)7・00PM (場)東京・中野文化センター (料)600円 問合せ☎03・393・0344アニドウ

▼**ソビエト名作映画鑑賞会**
10月25日㈬ L・アタマーノフとF・ヒートルーク特集『花束』/『ベンチ』/『フィルム・フィルム』/『島』(時)6・15PM (場)東京・日経小ホール (料)一般800円 会員600円 問合せ☎03・243・1601日本海映画

西独から風が吹く●

西ドイツ映画の存在は、現在の世界映画地図の中で独特な位置を占めている。若々しく刺激に満ちた作品を生み出すその姿勢は、ボクたちに衝撃を与えずにはおかない。今回の催しでは、なかでも異色の作品を集めている。
スーパー・シュールレアリスト、ダリが、独特の視点でモンゴルをとらえた『ダリのモンゴル紀行』は、美術的な興味もつきない実験的作品。加えて、昨年の西独映画祭、『小人の饗宴』で話題をまいたヘルツォーク監督の71年作品『闇と沈黙の国』は、全盲で耳も聞こえない女性を通して、五体満足なボクたちも実は闇と沈黙の国にいるのではないかと訴える、コミュニケーションをテーマにしたドキュメントだ。
また『ルトヴィッヒ……』の監督ジーバーベルグが、ワグナーと第三帝国との関係をインタビューした『ヒトラー時代の回想』など、骨っぽいプログラム。『ルトヴィッヒ……』も好評につき再映だ。

▼**異色のドイツ映画**
10月19日㈭・26日㈭『ダリのモンゴル紀行』(監)サルバドール・ダリ/『闇と沈黙の国』(監)ヴェルナー・ヘルツォーク
10月21日㈯『ヒトラー時代の回想』/『ルトヴィッヒ2世のためのレクイエム』(監)ハンス・J・ジーバーベルグ
(時)19日・26日6・00PM/21日4・00PM (場)東京・草月会館ホール (料)前売500円 当日700円 問合せ☎03・357・0283フィルムアート社

THE YAKUZA●

東映任侠映画とアメリカン・サスペンスの融合! 健さんがドスをふるい、ミッチャムのガンがうなる。義理という日本的なテーマをアウトサイダー的なアングルからとらえたユニークな作品だ。従来の日本を舞台にしたアメリカ映画にありがちなデタラメさがないのがとてもいい。

▼**ゴールデン洋画劇場**(フジ9・00PM～10・54PM)
10月20日㈮『ザ・ヤクザ』(監)シドニー・ポラック (出)ロバート・ミッチャム/高倉健/岸恵子/ブライアン・キース

迫力のボディ・チェック●

▼**日本アイスホッケー・リーグ(第1次リーグ)**
10月21日㈯〈十条vs国土〉〈王子vs古河〉(時)3・30PM～
10月22日㈰〈十条vs西武〉〈岩倉vs古河〉(時)1・00PM～
10月24日㈫〈国土vs古河〉〈王子vs十条〉(時)5・30PM～
10月25日㈬〈西武vs古河〉〈岩倉vs王子〉(時)5・30PM～
10月26日㈭〈岩倉vs十条〉〈国土vs西武〉(時)5・30PM～ (場)札幌・月寒アイスアリーナ (料)指定2000円 一般1500円
10月28日㈯〈岩倉vs国土〉〈王子vs西武〉(時)3・00PM～
10月29日㈰〈岩倉vs西武〉〈王子vs国土〉(時)1・00PM～ (場)札幌・真駒内屋内スケート競技場 (料)指定2000円 一般1500円
〈十条vs古河〉(時)4・00PM～ (場)釧路・十条スポーツセンター (料)同右
問合せ☎03・467・3111体協(アイスホッケー協会)

テニスボーイよ!!●

10月31日に増刊第3集『テニスボーイ』が出る。ちょうど同じ頃、テニスのビッグ・イベントが2つ開催される。
ひとつは今年で7回目を迎える『フレッドペリー・ジャパンオープン』。去年のこの大会の男子シングルスのウィナーはM・オランテス。今年も参加予定だからボルグ、コナーズ、ビラスなどのスター・プレイヤーたちとの優勝争いが予想される。今年は女子選手も16名参加しチャンピオンの座を争う。
もうひとつは、インドアで行なわれる『セイコー・ワールド・スーパー・テニス』。『フレッドペリー……』とともに『コルゲート・グランプリ』シリーズの一戦だが、"スーパー"の文字は賞金17万5000ドル以上、出場選手32名参加のトーナメントに冠せられる。出場選手は9月28日発表のATP(プロ庭球選手協会)ランキングの上位30名に、日本予選を勝ち抜いた九鬼選手と日本プロテニス協会推薦の選手の合計32名。
『フレッドペリー……』はNHKが、『セイコー・ワールド……』はTBSがそれぞれ中継を予定。お金と暇のない人はTV観覧席でどうぞ。

▼**フレッドペリー・ジャパンオープン'78**
10月23日㈪～10月29日㈰ (時)11・00AM～ (場)東京・田園テニスコート (種)男女各シングルス、ダブルス (料)Gボックス=1日4席×7日=5万円 S指定=1日1席×7日=1万円 A指定3000円(28日、29日のみ) B指定2000円(28日、29日のみ) C自由1500円(23日～27日) 学生1000円(G、S席を除き前売は2割引) 問合せ☎03・466・7693日本庭球協会

▼**セイコー・ワールド・スーパー・テニス**
10月31日㈫～11月5日㈰ (時)10月31日・11月1日=11・00AM～ 2日=3・00PM～ 3日=0・00PM～ 4日=1・00PM～ 5日=2・00PM～ (場)東京体育館 (種)男子シングルス、ダブルス (料)通し券2万4000円(10月31日・11月1日はA席、11月2日～5日S席)/10月31日・11月1日=A席2500円(ブロック指定) B席1500円/11月2日～5日=S席6000円(コートサイド指定) A席4000円(指定) B席2500円(指定) C席1500円(自由) 問合せ☎03・544・7045/5175セイコー・ワールド・スーパー・テニス事務局

ギターにもの想う秋●

ソロ・アルバム『夜の彷徨』も出来がよく好評なラリー・カールトンの来日公演だ。

▼**ラリー・カールトン来日公演**
10月24日㈫ 札幌・厚生年金会館
10月26日㈭・11月1日㈬ 東京・郵便貯金ホール
11月2日㈭ 大阪・厚生年金会館
(時)6・30PM～ (料)S席3000円 A席2500円 B席2000円 問合せ☎03・402・9463トムス・キャビン

フランプトン●

▼**ピーター・フランプトン来日公演**
10月25日㈬・26日㈭・27日㈮ (場)東京・武道館 (料)S席3800円 A席3000円 B席2800円 C席2000円
10月28日㈯・29日㈰ 大阪・フェスティバルホール
10月31日㈫ 名古屋市公会堂
11月1日㈬ 京都会館第1ホール
(料)S席4500円 A席3800円 B席3000円
(時)6・30PM～ 問合せ☎03・400・6536ウドー音楽事務所

"赤い軍団"が来日するぞ!

大リーグ熱に火をつけたのは、このレッズかもしれない。人気、実力ともにスターたちの"赤い軍団"レッズが日本各地で17試合の熱戦を展開する。

▼**第11回日米野球大会――シンシナチ・レッズ来日試合**
10月28日㈯・29日㈰ (時)1・30PM～ (場)後楽園球場 対巨人軍
10月31日㈫ (時)0・30PM～ (場)札幌・円山球場 対巨人軍
11月3日㈮ (時)1・30PM～ (場)後楽園球場 対全日本
11月4日㈯ (時)1・30PM～ (場)横浜スタジアム 対大洋・巨人連合軍
11月7日㈫ (時)1・30PM～ (場)ナゴヤ球場 対中日・巨人連合軍
11月11日㈯ (時)1・30PM～ (場)西宮球場 対阪急・巨人連合軍
11月12日㈰ (時)1・30PM～ (場)西宮球場 対全日本
11月15日㈬ (時)1・30PM～ (場)広島市民球場 対広島・巨人連合軍
他8試合 料金、他試合などは……問合せ☎03・242・1111読売新聞社・日米野球大会事務局

NYの恥部●

人種のるつぼ、ニューヨーク。そこにうごめくシンジケート一味、悪徳警官、そして貧しい黒人たち。金につかれた彼らがおりなすサスペンスフルな作品。ボビー・ウーマックの哀切な主題歌が素晴らしい効果をあげる。リアリズム・タッチに満ちた注目作だぞ。

▼**月曜ロードショー**(TBS 9・02PM～10・55PM)
『110番街交差点』(監)バリー・シャー (出)アンソニー・クイン/ヤフェット・コットー

グランプリ●

今シーズンの鈴鹿の最後を飾るビッグ・レース。去年のこのレースのウィナー、リカルド・パトレーゼがシェブロンB48を駆る。今シーズン、ヨーロッパFIIチャンピオン確定的なブルーノ・ジャコメリも初来日する。

▼**JAF鈴鹿グランプリ**
11月4日㈯ 予選/11月5日㈰ 決勝 (時)9・00AM～ (場)鈴鹿サーキット (料)決勝当日券5000円(駐車料1日4輪500円、2輪200円) 問合せ☎03・274・5821ホンダランド

from Readers

ポストマンのかばんを重くするページだ!

「学芸会で花さかじじいを演じたワシ、桜の花を咲かせずに、客席にイガ栗を投げてやったのじゃ」……ブルート

ボワ~~ッとした色気

中原理恵

▽こんにちワ! こないだ『ポパイ』を読んでたら、僕のごひいきの中原理恵ちゃんが出てるじゃんか。それも彼女自身、なんと文など書いたりして……。中原理恵ちゃんって、なんていうのか、こうボワーッとした色気みたいなものがあるじゃない。それがスゴークいいんだよネ(山口百恵ちゃんほど、アンニュイなムードがあるわけじゃない)。それに加えて知性のかけらが、ちょこっと光ってるのも、ウーム、シティガールってな感じですネ。(埼玉・長名男)

38号の埼玉のGIRLさんへ

私の意見。最近、やたら、どこの子も日本人歌手から離れ、外国のミュージシャンにあこがれはじめて、とにかく、ファッションをまねすりゃいいとか勘違いしてる子が多いのね。だから、埼玉のGIRLさんも、まちがって見られたんだと思うけど、日本人は早く表面に出ているもの(ファッションなど)だけを輸入することはやめて、その音楽に含まれている精神的な面も輸入するようにならなくちゃならないと思う。「今、○○っていうグループが流行ってるそうだから私も……」なーんて最低ね。ロックなんていうのは、あそび半分で聞いてほしくないね。大好きなバンドのファッションをまねるのも結構だけど、スピリットを大切にしようよ!(長崎・へりくつ女)

珍説・花さかじじい

▽昔々あるところにおじいさんとポチという賢い犬が仲良く住んでいました。ある日、ポチはいつものように庭に出て、「ここ掘れワン! ワン!」とほえたのです。早速、おじいさんは一生懸命掘ったのですが、何も出てきませんでした。いかり狂ったおじいさんは、ポチのシッポをつかむと「この役立たず、あほ犬めが!」と言いながら、ポチをふり回したのです。あまりの痛さに頭にきたポチは、おじいさんに向かって言いました。「放さんか! じじい! じじい!」……はなさんか! じじい……。めでたし、めでたし。(滋賀・ジェリー・ロペツ気味の彼氏が欲しい星会子)

ⓟいや～っ、びっくりしたなァ。最近、イラストが少ないなと思っておったら、ドンと3枚つづりのハガキだもんね。大阪の藤本雅之君、ご苦労さん。なかなかの秀作じゃよ。

ⓟまあ、これくらいのシャレじゃ、ざぶとん2枚取り上げじゃね。

このテのカメラをご存じか?

▽このテのカメラをご存じか? これは日本唯二の市販の水中カメラ。〝唯二〟といったのは、ひとつはいわずと知れた《ニコノス》。そうして、もうひとつがこれ、《リコーオートハーフ》をカプセルに納めた防水型。シンプルでシャッター押すだけ、バネによる自動巻上げだから、ほんとうに何もしなくてよいのだ。しかし、残念ながら今はもう造っていない。なぜ、こんな便利なものを造らなくなってしまうのだろうか。ますますニコノスの独壇場ではないか! 僕は必ずしも水中にもぐれるカメラを望んでいるのではない。もう一歩近づいて、しぶきをあびながらサーファーやヨットを撮りたいのだ。カメラ王国といわれる日本に、どうしてカメラを入れる防水ケースが市販されてないのだろうか?(大阪・はえとり)

KEEP CLEAN 新島!

▽私は新島が大好きな女の子です。今年も行ってきました。そこで地元の小学生と友達になりました。いろいろ話をしているうちに、その子は観光客が大嫌いだと言うのです。ゴミはちらかすし、特に花火のかすは毎日島の人が当番制でかたづけているのだそうです。腰の曲がったおばあさんまで、それをしなくちゃならないのです。
　みなさん、どこの観光地でもそうですが、せっかくのすばらしい土地を汚すようなことは、よそうではありませんか!(群馬・岡部正子)

ⓟマナーの守れぬ人たちよ、狭い日本そんなに汚して何になる!

文教大学女子短期大学部知ってる?

▽『ポパイ』読者のみなさん! 〈文教大学女子短期大学部〉つう短大、知ってる? 知ってた人、「ハイ」と元気に手をあげて。これがまた悲しいくらいに少ないわけ……。以前から有名とは決して言えなかったのに、上ぬりするかのように名称変更するんだもの(52年度の話ですが)。それに、もうすでに〈文京〉という、奥ゆかしい京都の〝京〟の字の学校があるというのに、マネッコして……。敗因はまだあるの。所在地がまたまたすばらしいのです。「何線沿線?」と聞かれても、ボソッと小声で「田園都市線or池上線」。この線すら知らない人がいたりして……。でも、きっともう安心、『ポパイ』に載れば。何かの機会で文教の名を聞いたら「あの有名な――」の一言を!(東京・我が大学を有名にしたいコ)

日本のベースボール・カード

▽ハイ、ブルート。『ポパイ』39号で、片岡義男さんが「日本になぜベースボール・カードがないのだろう」なんて書いているけど、日本にもある、いや、あったのです。あの森永製菓が、昔《トップスターガム》というガムのサービス品として、ベースボール・カードを作っていたのですヨ。片岡さんの文を読んで、すぐに押入れの中をひっかき回して、やっと見つけたのです。
　若き村山や野村、そして国鉄スワローズの金田……。早速『ポパイ』に送って、日本の野球ファンに知ってもらわねばならないと思ったので同封します。(神奈川・トシちゃんにじゅうご)

安全カミソリ使用法

▽この間、中古で色のおちたカックイイ《リーバイス・505》を買いに行ったのよ。ところがさ、↖

The Eastern

EAST PARKに集合

▽スケートボードは、シティボーイだけのものじゃない。最近はパークボーイといって、都会のわずらわしさを避けて、ここ〈EAST PARK〉に集まるんだ。我々のチーム〈THE EASTERN〉は、こうしてできたんだ。現在会員30名弱。この夏できたばかりのbaby-teamだけど、その名を必ずや全世界に轟かせることでしょう。ヨロシクネ！　（愛知・太田憲司）

ノーヘルって怖い

▽先日、僕はいつものように家の前の急な坂を、スラロームって滑っていたのです。僕はもっとスピードをつけるために、ノーズに体重をかけ、ひざと腰をおもいっきりつかって、乗っていたのですが、ボードがついていかなくなり止まってしまい、僕は運動の法則によりふっ飛ばされたのです。僕は今まで、ほとんど転んだことがなく、「ヘルメットなんてクセエもんしてられるかい」と思って、ノーヘル。頭をいやというほどぶつけました。一瞬、意識がなくなってしまったのです。全国のノーヘル・ボーダー諸君、スケボーって怖いもんですね。（神奈川・中津隆正）

きいてください 私の悲劇

▽私、この間、代々木公園で友達の運転していたパッソルのうしろに乗って爽快に走っていたんです。ところが、急に横からスケボーが出てきて、友達が気づくのが遅く、ボードの上に乗ってしまったんです。そして、その反動で私はパッソルから落ちてしまい、ケガをしてしまいました。それなのに、ボードをわざと走らせてきたボーイズは、謝りもせずクスクス笑っているのです。2人乗りの私も悪いけれど、なにもボードを出すことないじゃない！（東京・ガールズ）

from Skateboarders

from LONDON LONDON

▽ボクも行ってきました、地下鉄をスローン・スクエア駅で降りて、あのキングスロードへ。若者のストリート、スウィングしてるロンドンをこの目で見てきたのだ。

『ポパイ』19号もしっかり持っていったのでバッチリ。〈BOY〉に着いたときの興奮の連続。写真も撮りまくったりして。でも、少しのパンカーにしか会えなかったし、ニュー・ウェイブもなんだかすたれ気味みたいで、少し期待はずれでした。それに、門限が迫っていたので、あの〈セディショナリーズ〉には行けなかったのがとにかく残念で、残念で……後悔の連続。あー、今度行くときまでやっていてくれますように……。（神奈川・TAKUYA）

㋑42号の『ポパイ』ではまた、新しいロンドンの紹介をするのじゃ。楽しみにしていてくれ！

Present

●ISUZU自動車から《VIVA SPORTS》フライング・ディスクをプレゼント。このディスク、毎月行なわれている試乗会でプレゼントされるもの。ジェミニや117クーペに乗れて、ディスクもらえりゃ、気分最高秋空快晴。で、白と黄色のディスクを、それぞれ10名に。秋風には、これがよーく似合いますよ。

●続いてはスケートボード。東京・蒲田のサーフショップ〈ノース・ショア〉のオリジナルです。合板のアップ・テール型。デッキテープが全面に貼られている。で、この〈ノース・ショア〉なんだけど、今年の4月にオープンした、南国ムードいっぱいのショップ。かなり気になるものがそろっている。このボードは5名にプレゼント。秋風を滑ろう！

●ウエストコーストの優秀なサーファーであり、彫刻家であるテディ・ウィリアムス氏の作品である、サーファーをかたどった《サーフ・ボーイ》というキーホルダーとネックレスが日本に上陸！その上陸を記念して〈デザインオリジナル社〉（〒223神奈川県横浜市綱島郵便局私書箱20号、☎045・542・2986）より『ポパイ』愛読者60名にこのキーホルダーかネックレスのいずれかをプレゼントします。

▼締切＝10月20日。当日消印有効。

▼あて先＝〒104東京都中央区銀座3―13―7、平凡出版株式会社『ポパイ編集部／ISUZU・フライングディスク／ノース・ショア・オリジナルボード／デザインオリジナル社・サーフ・ボーイ・キーホルダー、ネックレス係』。（当選者発表は商品の発送をもってかえさせていただきます）

↖中古なのに新品より1000円高くて、5800円もするの。貧乏学生ヤッシ君は仕方なく「新品をつぶして頑張んベェ」と思って新品を買って帰ったの。そんで、いろいろ実験した結果、"安全カミソリ"ちゃん（T字形の）、あれがグーよ。あれでGパンをゴシゴシやってると、半日でナイスな色になって、サム穴イズ・オープニングになるの。みんなチャレンジしてみて！（静岡・岡本泰史）

よっしゃ●

ボードが買えないなら作っちまおうってなわけで、in haste shaper となりまして、できあがったのがこのボードであります。最近、近所のサーファーの先輩からの注文が殺到（とはいってもまだ6本！）しまして、大変なときではあったのですが、ボルトのマーク入りのスワローテールと、ラウンドピンテールと勘違いし、1本返品がありましたので、ポパイ編集部に差し上げます。

＊使用法＝skeg（fin）の中央部にヒモを通して、クルマのルームミラーやラジオのつまみにつるしておく……など、アクセサリーに。（愛知・杉山敦彦）

もっと英語の勉強するんだった〜〜●

▽バイトしている店に外国人がやってきた。背が高くって、鼻が高い、きれいなブロンドの髪をした女性である。カナダ人であった。その女性と話をした。もちろんペラペラしゃべれたわけではない。英単語をひとつひとつ考えぬいて、ならべるだけである。だけど、じっと瞳を見つめて、下手くそな発音で一生懸命話をした。通じたときの喜びは言葉などには表わせない重みがあった。彼女の意思が私の小さな胸にずし・い・んとはね返ってきたのだ。もうあの人と会えないと思うと悲しい。もっと英語を勉強するんだった。（三重・カヨコ）

秋の気配を感じたときに

●最近、ちょいと気になっている女のコがいる。伊勢丹デパートのTV-CFで、"戻っておいで私の時間"っていっている彼女ですよ。そういえば、『装苑』の表紙も彼女だったなあ。名前は？そんなこと、別にどうだっていいや。とにかく、日本人の青っぽい雰囲気がするから好きなんだ。知的で清潔でフレッシュ、ああ、早くまたTV-CFで逢いたいなあ……。

●と、こんなこと気になるのも、やはり、秋のせいでしょうか。そうだ、ひとつ手紙でも書いてやろう。電話したばかりの彼女にね。そんなときには、例えば、スティーブン・ビショップの『EVERYBODY NEEDS LOVE』でもバックに流しますか。彼の今回のアルバム『水色の手帖』も、かなりの出来なんだ。秋の男って断言しちゃおうかな。

●さて、今回の《フロム・リーダーズ》でも分るように、イラストや写真もどんどん紹介しちゃうので、どんどん送ってもらいたいなあ。もちろん、手紙も……ね。

MAZE ●迷路●

第33回（第38号掲載分）当選者発表

『ポパイ』38号の第33回懸賞パズルに多数の応募ありがとうございました。次の20名様に《ゲータレード・セット》を贈呈します。（敬称略）

▶北海道・坂本準一　青森・天坂洋子　秋田・小松田靖人　新潟・橋本明子　千葉・秋葉昌伸　榊原幸枝　埼玉・蓮見博　東京・市川宏行　西川博　林妙子　山之内朝美　山梨・中村信　富山・水原由香子　静岡・大石義隆　愛知・小嶋靖彦　三重・藤本京子　広島・高畑正徳　山口・国本勝彦　佐賀・杉原光　熊本・赤坂和広

正解　F

10日と25日はポパイの日

お腹の空く季節になった。みんなからだを動かしているかな。とにかく行動することが青春の証明なのだから。まずからだを鍛えて、その充実した肉体と、さわやかな精神がなければ、ほんとうのおしゃれは成立し得ないということを知ってほしい。上べだけを飾ってみたってダメなのだよ……なア。

42号は10月25日(水)発売

from Editors

ダンディズムとは

▼『ポパイ』は、アーネスト・ヘミングウェイという作家をかなり気にしている。大袈裟にいうと、彼は『ポパイ』の精神的な支えといってもいいかもしれない。

▼〝競馬新聞を読んだだろう……本当の小説技術ってのはあれさ〟というヘミングウェイの言葉は『ポパイ』編集部がとても大切にしている言葉のひとつだ

▼彼には、ハンティングやフィッシングや飛行機事故など、無法で、世界を放浪する遊び好きの作家という通説があるが、これは、とても一面的で間違った評価だ。

▼《ヘミングウェイは、明らかに生を楽しみながら、あらゆることに、等しい献身ぶりを示している》と、『パリ・レビュー』誌の会見記を一冊にまとめた本『WRITERS ATWORK』（邦訳『作家の秘密』新潮社刊）にも書かれている。

▼とにかくヘミングウェイは、世代を超えて、われわれを魅了する生き方を実践してみせてくれた、数少ない男なのだ。彼の生涯はまさに、ダンディズムで貫かれていたといえるだろう。

▼彼のハヴァナ郊外の自宅をスケッチした文章がある。《寝室とを区切るドアは、世界じゅうの航空機用エンジンの種類と図解を収めたどっしりとした書物をおさえにして、開け放たれてある……》。

▼また、同じ文章のなかに、こんなのもある。《ある書棚の上には、奇妙な記念品の組合せが並んでいる――機関車、ジープ二台、ミニアチュールのギター、（車輪が一つ行方不明になった）アメリカ海軍複葉飛行機のブリキ製小型模型。このガラクタの寄せ集めは、ちょうど少年の押入れの奥深くしまってある靴箱から探し出して来たようなものばかりだ（一部省略）》。

ポパイの大先輩

▼かつて『ライフ』に、ヘミングウェイが空缶を蹴飛ばしている写真が掲載されたことがある。この一枚の写真は、服装や、その一瞬のポーズや、表情など、ものすごく鮮烈な印象で焼きついている。

▼彼は、ブラック・タイの大フォーマル・パーティにマウンテン・ウェアで出席した。これは彼の死後17年も経て『ポパイ』が提案しみんなが実践しているワイルド・シックそのものではないか……。

▼アーネスト・ヘミングウェイは1899年7月21日、イリノイ州オーク・パークに生まれたという から、いま生きていたら79歳だ。そんな遠い時代に『ポパイ』の始祖は、思いきりカッコよく生きてそして死んだ。

▼われわれも、こうしてはいられないと、まず、ヘミングウェイの愛したスペインをたずねてみたわけだ……。

＊

▼話は変るのだが、前々号の『ポパイ』で重大な間違いを犯したことをここでお詫びさせてもらいたい。

▼それは本誌39号（9月25日号）の《少女マンガPOP★EYE》11番目の記事（15頁）の〝『週刊マーガレット』が隔週刊になるのは、いまや決定的な状況だ〟という部分で、これは、事実無根であると『週刊マーガレット』の徳永孝雄編集長から抗議の電話をいただいた。

▼早速『ポパイ』編集部としても担当者を中心に経過をたどり調査をした結果、全体的状況から類推したことで事実でないことが判明したので、お詫びして問題の個所の文章を取り消させていただきたい。

▼読者諸君ならびに徳永編集長をはじめ『週刊マーガレット』編集部および関係各位にご迷惑をおかけしたことを深くお詫びします。

POPEYE 41 〈ポパイ〉10月25日号 昭和52年4月27日 第三種郵便物認可 昭和53年10月25日発行(毎月二回10日・25日発行) 第3巻第22号 編集人・木滑良久 発行人・窪田幸茂